高齢者実態調査結果報告書

令和5年7月

山形県 山形市

目 次

序章	調査の実施概要	. 3
1	調査の目的	3
2	調査の内容	4
	(1) 高齢者の健康と生活状況調査	
	(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)	4
	(2) 高齢者の生活と介護者の就労状況調査(在宅介護実態調査)	4
3	電算処理および分析に関する注意事項について	5
	(1) 電算処理	5
	(2) 報告書の記載方法	5
4	調査票の配布と回収状況について	6
	(1) 有効回答者数と回収率	6
	(2) 有効回答者の性別・年齢階級別の状況	8
第15	章 高齢者像等の判定結果	19
1	"高齢者像"からみた地域分析	20
2	リスク別該当者の分析	22
	(1) 各リスク別該当者出現率	22
	(2) リスク別該当者の性別年齢階級別出現率	23
	(3) I A D L 低下該当者出現率	
	(4)知的能動性低下該当者出現率	26
第2章	章 集計結果に基づくビジョンに関連した分析結果	29
1	一般高齢者等のビジョンに関連した分析	31
	(1)社会参加	31
	(2)介護予防、生活支援	41
2	要介護者等のビジョンに関連した分析	66
	(1)「本人」の在宅生活の継続性の確保	66
	(2)家族等「介護者」の就労継続	72
	(3)「サービス提供体制」の確保	75

第3章 地区分析81
第一圏域(なでしこ) 82
1 「出羽地区」 82
2 「大郷地区」 86
3 「明治地区」 90
4 「千歳地区」 94
第二圏域(大森) 98
1 「楯山地区」 98
2 「高瀬地区」102
3「山寺地区」106
第三圏域(敬寿会)110
1「鈴川地区」110
第四圏域(たきやま)114
1「滝山地区」114
第五圏域(ふれあい)118
1「第六地区」118
第六圏域(山形西部)122
1 「南山形地区」122
2「本沢地区」126
3 「大曽根地区」130
4 「西山形地区」134
5 「村木沢地区」138
第七圏域(さくら)142
1 「第一地区」142
2 「第二地区」146
第八圏域(かがやき)150
1 「第三地区」150
2「第四地区」154
3「第九地区」158
第九圏域(霞城北部)162
1 「第七地区」162
第十圏域(霞城西部)166
1 「第十地区」166
2「飯塚地区」170
3「椹沢地区」174

<i>5</i> -5-		170
矛	十一圏域(蔵王)	
	1「蔵王地区」	
第	十二圏域(愛らんど)	
	1「第五地区」	
	2 「第八地区」	
£1£-1	3「東沢地区」	
第	十三圏域(南沼原)	
	1「南沼原地区」	
第	·十四圈域(金井)	
	1 「金井地区」	198
第45	章 高齢者の健康と生活状況調査結果	
	(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果)	. 205
1	あなたのご家族や生活状況について	205
	(1)家族構成及び日中独居者の状況	205
	(2) 日常生活における介護(介助)者の有無	206
	(3)現在の経済状況	208
	(4)現在の住居環境	208
2	からだを動かすことについて	209
	(1)運動機能の状況	209
	(2)外出の状況	211
3	食べることについて	217
	(1)現在の肥満(BMI)状況	217
	(2)歯・口腔の状況	218
	(3)食事の状況	221
	(4)毎日の食事で取り組んでいること	222
4	毎日の生活について	223
	(1) IADL (手段的自立度) の状況	223
	(2) 社会参加(知的能動性)の状況	228
	(3) 社会参加(社会的役割)の状況	230
	(4) 生きがいについて	232
	(5)物忘れの状況	233
	(6) その他の生活状況	235
5	地域での活動について	240
	(1) グループ活動等の状況	240
	(2) 地域づくりに対する参加意向	243

6	たすけあいについて	246
	(1)困った際に頼る相手または頼られる相手	246
	(2) 友人・知人との交流状況	248
7	健康について	250
	(1)健康状態	250
	(2) こころの健康状態	251
	(3)疾病と喫煙や飲酒の関係	252
8	認知症にかかる相談窓口の把握について	254
9	介護が必要になった場合の生活等について	255
10	もしものときの話し合いについて	258
11	その他	261
笠 に き	章 高齢者の生活と介護者の就労状況調査結果	
∕71 J -	早 同m有の主佰と月設有の私力状況過重相未 (在宅介護実態調査結果)	265
1	(年七月 設夫 忍調 旦 桁 未 / ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
1	(1)要介護者の介護度	
	(2) 要介護者の世帯状況	
	(3) 家族・親族から介護してもらう頻度	
2		
_	(1) 主な介護者の状況	
	(2) 主な介護者の介護実態	
	(3) 家族・親族が介護のために離職した状況	
3		
	(1) 在宅生活を続けていくために必要な支援・サービス	274
	(2) 訪問診療の利用状況	279
	(3) 介護保険サービスの利用状況	
4	主な介護者の就労状況について	281
	(1) 主な介護者の勤務形態	281
	(2) 就労実態と意向	281
5	介護生活を続ける際の不安や困りごと	283
	(1) 主な介護者が不安に感じる介護等の内容	283
6	もしものときの話し合いについて	286
資料網	編 	202
>∹ 1"1/1	1/HH	

1	電算処理の判定条件等	293
2	アンケート調査票	297
	(1) 高齢者の健康と生活状況調査	
	(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)	297
	(2) 高齢者の生活と介護者の就労状況調査(在宅介護実態調査)	317

序章

調査の実施概要

序章 調査の実施概要

1 調査の目的

「高齢者の健康と生活状況調査(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)」については、「65歳以上の一般高齢者」「介護予防・日常生活支援総合事業対象者(以下、「事業対象者」という。)」「要支援1・2認定者」を対象に、からだを動かすこと、食べること、毎日の生活、地域での活動、たすけあい、健康などに関する項目を調査し、要介護状態となる前のリスクや社会参加状況等を把握することで地域診断に活用し、地域の抱える課題を特定するとともに、「一般介護予防事業評価事業」の実施のため、介護予防・日常生活支援総合事業の評価に活用することを目的とします。

また「高齢者の生活と介護者の就労状況調査(在宅介護実態調査)」については、「要支援1・ 2認定者」「要介護1~5認定者」とその家族を対象に、要介護認定者の在宅生活の継続や介 護者の就労継続に有効な介護サービスのあり方の検討に活用することを目的とします。

以上の国が設定した調査目的のほか、本市は「山形市高齢者保健福祉計画(第9期介護保険事業計画)」を「ビジョン達成型」の計画として策定することから、ビジョンの達成に向けた取組の検討、その取組の効果を自然体推計の見込量に反映させて修正を行うための「サービス提供体制の構築方針」の検討に活用することを目的とします。

2 調査の内容

(1) 高齢者の健康と生活状況調査(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

調査対象者	令和5事業效	14,000 人	
調査方法	令和5		
		設問の内訳	
	1	あなたのご家族や生活状況について	7 設問
	2	からだを動かすことについて	10 設問
	3	食べることについて	11 設問
	4	毎日の生活について	35 設問
	5	地域での活動について	8 設問
調査票の設計	6	たすけあいについて	8 設問
	7	健康について	7 設問
	8	認知症にかかる相談窓口の把握について	3 設問
	9	介護が必要になった場合の生活等について	4 設問
	1 0	もしものときの話し合いについて	4 設問
	1 1	その他	2 設問
		設問数合計	99 設問

[※]調査票は資料編に掲載しています。

(2) 高齢者の生活と介護者の就労状況調査(在宅介護実態調査)

調査対象者	令和5年1月5日現在、市内に居住する65歳以上の要介護・要 支援認定者より層化無作為抽出	8,167人
調査方法	令和5年2月28日~3月27日、郵送による配布・回収	
	設問の内訳	
	I ご本人(要介護者)の状況について	2 設問
調査票の設計	Ⅱ 主な介護者等の状況(属性等)について	8 設問
	Ⅲ 支援・サービス・診療訪問の利用状況・ニーズについて	8 設問
	IV 主な介護者の就労状況について	4 設問
	V 介護生活を続ける際の不安や困りごと	2 設問
	VI もしものときの話し合いについて	4 設問
	VII その他	1 設問
	設問数合計	29 設問

[※]調査票は資料編に掲載しています。

3 電算処理および分析に関する注意事項について

(1) 電算処理

集計処理にあたっては、回答結果から世帯状況、運動器の機能低下リスク、口腔機能の低下リスク、低栄養の傾向リスク、閉じこもり傾向リスク、認知機能低下リスク、うつ傾向リスク等の判定条件を基に行いました。その条件内容は資料編に記載しています。

また、集計表やグラフの%表示は<u>小数点第2位を四捨五入しているため、合計しても100%</u>にならない場合があります。

(2)報告書の記載方法

報告書の記載にあたっては、各種テーマごとに関連する設問を集約し、分析を行っている ために調査票の設問番号順の記載になっていません。グラフや表に記載しているタイトル番 号は、調査票の設問番号を用いています。

また、年齢階級別での比較は対象者数が少ない年齢階級については、5歳ずつの年齢階級で記載していない場合や、回答結果に見られる実態が年齢ではなく病気や障害等に起因することが多い要支援者については記載していない場合があります。

報告書で使用している用語について、「一般高齢者」は事業対象者・要支援認定者・要介 護認定者を除いた65歳以上高齢者を称しています。また、要支援認定者は「要支援者」、要 介護認定者は「要介護者」として略称を用いています。

4 調査票の配布と回収状況について

(1) 有効回答者数と回収率

本調査の回収状況は以下のとおりです。

表 0.1 調査別回答状況

	高齢者の健康と生活状況調査 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)				活と介護者の就 三宅介護実態調査	
	配布数 (人)	有効回答数 (人)	回収率 (%)	配布数 (人)	有効回答数 (人)	回収率 (%)
市全域	14, 000	9, 453	67. 5	8, 167	4, 046	49. 5
第一圏域	1, 837	1, 245	67. 8	815	435	53. 4
出羽地区	480	318	66.3	247	129	52. 2
大郷地区	469	331	70. 6	173	89	51. 4
明治地区	376	258	68. 6	60	35	58. 3
千歳地区	512	338	66. 0	335	182	54. 3
第二圏域	1, 283	876	68. 3	331	174	52. 6
楯山地区	514	353	68. 7	180	95	52. 8
高瀬地区	477	329	69.0	109	56	51.4
山寺地区	292	194	66. 4	42	23	54. 8
第三圏域	566	397	70. 1	719	334	46. 5
鈴川地区	566	397	70. 1	719	334	46. 5
第四圏域	510	348	68. 2	704	340	48. 3
滝山地区	510	348	68. 2	704	340	48. 3
第五圏域	550	368	66. 9	530	253	47. 7
第六地区	550	368	66. 9	530	253	47. 7
第六圏域	1, 986	1, 358	68. 4	476	257	54. 0
南山形地区	577	390	67. 6	221	122	55. 2
本沢地区	402	275	68. 4	91	51	56. 0
大曽根地区	286	195	68. 2	32	18	56.3
西山形地区	373	253	67. 8	71	39	54. 9
村木沢地区	348	245	70. 4	61	27	44. 3
第七圏域	1, 015	661	65. 1	585	275	47. 0
第一地区	477	309	64. 8	203	91	44. 8
第二地区	538	352	65. 4	382	184	48. 2

		高齢者の健康と生活状況調査 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)			高齢者の生活と介護者の就労状況調査 (在宅介護実態調査)		
	配布数 (人)	有効回答数 (人)	回収率 (%)	配布数 有効回答数 (人)		回収率 (%)	
市全域	14, 000	9, 453	67. 5	8, 167	4, 046	49. 5	
第八圏域	1, 418	924	65. 2	732	353	48. 2	
第三地区	490	330	67. 3	336	173	51.5	
第四地区	466	307	65. 9	255	114	44. 7	
第九地区	462	287	62. 1	141	66	46.8	
第九圏域	563	384	68. 2	546	259	47. 4	
第七地区	563	384	68. 2	546	259	47. 4	
第十圏域	1, 269	859	67. 7	548	250	45. 6	
第十地区	490	316	64. 5	380	162	42. 6	
飯塚地区	407	290	71. 3	111	57	51.4	
椹沢地区	372	253	68. 0	57	31	54. 4	
第十一圏域	541	363	67. 1	567	301	53. 1	
蔵王地区	541	363	67. 1	567	301	53. 1	
第十二圏域	1, 413	967	68. 4	639	315	49.3	
第五地区	468	317	67. 7	264	124	47. 0	
第八地区	508	335	65. 9	244	117	48. 0	
東沢地区	437	315	72. 1	131	74	56. 5	
第十三圏域	531	333	62. 7	502	254	50. 6	
南沼原地区	531	333	62. 7	502	254	50. 6	
第十四圏域	518	370	71. 4	473	246	52. 0	
金井地区	518	370	71.4	473	246	52. 0	

(2) 有効回答者の性別・年齢階級別の状況

本調査における圏域別の性別年齢階級別有効回答者は以下のとおりです。

表 0.2.1 市全域 高齢者の健康と生活状況調査 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

単位:上段/人、下段/%

調査				男	性					女	性		
対象者	計	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上
一 般	8, 898	992	1, 225	904	644	325	104	1, 035	1, 326	999	783	392	169
高齢者	100. 0	11. 1	13. 8	10. 2	7. 2	3. 7	1. 2	11.6	14. 9	11. 2	8.8	4. 4	1. 9
事業	198	1	3	8	8	17	5	1	4	23	42	53	33
対象者	100.0	0. 5	1. 5	4. 0	4. 0	8. 6	2. 5	0. 5	2. 0	11.6	21. 2	26.8	16. 7
西士哲	357	3	8	10	23	38	19	6	12	34	56	86	62
要支援者	100. 0	0.8	2. 2	2. 8	6. 4	10. 6	5. 3	1.7	3. 4	9. 5	15. 7	24. 1	17. 4

表 0.2.2 市全域 高齢者の生活と介護者の就労状況調査(在宅介護実態調査)

単位:上段/人、下段/%

調査				男	性					女	性		
対象者	計	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上
本十校	1, 054	26	40	31	49	84	64	19	39	111	148	234	209
要支援者	100.0	2. 5	3. 8	2. 9	4. 6	8. 0	6. 1	1. 8	3. 7	10. 5	14. 0	22. 2	19. 8
西人##	2, 992	48	117	141	211	221	237	38	93	150	317	585	834
要介護者	100.0	1.6	3. 9	4. 7	7. 1	7. 4	7. 9	1. 3	3. 1	5. 0	10.6	19.6	27. 9

表 0.2.3 第一圏域 高齢者の健康と生活状況調査(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

単位:上段/人、下段/%

													1 42/ /0
調査				男	性					女	性		
対象者	計	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上
一般	1, 173	127	174	115	93	43	14	138	170	120	106	50	23
高齢者	100.0	10.8	14. 8	9.8	7. 9	3. 7	1. 2	11.8	14. 5	10. 2	9. 0	4. 3	2. 0
事業	25	0	0	2	1	2	0	0	1	3	6	7	3
対象者	100. 0	0. 0	0. 0	8. 0	4. 0	8. 0	0. 0	0. 0	4. 0	12. 0	24. 0	28. 0	12. 0
要支援者	47	1	0	2	3	5	1	1	0	5	7	12	10
安又抜名	100.0	2. 1	0. 0	4. 3	6. 4	10. 6	2. 1	2. 1	0. 0	10. 6	14. 9	25. 5	21. 3

表 0.2.4 第一圏域 高齢者の生活と介護者の就労状況調査(在宅介護実態調査)

調査				男	性					女	性		
対象者	計	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上
本土校	108	2	4	4	4	8	4	0	3	11	13	25	30
要支援者	100.0	1. 9	3. 7	3. 7	3. 7	7. 4	3. 7	0. 0	2. 8	10. 2	12.0	23. 1	27. 8
一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	327	5	11	11	26	24	30	2	7	13	37	67	94
要介護者	100.0	1. 5	3. 4	3. 4	8. 0	7. 3	9. 2	0. 6	2. 1	4. 0	11. 3	20. 5	28. 7

表 0.2.5 第二圏域 高齢者の健康と生活状況調査(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

調査				男	性					女	性		
対象者	計	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上
— 般	826	109	125	77	64	25	7	84	121	90	72	38	14
高齢者	100.0	13. 2	15. 1	9. 3	7. 7	3. 0	0.8	10. 2	14. 6	10. 9	8. 7	4. 6	1. 7
事業	18	0	2	0	1	1	0	0	0	5	4	2	3
対象者	100.0	0. 0	11. 1	0.0	5. 6	5. 6	0. 0	0. 0	0. 0	27. 8	22. 2	11. 1	16. 7
西土ゼ *	32	1	1	0	4	4	0	1	1	1	5	9	5
要支援者	100.0	3. 1	3. 1	0.0	12. 5	12. 5	0.0	3. 1	3. 1	3. 1	15. 6	28. 1	15. 6

表 0.2.6 第二圏域 高齢者の生活と介護者の就労状況調査 (在宅介護実態調査)

単位:上段/人、下段/%

調査				男	性					女	性		
対象者	計	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上
西土拉	37	3	1	1	3	3	2	1	1	3	5	7	7
要支援者	100.0	8. 1	2. 7	2. 7	8. 1	8. 1	5. 4	2. 7	2. 7	8. 1	13. 5	18. 9	18. 9
亚人类	137	1	6	6	8	6	17	2	6	5	14	21	45
要介護者	100.0	0. 7	4. 4	4. 4	5. 8	4. 4	12. 4	1. 5	4. 4	3. 6	10. 2	15. 3	32. 8

表 0.2.7 第三圏域 高齢者の健康と生活状況調査(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

単位:上段/人、下段/%

調査				男	性					女	性		
対象者	計	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上
— 般	376	38	46	39	29	14	5	40	60	43	33	19	10
高齢者	100.0	10. 1	12. 2	10. 4	7. 7	3. 7	1. 3	10.6	16.0	11. 4	8.8	5. 1	2. 7
事業	6	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	2
対象者	100.0	0.0	0.0	0.0	16. 7	0.0	16. 7	0.0	0.0	16. 7	16.7	0.0	33. 3
西士授老	15	0	0	2	1	1	1	0	1	2	4	3	0
要支援者	100.0	0. 0	0.0	13. 3	6. 7	6. 7	6. 7	0. 0	6. 7	13. 3	26. 7	20. 0	0.0

表 0.2.8 第三圏域 高齢者の生活と介護者の就労状況調査 (在宅介護実態調査)

											十四	上权/八、	1 12/ /0
調査				男	性					女	性		
対象者	計	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上
五十校	95	2	7	5	6	9	7	3	5	7	14	20	10
要支援者	100.0	2. 1	7.4	5. 3	6. 3	9. 5	7. 4	3. 2	5. 3	7. 4	14. 7	21. 1	10. 5
西人进去	239	2	7	11	20	24	25	1	6	16	25	39	63
要介護者	100.0	0.8	2. 9	4. 6	8. 4	10.0	10. 5	0. 4	2. 5	6. 7	10. 5	16. 3	26.4

表 0.2.9 第四圏域 高齢者の健康と生活状況調査(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

調査				男	性					女	性		
対象者	計	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上
— 般	325	39	43	38	22	14	2	33	50	38	26	15	5
高齢者	100.0	12. 0	13. 2	11. 7	6.8	4. 3	0. 6	10. 2	15. 4	11. 7	8. 0	4. 6	1. 5
事業	10	0	0	0	0	1	0	1	0	1	2	3	2
対象者	100.0	0. 0	0.0	0.0	0. 0	10.0	0. 0	10.0	0.0	10.0	20. 0	30. 0	20.0
西土拉	13	0	0	1	1	2	1	0	1	1	2	2	2
要支援者	100.0	0.0	0.0	7.7	7. 7	15. 4	7. 7	0. 0	7. 7	7. 7	15. 4	15. 4	15. 4

表 0.2.10 第四圏域 高齢者の生活と介護者の就労状況調査(在宅介護実態調査)

単位:上段/人、下段/%

調査				男	性					女	性		
対象者	計	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上
西土拉	92	1	4	5	5	9	7	1	4	6	17	17	16
要支援者	100.0	1. 1	4. 3	5. 4	5. 4	9. 8	7. 6	1. 1	4. 3	6. 5	18. 5	18. 5	17. 4
要介護者	248	5	11	12	19	22	9	3	8	14	20	59	66
安川護伯	100.0	2. 0	4. 4	4. 8	7. 7	8. 9	3. 6	1. 2	3. 2	5. 6	8. 1	23. 8	26.6

表 0.2.11 第五圏域 高齢者の健康と生活状況調査(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

単位:上段/人、下段/%

調査				男	性					女	性		
対象者	計	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上
— 般	341	37	49	36	28	13	5	36	40	39	33	14	11
高齢者	100.0	10. 9	14. 4	10. 6	8. 2	3. 8	1. 5	10.6	11. 7	11. 4	9. 7	4. 1	3. 2
事業	11	0	0	1	1	1	0	0	0	1	2	3	2
対象者	100.0	0.0	0.0	9. 1	9. 1	9. 1	0.0	0.0	0.0	9. 1	18. 2	27. 3	18. 2
西土哲	16	0	1	0	1	2	1	0	0	1	3	3	4
要支援者	100.0	0. 0	6. 3	0.0	6. 3	12. 5	6. 3	0. 0	0.0	6. 3	18.8	18. 8	25. 0

表 0.2.12 第五圏域 高齢者の生活と介護者の就労状況調査(在宅介護実態調査)

											十四	上权/八、	1 12/ /0
調査				男	性					女	性		
対象者	計	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上
五十校	63	3	6	1	3	5	1	1	5	3	14	8	13
要支援者	100.0	4. 8	9. 5	1.6	4. 8	7. 9	1.6	1.6	7. 9	4. 8	22. 2	12. 7	20. 6
西人进去	190	5	5	8	14	15	13	5	5	13	21	37	49
要介護者	100.0	2. 6	2. 6	4. 2	7. 4	7. 9	6.8	2. 6	2. 6	6.8	11. 1	19. 5	25.8

表 0.2.13 第六圏域 高齢者の健康と生活状況調査(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

調査				男	性					女	性		
対象者	計	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上
— 般	1, 273	149	190	130	73	48	14	158	208	113	108	56	26
高齢者	100.0	11. 7	14. 9	10. 2	5. 7	3. 8	1. 1	12. 4	16. 3	8. 9	8. 5	4. 4	2. 0
事業	31	0	0	2	1	2	1	0	1	2	8	7	7
対象者	100. 0	0.0	0. 0	6. 5	3. 2	6. 5	3. 2	0.0	3. 2	6. 5	25.8	22. 6	22. 6
西土坪	54	0	4	0	2	8	3	1	2	4	9	15	6
要支援者	100.0	0.0	7. 4	0.0	3. 7	14. 8	5. 6	1. 9	3. 7	7. 4	16.7	27. 8	11. 1

表 0.2.14 第六圏域 高齢者の生活と介護者の就労状況調査(在宅介護実態調査)

単位:上段/人、下段/%

調査				男	性					女	性		
対象者	計	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上
本士校	63	4	0	1	2	5	1	1	1	7	8	19	14
要支援者	100.0	6. 3	0. 0	1. 6	3. 2	7. 9	1.6	1. 6	1. 6	11. 1	12. 7	30. 2	22. 2
西人##	194	2	9	6	10	13	15	0	5	12	16	48	58
要介護者	100.0	1. 0	4. 6	3. 1	5. 2	6. 7	7.7	0. 0	2. 6	6. 2	8. 2	24. 7	29. 9

表 0.2.15 第七圏域 高齢者の健康と生活状況調査(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

単位:上段/人、下段/%

調査				男	性					女	性		
対象者	計	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上
— 般	619	76	83	54	41	15	10	79	100	68	54	25	14
高齢者	100.0	12. 3	13. 4	8. 7	6. 6	2. 4	1. 6	12. 8	16. 2	11. 0	8. 7	4. 0	2. 3
事業	11	0	1	0	1	1	0	0	0	2	2	2	2
対象者	100. 0	0.0	9. 1	0. 0	9. 1	9. 1	0. 0	0. 0	0. 0	18. 2	18. 2	18. 2	18. 2
亚士拉 李	31	1	0	0	1	2	0	1	3	3	4	9	7
要支援者	100. 0	3. 2	0. 0	0.0	3. 2	6. 5	0.0	3. 2	9. 7	9. 7	12. 9	29. 0	22. 6

表 0.2.16 第七圏域 高齢者の生活と介護者の就労状況調査(在宅介護実態調査)

													1127 /0
調査				男	性					女	性		
対象者	計	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上
而十哲 士	71	2	1	1	0	8	4	3	2	6	9	19	16
要支援者	100. 0	2. 8	1. 4	1. 4	0. 0	11. 3	5. 6	4. 2	2. 8	8. 5	12. 7	26.8	22. 5
要介護者	204	4	5	10	8	18	18	4	8	15	22	39	53
安川護伯	100. 0	2. 0	2. 5	4. 9	3. 9	8.8	8.8	2. 0	3. 9	7. 4	10.8	19. 1	26. 0

表 0.2.17 第八圏域 高齢者の健康と生活状況調査(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

調査				男	性					女	性		
対象者	計	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上
一 般	870	87	105	84	65	33	10	120	129	112	80	34	11
高齢者	100.0	10.0	12. 1	9. 7	7. 5	3. 8	1. 1	13. 8	14.8	12. 9	9. 2	3. 9	1. 3
事業	18	1	0	0	0	1	0	0	1	3	3	7	2
対象者	100.0	5. 6	0. 0	0.0	0. 0	5. 6	0. 0	0. 0	5. 6	16. 7	16. 7	38. 9	11. 1
西士授李	36	0	1	0	4	2	2	0	2	4	6	8	7
要支援者	100.0	0.0	2. 8	0.0	11. 1	5. 6	5. 6	0.0	5. 6	11. 1	16.7	22. 2	19. 4

表 0.2.18 第八圏域 高齢者の生活と介護者の就労状況調査 (在宅介護実態調査)

単位:上段/人、下段/%

											1 122 - 1	L+X/ / (1 1247 70
調査				男	性					女	性		
対象者	計	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上
亚士拉 *	97	2	2	2	4	5	4	1	4	10	13	25	25
要支援者	100. 0	2. 1	2. 1	2. 1	4. 1	5. 2	4. 1	1.0	4. 1	10. 3	13. 4	25. 8	25. 8
西人进去	256	4	9	15	14	13	19	5	8	7	31	56	75
要介護者	100.0	1.6	3. 5	5. 9	5. 5	5. 1	7. 4	2. 0	3. 1	2. 7	12. 1	21.9	29. 3

表 0.2.19 第九圏域 高齢者の健康と生活状況調査(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

単位:上段/人、下段/%

調査				男	性					女	性		
対象者	計	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上
— 般	358	33	50	34	33	17	5	41	41	43	34	18	9
高齢者	100. 0	9. 2	14. 0	9. 5	9. 2	4. 7	1. 4	11. 5	11.5	12. 0	9. 5	5.0	2. 5
事業	10	0	0	1	0	2	0	0	1	1	2	2	1
対象者	100. 0	0.0	0. 0	10.0	0. 0	20. 0	0. 0	0. 0	10.0	10.0	20. 0	20. 0	10. 0
	16	0	0	0	0	2	1	0	1	2	2	5	3
要支援者	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12. 5	6. 3	0.0	6. 3	12. 5	12.5	31. 3	18. 8

表 0.2.20 第九圏域 高齢者の生活と介護者の就労状況調査(在宅介護実態調査)

													1 12/ /0
調査				男	性					女	性		
対象者	計	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上
	71	0	2	1	1	8	6	0	2	8	8	20	15
要支援者	100. 0	0.0	2. 8	1.4	1.4	11. 3	8. 5	0. 0	2. 8	11. 3	11. 3	28. 2	21. 1
西人进去	188	2	7	13	16	14	11	0	5	10	13	30	67
要介護者	100. 0	1. 1	3. 7	6. 9	8. 5	7. 4	5. 9	0.0	2. 7	5. 3	6.9	16.0	35. 6

表 0.2.21 第十圏域 高齢者の健康と生活状況調査(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

調査				男	性					女	性		
対象者	計	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上
— 般	811	69	102	87	63	36	10	83	123	101	76	43	18
高齢者	100.0	8. 5	12. 6	10. 7	7. 8	4. 4	1. 2	10. 2	15. 2	12. 5	9.4	5. 3	2. 2
事業	17	0	0	1	1	2	0	0	0	1	3	6	3
対象者	100. 0	0.0	0. 0	5. 9	5. 9	11. 8	0. 0	0.0	0.0	5. 9	17. 6	35. 3	17. 6
西士授老	31	0	1	1	2	3	3	1	1	4	4	5	6
要支援者	100.0	0.0	3. 2	3. 2	6. 5	9. 7	9. 7	3. 2	3. 2	12. 9	12. 9	16.1	19. 4

表 0.2.22 第十圏域 高齢者の生活と介護者の就労状況調査(在宅介護実態調査)

単位:上段/人、下段/%

調査				男	性					女	性		
対象者	計	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上
本士校	66	2	2	2	4	6	4	0	3	6	12	16	9
要支援者	100.0	3. 0	3. 0	3. 0	6. 1	9. 1	6. 1	0. 0	4. 5	9. 1	18. 2	24. 2	13. 6
西人# #	184	2	7	9	11	12	21	1	6	6	19	39	51
要介護者	100.0	1. 1	3. 8	4. 9	6. 0	6. 5	11.4	0. 5	3. 3	3. 3	10. 3	21. 2	27. 7

表 0.2.23 第十一圏域 高齢者の健康と生活状況調査(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

単位:上段/人、下段/%

調査				男	性					女	性		
対象者	計	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上
— 般	344	50	46	38	18	9	3	46	47	40	31	12	4
高齢者	100.0	14. 5	13. 4	11.0	5. 2	2. 6	0. 9	13. 4	13. 7	11. 6	9. 0	3. 5	1. 2
事業	9	0	0	0	0	1	1	0	0	1	2	3	1
対象者	100. 0	0.0	0. 0	0.0	0. 0	11. 1	11. 1	0. 0	0.0	11. 1	22. 2	33. 3	11. 1
西土坪	10	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1	3	3
要支援者	100.0	0.0	0. 0	0.0	10.0	0. 0	10.0	0.0	0.0	10.0	10.0	30.0	30. 0

表 0.2.24 第十一圏域 高齢者の生活と介護者の就労状況調査(在宅介護実態調査)

											+15	上权/八、	1 +2/ /0
調査				男	性					女	性		
対象者	計	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上
五十校	75	3	3	2	4	2	4	0	2	13	9	17	16
要支援者	100.0	4. 0	4. 0	2. 7	5. 3	2. 7	5. 3	0. 0	2. 7	17. 3	12.0	22.7	21. 3
西人进去	226	5	7	13	16	19	14	5	8	9	27	47	56
要介護者	100.0	2. 2	3. 1	5. 8	7. 1	8. 4	6. 2	2. 2	3. 5	4. 0	11.9	20.8	24. 8

表 0.2.25 第十二圏域 高齢者の健康と生活状況調査(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

調査				男	性					女	性		
対象者	計	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上
— 般	915	101	125	95	68	38	13	92	144	103	77	43	16
高齢者	100.0	11. 0	13. 7	10.4	7. 4	4. 2	1.4	10. 1	15. 7	11. 3	8. 4	4. 7	1. 7
事業	18	0	0	1	0	1	1	0	0	2	4	7	2
対象者	100.0	0. 0	0. 0	5. 6	0. 0	5. 6	5. 6	0.0	0.0	11. 1	22. 2	38. 9	11. 1
要支援者	34	0	0	3	1	3	3	1	0	2	6	8	7
	100.0	0. 0	0.0	8.8	2. 9	8.8	8.8	2. 9	0.0	5. 9	17. 6	23. 5	20. 6

表 0.2.26 第十二圏域 高齢者の生活と介護者の就労状況調査 (在宅介護実態調査)

単位:上段/人、下段/%

調査		男性						女 性					
対象者		65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上
而士[4 本	85	2	1	3	3	5	11	3	4	4	11	17	21
要支援者	100.0	2. 4	1. 2	3. 5	3. 5	5. 9	12. 9	3. 5	4. 7	4. 7	12. 9	20. 0	24. 7
要介護者	230	3	11	11	9	13	16	4	5	13	25	38	82
	100.0	1. 3	4. 8	4. 8	3. 9	5. 7	7. 0	1. 7	2. 2	5. 7	10. 9	16. 5	35. 7

表 0.2.27 第十三圏域 高齢者の健康と生活状況調査(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

単位:上段/人、下段/%

調査	計			男	性					女	性		
調 査 対象者		65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上
— 般	315	35	40	39	22	9	3	37	42	46	25	13	4
高齢者	100.0	11. 1	12. 7	12. 4	7. 0	2. 9	1. 0	11. 7	13. 3	14. 6	7. 9	4. 1	1. 3
事業	5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	1
対象者	100.0	0. 0	0. 0	0.0	0. 0	20. 0	0. 0	0. 0	0.0	0.0	20. 0	40. 0	20. 0
要支援者	13	0	0	1	1	2	1	0	0	3	2	2	1
	100.0	0. 0	0.0	7.7	7.7	15. 4	7.7	0.0	0.0	23. 1	15. 4	15. 4	7.7

表 0.2.28 第十三圏域 高齢者の生活と介護者の就労状況調査 (在宅介護実態調査)

調査				男	性					女	性		
対象者	計	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上
	67	0	3	2	4	4	4	4	2	12	8	14	10
要支援者	100.0	0. 0	4. 5	3. 0	6.0	6. 0	6. 0	6. 0	3. 0	17. 9	11. 9	20. 9	14. 9
要介護者	187	6	10	9	19	12	14	2	8	10	26	36	35
	100.0	3. 2	5. 3	4. 8	10. 2	6. 4	7. 5	1. 1	4. 3	5. 3	13. 9	19. 3	18. 7

表 0.2.29 第十四圏域 高齢者の健康と生活状況調査(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

単位:上段/人、下段/%

調査	計			男	性					女	性		
対象者		65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上
— 般	352	42	47	38	25	11	3	48	51	43	28	12	4
高齢者	100.0	11. 9	13. 4	10. 8	7. 1	3. 1	0. 9	13. 6	14. 5	12. 2	8. 0	3. 4	1. 1
事業	9	0	0	0	1	1	1	0	0	0	2	2	2
対象者	100.0	0.0	0.0	0.0	11. 1	11.1	11. 1	0. 0	0. 0	0.0	22. 2	22. 2	22. 2
要支援者	9	0	0	0	1	2	1	0	0	1	1	2	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	11.1	22. 2	11. 1	0.0	0. 0	11.1	11. 1	22. 2	11.1

表 0.2.30 第十四圏域 高齢者の生活と介護者の就労状況調査(在宅介護実態調査)

調査		男性						女 性					
対象者		65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上	65~ 69歳	70~ 74歳	75~ 79歳	80~ 84歳	85~ 89歳	90歳 以上
要支援者	64	0	4	1	6	7	5	1	1	15	7	10	7
安又抜白	100.0	0.0	6. 3	1. 6	9. 4	10.9	7. 8	1.6	1. 6	23. 4	10. 9	15. 6	10. 9
要介護者	182	2	12	7	21	16	15	4	8	7	21	29	40
	100.0	1. 1	6.6	3. 8	11. 5	8.8	8. 2	2. 2	4. 4	3. 8	11. 5	15. 9	22. 0

第1章

高齢者像等の判定結果

第1章 高齢者像等の判定結果

第1章は一般高齢者の調査結果における市全域の高齢者像を含む各種判定結果について、前回 調査と比較しながら分析しました。

表1.1 高齢者像

		高齢者像
-	一般高齢者	要支援者・要介護者・事業対象者を除く 65 歳以上の高齢者の方を称しています。
	健康高齢者	一般高齢者のうち、介護予防事業対象者、サービス事業対象者に該当して いない方を称しています。
	介護予防事業対象者	一般高齢者のうち、サービス事業対象者と判定される方を除く、6つのリスク(「運動器の機能低下」「低栄養の傾向」「口腔機能の低下」「閉じこもり傾向」「認知機能の低下」「うつ傾向」)の何れかに該当した方を称しています。
	サービス事業対象者	一般高齢者のうち、6つのリスクの何れかに該当し、家族構成が一人暮らしか共に 65 歳以上の夫婦二人暮らしの方、もしくは日中独居状態がよくある方で何らかの介護・介助を受けているまたは必要としているが受けていない方を称しています。
luli.	事業対象者	要支援者を除き、介護予防・日常生活支援総合事業の対象となっている方を称しています。
12	要支援者	要支援1・2の認定を受けている方を称しています。
	要介護者	要介護1~5の認定を受けている方を称しています。

[※]一般高齢者については、さらに3つの高齢者像(「健康高齢者」「介護予防事業対象者」「サービス事業対象者」) に細分化しています.

[※]高齢者像や各リスクの詳細な判定条件は資料編(289ページ)に掲載しています。

1 "高齢者像"からみた地域分析

本市における令和5年1月5日現在の高齢者73,059人のうち、要支援・要介護を合わせた認定者数は11,794人(認定率16.1%)で、認定者と事業対象者を除いた一般高齢者は59,956人と高齢者の82.1%となっています。また、一般高齢者の調査結果から高齢者像別に出現率をみると、健康高齢者は14.2%、介護予防事業対象者は77.7%、サービス事業対象者は5.9%となっています。

この調査結果による高齢者像別出現率を本市の一般高齢者59,956人(82.1%)に置き換えてみると、健康高齢者は11.9%、介護予防事業対象者は65.2%、サービス事業対象者は5.0%となっています。

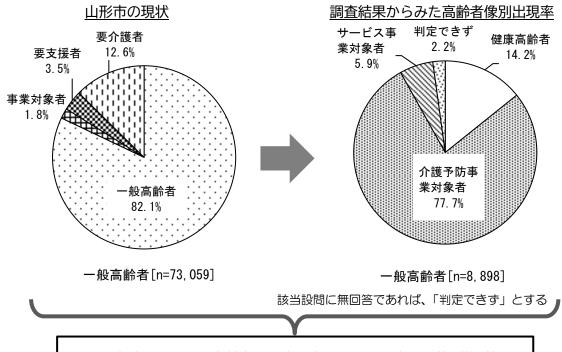
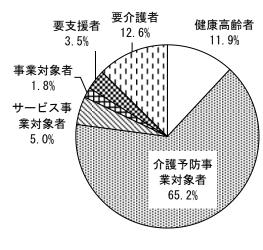


図 1.1 高齢者像別出現率

調査結果からみた高齢者像別出現率による山形市の現状(推計)



<u>調査結果からみた山形市の現状(高齢者像別出現率)</u>

一般高齢者[n=73,059]

20

- ○一般高齢者における3つの高齢者像別出現率をみると、市全域で健康高齢者は14.2%、介護予防事業対象者は77.7%、サービス事業対象者は5.9%となっています。
- ○前回調査結果と比較すると、健康高齢者は12.6ポイントの減少、介護予防事業対象者は 9.6ポイントの増加、サービス事業対象者は0.8ポイントの増加となっています。

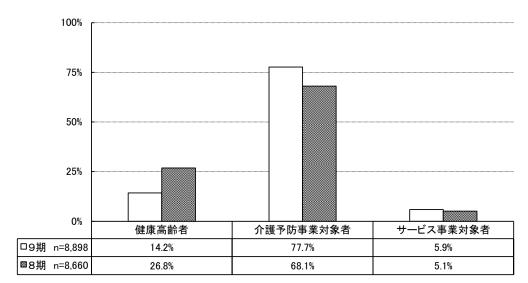


図 1.2 一般高齢者における3つの高齢者像出現率の経年比較

※サービス事業対象者の判定は、介護・介助を受けている人に加えて、今回から、必要としているが受けていない人も対象としています。

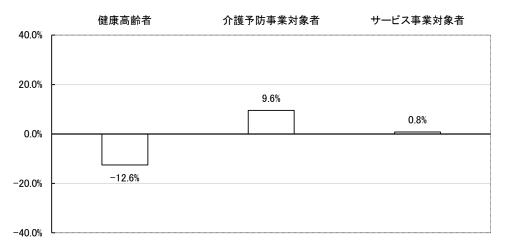


図1.3 一般高齢者における3つの高齢者像出現率の増減

※8期を0.0とし、増減を表示しています。

リスク別該当者の分析

(1) 各リスク別該当者出現率

- ○一般高齢者におけるリスク別該当者出現率をみると、市全域で運動器の機能低下は12.5%、 低栄養の傾向は1.0%、口腔機能の低下は22.2%、閉じこもり傾向は33.6%、認知機能の 低下は52.3%、うつ傾向は45.1%となっています。
- ○前回調査結果と比較すると、運動器の機能低下は1.0ポイント、低栄養の傾向は0.1ポイン ト、口腔機能の低下は2.5ポイント、閉じこもり傾向は24.8ポイント、認知機能の低下は 1.3ポイント、うつ傾向は1.1ポイント増加しています。

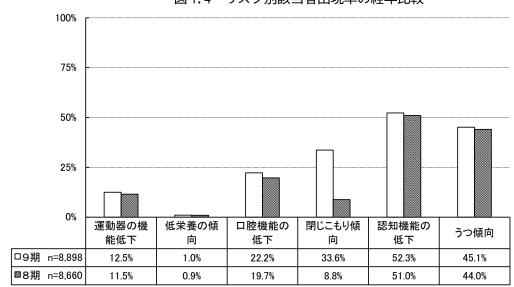
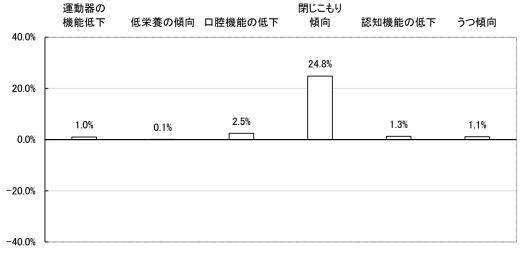


図 1.4 リスク別該当者出現率の経年比較

図 1.5 リスク別該当者出現率の増減



※8期を0.0とし、増減を表示しています。

(2) リスク別該当者の性別年齢階級別出現率

○運動器の機能低下リスク該当者の出現率を性別年齢階級別にみると、男女とも加齢とと もに高くなり、特に80歳から大きく上昇しています。また、全年齢階級で女性の割合が男 性を上回っています。

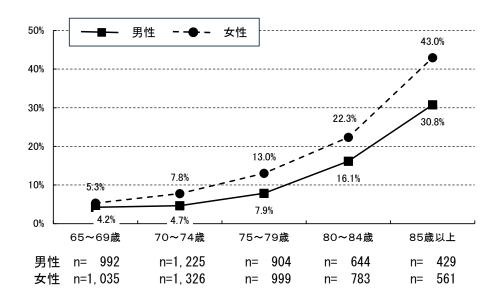


図 1.6 運動器の機能低下リスク該当者の性別年齢階級別出現率

○低栄養の傾向リスク該当者の出現率を性別年齢階級別にみると、男女とも85歳以上で最 も高くなっています。また、75~79歳を除き女性の割合が男性を上回っています。

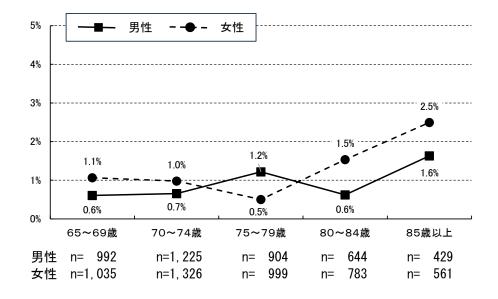


図 1.7 低栄養の傾向リスク該当者の性別年齢階級別出現率

○口腔機能の低下リスク該当者の出現率を性別年齢階級別にみると、男女とも加齢ととも に高くなっています。また、いずれの年齢階級でも男女での差は僅差となっています。

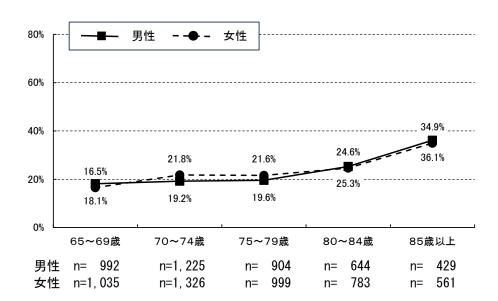


図 1.8 口腔機能の低下リスク該当者の性別年齢階級別出現率

○閉じこもり傾向リスク該当者の出現率を性別年齢階級別にみると、男女とも加齢ととも に高くなり、特に女性は85歳以上で7割を超えています。また、全年齢階級で女性の割合 が男性を上回っています。

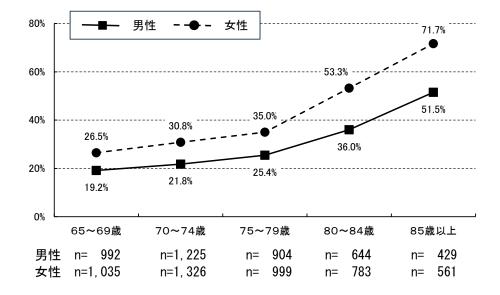


図 1.9 閉じこもり傾向リスク該当者の性別年齢階級別出現率

○認知機能の低下リスク該当者の出現率を性別年齢階級別にみると、男女とも 5 割程度で 推移しています。また、いずれの年齢階級でも男女での差は僅差となっています。

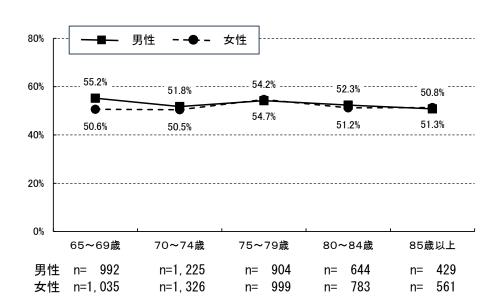


図 1.10 認知機能の低下リスク該当者の性別年齢階級別出現率

○うつ傾向リスク該当者の出現率を性別年齢階級別にみると、女性は全年齢階級で4割を超えており、男性も75~79歳以外で4割を超えています。また、全年齢階級で女性の割合が男性を上回っています。

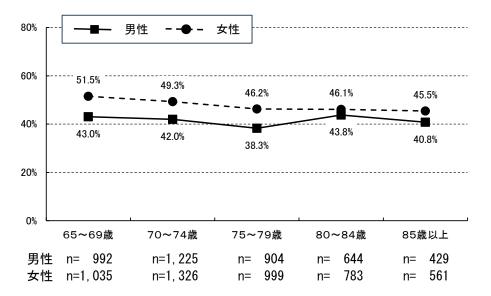


図 1.11 うつ傾向リスク該当者の性別年齢階級別出現率

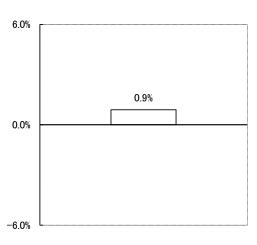
(3) IADL低下該当者出現率

○IADL低下該当者出現率をみると、5.2%となっており、前回調査結果と比較すると、0.9ポイント増加しています。

図 1.12 IADL 低下該当者出現率の経年比較

10% 5% 0% 9期 n=8,898 n=8,660 □IADL 5.2% 4.3%

図 1.13 IADL 低下該当者出現率の増減



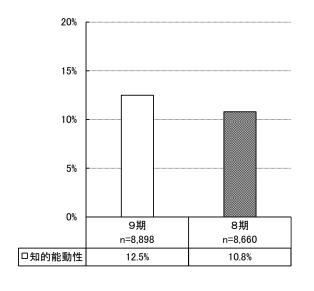
※8期をO. Oとし、増減を表示しています。

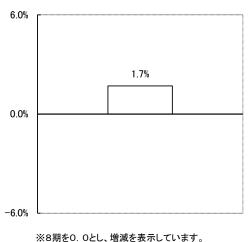
(4) 知的能動性低下該当者出現率

○知的能動性低下該当者出現率をみると、12.5%となっており、前回調査結果と比較すると、1.7ポイント増加しています。

図 1.14 知的能動性低下該当者出現率の経年比較

図 1.15 知的能動性低下該当者 出現率の増減





※8期を0.0とし、電減を表示しています。

第2章

集計結果に基づくビジョンに 関連した分析結果

第2章 集計結果に基づくビジョンに関連した分析結果

第2章は、本市が設定するビジョンの達成に関連した指標を導き出すため、調査の集計結果を もとに、 χ^2 (カイ二乗) 検定 *1 を用いて分析を行いました。

ビジョンは、「一般高齢者等」と「要介護者等」の2つに分けて大目標を設定し、さらに、高齢者の状態や立場による視点ごとに中目標を設定しています。また、大目標・中目標には、その達成状況を示す指標を設定しています。

分析結果は、大目標・中目標に設定した指標を効果的・効率的に達成するための取組(小目標) の設定に用います。

図2.1 一般高齢者等のビジョン

【ビジョン(大目標)】 山形市が目指す未来像は?

高齢者が自らの能力を活かしながら、住み慣れた地域で支え合い、いきいきとした暮らしができている

【中目標】 具体的な目標は?

視点 1 社会参加

高齢者が社会の中で役割を持って活動的に暮らしている

(状態)

- ・様々な地域活動の場がある。
- ・多くの高齢者が地域活動に参加している。

<指標>

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査項目問5(1)】 ①社会参加活動への参加割合を高める

視点Ⅱ 介護予防・生活支援

高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らしている

(状態)

- ・多くの高齢者が介護予防に取り組んでいる。
- ・日常生活に必要な機能が維持できている。

<指標>

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 各判定項目】 (**①高齢者の機能低下等のリスクの出現率を下げる**

総合的な評価指標

ニーズ調査 問7(1) ①主観的健康感が向上した高齢者の割合の増加 (「とてもよい」「まあよい」の回答の割合の増加)

ニーズ調査 問7(2) ②主観的幸福感が向上した高齢者の割合の増加 (平均点を超える回答の割合の増加)

^{※1} χ^2 (カイ二乗)検定とは、帰無仮説が正しい場合の検定統計量が漸近的にカイ二乗分布に従うような統計的検定法の総称。2つの独立した変数に有意差がみられない「帰無仮説」とそれに対立する「対立仮説」を設定し、帰無仮説の元で検定統計量がその値となる確率 p 値を求め、p 値が有意水準とされる 0.05 以下の場合、帰無仮説を偽として棄却し、対立仮説が採択される。

図2.2 要介護者等のビジョン

【ビジョン(大目標)】 山形市が目指す未来像は?

要介護者が、住み慣れた地域 で安心して自らの意思で望む 暮らしができている

【中目標】 具体的な目標は?

視点 『本人』の在宅生活の継続性の確保

住み慣れた地域で安心して自らの意思で望む暮らしができている

(状態)

- ・生活支援サービス・介護サービスが充実している。
- ・自宅で本人の望む暮らしが続けられる感じている。

<指標>

【在宅介護実態調査問 10】

①適切な在宅介護生活の継続を実現している人の割合

視点Ⅱ 家族等『介護者』の就労継続

支え合いながら安心して介護ができ、仕事も続けられる

(状態)

- 介護者の負担や不安が軽減している。
- ・介護を理由に仕事を辞める人がいない。

<指標>

【在宅介護実態調査問7】

①介護のために仕事を辞めた人の割合を下げる

視点Ⅲ 『サービス提供体制』の確保

必要なサービスが確保できている

(状態)

·介護サービス事業所も支え合い活動も必要な人材が 確保できる

<指標>

【介護保険サービス事業者調査問2(5)】

- ①人材不足を感じている事業所の割合を下げる
- 【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査問5(4)】
- ①地域で支援できる人を増やす

総合的な評価指標

在宅介護実 態調査問	①人生の最期を自宅で迎えることを希望する要介護者の割合
見える化 システム指標	②在宅サービス受給率(全国平均まで増加)

※本章における図表見出しの設問番号については、「高齢者の健康と生活状況調査(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)」の設問番号は『問1』、「高齢者の生活と介護者の就労状況調査(在宅介護実態調査)」の設問番号は『[問1]』のように表記しています。

1 一般高齢者等のビジョンに関連した分析

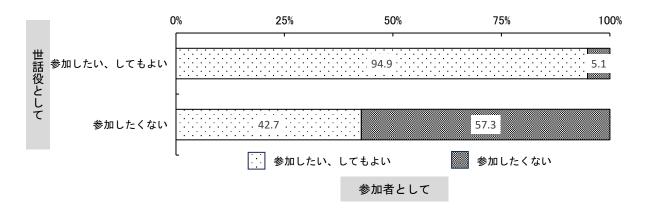
(1) 社会参加

○世話役としての社会参加意向と参加者としての社会参加意向の分割表をみると有意差が みられ (p 値=0.000)、世話役として「参加したい、参加してもよい」グループは、「参加 したくない」グループより、参加者として「参加したい、参加してもよい」割合が高くな っています。

表2.1 問5-(3) 世話役としての社会参加意向×問5-(2) 参加者としての社会参加意向の分割表

			参加者として	
		参加したい、してもよい	参加したくない	合 計
	参加したい、してもよい	2, 600	141	2, 741
世 話 役	期待値	1, 682. 2	1, 058. 8	
役 と	参加したくない	2, 101	2, 818	4, 919
して	期待値	3, 018. 8	1, 900. 2	
,	合 計	4, 701	2, 959	7, 660

図2.3 問5-(3) 世話役としての社会参加意向×問5-(2) 参加者としての社会参加意向

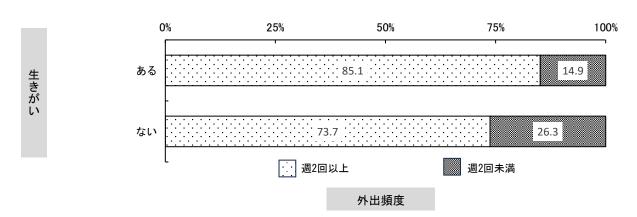


○生きがいの有無と外出頻度の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、生きがいが「ある」グループは、「思いつかない」グループより、外出頻度が「週2回以上」の割合が高くなっています。

表2.2 問4(18) 生きがいの有無×問2(6) 外出頻度の分割表

		外出頻度		
		週2回以上	週2回未満	合 計
	ある	4, 821	841	5, 662
生	期待值	4, 588. 2	1, 073. 8	
き が	ない	2, 349	837	3, 186
い	期待値	2, 581. 8		
	合 計	7, 170	1, 678	8, 848

図2.4 問4(18) 生きがいの有無×問2(6) 外出頻度

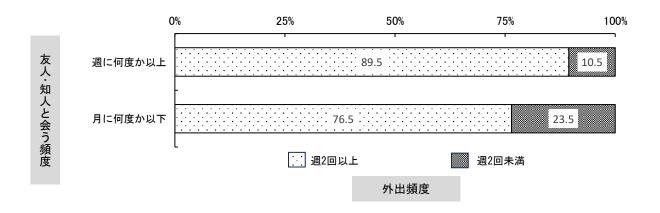


○友人・知人と会う頻度と外出頻度の分割表をみると有意差がみられ(p 値=0.000)、友人・ 知人と会う頻度が「週に何度か以上」のグループは、「月に何度か以下」のグループより、 外出頻度が「週2回以上」の割合が高くなっています。

表2.3 問6(6) 友人・知人と会う頻度×問2(6) 外出頻度の分割表

			外出頻度	
		週2回以上	週2回未満	合 計
友	週に何度か以上	2, 795	329	3, 124
会人	期待値	2, 528. 3	595. 7	
う・ 頻 知	月に何度か以下	4, 573	1, 407	5, 980
	期待値	4, 839. 7	1, 140. 3	
٤	合 計	7, 368	1, 736	9, 104

図2.5 問6(6) 友人・知人と会う頻度×問2(6) 外出頻度

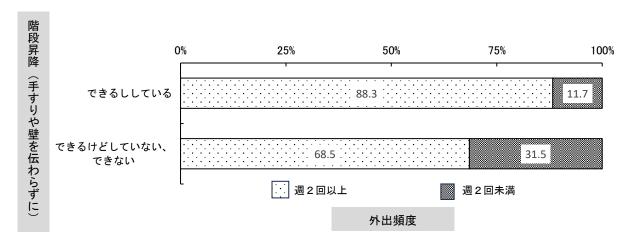


○階段昇降と外出頻度の分割表をみると有意差がみられ(p 値=0.000)、階段昇降を「できるししている」グループは、「できるけどしていない、できない」グループより、外出頻度が「週2回以上」の割合が高くなっています。

表2.4 問2(1) 階段昇降×問2(6) 外出頻度の分割表

			外出頻度	
		週2回以上	週2回未満	合 計
わへ階ら手段	できるししている	5, 055	671	5, 726
ずす昇	期待値	4, 626. 1	1, 099. 9	
,に) 壁を伝	できるけどしていない、 できない	2, 394	1, 100	3, 494
壁を	期待値	2, 822. 9	671. 1	
伝	合 計	7, 449	1, 771	9, 220

図2.6 問2(1) 階段昇降×問2(6) 外出頻度

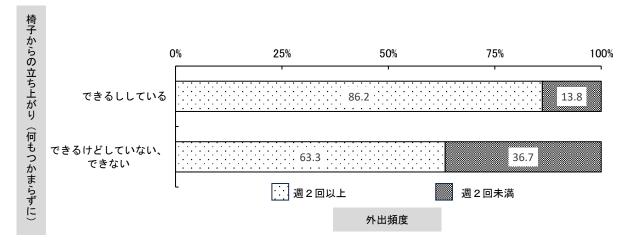


○椅子からの立ち上がりと外出頻度の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、椅子からの立ち上がりが「できるししている」グループは、「できるけどしていない、できない」グループより、外出頻度が「週2回以上」の割合が高くなっています。

表2.5 問2(2) 椅子からの立ち上がり×問2(6) 外出頻度の分割表

		外出頻度		
		週 2 回以上	週2回未満	合 計
が椅	できるししている	6, 104	979	7, 083
り子らへか	期待值	5, 726. 7	1, 356. 3	
	できるけどしていない、 できない	1, 365	790	2, 155
つ立 かち	期待値	1, 742. 3	412. 7	
ま上	合 計	7, 469	1, 769	9, 238

図2.7 問2(2) 椅子からの立ち上がり×問2(6) 外出頻度

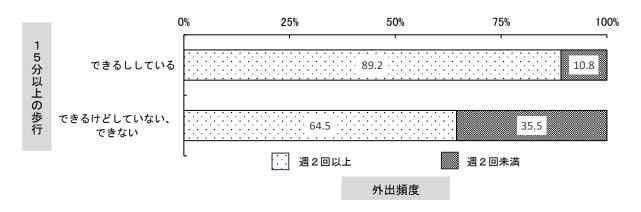


○15 分以上の歩行と外出頻度の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、15 分以上の歩行を「できるししている」グループは、「できるけどしていない、できない」グループより、外出頻度が「週 2 回以上」の割合が高くなっています。

表2.6 問2(3) 15分以上の歩行×問2(6) 外出頻度の分割表

			外出頻度	
		週 2 回以上	週2回未満	合 計
1	できるししている	5, 458	664	6, 122
5 分	期待値	4, 946. 3	1, 175. 7	
以上の	できるけどしていない、 できない	2, 022	1, 114	3, 136
あ	期待値	2, 533. 7	602. 3	
步 行	合 計	7, 480	1, 778	9, 258

図2.8 問2(3) 15分以上の歩行×問2(6) 外出頻度

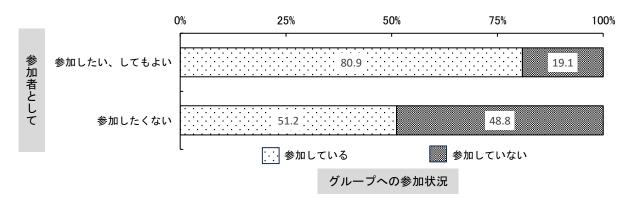


○参加者としての社会参加意向とグループへの参加状況の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、参加者として「参加したい、参加してもよい」グループは、「参加したくない」グループより、グループへの参加状況で「参加している」割合が高くなっています。

表2.7 問5-(2) 参加者としての社会参加意向×問5(1) グループへの参加状況の分割表

	1			
		グ	ループへの参加状況	
		参加している	参加していない	合 計
参	参加したい、してもよい	4, 012	947	4, 959
加	期待値	3, 470. 5	1, 488. 5	
参加者と	参加したくない	1, 474	1, 406	2, 880
l	期待値	2, 015. 5	864. 5	
て	合 計	5, 486	2, 353	7, 839

図2.9 問5-(2)参加者としての社会参加意向×問5(1)グループへの参加状況

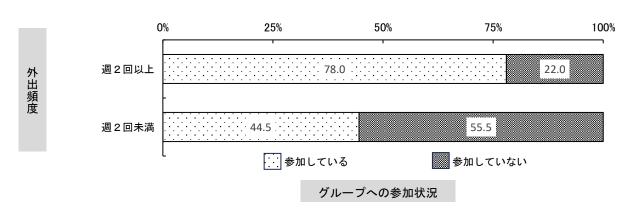


○外出頻度とグループへの参加状況の分割表をみると有意差がみられ(p 値=0.000)、外出 頻度が「週2回以上」のグループは、「週2回未満」のグループより、グループへの参加 状況で「参加している」割合が高くなっています。

表2.8 問2(6) 外出頻度×問5(1) グループへの参加状況の分割表

		グループへの参加状況		
		参加している	参加していない	合 計
	週2回以上	5, 478	1, 543	7, 021
外	期待値	5, 049. 8	1, 971. 2	
出 頻 度	週2回未満	696	867	1, 563
度	期待値	1, 124. 2		
	合 計	6, 174	2, 410	8, 584

図2.10 問2(6) 外出頻度×問5(1) グループへの参加状況

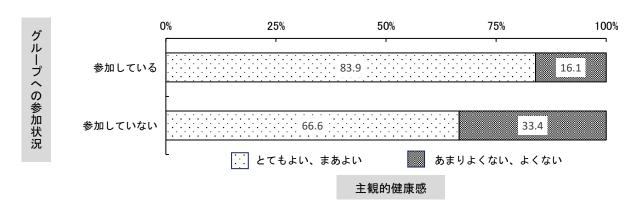


○グループへの参加状況と主観的健康感の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、 グループへの参加状況で「参加している」グループは、「参加していない」グループより、 主観的健康感で「とてもよい、まあよい」の割合が高くなっています。

表2.9 問5(1) グループへの参加状況×問7(1) 主観的健康感の分割表

			主観的健康感	
		とてもよい、まあよい	あまりよくない、よくない	合 計
グ	参加している	5, 145	984	6, 129
参ル 加	期待値	4, 846. 7	1, 282. 3	
別しまプ	参加していない	1, 594	799	2, 393
状 プ 況 へ	期待値	1, 892. 3	500. 7	
の	合 計	6, 739	1, 783	8, 522

図2.11 問5(1) グループへの参加状況×問7(1) 主観的健康感

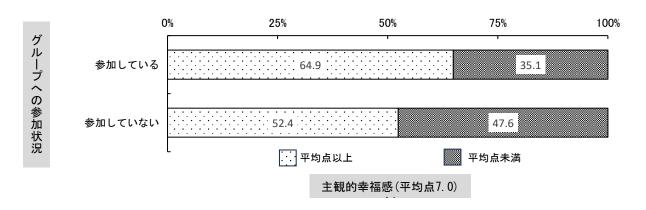


○グループへの参加状況と主観的幸福感の分割表をみると有意差がみられ(p 値=0.000)、 グループへの参加状況で「参加している」グループは、「参加していない」グループより、 主観的幸福感で「平均点 (7.0点) 以上」の割合が高くなっています。

表2.10 問5(1) グループへの参加状況×問7(2) 主観的幸福感の分割表

		主観的	主観的幸福感(平均点7.0点)		
		平均点以上	平均点未満	合 計	
グ	参加している	3, 954	2, 137	6, 091	
参ル	期待值	3, 742. 3	2, 348. 7		
加	参加していない	1, 229	1, 116	2, 345	
況へ	期待値	1, 440. 7	904. 3		
の	合 計	5, 183	3, 253	8, 436	

図2.12 問5(1) グループへの参加状況×問7(2) 主観的幸福感



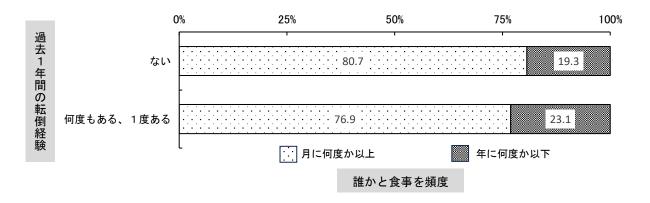
(2)介護予防、生活支援

○転倒経験の有無と誰かと食事をする頻度の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、 過去1年間の転倒経験が「ない」グループは、「何度もある、1度ある」グループより、 誰かと食事をする頻度で「月に何度か以上」の割合が高くなっています。

表2.11 問2(4) 転倒経験の有無×問3(8) 誰かと食事をする頻度の分割表

		だれかと食事を頻度		
		月に何度か以上	年に何度か以下	合 計
過	ない	5, 000	1, 198	6, 198
転去	期待値	4, 924. 4	1, 273. 6	
倒 1 経 年	何度もある、1度ある	2, 296	689	2, 985
	期待値	2, 371. 6	613. 4	
の	合 計	7, 296	1, 887	9, 183

図2.13 問2(4) 転倒経験の有無×問3(8) 誰かと食事をする頻度

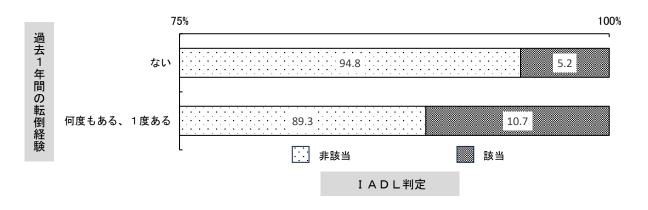


○転倒経験の有無とIADL判定の分割表をみると有意差がみられ(p 値=0.000)、過去1年間の転倒経験が「ない」グループは、「何度もある、1度ある」グループより、IADL判定で「非該当」の割合が高くなっています。

表2.12 問2(4) 転倒経験の有無×IADL判定の分割表

			IADL判定	
		非該当	該当	合 計
過	ない	5, 887	320	6, 207
転去 倒1 経年 助の	期待値	5, 775. 5	431. 5	
	何度もある、1度ある	2, 680	320	3, 000
	期待値	2, 791. 5	208. 5	
	合 計	8, 567	640	9, 207

図2.14 問2(4) 転倒経験の有無×IADL判定



○階段昇降とIADL判定の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、階段昇降を「できるししている」グループは、「できるけどしていない、できない」グループより、IADL判定で「非該当」の割合が高くなっています。

表2.13 問2(1) 階段昇降×IADL判定の分割表

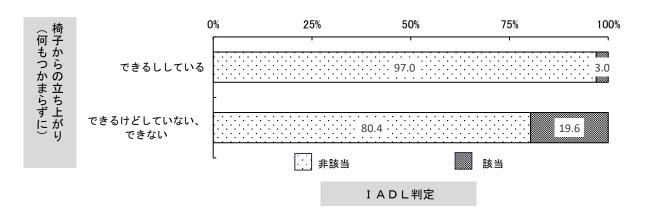
			IADL判定	
		非該当	該当	合 計
伝へ階	できるししている	5, 533	120	5, 653
伝わらずに) (手すりや壁を 階段昇降	期待值	5, 258. 6	394. 4	
	できるけどしていない、 できない	2, 946	516	3, 462
	期待値	3, 220. 4	241. 6	
を	合 計	8, 479	636	9, 115

○椅子からの立ち上がりと I A D L 判定の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、 椅子からの立ち上がりを「できるししている」グループは、「できるけどしていない、で きない」グループより、 I A D L 判定で「非該当」の割合が高くなっています。

表2.14 問2(2) 椅子からの立ち上がり×IADL判定の分割表

			IADL判定	
		非該当	該当	合 計
らが 椅 ずり子	できるししている	6, 795	212	7, 007
にへか	期待值	6, 524. 4	482. 6	
⁾ 何ら もの	できるけどしていない、 できない	1, 708	417	2, 125
つ立 かち	期待值	1, 978. 6	146. 4	
ま上	合 計	8, 503	629	9, 132

図2.16 問2(2) 椅子からの立ち上がり×IADL判定

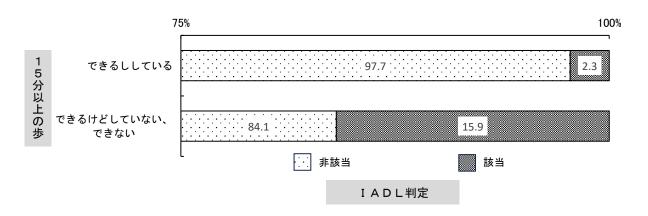


○15 分以上の歩行とIADL判定の分割表をみると有意差がみられ(p 値=0.000)、15 分以上の歩行を「できるししている」グループは、「できるけどしていない、できない」グループより、IADL判定で「非該当」の割合が高くなっています。

表2.15 問2(3) 15分以上の歩行×IADL判定の分割表

			IADL判定	
		非該当	該当	合 計
1	できるししている	5, 912	138	6, 050
5 分	期待値	5, 632. 3	417. 7	
以 上	できるけどしていない、 できない	2, 609	494	3, 103
の歩	期待値	2, 888. 7	214. 3	
步 行	合 計	8, 521	632	9, 153

図2.17 問2(3) 15分以上の歩行×IADL判定



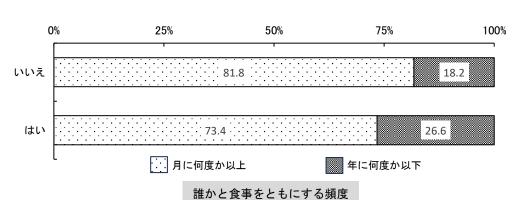
○外出を控えているかと誰かと食事をする頻度の分割表をみると有意差がみられ(p 値 =0.000)、外出を控えているかで「いいえ」のグループは、「はい」のグループより、誰かと食事をする頻度で「月に何度か以上」の割合が高くなっています。

表2.16 問2(8) 外出を控えているか×問3(8) 誰かと食事をする頻度の分割表

		誰かと	食事をともにする頻度	
		月に何度か以上	年に何度か以下	合 計
外	いいえ	5, 392	1, 202	6, 594
出を控え	期待値	5, 236. 5	1, 357. 5	
る控	はい	1, 906	690	2, 596
かえ	期待値	2, 061. 5	534. 5	
て	合 計	7, 298	1, 892	9, 190

図2.18 問2(8) 外出を控えているか×問3(8) 誰かと食事をする頻度



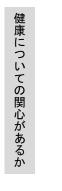


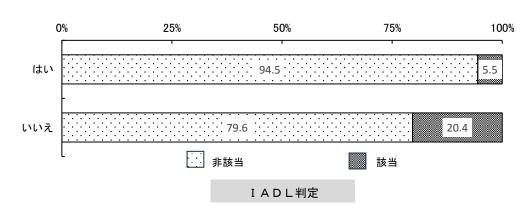
○健康への関心があるかとIADL判定の分割表をみると有意差がみられ(p 値=0.000)、 健康についての関心があるかで「はい」のグループは、「いいえ」のグループより、IA DL判定で「非該当」の割合が高くなっています。

表2.17 問4(12) 健康への関心があるか×IADL判定の分割表

			IADL判定	
		非該当	該当	合 計
かの健関康	はい	7, 909	464	8, 373
心に が あっ	期待値	7, 795. 9	577. 1	
	いいえ	669	171	840
	期待值	782. 1	57. 9	
るて	合 計	8, 578	635	9, 213

図2.19 問4(12) 健康への関心があるか×IADL判定



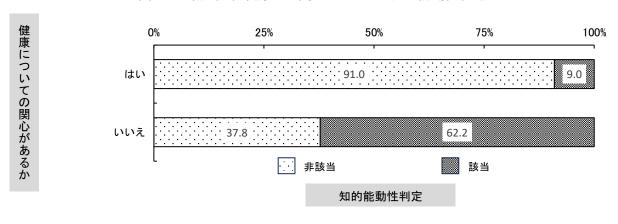


○健康への関心があるかと知的能動性判定の分割表をみると有意差がみられ(p 値=0.000)、 健康についての関心があるかで「はい」のグループは、「いいえ」のグループより、知的 能動性判定で「非該当」の割合が高くなっています。

表2.18 問4(12) 健康への関心があるか×知的能動性判定の分割表

		知的能動性判定		
		非該当	該当	合 計
関健 心康	はい	7, 586	753	8, 339
がに	期待値	7, 179. 1	1, 159. 9	
があるいか	いいえ	318	524	842
	期待値	724. 9	117. 1	
0	合 計	7, 904	1, 277	9, 181

図2.20 問4(12) 健康への関心があるか×知的能動性判定

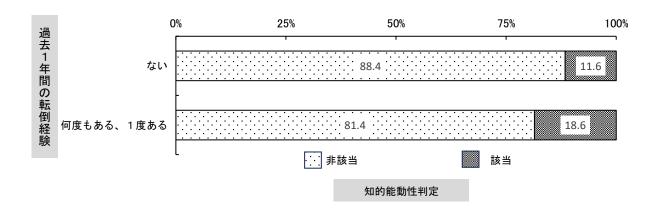


○転倒経験の有無と知的能動性判定の分割表をみると有意差がみられ(p 値=0.000)、過去 1年間の転倒経験が「ない」グループは、「何度もある、1度ある」グループより、知的 能動性判定で「非該当」の割合が高くなっています。

表2.19 問2(4) 転倒経験の有無×知的能動性判定の分割表

		知的能動性判定		
		非該当	該当	合 計
過	ない	5, 443	713	6, 156
転去	期待値	5, 303. 6	852. 4	
倒1経年験間の	何度もある、1度ある	2, 397	547	2, 944
	期待値	2, 536. 4	407. 6	
	合 計	7, 840	1, 260	9, 100

図2.21 問2(4) 転倒経験の有無×知的能動性判定



○階段昇降と知的能動性判定の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、階段昇降を「できるししている」グループは、「できるけどしていない、できない」グループより、知的能動性判定で「非該当」の割合が高くなっています。

表2.20 問2(1) 階段昇降×知的能動性判定の分割表

			知的能動性判定	
		非該当	該当	合 計
わらずに)(手すりや壁を伝階段昇降	できるししている	5, 051	557	5, 608
	期待値	4, 834. 1	773. 9	
	できるけどしていない、 できない	2, 719	687	3, 406
	期待値	2, 935. 9	470. 1	
伝	合 計	7, 770	1, 244	9, 014

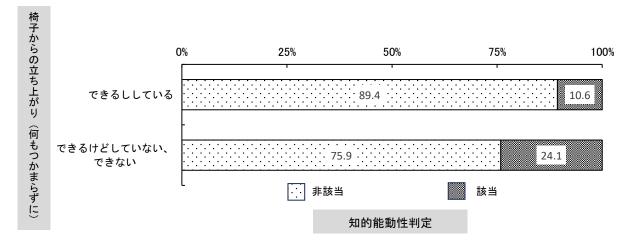
図2.22 問2(1) 階段昇降×知的能動性判定 階段昇降(手すりや壁を伝わらずに) 0% 25% 50% 75% 100% できるししている 9.9 90.1 できるけどしていない、 20.2 79.8 できない 非該当 該当 知的能動性判定

○椅子からの立ち上がりと知的能動性判定の分割表をみると有意差がみられ(p 値=0.000)、 椅子からの立ち上がりを「できるししている」グループは、「できるけどしていない、で きない」グループより、知的能動性判定で「非該当」の割合が高くなっています。

表2.21 問2(2) 椅子からの立ち上がり×知的能動性判定の分割表

			知的能動性判定	
		非該当	該当	合 計
らずに) がり(何もつかま	できるししている	6, 210	739	6, 949
	期待値	5, 993. 5	955. 5	
	できるけどしていない、 できない	1, 581	503	2, 084
	期待値	1, 797. 5	286. 5	
	合 計	7, 791	1, 242	9, 033

図2.23 問2(2) 椅子からの立ち上がり×知的能動性判定

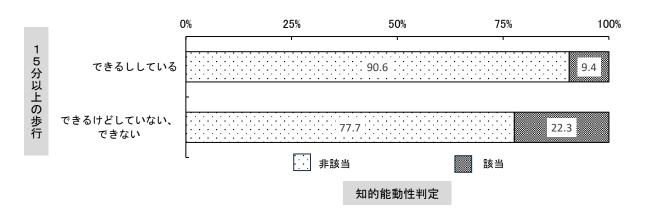


○15 分以上の歩行と知的能動性判定の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、15 分以上の歩行を「できるししている」グループは、「できるけどしていない、できない」グループより、知的能動性判定で「非該当」の割合が高くなっています。

表2.22 問2(3) 15分以上の歩行×知的能動性判定の分割表

			知的能動性判定	
		非該当	該当	合 計
1	できるししている	5, 427	562	5, 989
5 分	期待値	5, 164. 8	824. 2	
以 上	できるけどしていない、 できない	2, 375	683	3, 058
の歩	期待値	2, 637. 2	420. 8	
步 行	合 計	7, 802	1, 245	9, 047

図2.24 問2(3) 15分以上の歩行×知的能動性判定

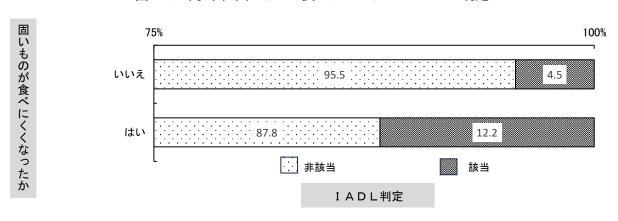


○固いものが食べにくくなったかとIADL判定の分割表をみると有意差がみられ(p 値 =0.000)、固いものが食べにくくなったかで「いいえ」のグループは、「はい」のグループより、IADL判定で「非該当」の割合が高くなっています。

表2.23 問3(2) 固いものが食べにくくなったか×IADL判定の分割表

			IADL判定	
		非該当	該当	合 計
	いいえ	5, 989	280	6, 269
くい くも	期待値	5, 836. 9	432. 1	
なったんか	はい	2, 534	351	2, 885
	期待值	2, 686. 1	198. 9	
かべ	合 計	8, 523	631	9, 154

図2.25 問3(2) 固いものが食べにくくなったか×IADL判定

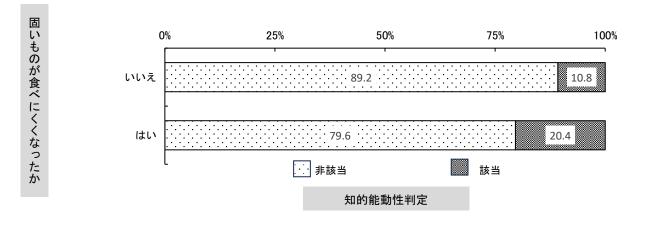


○固いものが食べにくくなったかと知的能動性判定の分割表をみると有意差がみられ(p値 =0.000)、固いものが食べにくくなったかで「いいえ」のグループは、「はい」のグループより、知的能動性判定で「非該当」の割合が高くなっています。

表2.24 問3(2) 固いものが食べにくくなったか×知的能動性判定の分割表

			知的能動性判定	
		非該当	該当	合 計
に固	いいえ	5, 539	668	6, 207
くいくも	期待値	5, 351. 7	855. 3	
なの	はい	2, 264	579	2, 843
つが た食 かべ	期待値	2, 451. 3	391. 7	
かべ	合 計	7, 803	1, 247	9, 050

図2.26 問3(2) 固いものが食べにくくなったか×知的能動性判定

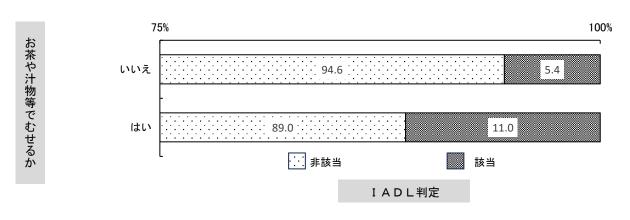


○お茶や汁物等でむせるかと I AD L 判定の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、お茶や汁物等でむせるかで「いいえ」のグループは、「はい」のグループより、 I AD L 判定で「非該当」の割合が高くなっています。

表2.25 問3(3) お茶や汁物でむせるか×IADL判定の分割表

			IADL判定	
		非該当	該当	合 計
_エ お	いいえ	6, 382	367	6, 749
で茶や	期待値	6, 281. 7	467. 3	
t;	はい	2, 167	269	2, 436
	期待值	2, 267. 3	168. 7	
が等	合 計	8, 549	636	9, 185

図2.27 問3(3) お茶や汁物でむせるか×IADL判定

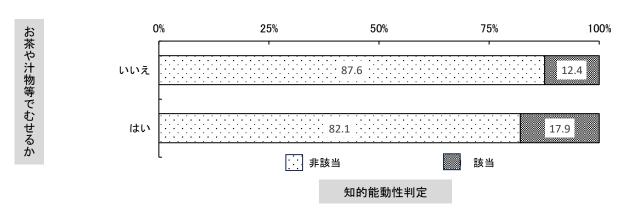


○お茶や汁物等でむせるかと知的能動性判定の分割表をみると有意差がみられ(p 値 =0.000)、お茶や汁物等でむせるかで「いいえ」のグループは、「はい」のグループより、知的能動性判定で「非該当」の割合が高くなっています。

表2.26 問3(3) お茶や汁物でむせるか×知的能動性判定の分割表

			知的能動性判定	
		非該当	該当	合 計
_ お	いいえ	5, 851	826	6, 677
お茶や	期待値	5, 752. 9	924. 1	
しせ注	はい	1, 974	431	2, 405
る物等	期待値	2, 072. 1	332. 9	
- ^{//·} 等	合 計	7, 825	1, 257	9, 082

図2.28 問3(3) お茶や汁物でむせるか×知的能動性判定

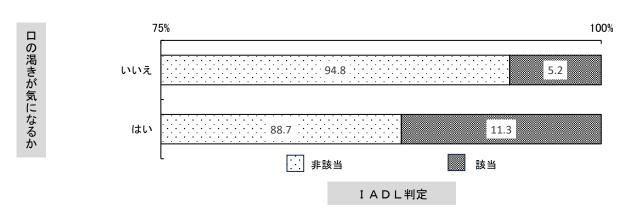


○口の渇きが気になるかと I AD L 判定の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、口の渇きが気になるかで「いいえ」のグループは、「はい」のグループより、 I AD L 判定で「非該当」の割合が高くなっています。

表2.27 問3(4) 口の渇きが気になるか×IADL判定の分割表

			IADL判定	
		非該当	該当	合 計
	いいえ	6, 371	349	6, 720
にの	期待値	6, 261. 4	458. 6	
にの なる かが	はい	2, 148	275	2, 423
かが	期待値	2, 257. 6	165. 4	
気	合 計	8, 519	624	9, 143

図2.29 問3(4) 口の渇きが気になるか×IADL判定

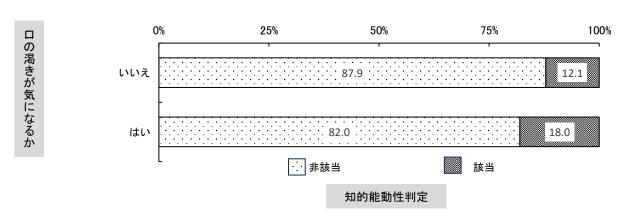


○口の渇きが気になるかと知的能動性判定の分割表をみると有意差がみられ(p 値=0.000)、口の渇きが気になるかで「いいえ」のグループは、「はい」グループより、知的能動性判定で「非該当」の割合が高くなっています。

表2.28 問3(4) 口の渇きが気になるか×知的能動性判定の分割表

		知的能動性判定		
		非該当	該当	合 計
	いいえ	5, 851	808	6, 659
にの	期待値	5, 747. 6	911. 4	
にの なる かが	はい	1, 956	430	2, 386
かが	期待値	2, 059. 4	326. 6	
気	合 計	7, 807	1, 238	9, 045

図2.30 問3(4) 口の渇きが気になるか×知的能動性判定

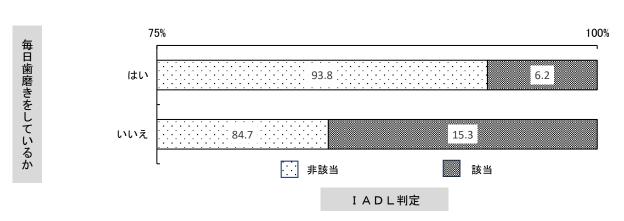


○毎日歯磨きをしているかと I AD L 判定の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、毎日歯磨きをしているかで「はい」のグループは、「いいえ」のグループより、 I AD L 判定で「非該当」の割合が高くなっています。

表2.29 問3(5) 毎日歯磨きをしているか×IADL判定の分割表

			IADL判定	
		非該当	該当	合 計
,毎	はい	7, 990	531	8, 521
して見	期待值	7, 936. 1	584. 9	
が悪	いいえ	544	98	642
77) -	期待值	597. 9	44. 1	
″ [*] を	合 計	8, 534	629	9, 163

図2.31 問3(5) 毎日歯磨きをしているか×IADL判定

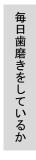


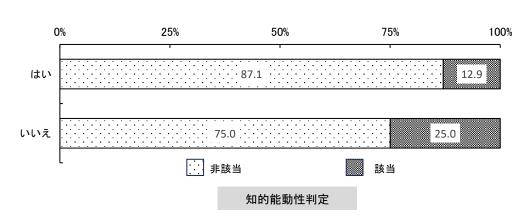
○毎日歯磨きをしているかと知的能動性判定の分割表をみると有意差がみられ(p 値 =0.000)、毎日歯磨きをしているかで「はい」のグループは、「いいえ」のグループより、知的能動性判定で「非該当」の割合が高くなっています。

表2.30 問3(5) 毎日歯磨きをしているか×知的能動性判定の分割表

			知的能動性判定		
		非該当	該当	合 計	
- 毎	はい	7, 343	1, 089	8, 432	
し日	期待值	7, 272. 9	1, 159. 1		
が歯	いいえ	469	156	625	
いるかか	期待值	539. 1	85. 9		
″ [*] を	合 計	7, 812	1, 245	9, 057	

図2.32 問3(5) 毎日歯磨きをしているか×知的能動性判定



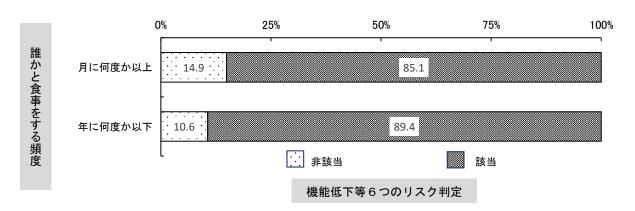


○誰かと食事をする頻度と介護予防リスク判定の分割表をみると有意差がみられ(p 値 =0.000)、誰かと食事をする頻度で「月に何度か以上」のグループは、「年に何度か以下」のグループより、介護予防リスク判定で「非該当」の割合が高くなっています。

表2.31 問3(8) 誰かと食事をする頻度×介護予防リスク判定の分割表

		機能低下等6つのリスク判定		
		非該当	該当	合 計
す誰	月に何度か以上	1, 076	6, 135	7, 211
るか頻と	期待値	1, 012. 1	6, 198. 9	
度食	年に何度か以下	200	1, 680	1, 880
事 を	期待値	263. 9	1, 616. 1	
~	合 計	1, 276	7, 815	9, 091

図2.33 問3(8) 誰かと食事をする頻度×介護予防リスク判定



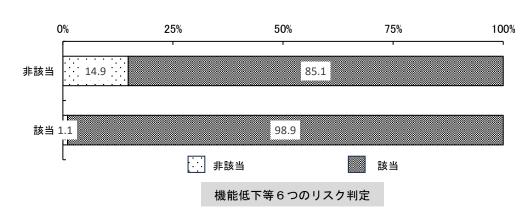
○ I A D L 判定と介護予防リスク判定の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、 I A D L 判定で「非該当」のグループは、「該当」のグループより、介護予防リスク判定で「非該当」の割合が高くなっています。

表2.32 IADL判定×介護予防リスク判定の分割表

		機能低	下等6つのリスク判定		
		非該当	該当	合	計
I	非該当	1, 257	7, 203		8, 460
	期待値	1, 174. 6			
D	該当	7	637		644
• •	期待値	89. 4	554. 6		
定	合 計	1, 264	7, 840		9, 104

図2.34 IADL判定×介護予防リスク判定



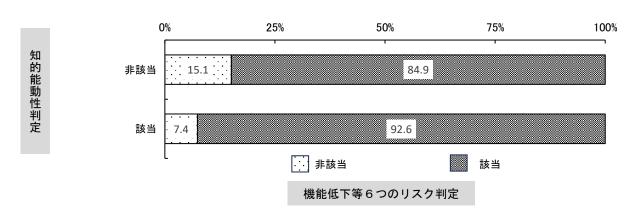


○知的能動性判定と介護予防リスク判定の分割表をみると有意差がみられ(p 値=0.000)、 知的能動性判定で「非該当」のグループは、「該当」のグループより、介護予防リスク判 定で「非該当」の割合が高くなっています。

表2.33 知的能動性判定×介護予防リスク判定の分割表

		機能低	下等6つのリスク判定		
		非該当	該当	合	計
	非該当	1, 169	6, 575		7, 744
的能	期待值	1, 085. 8	6, 658. 2		
動	該当	93	1, 164		1, 257
性判	期待値	176. 2	1, 080. 8		
判 定	合 計	1, 262	7, 739		9, 001

図2.35 知的能動性判定×介護予防リスク判定

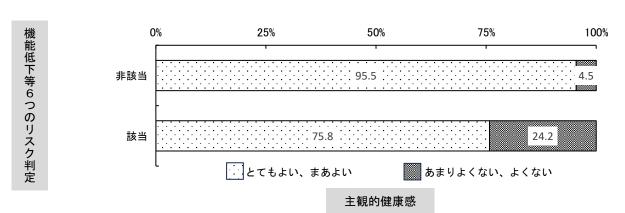


○介護予防リスク判定と主観的健康感の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、介護予防リスク判定で「非該当」のグループは、「該当」のグループより、主観的健康感で「とてもよい、まあよい」の割合が高くなっています。

表2.34 介護予防リスク判定×問7(1) 主観的健康感の分割表

			主観的健康感	
		とてもよい、まあよい	あまりよくない、よくない	合 計
の 機 リ 能	非該当	1, 220	58	1, 278
ス低	期待値	1, 003. 8	274. 2	
ク下 判等	該当	5, 918	1, 892	7, 810
	期待値	6, 134. 2	1, 675. 8	
つ	合 計	7, 138	1, 950	9, 088

図2.36 介護予防リスク判定×問7(1) 主観的健康感

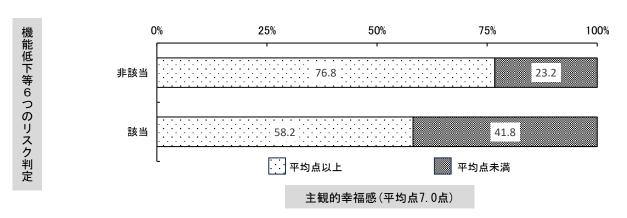


○介護予防リスク判定と主観的幸福感の分割表をみると有意差がみられ(p 値=0.000)、介護予防リスク判定で「非該当」のグループは、「該当」のグループより、主観的幸福感で「平均点(7.0点)以上」の割合が高くなっています。

表2.35 介護予防リスク判定×問7(2) 主観的幸福感の分割表

		主観的幸福感(平均点7.0点)		
		平均点以上	平均点未満	合 計
の 機 リ 能	非該当	974	295	1, 269
ス低	期待值	771. 5	497. 5	
ク下 判等 定 6	該当	4, 485	3, 225	7, 710
	期待值	4, 687. 5	3, 022. 5	
つ	合 計	5, 459	3, 520	8, 979

図2.37 介護予防リスク判定×問7(2) 主観的幸福感



2 要介護者等のビジョンに関連した分析

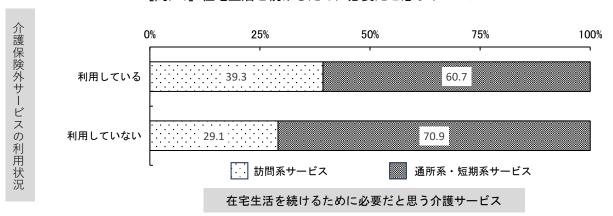
(1)「本人」の在宅生活の継続性の確保

○介護保険サービス以外のサービスを利用の有無と在宅生活を続けるために必要だと思うサービスの分割表をみると有意差がみられ(p 値=0.000)、介護保険サービス以外のサービスを利用の有無で「利用している」グループは、「利用していない」グループより、在宅生活を続けるために必要だと思うサービスで「訪問系サービス」の割合が高くなっています。

表2.36 [問8] 介護保険サービス以外のサービスを利用の有無×[問9-1] 在宅生活を続けるために必要だと思うサービスの分割表

		在宅生活を続けるために必要だと思う介護サービス		
		訪問系サービス	通所系・短期系サービス	合 計
サ☆	利用している	340	525	865
	期待値	280. 7	584. 3	
状況の利	利用していない	511	1, 246	1, 757
	期待値	570.3	1186. 7	
	合 計	851	1, 771	2, 622

図2.38 [問8] 介護保険サービス以外のサービスを利用の有無×[問9-1] 在宅生活を続けるために必要だと思うサービス



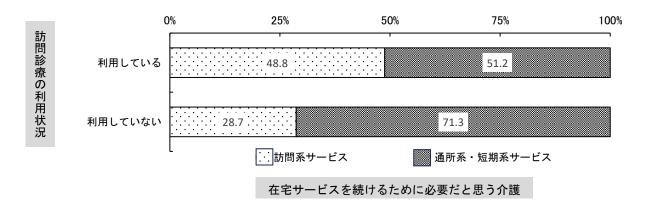
○訪問診療の利用状況と在宅生活を続けるために必要だと思うサービスの分割表をみると有意差がみられ(p 値=0.000)、訪問診療の利用状況で「利用している」グループは、「利用していない」グループより、在宅生活を続けるために必要だと思うサービスで「訪問系サービス」の割合が高くなっています。

表2.37 [問12] 訪問診療の利用状況 ×[問9-1] 在宅生活を続けるために必要だと思うサービスの分割表

		在宅生活を続ける	在宅生活を続けるために必要だと思う介護サービス		
		訪問系サービス	通所系・短期系サービス	合 計	
	利用している	264	277	541	
用問	期待値	175. 8	365. 2		
用状況の	利用していない	671	1, 666	2, 337	
	期待値	759. 2	1577. 8		
利	合 計	935	1, 943	2, 878	

p値=0.000

図2.39 [問12] 訪問診療の利用状況×[問9-1] 在宅生活を続けるために必要だと思うサービス



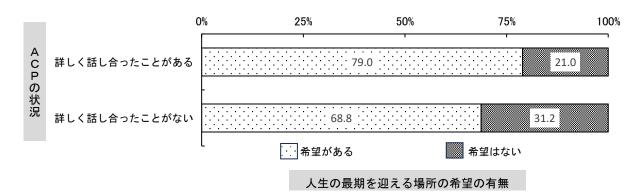
○ACP の状況と人生の最期を迎える場所の希望の有無の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、ACP の状況で「詳しく話し合ったことがある」グループは、「詳しく話し合ったことがない」グループより、人生の最期を迎える場所の希望の有無で「希望がある」の割合が高くなっています。

表2.38 [問17] ACPの状況×[問18] 人生の最期を迎える場所の希望の有無の分割表

		人生の最期を迎える場所の希望の有無		
		希望がある	希望はない	合 計
Α	詳しく話し合ったことがある	259	69	328
C	期待值	228. 6	99. 4	
P の	詳しく話し合ったことがない	2, 253	1, 024	3, 277
状況	期待值	2, 283. 4	993. 6	
況	合 計	2, 512	1, 093	3, 605

p値=0.000

図2.40 [問17] ACPの状況×[問18] 人生の最期を迎える場所の希望の有無



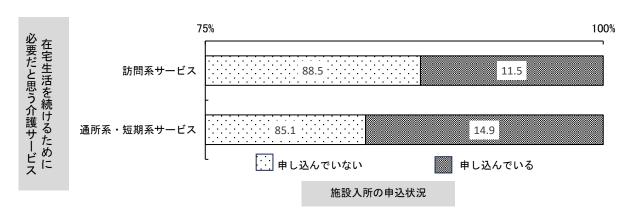
ACP:アドバンス・ケア・プランニングの略で、「人生会議」ともいう。もしものときのために本人が大切にしている ことや本人が望む医療や介護について自ら考え、また、周囲の信頼する人たちと話し合うこと。 ○在宅生活を続けるために必要だと思うサービスと施設入所の申込状況の分割表をみると有意差がみられ(p 値=0.013)、在宅生活を続けるために必要だと思うサービスで「訪問系サービス」のグループは、「通所系・短期系サービス」のグループより、施設入所の申込状況で「申し込んでいない」の割合が高くなっています。

表2.39 [問9-1] 在宅生活を続けるために必要だと思うサービス × [問10] 施設入所の申込状況の分割表

		施設入所の申込状況		
		申し込んでいない	申し込んでいる	合 計
	訪問系サービス	817	106	923
	期待値	795. 7	127. 3	
サ必活 要を ビだ続	通所系・短期系サービス	1, 584	278	1, 862
ビだ続 スとけ 思る	期待値	1605.3	256. 7	
	合 計	2, 401	384	2, 785

p値=0.013

図2.41 [問9-1] 在宅生活を続けるために必要だと思うサービス×[問10] 施設入所の申込状況



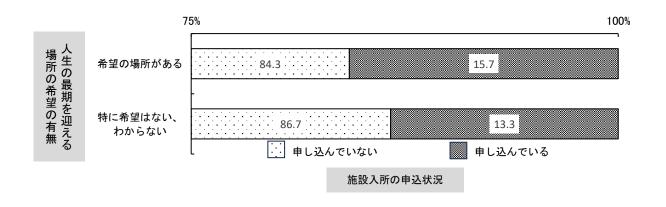
○令和2年の前回調査では、人生の最期を迎える場所の希望の有無と施設入所の申込状況の分割表をみると有意差がみられましたが(p 値=0.029)、今回調査では、有意差がみられませんでした(p 値=0.069>0.05)。

表 2.40 [問 18] 人生の最期を迎える場所の希望の有無×[問 10] 施設入所の申込状況の分割 表【参考】

		施	設入所の申込状況	
		申し込んでいない	申し込んでいる	合 計
の有無人生の最期を	希望の場所がある	1, 986	371	2, 357
	期待値	2, 003. 4	353. 6	
	特に希望はない、 わからない	898	138	1, 036
	期待値	880. 6	155. 4	
望迎	合 計	2, 884	509	3, 393

p値=0.069

図2.42 [問18] 人生の最期を迎える場所の希望の有無×[問10] 施設入所の申込状況【参考】

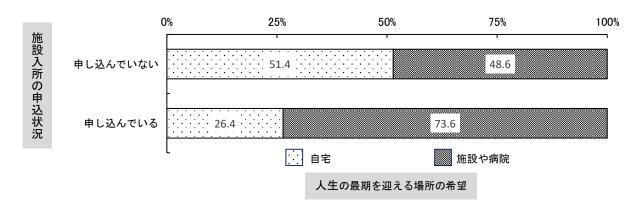


○施設入所の申込状況と人生の最期を迎える場所の希望の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、施設入所の申込状況で「申し込んでいない」グループは、「申し込んでい る」グループより、人生の最期を迎える場所の希望で「自宅」の割合が高くなっています。

表2.41 [問10] 施設入所の申込状況×[問18] 人生の最期を迎える場所の希望の分割表

		人生の	最期を迎える場所の希望	=
		自宅	施設や病院	合 計
+/-	申し込んでいない	1, 021	965	1, 986
申設	期待値	942. 9	1, 043. 1	
一位入	申し込んでいる	98	273	371
況の	期待值	176. 1	194. 9	
0)	合 計	1, 119	1, 238	2, 357

図2.43 [問10] 施設入所の申込状況×[問18] 人生の最期を迎える場所の希望



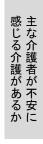
(2) 家族等「介護者」の就労継続

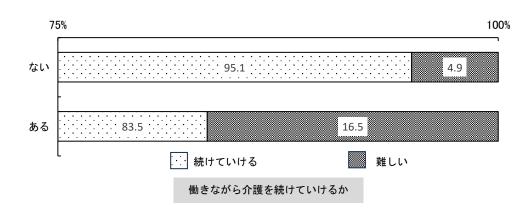
○不安を感じる介護の有無と今後も仕事と介護を両立できるかの分割表をみると有意差が みられ (p 値=0.016)、主な介護者が不安に感じる介護があるかで「ない」グループは、 「ある」グループより、働きながら介護を続けていけるかで「続けていける」の割合が高 くなっています。

表2.42 [問15] 不安を感じる介護の有無×[問14-3] 今後も仕事と介護を両立できるかの分割表

		働きながら介護を続けていけるか		
		続けていける	難しい	合 計
介不主	ない	58	3	61
護安ながに介	期待値	51.3	9. 7	
あ感護	ある	814	161	975
るじ者かるが	期待値	820. 7	154. 3	
	合 計	872	164	1, 036

図2.44 [問15] 不安を感じる介護の有無×[問14-3] 今後も仕事と介護を両立できるか





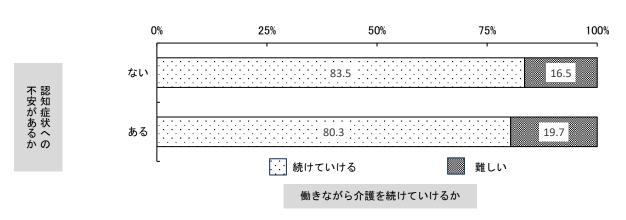
○令和2年の前回調査では、認知症状に対する不安と今後も仕事と介護を両立できるかの分割表をみると有意差がみられましたが(p 値=0.005)、今回調査では、有意差がみられませんでした(p 値=0.289>0.05)。

表2.43 [問15] 認知症状に対する不安×[問14-3] 今後も仕事と介護を両立できるかの分割表 【参考】

19.01					
		働きなか	がら介護を続けていける:	か	
		続けていける	難しい	合 計	
不認	ない	223	44	267	
安知	期待値	217. 7	49. 3		
不安があるかるないのである。	ある	368	90	458	
	期待値	373. 3	84. 7		
	合 計	591	134	725	

p値=0.289

図2.45 [問15] 認知症状に対する不安×[問14-3] 今後も仕事と介護を両立できるか【参考】

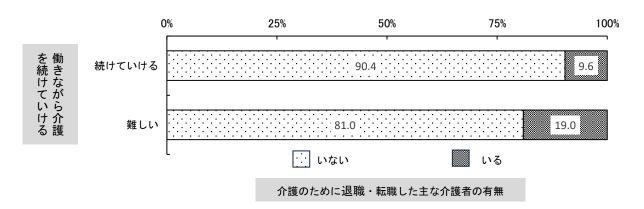


○今後も仕事と介護を両立できるかと介護離職・転職の状況の分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.001)、働きながら介護を続けていけるかで「続けていける」グループは、「難しい」グループより、介護のために離職・転職した主な介護者の有無で「いない」の割合が高くなっています。

表2.44 [問14-3] 今後も仕事と介護を両立できるか×[問7] 介護離職・転職の状況の分割表

		介護のために退	退職・転職した主な介護:	者の有無
		いない	いる	合 計
る を 続 が け て	続けていける	659	70	729
	期待値	647. 4	81. 6	
	難しい	119	28	147
	期待値	130. 6	16. 4	
い介	合 計	778	98	876

図2.46 [問14-3] 今後も仕事と介護を両立できるか×[問7] 介護離職・転職の状況



(3)「サービス提供体制」の確保

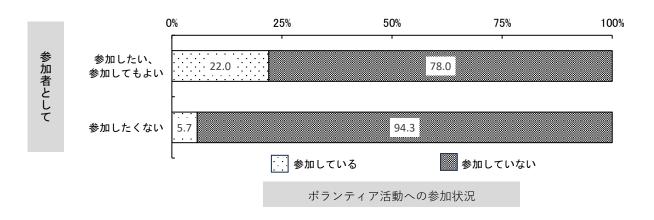
○参加者としての社会参加意向と社会参加活動 (ボランティア) への参加の分割表をみると 有意差がみられ (p 値=0.000)、参加者として「参加したい、参加してもよい」グループ は、「参加したくない」グループより、ボランティア活動への参加状況で「参加している」 割合が高くなっています。

表2.45 問5(2) 参加者としての社会参加意向 ×問5(1)① 社会参加活動 (ボランティア) への参加の分割表

		ボランティア活動への参加状況		
		参加している	参加していない	合 計
参	参加したい、 参加してもよい	848	3, 003	3, 851
参 加 者	期待值	595. 8	3, 255. 2	
として	参加したくない	149	2, 444	2, 593
	期待値	401. 2	2, 191. 8	
	合 計	997	5, 447	6, 444

p値=0.000

図2.47 問5(2)参加者としての社会参加意向×問5(1)① 社会参加活動(ボランティア)への参加



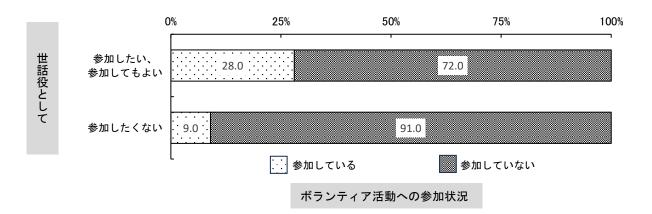
○世話役としての社会参加意向と社会参加活動 (ボランティア) への参加の分割表をみると 有意差がみられ (p 値=0.000)、世話役として「参加したい、参加してもよい」グループ は、「参加したくない」グループより、ボランティア活動への参加状況で「参加している」 割合が高くなっています。

表2.46 問5(3) 世話役としての社会参加意向 ×問5(1)① 社会参加活動 (ボランティア) への参加の分割表

		ボランティア活動への参加状況		
		参加している	参加していない	合 計
世 ===	参加したい、 参加してもよい	580	1, 488	2, 068
世話役として	期待値	317. 6	1, 750. 4	
	参加したくない	373	3, 764	4, 137
	期待値	635. 4	3, 501. 6	
	合 計	953	5, 252	6, 205

p値=0.000

図2.48 問5(3) 世話役としての社会参加意向×問5(1)① 社会参加活動(ボランティア)への参加

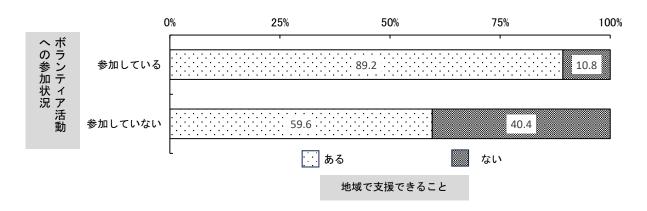


○社会参加活動 (ボランティア) への参加と地域で支援できることの分割表をみると有意差がみられ (p 値=0.000)、ボランティア活動への参加状況で「参加している」グループは、「参加していない」グループより、地域で支援できることが「ある」の割合が高くなっています。

表2.47 問5(1)① 社会参加活動 (ボランティア) への参加×問5(4) 地域で支援できることの分割表

		地域で支援できること				
		ある	ない	合 計		
動 ボ ヘ ラ の ン	参加している	1, 070	129	1, 199		
のン	期待值	778. 8	420. 2			
参 テ 加 イ	参加していない	3, 241	2, 197	5, 438		
状ア	期待値	3, 532. 2	1, 905. 8			
況 活	合 計	4, 311	2, 326	6, 637		

図2.49 問5(1)① 社会参加活動 (ボランティア) への参加×問5(4) 地域で支援できること



第3章

地区分析

第3章 地区分析

第3章は第2章で分析した「集計結果に基づくビジョンに関連した分析結果」に基づき、ビジョン達成のために関係性があると思われる項目をさらに細分化し、圏域ごとに、各地区における「地区の現状」「高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析」「要介護者の在宅生活継続に係るニーズ」をカルテ形式により指標化して分析しました。

なお、表内で「指標となる項目」及び「調査結果(%)」にアンダーラインが引いている箇所については、「調査結果(%)」の数値の低い方が順位が高く、アンダーラインを引いていない箇所については、「調査結果(%)」の数値の高い方が順位が高くなっています。

第一圏域(なでしこ)

1「出羽地区」

(1)地区の現状

表中()は市平均値

総人口(人)		高	齢者人口 (人)	高齢化率(%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
6,699			2,204	32.9 (30.4)	934	1,270	57.6 (53.6)
一般高齢者 (人)			要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者認定率(%)
1,812		38	83	271	16.1 (16.1)	120	5.4 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

			指標となる項目	市内全域(%)第一圏域(%)	調査結果	地区
					(%)	順位
		健	康高齢者	14.2	15.3	9
				14.4		
	高齢者像の	介	護予防事業対象者	77.7	<u>76.4</u>	10
	出現率			77.4	<u> </u>	
		++	ービス事業対 <u>象者</u>	5.9	<u>5.3</u>	12
				5.5	0.0	12
		ぉ	世話役としての社会参加意向がある	36.0	35.5	14
		<i>0</i> 3	世間 反こ ここの 任 去 参加 志 向 が める	35.0	აუ.ე	14
		*	加者としての社会参加意向がある	62.2	63.5	12 6
		乡	一	62.2	03.5	
		4	きがいがある	61.1	64.1	
		生	さかいかめる	60.8		
_		, H		33.4	36.9	4
般高		週_	に何度か以上友人・知人と会う	35.5		4
局齢				81.7	82.7	4.0
者	11 4 4 1 - 4 17 5		二回以上外出している	79.2		13
の	社会参加の視点			66.8		
ビ		恛	らかの地域活動へ参加している	64.6	67.6	11
ジョ			①ボランティアのグループに参加して	13.8		
ン			いる	14.0	11.3	25
			②スポーツ関係のグループやクラブに	20.2		
			参加している	17.9	18.6	21
				26.4		
			③趣味関係のグループに参加している	24.1	24.3	21
				8.0		
		④学習・教養サークルに参加している		6.6	6.3	25
				0.0		

		指標となる項目	市内全域(%)第一圏域(%)	調査結果	地区順位	
		⑤介護予防のための通いの場に参加し	8.5			
		ている	7.1	9.0	14	
			4.7			
		⑥老人クラブに参加している	3.8	3.3	18	
	社会参加の視点		33.0			
		⑦町内会・自治会に参加している	33.8	37.9	8	
			27.5			
		⑧収入のある仕事に参加している	28.1	28.9	10	
•		 階段昇降(手すりや壁を伝わらずに)して	63.4			
		いる	62.6	63.8	14	
	社会参加と生活	椅子からの立ち上がり(何もつかまらず	77.4			
	支援・介護予防 の両方の視点	に)している	75.8	76.7	17	
	の両方の発点		66.8			
		15分以上の歩行をしている	62.7	66.1	17	
			30.0			
		固いものが <u>食べにくくなった</u>	30.8	<u>31.6</u>	22	
			25.5			
		お茶や汁物で <u>むせる</u>	25.3	<u>23.3</u>	3	
_			25.0			
般		ロの渇きが <u>気になる</u>	22.3	<u>21.3</u>	4	
高齢			91.9		00	
者		毎日歯磨きをしている	91.2	91.4	23	
の			68.0	71.4		
Ĕ		過去一年間で転倒していない	68.9		4	
ジョ			90.1			
ン	俊		健康への関心がある	90.0	91.4	5
			25.9	24.2		
	_	 介護予防・生活	外出を <u>控えている</u>	27.2	<u>24.6</u>	9
			外出を控えている	12.7	110	0.1
	支援の視点	(交通手段がない理由のみ)	12.9	<u>14.9</u>	21	
		日に存在5.01 L #45 L &本ナナフ	78.2	00.1	0	
		月に何度か以上誰かと食事をする	80.3	82.1	2	
		. A D L O/M T I = + W	5.2	F 0	10	
		I A D L の <u>低下に該当</u>	6.2	<u>5.0</u>	12	
		知的处利性不任 志少	12.5	11.0	0	
		知的能動性の <u>低下に該当</u>	13.0	<u>11.0</u>	9	
		与これの人業を吐けったに 執业	84.3	00.7	7	
		何らかの介護予防 <u>リスクに該当</u> 	83.8	<u>82.7</u>	7	
		(1)電動型の機能低下リックに表出	12.5	12.0	14	
		①運動器の機能低下 <u>リスクに該当</u>	13.2	<u>12.0</u>	14	
		②低学業の傾向リフクに誌坐	1.0	1.0	17	
			②低栄養の傾向 <u>リスクに該当</u>	0.6	<u>1.0</u>	1 /
			③口肺機能の低下リフタに⇒サン	22.2	21 6	10
		③口腔機能の低下 <u>リスクに該当</u>	21.5	<u>21.6</u>	12	

		指標となる項目	市内全域(%)	調査結果	地区	
		担保とはも項目	第一圏域(%)	(%)	順位	
		 ④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	21.0	10	
-		(4)別しこもり傾向 <u>リスクに該当</u>	35.8	<u>31.2</u>	10	
般高	介護予防・生活	(全) 対 (1) 地 (1) カル (1)	52.3	FO 2	4	
高 齢	支援の視点	⑤認知機能の低下 <u>リスクに該当</u> 	51.5	<u>50.2</u>	4	
者		() こったロスカニ 芸火	45.1	40 F	1	
の		⑥うつ傾向 <u>リスクに該当</u>	44.1	<u>40.5</u>	1	
ビジ		/ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	79.0	81.7	6	
ョ	総合的な評価	健康状態がよい(主観的健康感)	81.1	01.7	6	
ン	指標	幸せと感じる割合が平均以上	61.8	E0.0	0.5	
		(主観的幸福感)	61.1	58.0	25	
		介護保険以外のサービスを利用している	28.5	00.0	0.0	
		介護体膜以外のサービスを利用している	23.2	20.2	28	
		計明込床ナギリローマンフ	18.2	17.0	17	
		訪問診療を利用している	16.1	17.8	17	
			8.8	10.4		
	『本人』の在宅	者と詳しく話しあったことがある	9.2	12.4	4	
	生活の継続性の確保の視点	在宅生活を続けていくために訪問系サー	23.7	00.0	0.5	
		ビスが必要だと思う	21.4	20.2	25	
		1 4 0 B 40 4 70 7 7 18 7 0 X 40 / X 4 7	64.4	00.0	_	
		人生の最期を迎える場所の希望がある	62.5	68.2	7	
			75.2	71.0	00	
要		適切な在宅介護生活の継続を実現している	73.6	71.3	22	
介=#		不安に感じる介護は特にない	5.1	47	4.5	
護者			4.4	4.7	15	
者等			25.8	01.0	0.0	
の	家族等『介護		認知症状に対する <u>不安を感じる</u>	28.7	<u>31.0</u>	28
ビジ	者』の就労継 続の視点	仕事し入業を下さるま で	74.3	70.5	7	
ョ	196-2 196711	仕事と介護を両立できる	77.3	79.5	/	
ン		<u>人苯夫现由仁敦啦,起啦!</u>	11.8	15.4	0.0	
		介護を理由に <u>離職・転職した</u>	12.9	<u>15.4</u>	22	
		会加老ししての社会会加辛中がもて	62.2	63.5	12	
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	03.0	12	
	B A 1=	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	25.5	1.4	
	『サービス提供	の世間仅としての仕去参加息円がある	35.0	35.5	14	
	体制』の確保の 視点	ボランティアのグループに参加している	13.8	11.0	25	
	120111		14.0	11.3	25	
			69.5	75.1	4	
		地域で支援できることがある	71.3	/5.1		
	総合的な評価		29.5	20.0	1.0	
	指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	28.5	30.2	13	

(3)要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

①在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	10.1	調理	6.2	掃除•洗濯	16.3
買い物	14.0	ゴミ出し	11.6	外出同行	27.1
移送サービス	23.3	見守り、声かけ	18.6	通いの場	10.9
その他	2.3	特にない	30.2		

②住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的地域資源

サービス名	近隣の人にお願いしたい ことの割合(%)	地域でできる支援の割合 (%)
見守り	32.6	36.5
声かけ	24.8	42.2
外出同行	8.5	6.6
雪かき	27.9	19.3
庭の手入れ	15.5	12.6
ゴミ出し	10.9	18.6
買物	9.3	12.6
調理	3.1	5.0
掃除	4.7	14.3
着替え	0.8	2.0
季節用品の入替	0.8	2.7
電球交換	0.8	7.0
特にない(できない)	27.1	25.6
その他	2.3	0.7

第一圏域(なでしこ)

2 「大郷地区」

(1)地区の現状

表中()は市平均値

総人口(人)		高	齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
		3,980		1,564	39.3 (30.4)	729	835	53.4 (53.6)
	一般高齢者 事業対			要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者認定率(%)
	1,188		28	64	284	22.3 (16.1)	158	10.1 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2)高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

		指標となる項目	市内全域(%)第一圏域(%)	調査結果 (%)	地区順位
		健康高齢者	14.2 14.4	16.0	6
	高齢者像の 出現率	<u>介護予防事業対象者</u>	77.7 77.4	<u>77.2</u>	12
		サービス事業対象者	5.9 5.5	<u>4.6</u>	7
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0 35.0	35.5	14
		参加者としての社会参加意向がある	62.2 62.2	62.2	16
		生きがいがある	61.1 60.8	61.6	15
— 般		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4 35.5	35.2	8
高齢者	402 40045	週二回以上外出している	81.7 79.2	78.5	22
のビジ	社会参加の視点	何らかの地域活動へ参加している	66.8 64.6	65.0	21
ンョン		①ボランティアのグループに参加して いる	13.8 14.0	15.6	7
		②スポーツ関係のグループやクラブに 参加している	20.2 17.9	17.9	23
		③趣味関係のグループに参加している	26.4 24.1	22.1	24
		④学習・教養サークルに参加している	8.0 6.6	6.8	21

			指標となる項目	市内全域(%)	調査結果	地区順位			
			⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5 7.1	4.9	28			
				4.7					
			⑥老人クラブに参加している	3.8	2.9	22			
	社会参加の視点		_	33.0					
			⑦町内会・自治会に参加している	33.8	34.5	15			
				27.5					
			⑧収入のある仕事に参加している	28.1	30.9	6			
		階	:段昇降(手すりや壁を伝わらずに)して	63.4	ee e	0			
		い	o a	62.6	65.5	9			
	社会参加と生活 支援・介護予防		子からの立ち上がり(何もつかまらず	77.4	76.5	19			
	の両方の視点	1	している	75.8	70.5	19			
		15	6分以上の歩行をしている	66.8	63.2	20			
				62.7					
		 固いものが <u>食べにくくなった</u>	いものが <u>食べにくくなった</u>	30.0	<u>34.5</u>	28			
		_			30.8	<u></u>			
		お茶や汁物で <u>むせる</u>	:茶や汁物で <u>むせる</u>	25.5	<u>30.3</u>	30			
				25.3	<u> </u>				
般			の渇きが <u>気になる</u>	25.0	<u>24.8</u>	14			
高		毎日歯磨きをしている 過去一年間で転倒していない		22.3	91.9	\vdash			
齢			日歯磨きをしている	91.9		19			
者の				91.2		+			
ビ			去一年間で転倒していない	68.0 68.9	68.7	12			
ジョ				90.1					
」	51	9	_			康への関心がある	90.0	89.9	17
							25.9	_	
					出を <u>控えている</u>	27.2 <u>28.0</u>	<u>28.0</u>	26	
			外		12.7	10.5			
	支援の視点		交通手段がない理由のみ)	12.9	<u>10.5</u>	9			
		0	に存在かりしまかしる事ナナフ	78.2	70.0	10			
		τ	に何度か以上誰かと食事をする	80.3	79.8	10			
		ī	ADLの低下に該当	5.2	6.8	25			
		1	ADEO <u>K MEKS </u>	6.2	0.0	23			
		午□	的能動性の低下に該当	12.5	14.3	22			
		ΛH	HJIC	13.0	<u>17.U</u>	~~			
		個	らかの介護予防 <u>リスクに該当</u>	84.3	<u>83.1</u>	9			
		1-1	7	83.8	00.1	9			
			①運動器の機能低下 <u>リスクに該当</u>	12.5	<u>14.7</u>	24			
		②低栄養の傾向リスクに該当		13.2	<u></u>				
			1.0	<u>0.7</u>	12				
				0.6		<u> </u>			
			 ③口腔機能の低下 <u>リスクに該当</u>	22.2	<u>24.8</u>	25			
				21.5					

		指標となる項目	市内全域(%)	調査結果	地区
		1200-2000	第一圏域(%)	(%)	順位
		 ④閉じこもり傾向 <u>リスクに該当</u>	33.6	<u>39.1</u>	27
般			35.8	<u></u>	
高	介護予防・生活	⑤認知機能の低下 <u>リスクに該当</u>	52.3	<u>50.2</u>	4
齢	支援の視点		51.5		
者の		⑥うつ傾向 <u>リスクに該当</u>	45.1	45.0	16
のビ			44.1		
ビジ		健康状態がよい(主観的健康感)	79.0	79.8	15
3	総合的な評価		81.1		
ン	指標	幸せと感じる割合が平均以上	61.8	66.0	4
\square		(主観的幸福感)	61.1		
		介護保険以外のサービスを利用している	28.5	23.6	24
			23.2		
		訪問診療を利用している	18.2	18.0	14
		1/1/11/2/ CT U	16.1	10.0	'
	『ナー』のたウ	もしものときのために、家族や医療関係	8.8	4.5	26
	『本人』の在宅 生活の継続性の	者と詳しく話しあったことがある	9.2	1.0	20
	確保の視点	在宅生活を続けていくために訪問系サー	23.7	23.6	15
		ビスが必要だと思う	21.4	20.0	
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	49.4	30
		ハー・カンジャケイの一名コンション・ファック	62.5	10.4	
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	67.4	26
要		過初な圧毛が設工力の心臓がと失れしている	73.6	07.4	
介護			5.1	2.2	25
者		1、女に恋しる月最は前にない	4.4	2.2	23
者等		認知症状に対する <u>不安を感じる</u>	25.8	20.1	20
の	家族等『介護 者』の就労継	iiiAMIE1X1に対する <u>下女と恋しる</u>	28.7	<u>28.1</u>	20
ビジ	有』の就力極 続の視点	仕事と介護を両立できる	74.3	68.4	24
3	120 - 1201111	仕事と月暖を両立てきる	77.3	00.4	24
ン		介護を理由に <u>離職・転職した</u>	11.8	0.7	6
		丌謾を垤田に <u>離峨・転峨した</u>	12.9	<u>9.7</u>	U
		参加者にしての社会会加音点がもる	62.2	60.0	16
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	62.2	16
		か出兵のよしての社会会加寺中がもて	36.0	25.5	1.4
	『サービス提供	お世話役としての社会参加意向がある	35.0	35.5	14
	体制』の確保の 視点	ボランティアのグループに参加している	13.8	15.0	
	1207117	パンファイテのブルーフに参加している	14.0	15.6	7
		1.1.4+ 1.1.2.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1	69.5	70.0	
		地域で支援できることがある	71.3	76.2	3
	総合的な評価	140月期大百克 如坎克之河(11)	29.5	00.0	0.5
	指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	28.5	23.6	25

(3)要介護者の在宅生活継続に係る二一ズ

①在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	16.9	調理	12.4	掃除•洗濯	19.1
買い物	14.6	ゴミ出し	15.7	外出同行	25.8
移送サービス	34.8	見守り、声かけ	19.1	通いの場	15.7
その他	6.7	特にない	18.0		

②住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的地域資源

サービス名	近隣の人にお願いしたい ことの割合(%)	地域でできる支援の割合 (%)
見守り	22.5	38.8
声かけ	22.5	37.1
外出同行	3.4	7.2
雪かき	24.7	18.6
庭の手入れ	11.2	15.3
ゴミ出し	12.4	16.6
買物	5.6	14.0
調理	2.2	3.6
掃除	5.6	19.2
着替え	1.1	3.3
季節用品の入替	1.1	4.2
電球交換	1.1	9.1
特にない(できない)	31.5	23.1
その他	0.0	2.6

第一圏域(なでしこ)

3 「明治地区」

(1)地区の現状

表中()は市平均値

総人口(人)		高	齢者人口 (人)	高齢化率(%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
	1,988		726	36.5 (30.4)	374	352	48.5 (53.6)
一般高齢者 (人)		対象者	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者認定率(%)
624		7	23	72	13.1 (16.1)	21	2.9 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

			指標となる項目	市内全域(%)	調査結果	地区	
				第一圏域(%)	(%)	順位	
		健	康高齢者	14.2	11.7	25	
		,	771-761- 14	14.4			
	高齢者像の	介	護予防事業対象者	77.7	78.9	19	
	出現率	71	<u>设于树于木对水白</u>	77.4	70.5	13	
		++	ービス <u>事業対象者</u>	5.9	6.9	23	
		<u>.</u>	一	5.5	0.9	23	
		+\	世話役としての社会参加意向がある	36.0	35.2	17	
		മ	世品仅としての任会参加息向かのる	35.0	33.2	17	
		4	加来し、この社人会加辛ウバナス	62.2	00.0	1.4	
		奓	加者としての社会参加意向がある	62.2	62.8	14	
			+ 181.184 7	61.1	56.7	0.7	
		玍	きがいがある	60.8		27	
_		·=		33.4	05.0	_	
般		週二回以上外出し	週に何度か以上友人・知人と会う	35.5	35.6	7	
高齢				81.7	74.1	0.7	
者	11 4 4 1 - 4 17 1		過二	――回以上外出している	79.2	74.1	27
の	社会参加の視点		> 1 = 14 Lbve=1	66.8			
Ľ		恛	らかの地域活動へ参加している	64.6	62.8	26	
ジョ			①ボランティアのグループに参加して			4.0	
ン			いる	14.0	13.0	19	
			②スポーツ関係のグループやクラブに	20.2			
			参加している	17.9	14.6	28	
				26.4			
			③趣味関係のグループに参加している	24.1	21.5	26	
				2	8.0		
		④学習・教養サークルに参加している		6.6	6.5	24	
				0.0			

			指標となる項目	市内全域(%)第一圏域(%)	調査結果	地区順位				
			⑤介護予防のための通いの場に参加し ている	8.5 7.1	7.7	19				
	11 ^ 41- 648 5		⑥老人クラブに参加している	4.7	4.0	14				
	社会参加の視点		⑦町内会・自治会に参加している	33.0 33.8	36.0	14				
			⑧収入のある仕事に参加している	27.5 28.1	27.5	16				
			・ 段昇降(手すりや壁を伝わらずに)して る	63.4 62.6	59.9	26				
	社会参加と生活 支援・介護予防 の両方の視点		子からの立ち上がり (何もつかまらず) している	77.4 75.8	74.5	26				
	の川川の一代派	15	分以上の歩行をしている	66.8 62.7	57.9	29				
		固	いものが <u>食べにくくなった</u>	30.0 30.8	30.8	19				
			お茶や汁物で <u>むせる</u>	茶や汁物で <u>むせる</u>	25.5 25.3	20.2	2			
般	:		の渇きが <u>気になる</u>	25.0 22.3	<u>17.8</u>	1				
高齢者			毎	日歯磨きをしている	91.9 91.2	89.5	25			
のビジ						過	去一年間で転倒していない	68.0 68.9	67.2	22
ンョン					健	康への関心がある	90.1 90.0	88.3	25	
			外	出を <u>控えている</u>	25.9 27.2	<u>28.7</u>	27			
	介護予防・生活 支援の視点		出を <u>控えている</u> <u>交通手段がない理由のみ)</u>	12.7 12.9	<u>16.9</u>	26				
			に何度か以上誰かと食事をする	78.2 80.3	80.2	8				
		I	A D L の <u>低下に該当</u>	5.2 6.2	<u>8.1</u>	28				
		知的能動性の <u>低下に該当</u> 何らかの介護予防 <u>リスクに</u>	知的能動性の <u>低下に該当</u>	的能動性の <u>低下に該当</u>	12.5 13.0	<u>14.6</u>	26			
			らかの介護予防 <u>リスクに該当</u>	84.3 83.8	<u>85.7</u>	19				
					①運動器の機能低下 <u>リスクに該当</u>	12.5 13.2	<u>15.4</u>	27		
				②低栄養の傾向リスクに該当	1.0 0.6	<u>0.4</u>	8			
			③口腔機能の低下 <u>リスクに該当</u>	22.2 21.5	<u>18.2</u>	2				

		指標となる項目	市内全域(%)	調査結果	地区	
		相保となる項目	第一圏域(%)	(%)	順位	
		 ④閉じこもり傾向 <u>リスクに該当</u>	33.6	36.4	21	
<u> </u>		(4)別じこもり傾向 <u>ラスクに該当</u>	35.8	<u>30.4</u>	21	
般高	介護予防・生活	(C)到加州後代の低下リフカルまた 4	52.3	EE O	00	
高 齢	支援の視点	⑤認知機能の低下 <u>リスクに該当</u>	51.5	<u>55.9</u>	28	
者		②この傾向 ロスカル 表火	45.1	44.5	1.4	
の		⑥うつ傾向 <u>リスクに該当</u>	44.1	<u>44.5</u>	14	
ビジ		(A) 中央 (A)	79.0	82.6	0	
リヨ	総合的な評価	健康状態がよい(主観的健康感)	81.1	82.0	2	
ン	指標	幸せと感じる割合が平均以上	61.8	E7.4	0.0	
		(主観的幸福感)	61.1	57.4	26	
		介護保険以外のサービスを利用している	28.5	20.0	20	
		介護体険以外のサービスを利用している	23.2	20.0	29	
		計明込床ナ利田レイルフ	18.2	20.0	10	
		訪問診療を利用している	16.1	20.0	10	
		もしものときのために、家族や医療関係	8.8	0.0	00	
	『本人』の在宅	者と詳しく話しあったことがある	9.2	2.9	29	
	生活の継続性の確保の視点	在宅生活を続けていくために訪問系サー	23.7	00.0	47	
		ビスが必要だと思う	21.4	22.9	17	
			64.4	05.7	12	
		人生の最期を迎える場所の希望がある	62.5	65.7		
			75.2	00.0		
要		適切な在宅介護生活の継続を実現している	73.6	80.0	4	
介=##		マーナー c * 1 × フ ∧ =# / 1 4 + / _ + /	5.1		00	
護者等			不安に感じる介護は特にない	4.4	2.9	22
等			25.8	000		
の	家族等『介護		認知症状に対する <u>不安を感じる</u>	28.7	<u>22.9</u>	9
ビジ	者』の就労継 続の視点	<u> </u>	74.3	05.7		
ジョ	がいてれた点	仕事と介護を両立できる	77.3	85.7	2	
ン		A -# /	11.8	400		
		介護を理由に <u>離職・転職した</u>	12.9	<u>16.0</u>	24	
		A - + A A - +	62.2			
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	62.8	14	
		№ Ш=7/0.1 1 — «Ч ∧ Д — « + /» + э	36.0	05.0		
	『サービス提供	お世話役としての社会参加意向がある	35.0	35.2	17	
	体制』の確保の 視点	12-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-	13.8	400	19	
	7.5. 木	ボランティアのグループに参加している	14.0	13.0		
			69.5	0.4.5		
		地域で支援できることがある	71.3	64.0		
	総合的な評価		29.5	4.5.5		
	指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	28.5	42.9	2	
			20.0		1	

(3)要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

①在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	20.0	調理	8.6	掃除•洗濯	20.0
買い物	17.1	ゴミ出し	14.3	外出同行	34.3
移送サービス	22.9	見守り、声かけ	22.9	通いの場	14.3
その他	5.7	特にない	28.6		

②住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的地域資源

サービス名	近隣の人にお願いしたい ことの割合(%)	地域でできる支援の割合 (%)
見守り	28.6	27.1
声かけ	28.6	32.4
外出同行	20.0	5.3
雪かき	22.9	18.2
庭の手入れ	8.6	11.3
ゴミ出し	11.4	14.2
買物	11.4	13.0
調理	2.9	4.0
掃除	5.7	11.3
着替え	2.9	2.0
季節用品の入替	2.9	0.8
電球交換	8.6	6.9
特にない(できない)	40.0	32.0
その他	0.0	3.2

第一圏域(なでしこ)

4 「千歳地区」

(1)地区の現状

表中()は市平均値

総人口(人)		高	齢者人口 (人)	高齢化率(%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
	8,269		2,652	32.1 (30.4)	1,142	1,510	56.9 (53.6)
一般高齢者 (人)		対象者	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者認定率(%)
2,086		44	116	406	19.7 (16.1)	196	7.4 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

	指標となる項目				調査結果	地区	
					(%)	順位	
			康高齢者	14.2	14.2	13	
		土		14.4	17.2	10	
	高齢者像の	介	護予防事業対象者	77.7	<u>77.4</u>	13	
	出現率	7	<u>设了财争未对多有</u>	77.4	<u>/ / / . 4</u>	13	
		++	<u>ービス事業対象者</u>	5.9	<u>5.7</u>	14	
		<u>.</u>	<u> </u>	5.5	<u> </u>	14	
		±	世話役としての社会参加意向がある	36.0	33.6	22	
		ઠ	世話伎としての社会参加息向がある	35.0	33.0	22	
		*	加者としての社会参加意向がある	62.2	60.7	20	
		梦	加有としての社会参加息円がある	62.2	00.7	20	
		#	きがいがある	61.1	60.1	20	
		H	2 n.r. n.w) &	60.8			
_		1田	に何度か以上友人・知人と会う	33.4	34.6	11	
般高		週二回 出会参加の視点	它问度が以上及人· 如人と去了	35.5		11	
齢			·m —	週二回以上外出している	81.7	80.5	21
者	サ 会会 加 の 坦 占		型──四以上外出している	79.2	80.5	21	
の	社会参加の代点		これの地域活動。名加している	66.8	00.7	27	
ビジ			何らかの地域活動へ参加している	らかの地域活動へ参加している	64.6	62.7	21
3			①ボランティアのグループに参加して	13.8	15.7	6	
ン			いる	14.0	13.7	0	
			②スポーツ関係のグループやクラブに	20.2	10.0	1.6	
			参加している	17.9	19.8	16	
		③趣味関係のグループに参加してい	②物味即をのがループに会加している	26.4	28.0	10	
			◎歴外別旅のグループに参加している	24.1	20.0	12	
				8.0	6.0	20	
			④学習・教養サークルに参加している	6.6	6.9	20	

		指標となる項目	市内全域(%)	調査結果	地区	
		T -	第一圏域(%)	(%)	順位	
		⑤介護予防のための通いの場に参加し ている	8.5 7.1	6.9	23	
			4.7			
	11 0 0 1 - 0 10 5	⑥老人クラブに参加している	3.8	5.0	11	
	社会参加の視点		33.0			
		⑦町内会・自治会に参加している	33.8	27.4	23	
			27.5	25.2		
		⑧収入のある仕事に参加している	28.1	25.2	25	
		階段昇降(手すりや壁を伝わらずに)して	63.4	60.7	25	
		いる	62.6	60.7	25	
	社会参加と生活 支援・介護予防	椅子からの立ち上がり(何もつかまらず	77.4	75.0	24	
	又接・九渡ア防 の両方の視点	に) している	75.8	75.2	24	
	00 1. 393 00 1987	15分以上の歩行をしている	66.8	62.9	21	
		19分以上の多11をしている	62.7	02.9	21	
		固いものが食べにくくなった	30.0	26.4	4	
			30.8	26.4	4	
			25.5		10	
		お茶や汁物で <u>むせる</u>	25.3	<u>26.4</u>	19	
_		ロの出土に与による	25.0	04.5		
般		ロの渇きが <u>気になる</u>	22.3	<u>24.5</u>	11	
高齢			91.9	91.8	00	
者		毎日歯磨きをしている	91.2		20	
の		`@ +	68.0	67.0	16	
ビジ		過去一年間で転倒していない	68.9	67.9		
ノョ		カウ の思さばれて	90.1	00.0	1.5	
ン		健康への関心がある	90.0	90.3	15	
		U 11 + 14 1 . 7	25.9		0.0	
		介護予防・生活	外出を <u>控えている</u>	27.2	<u>27.7</u>	22
			外出を控えている	12.7	400	_
	支援の視点	<u>(交通手段がない理由のみ)</u>	12.9	<u>10.2</u>	7	
			78.2	70.0	10	
		月に何度か以上誰かと食事をする	80.3	79.2	13	
			5.2	- 0		
		I A D L の <u>低下に該当</u>	6.2	<u>5.3</u>	14	
		6-16-16-21-16-2-16-2-16-2-16-2-16-2-16-	12.5	400		
		知的能動性の <u>低下に該当</u>	13.0	<u>12.3</u>	12	
			84.3	04.0	10	
		何らかの介護予防 <u>リスクに該当</u>	83.8	<u>84.0</u>	12	
			12.5	44.0		
		①運動器の機能低下 <u>リスクに該当</u>	13.2	<u>11.3</u>	11	
			1.0	0.0	<u> </u>	
		②低栄養の傾向 <u>リスクに該当</u>	0.6	<u>0.3</u>	5	
		③口腔機能の低下 <u>リスクに該当</u>	22.2			
			21.5	<u>20.8</u>	9	
		ı			ı	

		指標となる項目	市内全域(%)	調査結果	地区		
		旧保こなる場合	第一圏域(%)	(%)	順位		
		 ④閉じこもり傾向 <u>リスクに該当</u>	33.6	<u>36.5</u>	22		
_		受別しこもり順円 <u>サスクに該当</u>	35.8	30.5	22		
般高	介護予防・生活	 ⑤認知機能の低下 <u>リスクに該当</u>	52.3	<u>50.6</u>	7		
齢	支援の視点	少心が11度形の位下 <u>ケスクに該当</u>	51.5	<u>50.0</u>	,		
者		 ⑥うつ傾向 <u>リスクに該当</u>	45.1	46.2	21		
の		◎ プラ順円 <u>サスツに該当</u>	44.1	<u>40.2</u>	21		
ビジ		健康状態がよい(主観的健康感)	79.0	80.5	13		
=	総合的な評価	健康(人思かない (土既时健康思)	81.1	80.5	13		
ン	指標	幸せと感じる割合が平均以上	61.8	62.1	14		
		(主観的幸福感)	61.1	02.1	14		
		介護保険以外のサービスを利用している	28.5	25.8	22		
		月 護休険以外のサービスを利用している	23.2	23.8	22		
		計明込庫ナ利田していて	18.2	100	00		
		訪問診療を利用している	16.1	13.2	29		
		もしものときのために、家族や医療関係	8.8	10.4	0		
	『本人』の在宅	本人』の在宅 │ 者と詳しく話しあったことがある	9.2	10.4	9		
	生活の継続性の確保の視点	在宅生活を続けていくために訪問系サー	23.7	00.0	0.4		
		ビスが必要だと思う	21.4	20.9	24		
			64.4	0.4.0	15		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	62.5	64.3			
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	76.9	10		
要		週切な仕毛介護生活の極続を美現している	73.6	76.9	10		
介譯		ナウル 成じて 人群は牡ルカル	5.1	5.5	9		
護者等			不安に感じる介護は特にない	4.4	5.5	9	
等		** **********************************	25.8	00.0	0.1		
の	家族等『介護			認知症状に対する <u>小女を感じる</u>	28.7	<u>28.6</u>	21
ビジ	者』の就労継 続の視点	仕事し入業ナモネスも フ	74.3	70.1	٥		
ョ	19607 176711	仕事と介護を両立できる	77.3	79.1	8		
ン		人=# + TB + 1 − m m + = m +	11.8	100	1.6		
		介護を理由に <u>離職・転職した</u>	12.9	<u>12.0</u>	16		
		キャキレーマの社会を加充ウギャフ	62.2	60.7	00		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	60.7	20		
		カルゴのしょったな人を加充ウギャフ	36.0	00.0	00		
	『サービス提供	お世話役としての社会参加意向がある	35.0	33.6	22		
	体制』の確保の 視点	ギニンニノマのゲリー プロタセリ インフ	13.8	167			
	176 MN	ボランティアのグループに参加している	14.0	15.7	6		
		144+-+	69.5	00.0	16		
		心場じ文抜じさることかめる	71.3	08.6			
	総合的な評価		29.5	00.0	00		
	指標	人生の最期を目宅・親族宅で迎えたい	28.5	26.9	22		
		地域で支援できることがある 人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	71.3 29.5	26.9			

(3)要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

①在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	17.6	調理	13.7	掃除•洗濯	19.8
買い物	20.3	ゴミ出し	14.3	外出同行	26.9
移送サービス	22.5	見守り、声かけ	19.8	通いの場	16.5
その他	4.9	特にない	19.2		

②住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的地域資源

サービス名	近隣の人にお願いしたい ことの割合(%)	地域でできる支援の割合 (%)
見守り	27.5	32.7
声かけ	29.1	35.8
外出同行	5.5	5.7
雪かき	30.8	17.3
庭の手入れ	13.2	9.1
ゴミ出し	11.0	15.7
買物	9.3	12.9
調理	5.5	6.6
掃除	7.7	14.2
着替え	2.7	2.5
季節用品の入替	6.6	1.9
電球交換	9.3	7.9
特にない(できない)	33.0	28.9
その他	2.2	2.5

第二圏域(大森)

1「楯山地区」

(1)地区の現状

表中()は市平均値

総人口(人)		高	齢者人口 (人)	高齢化率(%)	前期高齢者(人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
	4,640		1,741	37.5 (30.4)	793	948	54.5 (53.6)	
一般高齢者(人)	事業対	対象者	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者認定率(%)	
1,467		26	56	192	14.2 (16.1)	67	3.8 (5.8)	

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

「				市内全域(%)	調査結果	地区
口がたらのと口			第二圏域(%)	(%)	順位	
		/ /建	康高齢者	14.2	18.0	3
		烶	决问 即 行	13.0	16.0	
	高齢者像の	♠	護予防事業対象者	77.7	<u>76.0</u>	7
	出現率	21	<u>设了财争未对练有</u>	80.0		
		++	一ビス事業対象者	5.9	3.6	1
		<u>')</u>	<u> こへ事未列练日</u>	5.1	<u>3.0</u>	'
		ţ	世話役としての社会参加意向がある	36.0	30.8	29
		8	世間技どしての社会参加息向がある	33.4	30.6	29
		*	加者としての社会参加意向がある	62.2	60.4	21
		少	加有としての任芸参加息向かめる	59.3		
	社会参加の視点	#	きがいがある	61.1	63.3	8
		포	2 n.t.n.w.&	59.4		0
_		酒		33.4	39.3	3
般高		旭		37.9		
齢		酒	二回以上外出している	81.7	82.2	15
者		旭	二回以上が出している	76.0		
の			「らかの地域活動へ参加している -	66.8	65.7	19
ビジ				64.6		19
3			①ボランティアのグループに参加して いる	13.8	14.5 15.1	14
ン				15.6		14
			②スポーツ関係のグループやクラブに 参加している	20.2		27
				11.6		
			③趣味関係のグループに参加している	26.4	26.3	16
				22.5		10
			 ④学習・教養サークルに参加している	8.0	6.2	26
			サー・教食リーグルに参加している	5.6	0.2	

			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区順位		
			⑤介護予防のための通いの場に参加し ている	8.5 6.8	3.6	30	
	11		⑥老人クラブに参加している	4.7 5.0	5.9	7	
	社会参加の視点		⑦町内会・自治会に参加している	33.0 39.3	36.7	10	
			⑧収入のある仕事に参加している	27.5 27.0	25.7	24	
			- :段昇降(手すりや壁を伝わらずに)して -る	63.4 60.5	61.5	21	
	社会参加と生活 支援・介護予防			77.4 72.8	75.4	23	
	の両方の視点	15	分以上の歩行をしている	66.8	62.7	22	
		固	いものが <u>食べにくくなった</u>	30.0 34.4	<u>32.5</u>	24	
		お	茶や汁物で <u>むせる</u>	25.5 27.0	23.4	6	
一般高	介護予防点・生活		の渇きが <u>気になる</u>	25.0 26.5	<u>24.9</u>	15	
高齢者		毎	日歯磨きをしている	91.9 89.1	92.6	14	
ロのビジ			去一年間で転倒していない	68.0 63.0	68.3	14	
ジョン			康への関心がある	90.1 87.7	89.3	21	
			出を <u>控えている</u>	25.9 29.1	<u>27.5</u>	21	
			出を <u>控えている</u> 交通手段がない理由のみ)	12.7	<u>17.2</u>	27	
			月	に何度か以上誰かと食事をする	78.2 77.1	80.5	7
				I A D L の <u>低下に該当</u>	5.2 6.7	<u>5.6</u>	17
		知	的能動性の <u>低下に該当</u>	12.5 15.1	12.7	15	
		何	らかの介護予防 <u>リスクに該当</u>	84.3 86.0	80.5	4	
				①運動器の機能低下 <u>リスクに該当</u>	12.5 16.1	14.8	25
							②低栄養の傾向 <u>リスクに該当</u>
			③口腔機能の低下 <u>リスクに該当</u>	22.2 25.5	21.6	12	

		指標となる項目	市内全域(%)	調査結果	地区
		相保となる項目	第二圏域(%)	(%)	順位
		 ④閉じこもり傾向 <u>リスクに該当</u>	33.6	24.2	10
般高		母別しこもり傾向 <u>サスケに該当</u>	38.3	<u>34.3</u>	19
	介護予防・生活	(全国な) 株式 ロフカル また 半	52.3	<u>49.1</u>	0
高 齢	支援の視点	⑤認知機能の低下 <u>リスクに該当</u> 	52.5		3
者		(のこの傾向リスカル=	45.1	<u>43.5</u>	8
の		⑥うつ傾向 <u>リスクに該当</u>	46.6		0
ビジ		(は) () () () () () () () () ()	79.0	81.1	10
3	総合的な評価	健康状態がよい(主観的健康感)	79.1		10
ン	指標	幸せと感じる割合が平均以上	61.8	0.1.0	10
		(主観的幸福感)	58.4	61.3	18
		介護保険以外のサービスを利用している	28.5	00 F	10
		介護体膜以外のサービスを利用している	26.4	29.5	12
		計明シウナ利田レインフ	18.2	147	00
		訪問診療を利用している	17.2	14.7	23
		もしものときのために、家族や医療関係	8.8	1.0	0.7
	『本人』の在宅	者と詳しく話しあったことがある	6.3	4.2	27
	生活の継続性の 確保の視点	在宅生活を続けていくために訪問系サー	23.7	000	-
	世体の元杰	ビスが必要だと思う	24.7	26.3	5
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	64.2	16
			64.9		
		ウロシナウへボルイの砂はナウロしている	75.2	75.8	13
要		適切な在宅介護生活の継続を実現している	70.7		
介=##	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安に感じる介護は特にない 認知症状に対する <u>不安を感じる</u>	5.1	5.3	11
護者			4.0		
等			25.8	24.2	10
の			24.7		12
ビジ		<u> </u>	74.3	744	19
ンコ		仕事と介護を両立できる	75.4	74.4	
ン		A 5# 4 500 1 . 40 50		400	0.5
		介護を理由に <u>離職・転職した</u>	11.8 11.0	<u>16.9</u>	25
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	4-71-04A4-7-18-7	62.2	00.4	21 29
		参加者としての社会参加意向がある	59.3	60.4	
			36.0	00.0	
		お世話役としての社会参加意向がある	33.4	30.8	
		12->	13.8	145	
		ボランティアのグループに参加している	15.6	14.5	14
			69.5	64.2	
		地域で支援できることがある	67.1		25
	総合的な評価	1.0 S B 10.4 2.4 2.4 2.4 2.4 2.4 2.4 2.4 2.4 2.4 2	29.5	34.7	7
	指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	35.6		
			50.0		

①在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	18.9	調理	15.8	掃除•洗濯	22.1
買い物	14.7	ゴミ出し	14.7	外出同行	27.4
移送サービス	28.4	見守り、声かけ	17.9	通いの場	10.5
その他	8.4	特にない	21.1		

サービス名	近隣の人にお願いしたい ことの割合(%)	地域でできる支援の割合 (%)
見守り	26.3	28.4
声かけ	31.6	36.7
外出同行	5.3	8.0
雪かき	24.2	15.7
庭の手入れ	7.4	11.8
ゴミ出し	10.5	15.7
買物	12.6	15.1
調理	4.2	6.5
掃除	7.4	16.3
着替え	1.1	5.3
季節用品の入替	0.0	3.6
電球交換	3.2	8.3
特にない(できない)	38.9	33.4
その他	0.0	1.8

第二圏域(大森)

2 「高瀬地区」

(1)地区の現状

表中()は市平均値

総人口(人)		高	齢者人口 (人)	高齢化率(%)	前期高齢者(人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
	3,174		1,351	42.6 (30.4)	586	765	56.6 (53.6)
一般高齢者 (人)		対象者	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者認定率(%)
1,030		23	43	255	22.1 (16.1)	169	12.5 (5.8)

令和5年1月5日時点

		;	指標となる項目	市内全域(%)第二圏域(%)	調査結果	地区順位	
		健	康高齢者	14.2 13.0	9.0	30	
	高齢者像の 出現率	介	護予防事業対象者	77.7 80.0	<u>81.9</u>	28	
		<u>サ</u>	ービス <u>事業対象者</u>	5.9 5.1	<u>6.8</u>	22	
		お	世話役としての社会参加意向がある	36.0 33.4	37.7	9	
		参	加者としての社会参加意向がある	62.2 59.3	61.6	19	
		生	きがいがある	61.1 59.4	61.0	18	
一般		週	に何度か以上友人・知人と会う	33.4 37.9	40.3	2	
高齢者		週	二回以上外出している	81.7 76.0	73.9	28	
ロのビジ	社会参加の視点	①ボラン いる ②スポー	参加の視点 何らかの地域活動へ参加している	らかの地域活動へ参加している	66.8 64.6	63.8	24
ジョン			①ボランティアのグループに参加している	13.8 15.6	16.5	4	
			②スポーツ関係のグループやクラブに 参加している	20.2	10.3	29	
			③趣味関係のグループに参加している	26.4 22.5	19.4	30	
		④学習・教	④学習・教養サークルに参加している	8.0 5.6	5.5	28	

			指標となる項目	市内全域(%)	調査結果	地区順位						
			⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5 6.8	9.7	8						
			⑥老人クラブに参加している	4.7 5.0	5.8	8						
	社会参加の視点		⑦町内会・自治会に参加している	33.0 39.3	37.7	9						
			⑧収入のある仕事に参加している	27.5 27.0	28.1	14						
			段昇降(手すりや壁を伝わらずに)して る	63.4 60.5	61.9	19						
	社会参加と生活 支援・介護予防 の両方の視点		子からの立ち上がり (何もつかまらず) している	77.4 72.8	70.6	30						
	のが同りのが洗涤	15	分以上の歩行をしている	66.8 61.7	61.6	24						
		固	いものが <u>食べにくくなった</u>	30.0 34.4	<u>32.3</u>	23						
		お茶や汁物で <u>むせる</u> 25.5 27.0口の渇きが気になる25.0 26.5	30.0	29								
般			の渇きが <u>気になる</u>		<u>26.1</u>	21						
高齢者			毎	日歯磨きをしている	91.9 89.1	88.1	27					
のビジ				過	去一年間で転倒していない	68.0 63.0	57.1	30				
ンヨン								健	康への関心がある	90.1 87.7	88.4	23
					外	出を <u>控えている</u>	25.9 29.1	<u>30.6</u>	29			
	介護予防・生活 支援の視点		出を <u>控えている</u> <u>交通手段がない理由のみ)</u>	12.7 14.6	<u>8.4</u>	3						
		月	に何度か以上誰かと食事をする	78.2 77.1	75.5	26						
		I	A D L の <u>低下に該当</u>	5.2 6.7	<u>6.5</u>	23						
		知	的能動性の <u>低下に該当</u>	12.5 15.1	<u>17.1</u>	30						
		何らかの介	らかの介護予防 <u>リスクに該当</u>	84.3 86.0	<u>89.4</u>	29						
				①運動器の機能低下 <u>リスクに該当</u>	12.5 16.1	<u>15.5</u>	28					
									②低栄養の傾向 <u>リスクに該当</u>	1.0 0.8	0.6	9
			③口腔機能の低下 <u>リスクに該当</u>	22.2 25.5	<u>25.5</u>	27						

一般 高齢者の ごジョン④閉じこもり傾向リスクに該当33.6 38.33⑤認知機能の低下リスクに該当52.3 52.55⑥うつ傾向リスクに該当45.1 46.646.6総合的な評価 指標健康状態がよい(主観的健康感)79.0 79.1本せと感じる割合が平均以上 (主観的幸福感)61.8 58.45	39.4 2 55.2 2 18.4 2 31.6 9	頁位 28 26 28 9
一般高齢者の が護予防・生活支援の視点 ⑤認知機能の低下リスクに該当 52.3 5 ⑥うつ傾向リスクに該当 45.1 46.6 46.6 ビジョ 総合的な評価 指標 健康状態がよい(主観的健康感) 79.0 8 本せと感じる割合が平均以上 (主観的幸福感) 61.8 58.4 介護保険以外のサービスを利用している 28.5 2	55.2 2 18.4 2 31.6 9	26 28 9
分護予防・生活 支援の視点 ⑤認知機能の低下リスクに該当 52.3 5 ⑥うつ傾向リスクに該当 45.1 46.6 4 どジョ 総合的な評価 指標 健康状態がよい(主観的健康感) 79.0 8 本せと感じる割合が平均以上 (主観的幸福感) 61.8 5 介護保険以外のサービスを利用している 28.5 2	55.2 2 18.4 2 31.6 9	26 28 9
高齢者のできる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 <u>8.4</u> 2 31.6 9	28
齢者の じジョ 総合的な評価 とは	1 <u>8.4</u> 2 31.6 9	28
者ののビジョ 総合的な評価 健康状態がよい(主観的健康感) 79.0 79.1 8 本せと感じる割合が平均以上 (主観的幸福感) 61.8 58.4 5 介護保険以外のサービスを利用している 28.5 2	31.6	9
ば ジョ 総合的な評価 健康状態がよい (主観的健康感) 79.0 指標 幸せと感じる割合が平均以上 (主観的幸福感) 61.8 小護保険以外のサービスを利用している 28.5	31.6	9
ジョ 総合的な評価 健康状態がよい (主観的健康感) 79.1 指標 幸せと感じる割合が平均以上 (主観的幸福感) 61.8 5 介護保険以外のサービスを利用している 28.5 2		
ョ 総合的な評価 79.1 ン 指標 幸せと感じる割合が平均以上 (主観的幸福感) 61.8 小護保険以外のサービスを利用している 28.5		
(主観的幸福感) 58.4 か護保険以外のサービスを利用している 28.5	58.1 2	24
(土観的辛福恩) 58.4 28.5 28.5 2	70.1 2	24
│		
月	23.2 2	25
20.4	.3.2 2	25
訪問診療を利用している 18.2 1	7.0 1	15
一	7.9	10
もしものときのために、家族や医療関係 8.8	0.0 1	1 5
『本八』の仕七 有と詳しく話しめつにことかめる 63	8.9 1	15
生活の継続性の 在宅生活を続けていくために訪問系サー 23.7)F 0 1	13
ビスが必要だと思う 24.7	25.0 1	13
	0.7	00
人生の最期を迎える場所の希望がある 64.9	30.7 2	22
	20.0	00
岁 70.7	39.6	23
介 -	0.0	10
護者 不安に感じる介護は特にない 4.0	3.6	18
等 25.8 。	0.1	00
O 家族等『介護 $	<u>32.1</u> 2	29
ビ 者』の就労継 ジ 続の視点 仕事と介護を両立できる 74.3 7	75.0	10
ジ 続の視点 仕事と介護を両立できる	75.0	16
) A=# + TH + I= 94 PM	4.0	_
	<u>4.9</u> 3	3
	10 1	10
参加者としての社会参加意向がある 59.3	31.6	19
	77 /	^
	37.7	9
体制』の確保の	0.5	4
祝点 ボランティアのグループに参加している 15.6 15.6	6.5	4
111111 T T T T T T T T T T T T T T T T		4.4
地域で支援できることがある 67.1 6	69.4	14
総合的な評価 しょの見まれた中央 知性中央 29.5	0.1	4.4
	32.1 1	11

①在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	12.5	調理	8.9	掃除•洗濯	10.7
買い物	19.6	ゴミ出し	21.4	外出同行	32.1
移送サービス	28.6	見守り、声かけ	21.4	通いの場	12.5
その他	7.1	特にない	19.6		

サービス名	近隣の人にお願いしたい ことの割合(%)	地域でできる支援の割合 (%)
見守り	33.9	27.4
声かけ	39.3	36.8
外出同行	3.6	9.4
雪かき	26.8	17.4
庭の手入れ	10.7	16.1
ゴミ出し	7.1	15.5
買物	5.4	12.6
調理	3.6	7.7
掃除	5.4	15.5
着替え	0.0	4.2
季節用品の入替	1.8	1.9
電球交換	7.1	5.8
特にない(できない)	35.7	25.8
その他	1.8	1.9

第二圏域 (大森)

3「山寺地区」

(1)地区の現状

表中()は市平均値

総人口(人)		高	齢者人口 (人)	高齢化率(%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
	1,038		509	49.0 (30.4)	247	262	51.5 (53.6)
一般高齢者 (人)		対象者	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者認定率(%)
421		12	18	58	14.9 (16.1)	24	4.7 (5.8)

令和5年1月5日時点

			指標となる項目	市内全域(%)	調査結果	地区
		ı		第二圏域(%)	(%)	順位
		健	康高齢者	14.2	10.1	27
		IÆ.		13.0	10.1	
	高齢者像の	٨	護予防事業対象者	77.7	84.3	30
	出現率	7	<u>设了财争未对承任</u>	80.0	04.5	30
		ш.	ービス事業対 <u>象者</u>	5.9	E 1	10
		<u> </u>	一上へ争未刈豕在	5.1	<u>5.1</u>	10
		٠.	単三仏し」 ての社人を加充力だれて	36.0	00.0	00
		හ	世話役としての社会参加意向がある	33.4	30.9	28
				62.2	50.4	0.0
		参加者としての社会参加意向がある	加者としての社会参加息向かある	59.3	53.4	29
			4 + 13, . 13 + 7	61.1	49.4	
		生	きがいがある	59.4		30
_		週に何度か以上友人・知人と会う	週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	30.9	21
般				37.9		
高齢				81.7	00.0	00
者	11 1 2 1 2 2 2 2		週二回以上外出している	76.0	68.0	30
の	社会参加の視点	,_	> 1 = 14 Lb w = 1	66.8		
ビジ		们	らかの地域活動へ参加している	64.6	63.9	22
ショ			①ボランティアのグループに参加して	13.8		_
ン			いる	15.6	16.3	5
			②スポーツ関係のグループやクラブに	20.2		
			参加している	11.6	7.3	30
				26.4		
		③趣味関係のグループに参加している	22.5	20.8	28	
				8.0		
			④学習・教養サークルに参加している	5.6	4.5	30

		 指標となる項目	市内全域(%)	調査結果	地区				
		1日本Cのの名口 	第二圏域(%)	(%)	順位				
		⑤介護予防のための通いの場に参加し	8.5	7.9	18				
		ている	6.8	7.5	10				
		 ⑥老人クラブに参加している	4.7	1.7	27				
	社会参加の視点	してバップノに参加している	5.0	1.7	21				
	仕去参加の代点	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	47.2	1				
		グ町内芸・日泊芸に参加している	39.3	47.2	'				
		⑧収入のある仕事に参加している	27.5	07.5	10				
		②収入のある仕事に参加している	27.0	27.5	10				
		階段昇降(手すりや壁を伝わらずに)して	63.4	FC 0	00				
		いる	60.5	56.2	30				
	社会参加と生活		77.4	71.0	00				
	支援・介護予防 の両方の視点	に) している	72.8	71.3	29				
	の一回フリッカ派	450 1 1545 - 4 7	66.8	20.4					
		15分以上の歩行をしている	61.7	60.1	25				
			30.0						
		固いものが <u>食べにくくなった</u>	34.4	<u>41.6</u>	30				
			25.5						
		お茶や汁物で <u>むせる</u>	27.0	<u>28.7</u>	28				
_			25.0	30.3					
般		ロの渇きが <u>気になる</u>	26.5		28				
高			91.9						
齢 者		毎日歯磨きをしている	89.1	84.3	30				
りの			68.0						
ビビジ		過去一年間で転倒していない	63.0	62.9	28				
ジ									
∃		健康への関心がある	90.1	83.1	30				
ン			87.7						
		外出を <u>控えている</u>	25.9	<u> 29.2</u>	28				
	A =# = RL		29.1						
	介護予防・生活 支援の視点	外出を <u>控えている</u> (交通手段がない理由のみ)	12.7	<u>21.2</u>	30				
	又抜い代点	(文通于技がない珪田のみ)	14.6		28 30 28				
		月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	73.6	30				
			77.1						
		IADLの低下に該当	5.2	9.0	30				
			6.7						
		知的能動性の <u>低下に該当</u>	12.5	<u>16.3</u>	29				
		,	15.1	<u> </u>					
		何らかの介護予防 <u>リスクに該当</u>	84.3	90.2	30				
		1. 2. W 1 HX 1 M 7. W 1 T 1 T 1 T 1 T 1 T 1 T 1 T 1 T 1 T 1	86.0	<u> </u>					
		│ │①運動器の機能低下 <u>リスクに該当</u>	12.5	<u> 19.7</u>	30				
			16.1	13.7	3U				
		②低栄養の傾向 <u>リスクに該当</u>	1.0	<u>0.6</u>	9				
			0.8	<u>0.0</u>					
						②□肺機能の低下リフタに誘地	22.2	22.1	20
		③口腔機能の低下 <u>リスクに該当</u> 	25.5	<u>33.1</u>	30				

# 画版 (%)			指標となる項目	市内全域(%)	調査結果	地区
(4)			相保となる項目	第二圏域(%)	(%)	順位
###				33.6	42.0	20
高	<u> </u>		毎別しこもり傾向 <u>サスクに該当</u>	38.3	<u>43.0</u>	30
齢	般古		⑤羽知郷鉛の低下リフカに転出	52.3	545	24
(⑥うつ傾向リスクに該当 45.1 49.4 29 46.6 79.0 70.8 30 79.1 70.8 30 79.1 70.8 30 79.1 70.8 30 79.1 70.8 30 79.1 70.8 30 79.1 70.8 30 79.1 70.8 30 79.1 70.8 30 79.1 70.8 30 79.1 70.8 30 79.1 70.8 30 79.1 70.8 30 79.1 70.8 30 79.1 70.8 30 79.1 70.8 79.1 70.8 79.1 70.8 79.1 70.8 79.1 70.8 70.8 70.8 70.1 70.8 70.8 70.1 70.8 70.8 70.1 70.8 70.8 70.1 70.8 70.8 70.1 70.8 70.8 70.1 70.8 70.1 70.8 70.1 70.8 70.1 70.8 70.1 70.8 70.1 70.8 70.1 70.8 70.1 70.8 70.1 70.1 70.1 70.1 70.1 70.1 70.1 70.1	向輪	支援の視点	③認知機能の低下 <u>リスクに該当</u>	52.5	<u>34.3</u>	24
### (全)			② 3 ~ 個白リスカに 禁火	45.1	40.4	20
ジョン 総合的な評価 健康状態がよい(主観的健康感) 79.1 79.1 79.1			して フ順円 <u>リスクに該当</u>	46.6	<u>49.4</u>	29
報告的な評価 指標	ا ا		は中代的なとし、(十年のは中国)	79.0	70.0	20
(主観的を福感) 58.4 53.3 30 30 30 30 30 30 30		総合的な評価	健康仏態がよい (土観的健康総)	79.1	70.8	30
(土銭的学信徳)	ン	指標	幸せと感じる割合が平均以上	61.8	500	20
東本人』の在宅生活の継続性の確保の視点 18.2 17.2 26.1 2 17.2 26.1 2 17.2 26.1 2 17.2 26.1 2 17.2 26.1 2 17.2 26.1 2 17.2 26.1 2 17.2 26.1 2 17.2 26.1 2 17.2 26.1 17.2 26.1 2 17.2 26.1 2 17.2 26.1 2 17.2 26.1 2 17.2 26.1 2 17.2 26.1 2 17.2 26.1 2 17.2 26.1 2 17.2 26.1 2 17.2 26.1 2 17.2 29.1 27.2 24.7 24.7 29.1 24.7 24.7 29.1 24.7 24.7 29.1 24.7 24.7 29.1 24.7 24.7 29.1 24.7 24.7 29.1 24.7 29.1 24.7 24.7 29.1 24.7 29.1 24.7 25.2 30.1 29.1 25.1 25.2 30.1 29.1 25.1 25.2 30.1 29.1 25.1 25.1 25.1 25.1 25.1 25.1 25.1 25			(主観的幸福感)	58.4	53.3	30
『本人』の在宅生活の継続性の確保の視点 18.2			◇雑保除いめのサービスを利用している	28.5	01.7	26
下本人』の在宅 生活の総続性の確保の視点			月設体膜以外のサービスを利用している	26.4	21.7	20
『本人』の在宅生活の継続性の確保の視点 もしものときのために、家族や医療関係者と詳しく話しあったことがある石宅生活を続けていくために訪問系サービスが必要だと思う 24.7 17.4 29 23.7 17.4 29 人生の最期を迎える場所の希望がある 64.4 人生の最期を迎える場所の希望がある 64.9 78.3 2 70.7 70.7 70.7 70.7 70.7 70.7 70.7 70			計明シウナ利田レインフ	18.2	06.1	0
『本人』の在宅生活の継続性の確保の視点 者と詳しく話しあったことがある 6.3 8.7 16 生活の継続性の確保の視点 在宅生活を続けていくために訪問系サービスが必要だと思う 24.7 17.4 29 人生の最期を迎える場所の希望がある 適切な在宅介護生活の継続を実現している 適切な在宅介護生活の継続を実現している 64.4 78.3 2 不安に感じる介護は特にない 5.1 0.0 28 認知症状に対する不安を感じる 24.7 24.7 1 オートの視点 できる 75.4 83.3 4 イ護を理由に離職・転職した 11.0 11.8 0.0 1 か護を理由に離職・転職した 11.0 59.3 53.4 29 参加者としての社会参加意向がある 59.3 33.4 30.9 28 お世話役としての社会参加意向がある 33.4 30.9 28 ボランティアのグループに参加している 13.8 15.6 69.5 地域で支援できることがある 69.5 69.5 68.5 17 総合的な評価 人生の最期を自字・親族字で迎えたい 29.5 47.8 1			訪問診療を利用している	17.2	20.1	2
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##			もしものときのために、家族や医療関係	8.8	0.7	16
確保の視点			者と詳しく話しあったことがある	6.3	8.7	16
要介護者等のビジョン スが必要だと思う 24.7 78.3 2 素族等『介護者等のビジョン 不安に感じる介護は特にない 5.1 0.0 28 家族等『介護者』の就労継続の視点 25.8 8.7 1 仕事と介護を両立できる 75.4 83.3 4 介護を理由に離職・転職した 11.8 0.0 1 が護を理由に離職・転職した 11.0 0.0 1 参加者としての社会参加意向がある 36.0 30.9 28 お世話役としての社会参加意向がある 36.0 30.9 28 ボランティアのグループに参加している 13.8 16.3 5 地域で支援できることがある 69.5 68.5 17 総合的な評価 人生の最期を自宅・親族字で迎えたい 29.5 47.8 1			在宅生活を続けていくために訪問系サー	23.7	17.4	00
要介護者等のじざり人生の最期を迎える場所の希望がある64.978.32変族等『介護者』の就労継続の視点不安に感じる介護は特にない5.10.028認知症状に対する不安を感じる25.88.71仕事と介護を両立できる74.383.34介護を理由に離職・転職した11.811.00.01参加者としての社会参加意向がある。根点36.033.429お世話役としての社会参加意向がある。根点33.430.928ボランティアのグループに参加している。根点13.815.616.35地域で支援できることがある69.569.568.517総合的な評価人生の最期を自宅・親族字で迎えたい29.547.81			ビスが必要だと思う	24.7	1 /.4	29
要介護者等のピジョン				64.4	78.3	2
要介護者等のに対しているできるののに対します。ありなる主義のできるのできるのできるである。大生のでは、大生のでは、大生のでは、できるである。1 (1.8) (1.0) (1.			人生の販期を迎える場所の布室がある	64.9		2
(大)			************************************	75.2	F0.0	20
護者等の にごうか護は特にない 4.0 0.0 28 家族等『介護者』の就労継続の視点 25.8 8.7 1 仕事と介護を両立できる 74.3 83.3 4 介護を理由に離職・転職した 11.8 0.0 1 参加者としての社会参加意向がある 62.2 53.4 29 お世話役としての社会参加意向がある 36.0 30.9 28 ボランティアのグループに参加している 13.8 16.3 5 地域で支援できることがある 69.5 69.5 68.5 17 総合的な評価 人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい 29.5 47.8 1			週切な仕毛介護生活の継続を美境している	70.7	52.2	30
等のできる 25.8 8.7 1 な族等『介護者』の就労継続の視点 仕事と介護を両立できる 74.3 83.3 4 介護を理由に離職・転職した 11.8 0.0 1 が護を理由に離職・転職した 11.0 0.0 1 参加者としての社会参加意向がある 59.3 53.4 29 お世話役としての社会参加意向がある 36.0 30.9 28 ボランティアのグループに参加している 13.8 16.3 5 地域で支援できることがある 69.5 69.5 68.5 17 総合的な評価 人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい 29.5 47.8 1	介 ====================================		ナウに成じて人部ははいか い	5.1	0.0	00
等のできる 25.8 8.7 1 な族等『介護者』の就労継続の視点 仕事と介護を両立できる 74.3 83.3 4 介護を理由に離職・転職した 11.8 0.0 1 が護を理由に離職・転職した 11.0 0.0 1 参加者としての社会参加意向がある 59.3 53.4 29 お世話役としての社会参加意向がある 36.0 30.9 28 ボランティアのグループに参加している 13.8 16.3 5 地域で支援できることがある 69.5 69.5 68.5 17 総合的な評価 人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい 29.5 47.8 1	き		个女に感じる介護は特にない	4.0	0.0	28
家族等『介護者』の就労継続の視点 仕事と介護を両立できる 74.3 83.3 4 (上事と介護を両立できる 介護を理由に離職・転職した 11.8 0.0 1 (上事と介護を両立できる 53.4 29 第十一ビス提供体制』の確保の視点 お世話役としての社会参加意向がある 36.0 33.4 29 総合的な評価 大生の最期を自宅・親族宅で迎えたい 29.5 47.8 1 ※紹合的な評価 人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい 29.5 47.8 1	等			25.8	0.7	4
続の視点仕事と介護を両立できる74.3 75.483.34介護を理由に離職・転職した11.8 11.00.01参加者としての社会参加意向がある62.2 59.353.429お世話役としての社会参加意向がある36.0 	の		認知症状に対する <u>个安を感しる</u>	24.7	<u>8.7</u>	1
1			リ ェ エム・サイエー・フ	74.3	00.0	4
### 11.0		19607 176711	仕事と介護を両立じさる	75.4	83.3	4
『サービス提供体制』の確保の視点 参加者としての社会参加意向がある 59.3 53.4 29 総合的な評価 大生の最期を自宅・親族宅で迎えたい 36.0 30.9 28 がある 13.8 16.3 5 総合的な評価 大生の最期を自宅・親族宅で迎えたい 29.5 47.8 1	ン		<u> </u>	11.8	0.0	4
『サービス提供体制』の確保の視点 お世話役としての社会参加意向がある 36.0 30.9 28 ボランティアのグループに参加している視点 13.8 16.3 5 地域で支援できることがある 69.5 69.5 67.1 68.5 17 総合的な評価 人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい 29.5 47.8 1			介護を埋田に <u>離職・転職し/に</u>	11.0	<u>0.0</u>	1
『サービス提供体制』の確保の視点 お世話役としての社会参加意向がある 36.0 30.9 28 総合的な評価 大生の最期を自宅・親族宅で迎えたい 13.8 15.6 69.5 68.5 17 総合的な評価 人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい 29.5 47.8 1			소 m 공 l . l	62.2	F0.4	00
『サービス提供体制』の確保の視点 お世話役としての社会参加意向がある 33.4 30.9 28 ボランティアのグループに参加している 13.8 16.3 5 地域で支援できることがある 69.5 69.5 67.1 総合的な評価 人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい 29.5 47.8 1			少加有とし(の任芸 変加息内かめる	59.3	ეკ.4	29
本制』の確保の 視点			か出気のし」でのなるをも立ちまっ	36.0	20.0	00
視点 ボランティアのグループに参加している 13.8 16.3 5 地域で支援できることがある 69.5 67.1 68.5 17 総合的な評価 人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい 29.5 47.8 1			ゎ Ľ話佼とし(の任会参加息问かめる	33.4	30.9	28
15.6 15.6			ギニンニ ノマのゲルー プログセンマンフ	13.8	10.0	_
地域で支援できることがある 67.1 総合的な評価 人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい 47.8 1		DO AN	™ ボランティアのグループに参加している 	15.6	16.3	5
67.1 総合的な評価 人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい 29.5 47.8 1			ルル・マナダー・ファー・バーフ	69.5	00.5	47
総合的な評価 人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい 29.5 47.8 1			地球で文援できることがある	67.1	68.5	17
		総合的な評価			47.0	
30.0		指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	35.6	47.8	1

①在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	17.4	調理	8.7	掃除•洗濯	13.0
買い物	17.4	ゴミ出し	8.7	外出同行	30.4
移送サービス	8.7	見守り、声かけ	21.7	通いの場	13.0
その他	0.0	特にない	30.4		

サービス名	近隣の人にお願いしたい ことの割合(%)	地域でできる支援の割合 (%)
見守り	30.4	30.9
声かけ	21.7	35.4
外出同行	17.4	7.9
雪かき	21.7	24.2
庭の手入れ	8.7	15.2
ゴミ出し	13.0	19.1
買物	13.0	15.2
調理	8.7	4.5
掃除	13.0	18.0
着替え	4.3	0.0
季節用品の入替	8.7	2.8
電球交換	13.0	12.4
特にない(できない)	34.8	31.5
その他	4.3	1.1

第三圏域(敬寿会)

1「鈴川地区」

(1)地区の現状

表中()は市平均値

総人口(人)		高	齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
18,269			5,475	30.0 (30.4)	2,415	3,060	55.9 (53.6)
一般高齢者 事業対 (人)			要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者認定率(%)
4,521		90	212	652	15.8 (16.1)	250	4.6 (5.8)

令和5年1月5日時点

		指標となる項目	市内全域(%)	調査結果 (%)	地区順位
Г		健康高齢者	14.2	14.1	15
	高齢者像の 出現率	<u>介護予防事業対象者</u>	77.7 73.4	<u>73.4</u>	3
		サービス事業対象者	5.9 9.0	9.0	30
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0 34.8	34.8	20
		参加者としての社会参加意向がある	62.2 58.2	58.2	24
		生きがいがある	61.1 59.6	59.6	21
一般高		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4 32.2	32.2	19
齢者	ᅶᄼᆇᇄᇬᆌᆦ	週二回以上外出している	81.7 77.4	77.4	24
のビジ	社会参加の視点	何らかの地域活動へ参加している	66.8 61.0	61.0	30
ンョン		①ボランティアのグループに参加して いる	13.8 10.9	10.9	28
		②スポーツ関係のグループやクラブに 参加している	20.2 21.0	21.0	14
		③趣味関係のグループに参加している	26.4 22.1	22.1	24
		④学習・教養サークルに参加している	8.0 6.6	6.6	23

		指標となる項目	市内全域(%)第三圏域(%)	調査結果	地区順位				
		⑤介護予防のための通いの場に参加し	8.5	6.4	26				
		ている	6.4	0.4	20				
		 ⑥老人クラブに参加している	4.7	4.5	13				
	社会参加の視点		4.5	4.0	10				
	江五岁加切九州	 ⑦町内会・自治会に参加している	33.0	27.1	24				
		WHITIA BILLIAN CO.	27.1	27.1	27				
		 ⑧収入のある仕事に参加している	27.5	23.7	27				
		© KX (0 00 0 E 7 1 - 9 // 0 C C 0	23.7	20.7					
		階段昇降(手すりや壁を伝わらずに)して	63.4	66.2	6				
	社会参加と生活	いる	66.2	00.2					
	社会参加と主店 支援・介護予防	椅子からの立ち上がり(何もつかまらず	77.4	75.8	21				
	の両方の視点	に) している	75.8	, 6.6					
		15分以上の歩行をしている	66.8	68.1	13				
			68.1						
		固いものが食べにくくなった	30.0	<u>31.4</u>	21				
			31.4	25.3 25.3					
		お茶や汁物でむせる	25.5		13				
		00/K (/ 1 // 2 <u>0 0 0</u>	25.3						
般		ロの渇きが <u>気になる</u>	25.0		19				
高		<u> </u>	25.3						
齢		毎日歯磨きをしている	91.9	90.2	24				
者の			90.2						
のビ		過去一年間で転倒していない	68.0		10				
ビジ			68.9						
3		健康への関心がある	90.1	90.7	13				
ン							90.7		
				外出を <u>控えている</u>	25.9 27.7	<u>27.7</u>	22		
				人群又吐 上江	人群又吐 北江	M 山ナhウニーフェフ	12.7		
	が護予防・生活 支援の視点	外出を <u>控えている</u> (交通手段がない理由のみ)	7.7	<u>7.7</u>	1				
	20,000	123021127	78.2						
		月に何度か以上誰かと食事をする	81.9	81.9	4				
			5.2						
		I A D L の <u>低下に該当</u>	6.6	<u>6.6</u>	24				
			12.5						
		知的能動性の <u>低下に該当</u>	15.2	<u>15.2</u>	27				
			84.3						
		何らかの介護予防 <u>リスクに該当</u>	83.4	<u>83.4</u>	11				
			12.5						
		①運動器の機能低下 <u>リスクに該当</u>	12.5	<u>12.5</u>	17				
			1.0		+				
		②低栄養の傾向 <u>リスクに該当</u>	2.9	<u>2.9</u>	30				
			22.2	00.4					
		③口腔機能の低下 <u>リスクに該当</u>	23.4	<u>23.4</u>	21				

		化梅 しかて 石口	市内全域(%)	調査結果	地区	
		指標となる項目 	第三圏域(%)	(%)	順位	
		 ④閉じこもり傾向 <u>リスクに該当</u>	33.6	34.6	20	
_		(4)別じこもり傾向 <u>サスクに該当</u>	34.6	<u>34.0</u>	20	
般高	介護予防・生活	 ⑤認知機能の低下 <u>リスクに該当</u>	52.3	<u>52.9</u>	16	
齢	支援の視点	③認知機能の低下 <u>サスクに該当</u>	52.9	<u>52.9</u>	10	
者		 ⑥うつ傾向 <u>リスクに該当</u>	45.1	45.7	19	
の		◎ プラ順问 <u>サスクに該当</u>	45.7	<u>43.7</u>	19	
ビジ		健康状態がよい(主観的健康感)	79.0	75.5	28	
]	総合的な評価	健康状態がよい (土観的健康窓)	75.5	73.3	20	
ン	指標	幸せと感じる割合が平均以上	61.8	60.0	22	
		(主観的幸福感)	60.0	00.0	22	
		介護保険以外のサービスを利用している	28.5	27.2	19	
		月 長 体 険 ぬ か め か と へ を や 用 し こ い る	27.2	21.2	19	
		訪問診療を利用している	18.2	12.6	30	
		初回診療を利用している	12.6	12.0	30	
		もしものときのために、家族や医療関係	8.8	8.7	16	
	『本人』の在宅 生活の継続性の	者と詳しく話しあったことがある	8.7	0.7	10	
	全活の継続性の 確保の視点	在宅生活を続けていくために訪問系サー	23.7	22.5	19	
		ビスが必要だと思う	22.5	22.5	13	
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	62.9	20	
			62.9	02.9	20	
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	72.2	20	
要		週初な仕七月設土冶の極帆を失坑している	72.2	12.2	20	
介羅		不安に感じる介護は特にない	5.1	4.5	16	
護 者		1	不女に感しる介護は特にない	4.5	4.0	10
等		 	25.8	24.3	13	
の	家族等『介護 者』の就労継		ac An ME 1人(こと) する <u>小女を添しる</u>	24.3	<u>24.5</u>	13
ビジ	右』の叔刃極 続の視点	仕事と介護を両立できる	74.3	73.0	20	
=		仕事と月 暖を 岡立 くさる	73.0	73.0	20	
ン		介護を理由に離職・転職した		<u>10.2</u>	9	
		月 接 で 垤 田 に <u>唯 報 ・ 粒 報 し / こ</u>	10.2	10.2	9	
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	58.2	24	
		参加省としての社会参加息向がある	58.2	36.2	24	
		な冊託役としての社会参加章向がある	36.0	34.8	20	
	『サーヒス提供 体制』の確保の	ナービス提供 お世話役としての社会参加意向がある		54.0	20	
	視点	ボランティアのグループに参加している	13.8	10.9	28	
		ハンファインのフル フに参加している	10.9	10.9		
		地域で支援できることがある	69.5	62.0	29	
		♪□-% (又]及 (C '0 C C /J '0)'0	62.0	02.0		
	総合的な評価	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	28.1	17	
	指標	八工の取捌で日七・祝佚七で迎んだい	28.1	20.1	17	

①在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	16.8	調理	15.9	掃除•洗濯	23.7
買い物	20.7	ゴミ出し	14.1	外出同行	32.3
移送サービス	28.4	見守り、声かけ	22.8	通いの場	17.7
その他	6.9	特にない	21.9		

サービス名	近隣の人にお願いしたい ことの割合(%)	地域でできる支援の割合 (%)
見守り	29.6	24.7
声かけ	29.6	33.5
外出同行	7.2	6.4
雪かき	35.3	19.4
庭の手入れ	11.4	11.2
ゴミ出し	9.3	18.4
買物	8.4	12.8
調理	5.4	6.1
掃除	8.4	14.9
着替え	3.3	2.9
季節用品の入替	3.6	4.3
電球交換	7.2	8.5
特にない(できない)	29.9	34.3
その他	1.5	2.1

第四圏域(たきやま)

1「滝山地区」

(1)地区の現状

表中()は市平均値

	総人口 (人) 23,155		高	齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
				6,215	26.8 (30.4)	3,048	3,167	51.0 (53.6)
ı	一般高齢者 (人)			要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者認定率(%)
	5,216		116	208	675	14.2 (16.1)	258	4.2 (5.8)

令和5年1月5日時点

	指標となる項目				調査結果	地区		
			第四圏域(%)	(%)	順位			
		/z ±	康高齢者	14.2	13.5	19		
		煡		13.5	13.5	19		
	高齢者像の	٨	護予防事業対象者	77.7	01.5	27		
	出現率	ᄁ	<u> </u>	81.5	<u>81.5</u>	21		
		++	一ビス事業対象者	5.9	<u>3.7</u>	2		
		<u>, </u>	一し八事未対象有	3.7	<u>3.1</u>			
		Ł	世話役としての社会参加意向がある	36.0	39.7	5		
		ઠ	但語校としての社会参加息向がある	39.7	39.7	5		
		会	加者としての社会参加意向がある	62.2	60.2	2		
		参加有としての社会参加	加有としての社会参加息円がある	68.3	68.3			
		#	生きがいがある	61.1	63.1	10		
		Ħ	2 n. ('n' 6) a	63.1		10		
_		<u>:</u>)	に何度か以上友人・知人と会う	33.4	33.2 84.3	12		
般高		過 会参加の視点	に何度が以工及人・如人と去り	33.2		12		
齢			週二回以上外出している	81.7		9		
者	サク券加の担占		<u> </u>	9	二回以上が出している	84.3	04.3	9
の	社会参加の代点		 何らかの地域活動へ参加している	66.8	71.8	4		
ビジ		[P]	らかの地域治動、参加している	71.8	71.0	4		
=			①ボランティアのグループに参加して	13.8	14.5	14		
ン			いる	14.5	14.5	14		
			②スポーツ関係のグループやクラブに	20.2	24.6	4		
			参加している	24.6	24.0	4		
				26.4	31.1	3		
		③趣味関係のグループに参加して	②歴外国派のグループに参加している	31.1	31.1	ა		
			④学習・教養サークルに参加している	8.0	11.1	3		
			サー・双食リーグルに参加している	11.1	11.1	3		

			指標となる項目	市内全域(%)	調査結果	地区順位					
			⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	8.9	15					
			61.9	8.9							
			⑥老人クラブに参加している	4.7	4.6	12					
	社会参加の視点			4.6							
			⑦町内会・自治会に参加している	33.0	25.5	27					
				25.5 27.5							
			⑧収入のある仕事に参加している	28.3	28.3	13					
		化比	<u> </u> :段昇降(手すりや壁を伝わらずに)して	63.4							
			は対解(チャットを全体がらずに)して	64.9	64.9	12					
	社会参加と生活		 子からの立ち上がり(何もつかまらず	77.4							
	支援・介護予防		:) している	81.5	81.5	4					
	の両方の視点			66.8							
		15	分以上の歩行をしている	72.0	72.0	5					
				30.0							
		古	いものが <u>食べにくくなった</u>	30.2	<u>30.2</u>	14					
				25.5							
		お茶や汁物で	茶や汁物で <u>むせる</u>	26.5	<u> 26.5</u>	21					
_				25.0							
般			ロの渇きが <u>気になる</u>	25.2	<u>25.2</u>	18					
高齢				91.9	93.2						
者		毎	毎日歯磨きをしている	93.2		6					
の		過去一年間で転倒していない 健康への関心がある	68.0		_						
ビジ			過去一年間で転倒していない	69.5	69.5	7					
リョ			きゃっの問心がちる	90.1	04.0	0					
ン	51	か護予防・生活 / ·	挺	ほんの関心がある	94.2	94.2	2				
				外出を控えている	25.9	22.8	5				
				:			71	一位を <u>控えている</u>	22.8	<u>ZZ.0</u>	5
				外	·出を <u>控えている</u>	12.7	<u>16.2</u>	25			
	支援の視点	(<u>(交通手段がない理由のみ)</u>	16.2	10.2	23					
		日	に何度か以上誰かと食事をする	78.2	76.0	22					
		,,		76.0	70.0						
		Ī	ADLの低下に該当	5.2	<u>1.5</u>	1					
		_	— · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1.5	1.0	<u> </u>					
		知	的能動性の <u>低下に該当</u>	12.5	10.5	7					
				10.5							
		何	らかの介護予防 <u>リスクに該当</u>	84.3	86.2	23					
				86.2							
		 ①運動器の機能低下 <u>リスクに該当</u>	12.5	<u>10.5</u>	5						
					10.5		+				
			②低栄養の傾向 <u>リスクに該当</u>	1.0	0.3	5					
					0.3						
			③口腔機能の低下 <u>リスクに該当</u>	22.2	<u>22.2</u>	15					
			l	22.2							

		化塩しれて何口	市内全域(%)	調査結果	地区	
		指標となる項目	第四圏域(%)	(%)	順位	
		④閉じこもり傾向 <u>リスクに該当</u>	33.6	30.2	6	
_		母別しこもり傾向 <u>サスクに該当</u>	30.2	30.2	6	
般高	介護予防・生活	 ⑤認知機能の低下 <u>リスクに該当</u>	52.3	<u>53.5</u>	20	
齢	支援の視点	⑤認知機能の低下 <u>サスケに該当</u>	53.5	<u> </u>	20	
者		 ⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	43.7	9	
の		(9) フ順円 <u>リスクに該当</u>	43.7	43.7	9	
ビジ		健康状態がよい(主観的健康感)	79.0	80.6	11	
=	総合的な評価	健康(小窓がよい (工能的)健康窓)	80.6	80.0	11	
ン	指標	幸せと感じる割合が平均以上	61.8	64.2	7	
		(主観的幸福感)	64.2	04.2	,	
		介護保険以外のサービスを利用している	28.5	29.4	14	
		月 長 体 険 ぬ が め グ	29.4	23.4	14	
		訪問診療を利用している	18.2	25.9	2	
		初回診療を利用している	25.9	20.9	3	
		もしものときのために、家族や医療関係	8.8	9.4	13	
	『本人』の在宅	者と詳しく話しあったことがある	9.4	9.4	13	
	生活の継続性の確保の視点	在宅生活を続けていくために訪問系サー	23.7	21.2	22	
		ビスが必要だと思う	21.2	21.2	22	
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	70.0 76.8	5	
		八王の取朔を延える場所の布主がめる	70.0			
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2		11	
要		週切な仕七月設土冶の極帆を失坑している	76.8	70.6	''	
介護	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安に感じる介護は特にない	5.1	6.5	5	
者			小女に感しる灯護は特にない 	6.5	0.5)
等		認知症状に対する <u>不安を感じる</u>	25.8	<u>27.1</u>	18	
の			認知症状に対する <u>小女を恐しる</u>	27.1	<u>Z1.1</u>	10
ビジ		仕事と介護を両立できる	74.3	75.0	16	
]		仕事と月 歳を 岡立 くさる	75.0	75.0	10	
ン		介護を理由に離職・転職した	11.8	<u>10.5</u>	10	
		月設と年田に <u>離城・松戦した</u>	10.5	10.5	10	
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	68.3	2	
		参加省としての社会参加息向がある	68.3	00.5		
	RU 18-1871	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	39.7	5	
	『サービス提供 体制』の確保の	33 12日区にしての社太多州忠田が300	39.7	JJ.1	J	
	視点	ボランティアのグループに参加している	13.8	14.5	1 /	
		…	14.5	14.0	14	
		地域で支援できることがある	69.5	76.9	2	
		がえて 人友 へいる しいこう	76.9	70.8		
	総合的な評価	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	35.0	6	
	指標	ヘエの取別で日七・祝族七じ迎えたい	35.0	30.0	U	

①在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	15.6	調理	16.2	掃除•洗濯	18.5
買い物	17.9	ゴミ出し	14.4	外出同行	27.9
移送サービス	32.4	見守り、声かけ	21.8	通いの場	14.1
その他	7.4	特にない	19.7		

サービス名	近隣の人にお願いしたい ことの割合(%)	地域でできる支援の割合 (%)
見守り	26.5	35.4
声かけ	23.8	42.5
外出同行	6.2	7.1
雪かき	28.8	17.5
庭の手入れ	7.6	12.6
ゴミ出し	9.4	17.5
買物	7.6	15.4
調理	2.1	8.0
掃除	3.5	12.6
着替え	1.2	1.5
季節用品の入替	1.5	1.8
電球交換	4.4	7.1
特にない(できない)	32.9	24.9
その他	2.4	2.5

第五圏域(ふれあい)

1「第六地区」

(1)地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)		高	齢者人口 (人)	高齢化率(%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
13,403			3,956	29.5 (30.4)	1,762	2,194	55.5 (53.6)
一般高齢者 (人)		対象者	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者認定率(%)
3,219		83	154	500	16.5 (16.1)	205	5.2 (5.8)

令和5年1月5日時点

			指標となる項目	市内全域(%)	調査結果	地区順位			
		健	康高齢者	14.2 19.4	19.4	1			
	高齢者像の 出現率	介	<u>護予防事業対象者</u>	77.7 71.3	<u>71.3</u>	1			
		<u>サ</u>	ービス <u>事業対象者</u>	5.9 6.5	<u>6.5</u>	20			
		お	世話役としての社会参加意向がある	36.0 32.6	32.6	24			
		参	加者としての社会参加意向がある	62.2 58.1	58.1	25			
		生	きがいがある	61.1 59.2	59.2	23			
一般		週	に何度か以上友人・知人と会う	33.4 28.2	28.2	30			
高齢者			週.	週.	週	二回以上外出している	81.7 86.2	86.2	4
のビジ	社会参加の視点	何	らかの地域活動へ参加している	66.8 63.9	63.9	22			
ジョン		①ボランティアのグループに参加している②スポーツ関係のグループやクラブに参加している③趣味関係のグループに参加している	9	<u> </u>	13.8 14.7	14.7	12		
			20.2 22.6	22.6	7				
			③趣味関係のグループに参加している	26.4 28.4	28.4	10			
			④学習・教養サークルに参加している	8.0	10.0	7			

			指標となる項目	市内全域(%)	調査結果	地区順位				
			⑤介護予防のための通いの場に参加し	8.5	9.4	11				
			ている	9.4						
			 ⑥老人クラブに参加している	4.7	3.5	17				
	社会参加の視点			3.5		.,				
	TT 5 M CO DUM		 ⑦町内会・自治会に参加している	33.0	23.2	29				
				23.2	20.2					
			 ⑧収入のある仕事に参加している	27.5	21.4	29				
				21.4						
			:段昇降(手すりや壁を伝わらずに)して	63.4	66.3	5				
	社会参加と生活		'ব	66.3						
	支援・介護予防		子からの立ち上がり(何もつかまらず	77.4	77.1	15				
	の両方の視点	12	している	77.1		. •				
		15	5分以上の歩行をしている	66.8	69.8	8				
				69.8						
		古	いものが食べにくくなった	30.0	<u>24.3</u>	1				
		1	<u> </u>	24.3	24.0					
		お茶や汁物で <u>むせる</u> ロの渇きが <u>気になる</u>	茶や汁物でむせる	25.5	<u>23.5</u>	7				
			T	23.5	20.0	,				
<u>—</u>			の涅きが気になる	25.0	23.8	7				
般高			While Is Allert of	23.8	20.0	,				
齢	後	毎	日歯磨きをしている	91.9	89.1	26				
者			年1 凶府 C で し C い の	89.1	03.1	20				
の			去一年間で転倒していない	68.0	70.4	6				
ビジ		Ų	一 年间で私国していない	70.4	70.4	U				
3			健康への関心がある	90.1	90.0	16				
ン		ΊΧ Ξ	成べの関心がある	90.0	90.0	10				
						M	外出を控えている	25.9	24.9	10
				91	世を控えている	24.9	<u>24.5</u>	10		
	介護予防・生活	外	出を <u>控えている</u>	12.7	0.4	4				
	支援の視点	_(<u> 交通手段がない理由のみ) </u>	9.4	<u>9.4</u>	4				
			に何度か以上誰かと食事をする	78.2	75.4	27				
		ζ	に同反が、以工能がこ 及事でする	75.4	73.4	21				
		,	ADLの低下に該当	5.2	<u>5.6</u>	17				
			A D L O <u>IC Fricials</u>	5.6	<u>J.U</u>	1 /				
		左口	的能動性の低下に該当	12.5	<u>9.7</u>	3				
		М	の	9.7	<u>9.1</u>	J				
		与されの人業を吐けったにま か	にかの企業予防リフクに誌坐	84.3	70 1	9				
		[¹]	何らかの介護予防 <u>リスクに該当</u>	79.1	<u>79.1</u>	2				
		①運動器の機能低下 <u>リスクに該当</u>	12.5	10.2	4					
				● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	10.3	<u>10.3</u>	4			
				1.0	0.0	15				
			②低栄養の傾向 <u>リスクに該当</u> 	0.9	<u>0.9</u>	10				
				③口晩機能の低下リックに転坐	22.2	10.0	2			
			③口腔機能の低下 <u>リスクに該当</u> 	18.2	<u>18.2</u>					

		TC 4m 1, 25 7 TE C	市内全域(%)	調査結果	地区			
		指標となる項目	第五圏域(%)	(%)	順位			
		④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	28.7	3			
<u> -</u>		毎別しこもり傾向 <u>サスクに該当</u>	28.7	<u> 20.7</u>	3			
	介護予防・生活	⑤認知機能の低下 <u>リスクに該当</u>	52.3	44.0	1			
齢	支援の視点	受認和機能の低下 <u>ケスケに該当</u>	44.0	<u>44.0</u>	ı			
者		⑥うつ傾向 <u>リスクに該当</u>	45.1	43.7	9			
の		サ フト	43.7	40.7	9			
ビージ		健康状態がよい(主観的健康感)	79.0	78.6	17			
3	総合的な評価	医尿状态があい (工既的医尿态)	78.6	70.0	17			
ン	指標	幸せと感じる割合が平均以上	61.8	62.7	11			
		(主観的幸福感)	62.7	02.7	11			
		介護保険以外のサービスを利用している	28.5	29.6	10			
		万 民体体の アップ・これを利用している	29.6	23.0	10			
		訪問診療を利用している	18.2	20.2	8			
		前向診療を利用している	20.2	20.2	0			
	『本人』の在宅 また	もしものときのために、家族や医療関係	8.8	12.3	5			
		者と詳しく話しあったことがある	12.3	12.3	J			
		在宅生活を続けていくために訪問系サー	23.7	22.9	17			
			ビスが必要だと思う	22.9	22.9	17		
		したの見知を知るで担託の各項がもで	64.4	65.6	13			
		人生の最期を迎える場所の希望がある	65.6		13			
			海切なた宮の鎌井洋の継続を実現している	75.2	75.5	15		
要		適切な在宅介護生活の継続を実現している		75.5	10			
介畫	家族等『介護者』の就労継	不安に感じる介護は特にない	5.1	8.3	1			
護者		家族等『介護者』の就労継	家族等『介護 認知症状に対する不安な	=77.61	个女に必じる打護は付にない	8.3	ნ.ა	ı
等					- 以	羽知点状に対する不安を感じる	25.8	27.2
0)				総和証仏I⊂刈りる <u>个女を感しる</u>	27.3	<u>27.3</u>	19	
				仕事し入業を下立できる	74.3	79.1	8	
=	יויספר ואניספר	11年と 71 護を削立 てきる	79.1	79.1	0			
ン		介護を理由に <u>離職・転職した</u>	11.8	116	14			
		月	11.6	<u>11.6</u>	14			
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	58.1	25			
		参加者としての社会参加息円が め る	58.1	30.1	25			
	5	か世話犯トレズの社会会加音句がある	36.0	32.6	24			
	『サービス提供 体制』の確保の 視点		32.6	32.0	24			
		 ボランティアのグループに参加している	13.8	147	10			
		-11.5	ホランティアのグループに参加している	14.7	14.7	12		
			地域で支援できることがある	69.5	64.0	Q.E.		
		心域で又抜じさることかめる	64.2	64.2	25			
	総合的な評価	したの見切を白ウ、蛇をウマツミナン	29.5	05.0	0.4			
	指標	□ 人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい		25.3	24			

①在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	16.6	調理	14.6	掃除•洗濯	21.3
買い物	20.6	ゴミ出し	14.6	外出同行	27.3
移送サービス	24.1	見守り、声かけ	23.3	通いの場	13.4
その他	7.1	特にない	20.6		

サービス名	近隣の人にお願いしたい ことの割合(%)	地域でできる支援の割合 (%)
見守り	25.7	26.7
声かけ	23.3	33.7
外出同行	7.5	6.2
雪かき	27.3	17.6
庭の手入れ	6.3	8.8
ゴミ出し	8.7	20.2
買物	4.3	12.9
調理	4.0	4.4
掃除	4.7	11.1
着替え	0.4	2.1
季節用品の入替	2.0	2.1
電球交換	7.1	8.2
特にない(できない)	38.3	34.3
その他	1.2	4.1

1「南山形地区」

(1)地区の現状

表中()は市平均値

総人口(人)			高	齢者人口 (人)	高齢化率(%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
10,007		10,007		2,514	25.1 (30.4)	1,246	1,268	50.4 (53.6)
一般高(人			対象者	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者認定率(%)
	2,111		31	81	291	14.8 (16.1)	150	6.0 (5.8)

令和5年1月5日時点

		指標となる項目	市内全域(%)第六圏域(%)	調査結果	地区順位
		健康高齢者	14.2 12.9	15.0	10
	高齢者像の 出現率	<u>介護予防事業対象者</u>	77.7 80.0	<u>78.0</u>	15
		<u>サービス事業対象者</u>	5.9 5.1	<u>4.6</u>	7
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0 35.6	36.5	13
		参加者としての社会参加意向がある	62.2 61.1	64.9	8
		生きがいがある	61.1 61.1	61.1	16
一般		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4 35.4	35.1	9
高齢者	11 ^ 41- 648 -	週二回以上外出している	81.7 79.0	81.8	16
のビ	社会参加の視点	何らかの地域活動へ参加している	66.8 68.9	70.8	5
ジョン		①ボランティアのグループに参加して いる	13.8 14.3	11.0	27
		②スポーツ関係のグループやクラブに 参加している	20.2 18.4	20.1	15
		③趣味関係のグループに参加している	26.4 24.3	23.3	22
		④学習・教養サークルに参加している	8.0 8.6	7.2	16

		指標となる項目	市内全域(%)第六圏域(%)	調査結果 (%)	地区順位		
		⑤介護予防のための通いの場に参加し	8.5				
		ている	10.4	9.7	8		
			4.7				
		⑥老人クラブに参加している	4.0	5.6	10		
	社会参加の視点		33.0				
		⑦町内会・自治会に参加している	41.1	40.2	6		
			27.5				
		⑧収入のある仕事に参加している	30.3	29.2	9		
			63.4				
		いる	62.9	63.0	15		
	社会参加と生活		77.4				
	支援・介護予防	に)している	76.0	75.6	22		
	の両方の視点		66.8				
		15分以上の歩行をしている	62.5	69.4	10		
			30.0				
		固いものが <u>食べにくくなった</u>	31.4	<u>28.2</u>	10		
			25.5				
		お茶や汁物で <u>むせる</u>	25.7	<u>24.9</u>	11		
_			25.0	26.5			
般		ロの渇きが <u>気になる</u>	24.4		22		
高			91.9		<u> </u>		
齢者		毎日歯磨きをしている	90.5	92.5	15		
りの			68.0				
ビジ			過去一年間で転倒していない	67.6	69.2	9	
ジョ			90.1				
コレ		5	健康への関心がある	88.6	91.2	6	
				25.9			
			 - 介護予防・生活	外出を <u>控えている</u>	24.7	<u>24.1</u>	8
				外出を <u>控えている</u>	12.7		
	支援の視点	/ G C C C C C C C C C C C C C C C C C C	15.2	<u>17.8</u>	28		
			78.2				
		月に何度か以上誰かと食事をする	78.4	75.9	23		
			5.2				
		I A D L の <u>低下に該当</u>	6.5	<u>5.4</u>	15		
			12.5				
		知的能動性の <u>低下に該当</u>	12.0	<u>9.9</u>	4		
			84.3		_		
		何らかの介護予防 <u>リスクに該当</u> ①運動器の機能低下 <u>リスクに該当</u>	85.5	<u>82.8</u>	8		
			12.5				
			13.0	<u>11.0</u>	8		
			1.0				
		②低栄養の傾向 <u>リスクに該当</u>	0.9	<u>0.0</u>	1		
			22.2		.,		
		③口腔機能の低下 <u>リスクに該当</u>	21.5	<u>21.2</u>	11		

#			化塩しれて何ロ	市内全域(%)	調査結果	地区		
ではます。			指標となる項目	第六圏域(%)	(%)	順位		
投資			小門ドニナ い傾向リフカに該当	33.6	22.2	12		
高者のの主張の視点 ⑤認知機能の低下リスクに該当 52.0 11 変援の視点 60.7 45.1 43.4 7 ***********************************	_		(4)別じこもり傾向 <u>サスクに該当</u>	33.8	32.2	13		
(⑥うつ傾向リスクに該当 45.1 43.4 7 44.2 43.4 7 44.2 43.4 7 44.2 43.4 7 44.2 43.4 7 44.2 43.4 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	般		⑤辺知機能の低下リスクに該当	52.3	52.0	11		
書ののに対している(⑥) うつ傾向リスクに該当45.1 44.2 44.243.4 44.27※合わな評価 指標(⑥) うつ傾向リスクに該当 健康状態がよい(主観的健康感)79.0 79.7 79.7 79.7 78.6 66.1 2※ 総合的な評価 指標作機保険以外のサービスを利用している 5時間診療を利用している もしものときのために、家族や医療関係者と詳しく話しあったことがある 名と詳しく話しあったことがある 10.5 在宅生活を続けていくために訪問系サービスが必要だと思う 人生の最期を迎える場所の希望がある 63.0 適切な在宅介護生活の継続を実現している 75.2 適切な在宅介護生活の継続を実現している 75.2 70.818.0 63.0 75.2 70.828要介護者等のに表する 事業を専り、表す。の就労維続の視点不安に感じる介護は特にない 3.9 説知症状に対する不安を感じる インの視点5.1 3.9 21.8 21.9 2	齢	支援の視点	②応和機能の低下 <u>ケスクに該当</u>	53.1	<u>32.0</u>	11		
世	者		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	13.1	7		
できる			O プラ隣内 <u>プスプに成当</u>	44.2	40.4	,		
日本人』の在宅性語の経験性質のでは、変換があるを表しるできる。	じジ		健康状能が上い(主観的健康感)	79.0	78.6	17		
(主観的幸福感) 66.1 2 1 2 2 2 2 2 2 2			産塚仏窓がみい (工既时庭塚窓)	79.7	70.0	17		
(主観的学信感) 60.7	ン	指標		61.8	66 1	2		
お問診療を利用している			(主観的幸福感)	60.7	00.1			
『本人』の在宅生活の継続性の確保の視点 もしものときのために、家族や医療関係者と詳しく話しあったことがある年生活の継続性の存储保の視点 10.5 10.7 8 10.7 8 10.5 10.5 10.5 10.5 17.9 18.0 28 17.9 18.0 28 17.9 17.9 18.0 28 17.9 17.9 18.0 28 17.9 18.0 28 17.9 17.9 18.0 28 17.9 17.9 18.0 18.0 18 17.9 17.9 18.0 18 18 18.0 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18			介護保険以外のサービスを利用している	28.5	24.6	23		
要「本人』の在宅生活の継続性の確保の視点もしものときのために、家族や医療関係者と詳しく話しあったことがある10.510.78要で表が必要だと思う人生の最期を迎える場所の希望がある64.4 63.060.7 63.022 70.8変族等『介護者』の就労継続の視点不安に感じる介護は特にない 3.9 25.8 25.8 21.8 3.95.7 3.9 25.8 21.8 3.9 25.8 21.8 3.9 25.8 21.8 3.9 25.8 21.8 3.9 25.8 21.8 3.9 25.8 21.8 3.9 25.8 21.8 3.9 25.8 21.8 3.9 25.8 21.8 3.9 25.8 21.8 3.9 25.8 21.8 3.9 25.8 21.8 3.9 25.8 21.8 3.9 25.8 21.8 3.9 25.8 21.8 3.9 25.8 21.8 3.9 25.8 21.8 3.9 25.8 21.8 3.9 25.8 25.8 21.8 3.9 25.8 25.8 21.8 26.7 26 36.0 36.0 35.6 36.0 35.6 36.5 36.5 36.5 36.5 36.5			TIERRON OF THE PROPERTY OF THE	25.7	24.0	20		
『本人』の在宅生活の継続性の確保の視点17.5 もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある 在宅生活を続けていくために訪問系サービスが必要だと思う 人生の最期を迎える場所の希望がある 適切な在宅介護生活の継続を実現している23.7 17.9 64.4 63.0 75.2 70.818.0 60.7 75.2 70.8変族等『介護者書の就労維続の視点不安に感じる介護は特にない 認知症状に対する不安を感じる (仕事と介護を両立できる) 介護を理由に離職・転職した が満を理由に離職・転職した が満を理由に離職・転職した が満を理由に離職・転職した 第1.0 11.8 11.0 11.8 11.0 11.8 11.0<			計問診療を利田 L ている	18.2	15.6	22		
『本人』の在宅生活の継続性の確保の視点者と詳しく話しあったことがある10.510.78在宅生活を続けていくために訪問系サービスが必要だと思う17.918.028人生の最期を迎える場所の希望がある64.463.075.2適切な在宅介護生活の継続を実現している70.873.018不安に感じる介護は特にない5.13.95.78認知症状に対する不安を感じる21.819.74仕事と介護を両立できる74.366.726介護を理由に離職・転職した11.811.011か護を理由に離職・転職した13.711.011参加者としての社会参加意向がある62.264.98お世話役としての社会参加意向がある36.035.644.9ボランティアのグループに参加している13.811.027			が同じなる できる こうじゅう	17.5	13.0	22		
生活の継続性の確保の視点有と詳しく話しあうだことがある 在宅生活を続けていくために訪問系サービスが必要だと思う10.5 17.9人生の最期を迎える場所の希望がある 適切な在宅介護生活の継続を実現している 適切な在宅介護生活の継続を実現している 不安に感じる介護は特にない 3.973.0 70.818不安に感じる介護は特にない 常者』の就労継続の視点5.1 3.9 25.8 21.8 74.3 4 11.8 74.3 71.1 <td></td> <td></td> <td></td> <td>8.8</td> <td>10.7</td> <td>Ω</td>				8.8	10.7	Ω		
確保の視点在宅生活を続けていくために訪問系サービスが必要だと思う23.7 17.918.028人生の最期を迎える場所の希望がある64.4 63.060.722適切な在宅介護生活の継続を実現している75.2 70.873.018不安に感じる介護は特にない5.1 			者と詳しく話しあったことがある	10.5	10.7	0		
要 介護者等の じジョン大生の最期を迎える場所の希望がある 適切な在宅介護生活の継続を実現している17.9 64.4 63.0 				23.7	100	20		
要介護者等のビジョン人生の最期を迎える場所の希望がある63.060.722適切な在宅介護生活の継続を実現している75.2 70.873.018不安に感じる介護は特にない5.1 3.95.78認知症状に対する不安を感じる 者』の就労継続の視点25.8 21.819.7 21.84仕事と介護を両立できる 介護を理由に離職・転職した ** ** が護を理由に離職・転職した ** <br< td=""><td></td><td rowspan="5">単正 体 ジブル ホ</td><td>ビスが必要だと思う</td><td>17.9</td><td>16.0</td><td>20</td></br<>		単正 体 ジ ブル ホ	ビスが必要だと思う	17.9	16.0	20		
要介護者等のビジョン家族等『介護者場の就労継続の視点5.1 3.95.7 3.98家族等『介護者』の就労継続の視点短知症状に対する不安を感じる 25.8 25.8 21.8 74.3 11.0 26 27.1 11.8 13.7 27 27 27 28 25.8 25.8 25.8 25.8 25.8 25.8 25.8 25.8 25.8 25.8 25.8 25.8 25.8 21.8 74.3 11.0 11.8 13.7 66.7 11.0 1				64.4	60.7	22		
要介護者等のにごうつきる70.873.018家族等『介護者』の就労継続の視点25.819.74仕事と介護を両立できる71.166.726介護を理由に離職・転職した11.811.011参加者としての社会参加意向がある。根制』の確保の視点36.036.036.513ボランティアのグループに参加している13.811.027			ハエの取物で起んの物別の作主がめる	63.0	00.7	22		
変かできるのできる不安に感じる介護は特にない5.1 3.95.78家族等『介護者』の就労継続の視点認知症状に対する不安を感じる25.8 21.819.7 21.84仕事と介護を両立できる74.3 71.1 13.766.7 11.8 13.766.7 11.0 11.0 62.2 64.911.0 62.2 64.9 61.1 36.0 36.0 35.611.0 36.5 35.6『サービス提供体制』の確保の視点ボランティアのグループに参加している 13.8 11.036.5 35.6 13.8 11.013.8 11.0			適切な在宅企業生活の継続を実現している	75.2	72.0	10		
護者等の じご			適切な任毛介護生活の継続を美規している		73.0	10		
者等ののビジョン家族等『介護者』の就労継続の視点認知症状に対する不安を感じる25.8 21.819.7 74.34仕事と介護を両立できる74.3 71.166.7 11.8 13.726小護を理由に離職・転職した11.8 13.711.0 62.211参加者としての社会参加意向がある62.2 61.164.9 36.0 35.68ボランティアのグループに参加している13.8 14.311.027	介譯		不安に感じる介護は特にない	5.1	5.7	0		
等ののビジョン家族等『介護者』の就労継続の視点25.8 21.819.74仕事と介護を両立できる74.3 71.166.726介護を理由に離職・転職した11.8 13.711.011参加者としての社会参加意向がある62.2 61.164.98ボランティアのグループに参加している36.0 35.636.513ボランティアのグループに参加している13.8 14.311.027	· 改				小女に恋しる江設は付にない	3.9	5.7	0
おような オ』の就労継続の視点仕事と介護を両立できる21.8 74.3 71.166.7 11.8 13.7 62.2 61.111.0 62.2 61.111.0 64.911 64.9『サービス提供体制』の確保の視点お世話役としての社会参加意向がある お世話役としての社会参加意向がある ボランティアのグループに参加している36.0 35.6 13.8 11.036.5 36.513 11.0	等				25.8	10.7		
ボランティアのグループに参加している74.3 71.1 71.1 11.8 13.7 66.7 71.1 11.8 13.7 66.7 11.8 13.7 62.2 64.9 36.0 35.6 13.8 14.311.0 64.9 36.5 13.8 11.0 <td></td> <td></td> <td></td> <td>認知症状に対する<u>小女を感じる</u></td> <td>21.8</td> <td><u>19.7</u></td> <td>4</td>						認知症状に対する <u>小女を感じる</u>	21.8	<u>19.7</u>
アイ・コン 71.1 介護を理由に離職・転職した 11.8 参加者としての社会参加意向がある 62.2 参加者としての社会参加意向がある 61.1 お世話役としての社会参加意向がある 36.0 機制』の確保の視点 ボランティアのグループに参加している 13.8 11.0 14.3 11.0			2±0+11	74.3	66.7	26		
ボ酸を埋田に離職・転職した 13.7 11.0 11 参加者としての社会参加意向がある 62.2 64.9 8 ボランティアのグループに参加している 36.0 36.5 13 ボランティアのグループに参加している 13.8 11.0 27		19602 196911	仕事と介護を向立できる	71.1	00.7	20		
『サービス提供体制』の確保の視点お世話役としての社会参加意向がある36.0 35.636.513ボランティアのグループに参加している13.8 14.311.027	ン		<u> </u>	11.8	110	11		
『サービス提供体制』の確保の視点 お世話役としての社会参加意向がある 36.0 36.5 13 ボランティアのグループに参加している 13.8 11.0 27			介護を垤田に <u>離戦・粒戦した</u>	13.7	11.0	11		
『サービス提供体制』の確保の視点お世話役としての社会参加意向がある 35.636.0 35.636.513ボランティアのグループに参加している13.8 14.311.027			参加者としての社会参加音句がもる	62.2	640	0		
『サービス提供 体制』の確保の 視点 お世話役としての社会参加意向がある 35.6 35.6 ボランティアのグループに参加している 14.3 11.0 27			参加者としての社会参加息円がある	61.1	04.9	0		
本制』の確保の 視点		体制』の確保の	か出話のよしての社会会加辛白がもで	36.0	26.5	10		
視点 ボランティアのグループに参加している 13.8 14.3 11.0 27			Ď	35.6	30.5	13		
14.3				13.8	110	27		
			T.T	ハランティアのグルーンに参加している	14.3	11.0	21	
			地はったでったフーレジャフ	69.5	745	5		
地域で支援できることがある			地域 じ又抜じさることかめる	72.7	/4.5			
総合的な評価 したの見知と自立 朝林京で迎ませい 29.5 15		総合的な評価		29.5	00.5	15		
			人生の最期を目毛・親族毛で迎えたい	30.0	29.5	15		

①在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	16.4	調理	13.1	掃除•洗濯	18.9
買い物	13.9	ゴミ出し	18.9	外出同行	29.5
移送サービス	26.2	見守り、声かけ	22.1	通いの場	18.0
その他	5.7	特にない	17.2		

サービス名	近隣の人にお願いしたい ことの割合(%)	地域でできる支援の割合 (%)
見守り	27.9	32.2
声かけ	31.1	42.1
外出同行	4.9	8.3
雪かき	27.0	16.9
庭の手入れ	4.9	14.2
ゴミ出し	11.5	21.2
買物	6.6	15.3
調理	5.7	6.7
掃除	5.7	19.8
着替え	1.6	3.2
季節用品の入替	2.5	3.8
電球交換	1.6	9.1
特にない(できない)	27.9	23.9
その他	2.5	2.7

2 「本沢地区」

(1)地区の現状

表中()は市平均値

総人口(人)		高	齢者人口 (人)	高齢化率	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
	2,774		1,157	41.7 (30.4)	557	600	51.9 (53.6)
一般高齢者 (人)		対象者()	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者認定率(%)
917		24	35	181	18.7 (16.1)	107	9.2 (5.8)

令和5年1月5日時点

		指標となる項目	市内全域(%)第六圏域(%)	調査結果 (%)	地区順位
		健康高齢者	14.2 12.9	10.1	27
	高齢者像の 出現率	<u>介護予防事業対象者</u>	77.7 80.0	83.7	29
		サービス事業対象者	5.9 5.1	4.3	4
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0 35.6	37.0	10
		参加者としての社会参加意向がある	62.2 61.1	65.4	6
		生きがいがある	61.1 61.1	65.0	4
— 般		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4 35.4 32.7	32.7	16
高齢者	11 ^ 41- 648 -	週二回以上外出している	81.7 79.0	78.2	23
のビジ	社会参加の視点	何らかの地域活動へ参加している	66.8 68.9	72.0	3
ンョン		①ボランティアのグループに参加して いる	13.8 14.3	17.1	2
		②スポーツ関係のグループやクラブに 参加している	20.2 18.4	17.1	25
		③趣味関係のグループに参加している	26.4 24.3	26.8	15
		④学習・教養サークルに参加している	8.0 8.6	8.9	11

			指標となる項目	市内全域(%)	調査結果 (%)	地区順位	
			⑤介護予防のための通いの場に参加し	8.5			
			ている	10.4	15.6	1	
				4.7			
	11		⑥老人クラブに参加している	4.0	1.9	25	
	社会参加の視点			33.0	40.0		
			⑦町内会・自治会に参加している	41.1	43.2	3	
			@ # 7 @ # 7 // # /- # /- # /- /- 7	27.5	0.1.1	_	
			⑧収入のある仕事に参加している	30.3	31.1	5	
		階	:段昇降(手すりや壁を伝わらずに)して	63.4	00.0	10	
		い	\$	62.9	62.3	18	
	社会参加と生活	椅	 子からの立ち上がり(何もつかまらず	77.4	70.7	17	
	支援・介護予防 の両方の視点	1=	している	76.0	76.7	17	
	אונטלו גם בל וייו גם	1.5	ころいしの生年ナーテンフ	66.8	00.0	00	
		15	分以上の歩行をしている	62.5	62.3	23	
		H		30.0	20.0	10	
		白	いものが <u>食べにくくなった</u>	31.4	<u>30.0</u>	12	
		お茶や汁物でむせる	25.5	00.1	10		
			余や汁物で <u>むせる</u>	25.7	<u>26.1</u>	18	
-			の月七年年17	25.0	10.7	2	
般		Н	の渇きが <u>気になる</u>	24.4	<u>18.7</u>	2	
高齢				91.9	02.4	_	
者		毋	日歯磨きをしている	90.5	93.4	5	
の				68.0	63.0		
ビジ			過去一年間で転倒していない	67.6		27	
ショ				90.1		4.0	
ン			康への関心がある	88.6	89.5	18	
			11.4.4.5	25.9	07.0	4.0	
		5	外	外出を <u>控</u> 	·出を <u>控えている</u>	24.7	<u>27.2</u>
	介護予防・生活		出を控えている	12.7	400		
	支援の視点		<u> </u>	15.2	<u>12.9</u>	15	
				78.2		_	
		月	に何度か以上誰かと食事をする	78.4	80.2	8	
				5.2			
		I	A D L の <u>低下に該当</u>	6.5	<u>7.0</u>	26	
				12.5		_	
		知	的能動性の <u>低下に該当</u>	12.0	<u>10.9</u>	8	
				84.3	25 -		
		何	「らかの介護予防 <u>リスクに該当</u>	85.5	<u>88.7</u>	28	
		①運動器の機能低下 <u>リスクに該当</u>		12.5			
			13.0	<u>13.2</u>	19		
				1.0	_		
		②低栄養の傾向 <u>リスクに</u>	②低栄養の傾向 <u>リスクに該当</u> 	0.9	<u>1.9</u>	27	
				2	22.2		
			③口腔機能の低下 <u>リスクに該当</u>	21.5	<u>19.1</u>	5	
			l	Z 1.U			

		指標となる項目	市内全域(%)第六圏域(%)	調査結果	地区順位
_		④閉じこもり傾向 <u>リスクに該当</u>	33.6 33.8	<u>33.9</u>	17
般高齢	介護予防・生活 支援の視点	⑤認知機能の低下 <u>リスクに該当</u>	52.3 53.1	<u>57.2</u>	30
者の		⑥うつ傾向 <u>リスクに該当</u>	45.1 44.2	<u>42.4</u>	5
ビジョ	総合的な評価	健康状態がよい(主観的健康感)	79.0 79.7	82.9	1
ン	指標	幸せと感じる割合が平均以上 (主観的幸福感)	61.8 60.7	61.9	16
		介護保険以外のサービスを利用している	28.5 25.7	19.6	30
		訪問診療を利用している	18.2 17.5	13.7	27
	『本人』の在宅	もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8 10.5	9.8	10
	生活の継続性の確保の視点	在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7 17.9	7.8	30
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4 63.0	51.0	28
要		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2 70.8	66.7	27
介護者		不安に感じる介護は特にない	5.1 3.9	3.9	17
等の	家族等『介護 者』の就労継	認知症状に対する <u>不安を感じる</u>	25.8 21.8	<u>23.5</u>	10
ビジョ	続の視点	仕事と介護を両立できる	74.3 71.1	78.9	10
ン		介護を理由に <u>離職・転職した</u>	11.8 13.7	<u>8.6</u>	5
		参加者としての社会参加意向がある	62.2 61.1	65.4	6
	『サービス提供 体制』の確保の	お世話役としての社会参加意向がある	36.0 35.6	37.0	10
	視点	ボランティアのグループに参加している	13.8 14.3	17.1	2
		地域で支援できることがある	69.5 72.7	72.4	10
	総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5 30.0	23.5	26

①在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	11.8	調理	11.8	掃除•洗濯	15.7
買い物	9.8	ゴミ出し	9.8	外出同行	19.6
移送サービス	7.8	見守り、声かけ	13.7	通いの場	13.7
その他	13.7	特にない	33.3		

サービス名	近隣の人にお願いしたい ことの割合(%)	地域でできる支援の割合 (%)
見守り	37.3	34.6
声かけ	25.5	38.1
外出同行	2.0	10.1
雪かき	23.5	17.9
庭の手入れ	7.8	12.1
ゴミ出し	5.9	14.0
買物	9.8	17.9
調理	0.0	7.4
掃除	0.0	11.7
着替え	0.0	2.7
季節用品の入替	0.0	2.7
電球交換	3.9	9.7
特にない(できない)	25.5	28.0
その他	2.0	1.9

3 「大曽根地区」

(1)地区の現状

表中()は市平均値

総人口(人)		高	齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者(人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
	1,249		539	43.2 (30.4)	254	285	52.9 (53.6)
一般高齢者 (人)		対象者	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者認定率(%)
424		12	20	83	19.1 (16.1)	44	8.2 (5.8)

令和5年1月5日時点

			市内全域(%)	調査結果	地区	
		:	第六圏域(%)	(%)	順位	
		/z =	康高齢者	14.2	13.2	21
		1建	尿向即 名	12.9	13.2	21
	高齢者像の	٨	護予防事業対象者	77.7	80.2	22
	出現率	끄	<u> </u>	80.0	<u>80.2</u>	22
		++	ービス事業対象者	5.9	6.0	16
		2	<u> こへ争未列豕日</u>	5.1	0.0	10
		ょ	世話役としての社会参加意向がある	36.0	29.1	30
		03	世間区としての社会を加忌同がめる	35.6	29.1	30
		幺	加者としての社会参加意向がある	62.2	51.1	30
		2	加名としての社会参加志同がある	61.1	31.1	30
		上	きがいがある	61.1	62.1	13
			C 13 · V · 13 · 03 · 03	61.1	02.1	10
<u>фп</u>		调	に何度か以上友人・知人と会う	33.4	30.8	23
般高		旭	に同反が、以工及人 加入こ五丁	35.4	00.0	20
齢		调	二回以上外出している	81.7	76.9	25
者	社会参加の視点			79.0	70.5	20
の	14五多加の九点	何	らかの地域活動へ参加している	66.8	62.6	28
ビジ		1-3	5/3 C/2022/10 30 10 C C C C C	68.9	02.0	20
É			①ボランティアのグループに参加して	13.8	12.1	23
ン			いる	14.3	12.1	20
			②スポーツ関係のグループやクラブに	20.2	18.1	22
			参加している	18.4	10.1	
			③趣味関係のグループに参加している	26.4	20.9	27
		[②	24.3	20.0	
			④学習・教養サークルに参加している	8.0	7.1	18
			サロー教養 グークルに参加している	8.6	7.1	10

			指標となる項目	市内全域(%)	調査結果	地区順位	
			⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	4.9	28	
			Cus	10.4			
			 ⑥老人クラブに参加している	4.7	1.6	29	
	社会参加の視点			4.0			
			⑦町内会・自治会に参加している	33.0	40.7	5	
				41.1			
			8収入のある仕事に参加している	27.5	30.8	7	
				30.3			
			:段昇降(手すりや壁を伝わらずに)して -る	63.4	61.0	24	
	社会参加と生活			62.9			
	支援・介護予防		子からの立ち上がり (何もつかまらず .) している	77.4	72.5	28	
	の両方の視点	-	. CCVO	76.0			
		15	分以上の歩行をしている	66.8	59.9	27	
				62.5			
		古	いものが <u>食べにくくなった</u>	30.0	<u>36.8</u>	29	
				31.4			
		お茶や汁物で <u>むせる</u>	お茶や汁物で <u>むせる</u>	25.5	24.7	10	
			25.7	=	10		
般			の渇きが <u>気になる</u>	25.0	<u>26.9</u>	23	
高				24.4			
齢		毎	日歯磨きをしている	91.9	84.6	29	
者		-7		90.5			
のビ		调	去一年間で転倒していない	68.0	71.4	4	
ジ		健康への関心がある		67.6			
∃	9		康への関心がある	90.1	85.2	29	
ン					88.6		
		外出を	出を控えている	25.9	<u>26.9</u>	18	
					24.7		
			出を控えている	12.7	<u>10.2</u>	7	
	支援の視点	_(<u>で通手段がない理由のみ)</u>	15.2	<u> </u>	,	
		月	に何度か以上誰かと食事をする	78.2	79.1	14	
				78.4	, , , ,		
		I	ADLの低下に該当	5.2	<u>7.7</u>	27	
				6.5	<u> </u>		
		知	的能動性の <u>低下に該当</u>	12.5	<u>14.3</u>	22	
				12.0	- 110		
		何	らかの介護予防 <u>リスクに該当</u>	84.3	<u>86.7</u>	25	
				85.5			
		 ①運動哭 <i>の</i>	│ │①運動器の機能低下 <u>リスクに該当</u>	12.5	<u>17.6</u>	29	
			②低栄養の傾向 <u>リスクに該当</u>	少年到前の18代 1. ファンに 0. コー	13.0	<u>. 7.0</u>	
				1.0	<u>2.2</u>	28	
				0.9	<u></u>		
			 ③口腔機能の低下 <u>リスクに該当</u>	22.2	20.9	10	
				21.5	20.0		

		比極しかる頂日	市内全域(%)	調査結果	地区	
		指標となる項目 	第六圏域(%)	(%)	順位	
		 ④閉じこもり傾向 <u>リスクに該当</u>	33.6	37.4	23	
_		(4)別しこもり傾向 <u>サスクに該当</u>	33.8	<u>37.4</u>	23	
般高	介護予防・生活	 ⑤認知機能の低下 <u>リスクに該当</u>	52.3	50.5	6	
齢	支援の視点	り応和機能の低下 <u>サスクに該当</u>	53.1	<u>50.5</u>	U	
者		│ │⑥うつ傾向 <u>リスクに該当</u>	45.1	<u>47.8</u>	25	
の		⑥	44.2	47.0	23	
ビジ		健康状態がよい(主観的健康感)	79.0	75.8	25	
3	総合的な評価	医尿状溶がよい (土既时健康心)	79.7	75.6	23	
ン	指標	幸せと感じる割合が平均以上	61.8	54.3	29	
		(主観的幸福感)	60.7	34.3	29	
		介護保険以外のサービスを利用している	28.5	27.8	18	
		万 民体 戻 な パック アンド 利力 している	25.7	27.0	10	
		訪問診療を利用している	18.2	27.8	1	
		前向砂泵を利用している	17.5	27.0	1	
		もしものときのために、家族や医療関係	8.8	11,1	7	
	『本人』の在宅	者と詳しく話しあったことがある	10.5	11.1	,	
	生活の継続性の確保の視点	在宅生活を続けていくために訪問系サー	23.7	22.2	20	
		ビスが必要だと思う	17.9	22.2	20	
		したの見切さからて根配の各様だちで	64.4	F0.0	29	
		人生の最期を迎える場所の希望がある	63.0	50.0	28	
		適切な在宅介護生活の継続を実現してい	75.2	00.0	2	
要		適切な任七介護主活の極続を美現している	70.8	83.3		
介護		不安に感じる介護は特にない	5.1	0.0	28	
者				个女に依しる介護は付にない	3.9	0.0
等		認知症状に対する不安を感じる	25.8	167	2	
の	家族等『介護	家族等『介護 者』の就労継	認知症状に対する <u>小女を感じる</u>	21.8	<u>16.7</u>	
ビジ	有』の就力極 続の視点	10 F	74.3	77.8	12	
3	120 -2 1203111	仕事と介護を両立できる	71.1	77.0	12	
ン		介護を理由に <u>離職・転職した</u>	11.8	<u>15.4</u>	22	
		月度を珪田に <u>離戦・転戦した</u>	13.7	10.4	22	
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	E1 1	30	
		参加有としての社会参加息向かめる	61.1	51.1	30	
	B	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	29.1	30	
	『サービス提供 体制』の確保の	の世話伎としての社会参加息内がある	35.6	29.1	30	
	神制』の唯体の 視点	ボランティアのグループに参加している	13.8	12.1	23	
		「「「」」 1 1 0 7 m − 7 に参加している	14.3	12.1	23	
		地域で支援できることがある	69.5	65.9	23	
		心多(又及(このここがの)の	72.7	8.00		
	総合的な評価	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	27.8	19	
	指標	八工の取物で日七・祝佚七で迎んだい	30.0	21.0	13	

①在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	22.2	調理	11.1	掃除•洗濯	16.7
買い物	0.0	ゴミ出し	11.1	外出同行	27.8
移送サービス	16.7	見守り、声かけ	22.2	通いの場	11.1
その他	16.7	特にない	11.1		

サービス名	近隣の人にお願いしたい ことの割合(%)	地域でできる支援の割合 (%)
見守り	33.3	29.7
声かけ	38.9	38.5
外出同行	0.0	8.2
雪かき	27.8	17.0
庭の手入れ	16.7	12.6
ゴミ出し	5.6	13.2
買物	5.6	13.7
調理	0.0	6.6
掃除	0.0	12.1
着替え	0.0	2.2
季節用品の入替	5.6	2.2
電球交換	0.0	9.9
特にない(できない)	22.2	29.7
その他	0.0	2.7

4 「西山形地区」

(1)地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)		高	齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
	1,914		872	45.6 (30.4)	388	484	55.5 (53.6)	
一般高齢者		対象者 人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者認定率(%)	
66	9	24	38	141	20.5 (16.1)	84	9.6 (5.8)	

令和5年1月5日時点

┃				市内全域(%)	調査結果	地区	
				第六圏域(%)			
		健	康高齢者	12.9	15.0	10	
	高齢者像の		護予防事業対象者	77.7	<u>78.1</u>	16	
	出現率	<u> </u>		80.0		10	
		++	ービス事業対 <u>象者</u>	5.9	5.2	11	
		<u>ク </u>		5.1	<u> </u>	<u> ''</u>	
		ぉ	世話役としての社会参加意向がある	36.0	40.8	3	
		83	世間区としての性芸学加志同がある	35.6	40.0	(%) 順位 15.0 10	
		幺	加者としての社会参加意向がある	62.2	62.2		
		D'	加省としての社会参加息向がある	61.1	02.2		10
		生	きがいがある	61.1	63.5		
		_	C 13.0 -13.03.0	61.1			
_		迪	に何度か以上友人・知人と会う	33.4	26.5		
般高		旭	三两皮が攻工及人・加入と去り	35.4	30.5		
齢		迪	二回以上外出している	81.7	02.4		
者	社会参加の視点	迴	二回以上外出している	79.0	82.4		14
の	社会参加の抗点		らかの地域活動へ参加している	66.8	60.6	_	
ビジ		THI	らかの地域石動へ参加している	68.9	09.0	,	
3			①ボランティアのグループに参加して	13.8	105	4	
ン			いる	14.3	10.5	'	
			②スポーツ関係のグループやクラブに	20.2	10.2	10	
			参加している	18.4	19.3	19	
			③趣味関係のグループに参加している	26.4	27.0	10	
			◎№外国ボッフルーフに参加している	24.3	27.0	13	
		4	④学習・教養サークルに参加している	8.0	10.7	4	
			サー・教食リーブルに参加している	8.6			

		指標となる項目	市内全域(%)第六圏域(%)	調査結果 (%)	地区順位
			8.5	(90)	順位
		⑤介護予防のための通いの場に参加し ている	10.4	7.3	22
			4.7		
		⑥老人クラブに参加している	4.7	0.9	30
	社会参加の視点		33.0		
		⑦町内会・自治会に参加している	41.1	45.1	2
			27.5		
		⑧収入のある仕事に参加している	30.3	32.6	2
		 	63.4		
		階段昇降(手すりや壁を伝わらずに) して いる	62.9	66.5	3
	社会参加と生活		77.4		
	支援・介護予防	椅子からの立ち上がり(何もつかまらず に)している	76.0	78.5	10
	の両方の視点		66.8		
		15分以上の歩行をしている	62.5	60.1	25
			30.0		
		固いものが <u>食べにくくなった</u>	31.4	<u>31.3</u>	20
			25.5	<u> </u>	
		お茶や汁物で <u>むせる</u>	25.7	<u>25.8</u>	14
_			25.7	20.6	
般		ロの渇きが <u>気になる</u>	24.4		3
高			91.9		0.6 3 2.7 12 7.4 20
齢		毎日歯磨きをしている	90.5	92.7	12
者の			68.0		
ビビジ		過去一年間で転倒していない	67.6	67.4	20
ジ			90.1		
ョン	健康~	健康への関心がある	88.6	88.0	26
			25.9		
	介護予防・生活 支援の視点	外出を <u>控えている</u>	24.7	<u>20.2</u>	1
		外出を <u>控えている</u>	12.7	14.9	
		// (交通手段がない理由のみ)	15.2		21
			78.2	81.5	
		月に何度か以上誰かと食事をする	78.4		5
			5.2	<u>5.2</u>	
		I A D L の <u>低下に該当</u>	6.5		13
			12.5	13.3 84.6	
		知的能動性の <u>低下に該当</u>	12.0		19
			84.3		
		可らかの介護予防 <u>リスクに該当</u>	85.5		14
			12.5		
		①運動器の機能低下 <u>リスクに該当</u>	13.0	<u>11.2</u>	9
			1.0		
		②低栄養の傾向 <u>リスクに該当</u>	0.9	<u>0.0</u>	1
			22.2		+
		③口腔機能の低下 <u>リスクに該当</u>		<u>20.6</u>	8
			21.5	20.0	J

		₩ 4素 1. 4、フィギロ	市内全域(%)	調査結果	地区
		指標となる項目	第六圏域(%)	(%)	順位
		(4) 関ビニナ (1) 傾向 (1.2.4 に 数少	33.6	07.5	4
一 般 高		④閉じこもり傾向 <u>リスクに該当</u>	33.8	<u>27.5</u>	1
	介護予防・生活	(E) 割加機能の低下リスカル 詩火	52.3	E1 E	0
局 齢	支援の視点	⑤認知機能の低下 <u>リスクに該当</u> 	53.1	<u>51.5</u>	9
者		②この傾向リスカに転坐	45.1	44.6	15
の		⑥うつ傾向 <u>リスクに該当</u>	44.2		15
ビジ		健康状態がよい(主観的健康感)	79.0	82.0	3
3	総合的な評価	健康仏態がよい (土観的健康窓)	79.7		3
ン	指標	幸せと感じる割合が平均以上	61.8	59.5	23
		(主観的幸福感)	60.7		23
		介護保険以外のサービスを利用し <i>て</i> いる	28.5	30.8	9
		Ⅰ 介護保険以外のサービスを利用している ┣━━━	25.7	30.0	9
		訪問診療を利用している	18.2	17.9	15
		初回砂原を利用している	17.5	17.9	13
		もしものときのために、家族や医療関係	8.8	5.1	24
	『本人』の在宅 生活の継続性の	者と詳しく話しあったことがある	10.5		
	産保の視点	宅生活を続けていくために訪問系サー	23.7		10
		ビスが必要だと思う	17.9		10
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	76.9	3
			63.0		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	69.2	24
要		週936任七月設工Aの秘机を失功している	70.8		
介護		不安に感じる介護は特にない	5.1	2.6	23
者		1 メに応じるが良い付にない	3.9	2.0	20
等	☆++ 6 6 	認知症状に対する <u>不安を感じる</u>	25.8	<u>30.8</u>	25
のビ	家族等『介護 者』の就労継		21.8	00.0	20
ジ	続の視点	仕事と介護を両立できる	74.3	75.0	16
3		<u>にずこれ段を同立てこる</u>	71.1	7 0.0	10
ン		介護を理由に <u>離職・転職した</u>	11.8	19.2	27
		71 IX C - T III - <u>711 - 72 - 72 - 72 - 72 - 72 - 72 - 72 -</u>	13.7	10.2	
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	62.2	16
			61.1	02.2	10
	『サービス提供 体制』の確保の	お世話役としての社会参加意向がある ボランティアのグループに参加している	36.0	40.8	3
			35.6	. 5.5	
	視点		13.8	18.5	1
			14.3	. 5.5	<u> </u>
		地域で支援できることがある	69.5	79.4	1
			72.7	, 5. т	<u> </u>
	総合的な評価	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	38.5	4
	指標	THE THE PERSON OF THE PERSON O	30.0	30.0	

①在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	17.9	調理	17.9	掃除•洗濯	25.6
買い物	28.2	ゴミ出し	17.9	外出同行	38.5
移送サービス	28.2	見守り、声かけ	20.5	通いの場	20.5
その他	0.0	特にない	17.9		

サービス名	近隣の人にお願いしたい ことの割合(%)	地域でできる支援の割合 (%)
見守り	30.8	41.2
声かけ	33.3	47.2
外出同行	10.3	13.3
雪かき	25.6	23.6
庭の手入れ	7.7	17.2
ゴミ出し	10.3	25.3
買物	2.6	19.7
調理	7.7	7.7
掃除	7.7	18.5
着替え	5.1	3.0
季節用品の入替	5.1	3.4
電球交換	10.3	9.0
特にない(できない)	33.3	21.5
その他	0.0	2.1

第六圏域(山形西部)

5「村木沢地区」

(1)地区の現状

表中()は市平均値

総人口(人)		高	齢者人口 (人)	高齢化率(%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
1,687			649	38.5 (30.4)	315	334	51.5 (53.6)
		対象者	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者認定率(%)
533		8	26	82	16.6 (16.1)	37	5.7 (5.8)

令和5年1月5日時点

			市内全域(%)第六圏域(%)	調査結果 (%)	地区順位			
		健	康高齢者	14.2 12.9	10.1	27		
	高齢者像の 出現率	介	護予防事業対象者	77.7 80.0	<u>80.7</u>	24		
		サ	ー <u>ビス事業対象者</u>	5.9 5.1	<u>6.1</u>	18		
		ぉ	世話役としての社会参加意向がある	36.0 35.6	32.5	25		
		参	加者としての社会参加意向がある	62.2 61.1	57.0	26		
		いる ②スポーツ関係のグループやクラブに 参加している	週に何度か以上友人・知人と会う 週二回以上外出している 一のの地域活動へ参加している	きがいがある	61.1 61.1	53.5	29	
— 般				週.	に何度か以上友人・知人と会う	33.4 35.4	41.7	1
高齢者	100000000000000000000000000000000000000				二回以上外出している	81.7 79.0	73.7	29
のビジ	社会参加の視点			らかの地域活動へ参加している	66.8 68.9	66.5	14	
ンョン				①ボランティアのグループに参加して いる	13.8 14.3	14.0	16	
			②スポーツ関係のグループやクラブに 参加している	20.2 18.4	16.2	26		
			③趣「	③趣味関係のグループに参加している	26.4 24.3	22.8	23	
			④学習・教養サークルに参加している	8.0 8.6	9.2	10		

			市内全域(%)第六圏域(%)	調査結果	地区順位							
			⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	13.6	2						
			61.9	10.4								
			⑥老人クラブに参加している	4.7	8.8	3						
	社会参加の視点			4.0								
			⑦町内会・自治会に参加している	33.0	36.4	11						
				41.1								
			⑧収入のある仕事に参加している	27.5 30.3	28.5	11						
		17££	<u> </u> :段昇降(手すりや壁を伝わらずに)して	63.4								
			は対解(子りりや壁を伝わらりに)して	62.9	61.4	23						
	社会参加と生活		 :子からの立ち上がり(何もつかまらず	77.4								
	支援・介護予防		アからの立ち工がり(回もつがまらり))している	76.0	76.3	20						
	の両方の視点	-	,	66.8								
		15	分以上の歩行をしている	62.5	55.7	30						
				30.0								
		古	いものが <u>食べにくくなった</u>	31.4	<u>34.2</u>	27						
		お茶や汁物で <u>むせる</u>		25.5								
			お茶や汁物で <u>むせる</u> 	25.7	<u>27.2</u>	25						
_				25.0	29.4							
般			の渇きが <u>気になる</u>	24.4		27						
高				91.9								
齢者		過	日歯磨きをしている	90.5	86.4	28						
の				68.0		4.0						
ビジ			去一年間で転倒していない	67.6	67.5	18						
リコ			forth a	ric の明されたフ	90.1	06.0	00					
ン		1建	康への関心がある	88.6	86.8	28						
		p4	外出を控えている	25.9	25.0	14						
			介護予防・生活	91	古を <u>控えている</u>	24.7	<u>25.9</u>	14				
						外	·出を <u>控えている</u>	12.7	<u>18.6</u>	29		
	支援の視点	_(<u>で通手段がない理由のみ)</u>	15.2	10.0	29						
		В	に何度か以上誰かと食事をする	78.2	76.8	19						
		/,		78.4	70.0	13						
		ī	ADLの低下に該当	5.2	8.3	29						
			·· · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	6.5	<u>0.0</u>							
		知	的能動性の <u>低下に該当</u>	12.5	<u>13.6</u>	20						
				12.0	<u></u>							
		何	「らかの介護予防 <u>リスクに該当</u>	84.3	<u>86.1</u>	22						
		'		85.5								
			│ │①運動器の機能低下 <u>リスクに該当</u>	12.5	14.0	22						
					13.0							
				②低栄養の傾向 <u>リスクに該当</u>	1.0	0.9	15					
											0.9	
			③口腔機能の低下 <u>リスクに該当</u>	22.2	<u>26.3</u>	29						
Ш			L	21.5								

		七梅 しかえ 塔 ロ	市内全域(%)	調査結果	地区	
		指標となる項目 	第六圏域(%)	(%)	順位	
		 ④閉じこもり傾向 <u>リスクに該当</u>	33.6	20.0	29	
<u>-</u>		(4)別じこもり傾向 <u>サスクに該当</u>	33.8	<u>39.9</u>	29	
般高	介護予防・生活	⑤認知機能の低下 <u>リスクに該当</u>	52.3	<u>53.9</u>	23	
齢	支援の視点	③認知機能の似下 <u>リスクに該当</u>	53.1		23	
者		 ⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	44.2	13	
の		0	44.2	<u>44.3</u>	13	
ビジ		健康状態がよい(主観的健康感)	79.0	78.5	19	
3	総合的な評価	健康(小窓がよい (土観り)健康窓)	79.7	/8.5	19	
ン	指標	幸せと感じる割合が平均以上	61.8	56.8	28	
		(主観的幸福感)	60.7	30.6	20	
		介護保険以外のサービスを利用している	28.5	33.3	4	
		が 民体 次 の が これ と 刊 が し こ し い も	25.7	33.3	7	
		 訪問診療を利用している	18.2	25.0	3	
		切回的原と作用している	17.5	18.5	J	
		もしものときのために、家族や医療関係	8.8		2	
	『本人』の在宅 生活の継続性の	者と詳しく話しあったことがある	10.5	10.5		
	確保の視点	在宅生活を続けていくために訪問系サー	23.7	22.2	20	
		ビスが必要だと思う	17.9	22.2	20	
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	85.2	1	
		工の取別で定える場所の布主がある	63.0		'	
			適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	63.0	29
要			70.8	00.0		
介護	家族等『介護 者』の就労継	不安に感じる介護は特にない	5.1	0.0	28	
者			3.9	0.0	20	
等		認知症状に対する <u>不安を感じる</u>	25.8	18.5	3	
のビ			100 A	21.8	10.0	
ジ	続の視点	1 7/10	66.7	26		
3			71.1	00.7	20	
ン		介護を理由に <u>離職・転職した</u>	11.8	<u>23.8</u>	29	
		THE CALL THE PARTY OF THE PARTY	13.7	20.0		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	57.0	26	
		JAR I C O CONTEMPARATOR OF	61.1	07.0	20	
	『ヰ じっ担#	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	32.5	25	
	『サービス提供 体制』の確保の	ODE HICK COUNTY OF THE PARTY OF	35.6	02.0	25	
	視点	ボランティアのグループに参加している	13.8	14.0	16	
		地域で支援できることがある	14.3	. 1.0	10	
			69.5	68.4	18	
			72.7	55 . 4		
	総合的な評価	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	33.3	8	
	指標		30.0	55.5		

①在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	25.9	調理	22.2	掃除•洗濯	22.2
買い物	14.8	ゴミ出し	18.5	外出同行	29.6
移送サービス	37.0	見守り、声かけ	33.3	通いの場	18.5
その他	3.7	特にない	18.5		

サービス名	近隣の人にお願いしたい ことの割合(%)	地域でできる支援の割合 (%)
見守り	44.4	32.5
声かけ	37.0	40.4
外出同行	7.4	9.2
雪かき	25.9	20.2
庭の手入れ	3.7	16.2
ゴミ出し	7.4	15.8
買物	7.4	11.4
調理	11.1	3.1
掃除	7.4	11.4
着替え	0.0	3.5
季節用品の入替	0.0	2.2
電球交換	3.7	10.5
特にない(できない)	22.2	29.4
その他	0.0	2.2

第七圏域(さくら)

1「第一地区」

(1)地区の現状

表中()は市平均値

総人口(人)		高	齢者人口 (人)	高齢化率(%)	前期高齢者(人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
	4,947		1,609	32.5 (30.4)	784	825	51.3 (53.6)
一般高齢者 事業対 (人)		対象者	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者認定率(%)
1,295		19	67	228	18.3 (16.1)	112	7.0 (5.8)

令和5年1月5日時点

		:	指標となる項目	市内全域(%)第七圏域(%)	調査結果 (%)	地区順位			
		健	康高齢者	14.2	16.0	6			
	高齢者像の 出現率	介	<u>護予防事業対象者</u>	77.7 76.6	<u>74.0</u>	5			
		<u>サ</u>	ービス事業対 <u>象者</u>	5.9 6.8	<u>7.6</u>	26			
		お	世話役としての社会参加意向がある	36.0 37.3	39.9	4			
		生き週に過二会参加の視点	加者としての社会参加意向がある	62.2 63.7	65.6	5			
			生きがいがある	61.1 60.7	61.1	16			
一 般 京			週二回」 参加の視点		週	に何度か以上友人・知人と会う	33.4 32.5	32.6	17
高齢者	4 024045				二回以上外出している	81.7 88.5	91.3	1	
のビジ	社会参加の視点			らかの地域活動へ参加している	66.8 66.1	66.3	16		
ンョン			①ボランティアのグループに参加して いる	13.8 12.6	14.6	13			
			参加している	②スポーツ関係のグループやクラブに 参加している	20.2 23.9	27.1	2		
				③趣味関係のグループに参加している	③趣味関係のグループに参加している	26.4 29.1	31.6	2	
		④学習・教養サークルに参加している		8.0 9.0	12.5	1			

			市内全域(%)第七圏域(%)	調査結果	地区順位				
			⑤介護予防のための通いの場に参加し ている	8.5 7.1	6.6	24			
			⑥老人クラブに参加している	4.7	1.7	27			
	社会参加の視点		⑦町内会・自治会に参加している	33.0 31.0	29.9	21			
			⑧収入のある仕事に参加している	27.5 27.9	28.5	11			
			段昇降(手すりや壁を伝わらずに)してる	63.4 66.2	67.7	1			
	社会参加と生活 支援・介護予防 の両方の視点		子からの立ち上がり (何もつかまらず) している	77.4 82.7	84.0	1			
		15	分以上の歩行をしている	66.8 77.4	81.9	1			
		古	いものが <u>食べにくくなった</u>	30.0 26.0	<u>24.7</u>	2			
		お茶や汁物で <u>むせる</u> ロの渇きが <u>気になる</u> 毎日歯磨きをしている	茶や汁物で <u>むせる</u>	25.5 24.7	<u>23.3</u>	3			
一 般 高	i		の渇きが <u>気になる</u>	25.0 23.4	<u>24.7</u>	12			
齢者			毎	日歯磨きをしている	91.9 92.2	91.7	21		
のビジ			過	去一年間で転倒していない	68.0 72.2	69.4	8		
ンヨン				健	康への関心がある	90.1 91.8	92.7	3	
			外	出を <u>控えている</u>	25.9 24.7	<u>21.2</u>	2		
	介護予防・生活 支援の視点		出を <u>控えている</u> <u>交通手段がない理由のみ)</u>	12.7 11.8	<u>13.1</u>	18			
		月	に何度か以上誰かと食事をする	78.2 78.2	79.5	12			
		I	A D L の <u>低下に該当</u>	5.2 3.9	<u>3.8</u>	7			
		知的能動性の <u>低下に該当</u> 何らかの介護予防 <u>リスクに該当</u>		<u>に該当</u> 12.5 10.7		1			
				84.3 84.1	<u>82.2</u>	6			
			①運動器の機能低下 <u>リスクに該当</u>	12.5 8.7	8.0	1			
						②低栄養の傾向 <u>リスクに該当</u>	1.0 0.5	0.7	12
			③口腔機能の低下 <u>リスクに該当</u>	22.2 19.5	18.8	4			

		指標となる項目	市内全域(%)	調査結果	地区		
		旧保この句は日	第七圏域(%)	(%)	順位		
		 ④閉じこもり傾向 <u>リスクに該当</u>	33.6	20.5	2		
<u> </u>		4月にこもり頃円 <u>サスクに該当</u>	30.4	<u>28.5</u>			
般高	介護予防・生活	○到加機能の低下 II フカル 詩 出	52.3	50 F	00		
局 齢	支援の視点	⑤認知機能の低下 <u>リスクに該当</u>	53.2	<u>53.5</u>	20		
者		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	46.0	00		
の		(b) プラ傾向 <u>リスクに該当</u>	47.2	<u>46.9</u>	23		
ビジ		(はない) (主知のはまず)	79.0	00.6	11		
ョ	総合的な評価	健康状態がよい(主観的健康感)	78.4	80.6	11		
ン	指標	幸せと感じる割合が平均以上	61.8	00.1	1.4		
		(主観的幸福感)	62.4	62.1	14		
		人業児院以及の共 ビュナ利田していて	28.5	07.4	0		
		介護保険以外のサービスを利用している	31.6	37.4	2		
		計明込序を利用していて	18.2	00.1			
		訪問診療を利用している	20.7	23.1	6		
		もしものときのために、家族や医療関係	8.8	77	20		
	『本人』の在宅	者と詳しく話しあったことがある	8.0	7.7	20		
	生活の継続性の確保の視点	在宅生活を続けていくために訪問系サー	23.7	00.1	10		
		ビスが必要だと思う	24.7	23.1	16		
			64.4	07.0	10		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	68.4	67.0	10		
		**************************************	75.2	75.0	4.0		
要		適切な在宅介護生活の継続を実現している	78.2	75.8	13		
介=#		アウルボドフ Λ=#1+++1-+>1、	5.1		0.7		
護			不安に感じる介護は特にない	4.7	1.1	27	
者等			25.8	00.0	0.5		
の	家族等『介護			認知症状に対する <u>不安を感じる</u>	24.0	<u>30.8</u>	25
ビ	者』の就労継 続の視点	// =	74.3	70.0	00		
ジョ	砂ビン7元 	仕事と介護を両立できる	75.5	72.2	22		
ン		A = ++ - +	11.8	444	4.0		
		介護を理由に <u>離職・転職した</u>	13.5	<u>11.1</u>	12		
		**************************************	62.2	05.0	_		
		参加者としての社会参加意向がある	63.7	65.6	5		
		5.111-7.0.1 1 アカリクタ セウナパトラ	36.0	00.0			
	『サービス提供	お世話役としての社会参加意向がある	37.3	39.9	4		
	体制』の確保の 視点	12- \ - \ - \ - \ - \ - \ - \ - \ - \ - \	13.8	4.4.0	10		
	DU AT	ボランティアのグループに参加している	12.6	14.6	13		
			69.5	76.5	9		
		地域で支援できることがある	69.8	72.9			
	総合的な評価		29.5	0.5.5			
	指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	25.5	20.9	28		
ш			20.0				

①在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	24.2	調理	18.7	掃除•洗濯	27.5
買い物	27.5	ゴミ出し	27.5	外出同行	37.4
移送サービス	30.8	見守り、声かけ	23.1	通いの場	15.4
その他	11.0	特にない	15.4		

サービス名	近隣の人にお願いしたい ことの割合(%)	地域でできる支援の割合 (%)
見守り	25.3	35.4
声かけ	27.5	43.1
外出同行	7.7	9.4
雪かき	15.4	14.9
庭の手入れ	7.7	5.2
ゴミ出し	16.5	19.4
買物	12.1	13.9
調理	1.1	6.9
掃除	8.8	14.2
着替え	1.1	2.1
季節用品の入替	4.4	0.7
電球交換	7.7	9.0
特にない(できない)	24.2	29.5
その他	8.8	2.8

第七圏域(さくら)

2 「第二地区」

(1)地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)		高	齢者人口 (人)	高齢化率(%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
	9,699			2,811	29.0 (30.4)	1,400	1,411	50.2 (53.6)
			対象者	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者認定率(%)
	2,323		30	113	345	16.3 (16.1)	129	4.6 (5.8)

令和5年1月5日時点

			 指標となる項目	市内全域(%)	調査結果	地区
			第七圏域(%)	(%)	順位	
		17#	床京松老	14.2	100	17
		1廷	康高齢者	14.9	13.9	17
	高齢者像の		護予防事業対象者	77.7	70.0	19
	出現率	21	<u>護卫财争未刈豕在</u>	76.6	<u>78.9</u>	19
		ш	ービス事業対象者	5.9	6.0	16
		<u> 7</u>	一 こ 人 争 耒 刈 豕 白	6.8	<u>6.0</u>	10
		+>	世話役としての社会参加意向がある	36.0	25.0	10
		က	但品仅としての任会参加息内がある	37.3	35.0	18
		4	加来し、ての社会会加辛白がもで	62.2	61.0	10
		乡	加者としての社会参加意向がある	63.7	61.9	18
		Д.	きがいがある	61.1	60.4	19
		'	さいいいめる	60.7		19
<u> </u>		' ⊞	に何度か以上友人・知人と会う	33.4	32.3	18
般高		旭	に何度か以上及人・知人と会う	32.5		
静		' ⊞	一同い もは 山 レ イ い ス	81.7	86.1	5
者	 社会参加の視点	迥	二回以上外出している	88.5	00.1	5
の	社会参加の税点	/at	何らかの地域活動へ参加している	66.8	65.9	17
ビジ		ΊΨJ	らかの地域石動へ参加している	66.1	00.9	17
=			①ボランティアのグループに参加して	13.8	10.9	28
ン			いる	12.6	10.9	20
			②スポーツ関係のグループやクラブに	20.2	21.1	12
			参加している	23.9	21.1	12
			③趣味関係のグループに参加している	26.4	26.9	14
		③趣味関係のクループに参加 	②歴・休渕ポのグループに参加している	29.1	20.9	
			④学習・教養サークルに参加している	8.0	6.0	
			(サ)子白・叙食リーグルに参加している	9.0	6.0	27

			指標となる項目	市内全域(%)第七圏域(%)	調査結果	地区順位		
			⑤介護予防のための通いの場に参加し ている	8.5 7.1	7.6	20		
			⑥老人クラブに参加している	4.7	3.9	15		
	社会参加の視点 		⑦町内会・自治会に参加している	33.0 31.0	32.0	17		
			⑧収入のある仕事に参加している	27.5 27.9	27.5	16		
			- :段昇降(手すりや壁を伝わらずに)して :る	63.4 66.2	65.0	11		
	社会参加と生活支援・介護予防		·子からの立ち上がり (何もつかまらず .) している	77.4 82.7	81.6	3		
	の両方の視点		分以上の歩行をしている	66.8	73.4	2		
		固	いものが <u>食べにくくなった</u>	30.0 26.0	<u>27.2</u>	6		
		お	· 茶や汁物で <u>むせる</u>	25.5 24.7	<u>26.0</u>	17		
— 般	i d	П	の渇きが <u>気になる</u>	25.0 23.4	<u>22.4</u>	5		
高齢者		-		91.9 92.2	92.7	12		
のビ			生去一年間で転倒していない	68.0 72.2	74.6	1		
ジョン			-		康への関心がある	90.1 91.8	90.9	12
		外	出を <u>控えている</u>	25.9 24.7	<u>27.8</u>	24		
	│ │ 介護予防・生活 │ 支援の視点		出を控 <u>えている</u> (交通手段がない理由のみ)	12.7	<u>10.9</u>	12		
	X 1X V DUM		に何度か以上誰かと食事をする	78.2 78.2	77.0	18		
		IADLの低下に該当	A D L の <u>低下に該当</u>	5.2 3.9	<u>3.9</u>	8		
		知	的能動性の <u>低下に該当</u>	12.5 10.7	13.0	16		
		何らかの介護予防 <u>リスクに該当</u> ①運動器の機能低下 <u>リスクに該当</u>	らかの介護予防 <u>リスクに該当</u>	84.3 84.1	<u>85.8</u>	20		
			①運動器の機能低下 <u>リスクに該当</u>	①運動器の機能低下 <u>リスクに該当</u>	12.5	<u>9.4</u>	2	
				②低栄養の傾向 <u>リスクに該当</u>	1.0	<u>0.3</u>	5	
			③口腔機能の低下 <u>リスクに該当</u>	22.2 19.5	<u>20.2</u>	7		

		化塩しれて佐口	市内全域(%)	調査結果	地区		
		指標となる項目 	第七圏域(%)	(%)	順位		
		 ④閉じこもり傾向 <u>リスクに該当</u>	33.6	32.0	12		
_		(4)別じこもり傾向 <u>サスクに該当</u>	30.4	32.0	12		
般高	介護予防・生活	 ⑤認知機能の低下 <u>リスクに該当</u>	52.3	<u>52.9</u>	16		
齢	支援の視点	③認知機能の低下 <u>サスクに該当</u>	53.2	<u>52.9</u>	10		
者		 ⑥うつ傾向 <u>リスクに該当</u>	45.1	<u>47.4</u>	24		
の		も り フ傾向 <u>サスクに該当</u>	47.2	47.4	24		
ビジ		健康状態がよい(主観的健康感)	79.0	76.4	23		
=	総合的な評価	性承认認がない (土既的健康認)	78.4	70.4	23		
ン	指標	幸せと感じる割合が平均以上	61.8	62.7	11		
		(主観的幸福感)	62.4	02.7	11		
		介護保険以外のサービスを利用している	28.5	28.8	16		
		月長体院の外のグーとへを利用している	31.6	20.0	10		
		訪問診療を利用している	18.2	19.6	11		
		初回診療を利用している	20.7	19.0	11		
		- しものときのために、家族や医療関係	8.8	8.2	19		
	『本人』の在宅 生活の継続性の	者と詳しく話しあったことがある	8.0	0.2	19		
	生活の継続性の確保の視点	在宅生活を続けていくために訪問系サー	23.7	25.5	11		
		ビスが必要だと思う	24.7	20.0	11		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	69.0	6		
		八王の取朔を延える場所の布主がめる	68.4		U		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	79.3	5		
要		週初な仕七月設土冶の極帆を失坑している	78.2	79.3	J		
介羅		不安に感じる介護は特にない 	5.1	6.5	5		
護者等			4.7	0.5	J		
			25.8	<u>20.7</u>	5		
の	家族等『介護 者』の就労継		家族等『介護者』の就学継	mixinmen(バーバリチの <u>バタと流じる</u>	24.0	<u>20.7</u>	3
ビジ	続の視点	仕事と介護を両立できる	74.3	77.6	13		
3		11年2月度を同立てきる	75.5	77.0	10		
ン		介護を理由に <u>離職・転職した</u>	11.8	<u>14.5</u>	21		
		月 6 6 7 日 1 6 <u>1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 </u>	13.5	17.0	21		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	61.9	18		
			63.7	01.0	10		
	C11 12→ +8/14	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	35.0	18		
	『サービス提供 体制』の確保の	0.0円以てしていは女シ州心門がある	37.3	00.0	10		
	視点	ボランティアのグループに参加している	13.8	10.9	28		
		バンン 1 1 のフルーフに参加している	12.6	10.0	20		
		地域で支援できることがある	69.5	67.1	21		
		で多く又は、ことのことがある	69.8	07.1			
	総合的な評価	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	27.7	20		
	指標	八二の政別でロロー 初原もくだんにい	25.5	21.1	20		

①在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	21.2	調理	16.3	掃除•洗濯	25.5
買い物	21.7	ゴミ出し	20.1	外出同行	28.3
移送サービス	31.5	見守り、声かけ	23.9	通いの場	14.7
その他	5.4	特にない	23.9		

サービス名	近隣の人にお願いしたい ことの割合(%)	地域でできる支援の割合 (%)
見守り	27.2	29.0
声かけ	25.5	37.2
外出同行	8.2	10.0
雪かき	30.4	14.5
庭の手入れ	11.4	10.9
ゴミ出し	13.6	18.7
買物	8.2	14.5
調理	5.4	7.3
掃除	7.6	15.7
着替え	2.2	2.7
季節用品の入替	1.6	3.0
電球交換	7.1	8.8
特にない(できない)	29.9	32.3
その他	1.6	4.2

第八圏域(かがやき)

1 「第三地区」

(1)地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)		高	齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
	7,902		2,561	32.4 (30.4)	1,160	1,401	54.7 (53.6)
一般高齢者 事業対象 (人)			要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者認定率(%)
2,100		53	109	299	15.9 (16.1)	102	4.0 (5.8)

令和5年1月5日時点

		化幅しかえ话ロ	市内全域(%)	調査結果	地区
		指標となる項目	第八圏域(%)	(%)	順位
		() () () () () () () () () () () () () ()	14.2	13.6	18
		健康高齢者	14.8	13.0	10
	高齢者像の	介護予防事業対象者	77.7	70.0	19
	出現率	<u> </u>	76.7	<u>78.9</u>	19
		サービス事業対象者	5.9	<u>6.5</u>	20
		<u>サービス事業対象有</u>	6.3	0.5	20
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	37.0	10
		の世品技としての社会参加息向かめる	40.6	37.0	10
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	63.3	13
		参加者としての社会参加息问がある	66.0	57.1	13
		きかいがある	61.1		26
		生されておめる	59.5		20
_		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4		15
般宣		週に何及が攻工及人・加入と去り	31.4		13
高齢		週二回以上外出している	81.7	84.4 70.3	8
者の	社会参加の視点		85.9		0
の	社会参加の税点	 何らかの地域活動へ参加している	66.8		6
ビジョ		円 6200地域活動・一参加している	70.5	70.3	0
3		①ボランティアのグループに参加して	13.8	12.7	21
ン		いる	12.9	12.7	21
		②スポーツ関係のグループやクラブに	20.2	19.5	10
		参加している	22.0	19.5	18
			26.4	26.3	16
		○歴外国际のフルーフに参加している	28.6	20.3	10
		④学習・教養サークルに参加している	8.0	7.8	13
		サー・ 教養リーブルに参加している	8.4	7.0	13

			市内全域(%) 第八圏域(%)	調査結果	地区順位		
			⑤介護予防のための通いの場に参加し	8.5	107	_	
			ている	8.3	10.7	5	
			@# b = = = 1.7	4.7	0.4		
	11 1 2 2 2 2 2 2		⑥老人クラブに参加している	4.7	8.4	4	
	社会参加の視点			33.0	40.0		
		⑦町内会・自治会に参加している	33.1	40.9	4		
				27.5	07.0	10	
			⑧収入のある仕事に参加している	30.1	27.3	19	
		階		63.4	65.6		
		い	ঠ	65.1		8	
	社会参加と生活	椅	· 子からの立ち上がり(何もつかまらず	77.4	77.0	10	
	支援・介護予防 の両方の視点) している	78.7	77.6	12	
	の周りの飛点	1 -		66.8			
		15	分以上の歩行をしている	68.7	66.2	16	
				30.0			
		直	いものが <u>食べにくくなった</u>	29.8	<u>27.6</u>	7	
		お茶や汁物で <u>むせる</u>		25.5			
			26.0	<u> 26.9</u>	23		
_				25.0			
般			の渇きが <u>気になる</u>	26.9	<u>25.0</u>	16	
高				91.9	93.2		
齢 者		毎	日歯磨きをしている	92.8		6	
の		健康への関	過去一年間で転倒していない	68.0	68.8		
ビジ				67.2		11	
ジ				90.1			
ョン				康への関心がある	90.1	91.2	6
						25.9	
			出を <u>控えている</u>	24.1	<u>24.0</u>	7	
	 介護予防・生活 タ	人类文叶 生活	ы	山ナ惊ラブハス	12.7		
	が護予防・生活 支援の視点		出を <u>控えている</u> <u>「交通手段がない理由のみ)</u>	11.0	<u>8.1</u>	2	
	~1% 07 17t/m		<u> </u>	78.2			
		月	に何度か以上誰かと食事をする	79.1	75.0	28	
				5.2			
		I	A D L の <u>低下に該当</u>	3.8	<u>3.2</u>	5	
				12.5			
		知	的能動性の <u>低下に該当</u>	12.5	<u>12.3</u>	12	
		何	らかの介護予防 <u>リスクに該当</u>	84.3 83.8	<u>86.4</u>	24	
				12.5			
			①運動器の機能低下 <u>リスクに該当</u>	11.4	<u>11.4</u>	12	
			②低栄養の傾向 <u>リスクに該当</u>				1
				1.0	<u>1.3</u>	21	
			③口腔機能の低下 <u>リスクに該当</u>	22.2	<u>22.4</u>	17	
				23.6			

			市内全域(%)	調査結果	地区
			第八圏域(%)	(%)	順位
		 ④閉じこもり傾向 <u>リスクに該当</u>	33.6	<u>30.8</u>	8
— fi几			30.3	<u> </u>	
般高	介護予防・生活	⑤認知機能の低下 <u>リスクに該当</u>	52.3	<u>52.6</u>	14
齢	支援の視点		51.1	<u>02.0</u>	
者		 ⑥うつ傾向 <u>リスクに該当</u>	45.1	<u>45.1</u>	17
のビ		@ > - 1901-0	43.9	10.1	.,
ジ		健康状態がよい(主観的健康感)	79.0	81.8	4
∃	総合的な評価	EN MEN OF CERTIFIED	80.5	01.0	-
レ	指標	幸せと感じる割合が平均以上	61.8	63.5	9
		(主観的幸福感)	64.6	00.0	J
		介護保険以外のサービスを利用している	28.5	35.3	3
		月段体膜以外のグーとへを利用している	32.0	33.3	J
		訪問診療を利用している	18.2	20.2	0
		もしものときのために、家族や医療関係	19.8	20.2	8
			8.8	0.0	10
	『本人』の在宅	者と詳しく話しあったことがある	11.3	9.8	10
	生活の継続性の 確保の視点	在宅生活を続けていくために訪問系サー	23.7	07.7	4
	惟体の悦泉	ビスが必要だと思う	25.8	27.7	4
			64.4		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	63.2	63.6	19
			75.2	70.0	_
要		適切な在宅介護生活の継続を実現している	74.2	78.0	8
介			5.1		
護		不安に感じる介護は特にない	4.0	5.2	12
者等		『介護 認知症状に対する <u>不安を感じる</u>	25.8		
の	家族等『介護		23.8	<u>20.8</u>	6
ビ	者』の就労継		74.3		
ジョ	続の視点	仕事と介護を両立できる	79.9	81.3	6
コレ			11.8		
-		介護を理由に <u>離職・転職した</u>	10.9	<u>9.8</u>	7
			62.2		
		参加者としての社会参加意向がある	66.0	63.3	13
			36.0		
	『サービス提供	お世話役としての社会参加意向がある	40.6	37.0	10
	体制』の確保の		13.8		
	視点	ボランティアのグループに参加している		12.7	21
			12.9		7
		地域で支援できることがある	69.5	74.0	
	40 A 11 1 == !=		71.7 29.5		
	総合的な評価	- 人生の最明を日子・報修子で訓えたい		30.1	14
	指標		26.6		17

①在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	18.5	調理	14.5	掃除•洗濯	26.6
買い物	24.3	ゴミ出し	21.4	外出同行	32.4
移送サービス	30.6	見守り、声かけ	24.3	通いの場	13.9
その他	6.9	特にない	16.2		

サービス名	近隣の人にお願いしたい ことの割合(%)	地域でできる支援の割合 (%)
見守り	31.2	33.1
声かけ	32.4	38.3
外出同行	6.4	8.1
雪かき	32.4	15.9
庭の手入れ	8.7	8.4
ゴミ出し	13.3	17.5
買物	8.7	14.3
調理	2.9	6.8
掃除	9.2	14.6
着替え	1.2	2.9
季節用品の入替	2.3	1.6
電球交換	9.2	8.4
特にない(できない)	26.0	27.3
その他	2.3	2.9

第八圏域(かがやき)

2 「第四地区」

(1)地区の現状

表中()は市平均値

総人口(人)		高	齢者人口 (人)	高齢化率(%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
	5,592		2,094	37.4 (30.4)	857	1,237	59.1 (53.6)
一般高齢者 (人)		対象者	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者認定率(%)
1,594		40	99	361	22.0 (16.1)	214	10.2 (5.8)

令和5年1月5日時点

		指標となる項目	市内全域(%)第八圏域(%)	調査結果 (%)	地区順位
		健康高齢者	14.2 14.8	14.1	15
	高齢者像の 出現率	介護予防事業対象者	77.7 76.7	<u>77.1</u>	11
		サービス事業対象者	5.9 6.3	<u>7.0</u>	24
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0 40.6	46.5	1
		参加者としての社会参加意向がある	62.2 66.0	72.2	1
		生きがいがある	61.1 59.5	66.2	2
— 般		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4 31.4	30.3	25
高齢者	4 024041	週二回以上外出している	81.7 85.9	87.3	3
のビジ	社会参加の視点	何らかの地域活動へ参加している	66.8 70.5	73.6	2
ンョン		①ボランティアのグループに参加して いる	13.8 12.9	15.1	9
		②スポーツ関係のグループやクラブに 参加している	20.2 22.0	25.4	3
		③趣味関係のグループに参加している	26.4 28.6	34.2	1
		④学習・教養サークルに参加している		10.2	6

		指標となる項目	市内全域(%) 第八圏域(%)	調査結果 (%)	地区順位	
		⑤介護予防のための通いの場に参加し	8.5	7.4	21	
		ている	8.3	7.4	21	
		 ⑥老人クラブに参加している	4.7	3.2	10	
	社会参加の視点		4.7	0.2	10	
	11五岁加07九 <u>//</u> //////////////////////////////////	 ⑦町内会・自治会に参加している	33.0	36.3	順位 21 19 12 3 15 8 3 10 19 28 18 14 23 3 24 6 10	
		WALL BUILDING CO.	33.1	00.0	12	
		8収入のある仕事に参加している	27.5	31.7	3	
		© 10,000 0 12 41-2 10 0 0 0 0	30.1	01.7		
		階段昇降(手すりや壁を伝わらずに)して	63.4	63.0	15	
	サクタ加 しかに	いる	65.1	00.0		
	社会参加と生活 支援・介護予防	椅子からの立ち上がり(何もつかまらず	77.4	79.6	8	
	の両方の視点	に) している	78.7	7 0.0		
		15分以上の歩行をしている	66.8	72.9 28.2 26.4 30.3 92.3	3	
		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	68.7	72.0		
		固いものが <u>食べにくくなった</u>	30.0	28.2	10	
		<u> </u>	29.8	<u> </u>		
		お茶や汁物で <u>むせる</u>	25.5	26.4	19	
		33 X Y 71 18 C <u>G E 0</u>	26.0	20.4	10	
<u>—</u>		口の渇きが気になる	25.0		28	
般高		TOTAL N	26.9			
齢		毎日歯磨きをしている	91.9		18	
者		prink C C O C V No	92.8		10	
のビ		過去一年間で転倒していない	68.0		14	
ジ		ALL THE CAME OF CO.	67.2		1.7	
3		健康への関心がある	90.1		23	
ン		WW 071/1876 03 0	90.1	00.1	20	
		外出を控えている	25.9	<u>21.8</u>	3	
				24.1	21.0	
	介護予防・生活	外出を控えている	12.7	<u>16.1</u>	24	
	支援の視点	<u>(交通手段がない理由のみ)</u>	11.0	10.1		
		月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	80.6	6	
		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	79.1			
		I A D L の <u>低下に該当</u>	5.2	<u>4.2</u>	10	
			3.8			
		知的能動性の <u>低下に該当</u>	12.5	<u>11.6</u>	10	
			12.8			
		何らかの介護予防 <u>リスクに該当</u>	84.3	<u>84.7</u>	15	
			83.8			
		①運動器の機能低下 <u>リスクに該当</u>	12.5	<u>10.9</u>	7	
		①建刻館の1200円で1200円である。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11.4			
		②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	1.8	25	
			1.6			
		③口腔機能の低下 <u>リスクに該当</u>	22.2	<u>24.3</u>	24	
			23.6			

		化梅しかで行口	市内全域(%)	調査結果	地区
		指標となる項目	第八圏域(%)	(%)	順位
			33.6	20.2	7
-	- 分 介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向 <u>リスクに該当</u>	30.3	<u>30.3</u>	/
般高			52.3	E4.0	0.5
高 齢		⑤認知機能の低下 <u>リスクに該当</u> 	51.1	<u>54.6</u>	25
者			45.1	40.0	0
の		⑥うつ傾向 <u>リスクに該当</u> 	43.9	<u>42.3</u>	3
ビジ		(A) 中 (L) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A	79.0	77.0	00
リヨ	総合的な評価	健康状態がよい(主観的健康感)	80.5	77.8	20
ン	, 指標	幸せと感じる割合が平均以上	61.8	66.1	0
		(主観的幸福感)	64.6	66.1	2
			28.5	22.2	4
		介護体膜以外のサービスを利用している	32.0	33.3	4
		計明込庫ナ利田していて	18.2	15.0	0.1
		訪問診療を利用している	19.8	15.8	21
	『本人』の在宅生活の継続性の確保の視点 者と詳しく話しあったことがある 11 在宅生活を続けていくために訪問系サービスが必要だと思う 23 人生の最期を迎える場所の希望がある 64 63 75	8.8	0.4	00	
		者と詳しく話しあったことがある	11.3	6.1	22
		在宅生活を続けていくために訪問系サー	23.7	06.0	_
		ビスが必要だと思う	25.8	26.3	5
		したの見切さがころはずのそはだれて	64.4	65.8	11
		入土の販期を迎える場所の布室がある	63.2		
		************************************	75.2		0.1
要		人生の最期を辿える場所の希望がある63.2適切な在宅介護生活の継続を実現している75.274.271.9	21		
介譯		ファーヴドフ人部はせ <i>ート</i> い	5.1	0.5	10
護者等		不安に感じる介護は特にない	4.0	2 2 2 71.9 1 3.5	19
等		認知症状に対する不安を感じる	25.8	05.4	15
の	家族等『介護 者』の就労継	認知症状に対する <u>小女を感じる</u>	23.8	<u>25.4</u>	15
ビジ	有』の就力極 続の視点	仕事と介護を両立できる	74.3	72.7	21
3	120 -2 1203111	11年2月後を向立できる	79.9	12.1	21
ン		介護を理由に <u>離職・転職した</u>	11.8	0.0	4
		介 設 を 垤 田 に <u>榧 峨 ・ 転 峨 し た</u>	10.9	<u>8.2</u>	4
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	72.2	1
		参加有としての社会参加息円がある	66.0	12.2	'
	D	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	46.5	1
	『サービス提供 体制』の確保の	お世間収としての社会参加息内がめる	40.6	40.5	'
	神制』の唯体の 視点	ボランティアのグループに参加している	13.8	15.1	9
				13.1	9
		地域で支援できることがある	69.5	73.2	8
		心外で又抜いさることがのる	71.7	/ 3.2	0
	総合的な評価	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	27.2	21
	指標	八工の取別で日七・祝族七じ迎んだい	26.6	27.2	Z I

①在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	14.0	調理	17.5	掃除•洗濯	28.1
買い物	21.9	ゴミ出し	19.3	外出同行	28.9
移送サービス	28.1	見守り、声かけ	23.7	通いの場	19.3
その他	7.9	特にない	17.5		

サービス名	近隣の人にお願いしたい ことの割合(%)	地域でできる支援の割合 (%)
見守り	24.6	35.2
声かけ	26.3	44.4
外出同行	7.9	12.3
雪かき	26.3	16.9
庭の手入れ	10.5	8.5
ゴミ出し	11.4	20.8
買物	5.3	15.8
調理	6.1	7.0
掃除	7.9	15.1
着替え	2.6	1.8
季節用品の入替	1.8	3.9
電球交換	7.0	7.0
特にない(できない)	36.0	28.5
その他	0.0	3.9

第八圏域(かがやき)

3「第九地区」

(1)地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)		高	齢者人口 (人)	高齢化率(%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
	7,505		1,430	19.1 (30.4)	727	703	49.2 (53.6)
一般高齢者 (人)		対象者()	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者認定率(%)
1,180		15	33	202	16.4 (16.1)	115	8.0 (5.8)

令和5年1月5日時点

			指標となる項目	市内全域(%)	調査結果	地区	
			11 WC-0-0-X II	第八圏域(%)	(%)	順位	
			康高齢者	14.2	16.9	4	
		廷	外问图17日	14.8	10.9	4	
	高齢者像の	介	護予防事業対象者	77.7	73.7	4	
	出現率	71	<u>设了财争未对条任</u>	76.7	<u>/3./</u>	4	
		++	ービス <u>事業対象者</u>	5.9	5.4	13	
			<u> この事業対象有</u>	6.3	<u>5.∓</u>	10	
		ぉ	世話役としての社会参加意向がある	36.0	38.5	6	
		<i>a</i> 5	医語校としての性去参加息向がめる	40.6	30.5	U	
		*	加者としての社会参加意向がある	62.2	62.6	15	
		TO TO	多加有としての社会参加息向がめる	66.0	02.0	13	
		生	きがいがある	61.1	55.4 30.9	28	
		포	; n·v·n·w/~	59.5		20	
_		酒	週に何度か以上友人・知人と会う	33.4		21	
般高		旭	に何度が以上及人・如人と去り	31.4		21	
鹶		週二回以上外出している	81.7	86.0	6		
者	社会参加の視点		一回以上外出している	85.9	80.0	U	
の	社会参加の抗点	/at	らかの地域活動へ参加している	66.8	67.2	12	
ビジ		THI	らかの地域活動へ参加している	70.5	07.2	12	
=			①ボランティアのグループに参加して	13.8	10.8	30	
ン			いる	12.9	10.6	30	
			②スポーツ関係のグループやクラブに	20.2	21.2	11	
			参加している	22.0	21.2	11	
			③趣味関係のグループに参加している	26.4	25.5	19	
				28.6	20.0		
			(A)	↑ 当羽 - 牧美具 カルーを to ! マンフ	8.0	7.2	16
			④学習・教養サークルに参加している	8.4	1.2	10	

		指標となる項目	市内全域(%)	調査結果	地区			
		@A=#ZPL0+ 4 0 %1 0 PL- 4 + 1		(%)	順业			
		⑤介護予防のための通いの場に参加し ている	8.5 8.3	6.5	25			
			4.7					
		⑥老人クラブに参加している	4.7	2.2	順位			
	社会参加の視点		33.0					
		⑦町内会・自治会に参加している	33.1	21.2	30			
社会参加の視点 ②町内会・自治会に参加してい		27.5						
	では、	⑧収入のある仕事に参加している	30.1	31.7	3			
			63.4					
			65.1	66.5	3			
			77.4					
			78.7	79.1	9			
	の両方の視点	1-7 5 11 5	66.8					
		15分以上の歩行をしている	68.7	67.3	14			
		固いものが <u>食べにくくなった</u>	30.0	<u>33.8</u>	26			
		お茶や汁物で <u>むせる</u>	29.8					
			25.5	<u>24.5</u>	9			
			26.0	<u>25.5</u>				
		ロの渇きが <u>気になる</u>	25.0		20			
			26.9	92.8				
齢		∄日歯磨きをしている			11			
			92.8 68.0 64.4					
		過去一年間で転倒していない		26				
リジ			67.2					
			90.1	90.6	14			
レ			90.1					
		外出を控えている	25.9	<u>26.6</u>	16			
		7 pm C <u>127 C V</u>	24.1	<u> </u>				
				12.7	<u>9.5</u>	5		
	支援の視点	<u>(交通手段がない理由のみ)</u>	11.0	<u>0.0</u>				
		日に何度か以上誰かと食事をする	78.2	82.0	3			
		711-111XX XIIIX CX + C 7 0	79.1	02.0				
		IADLの低下に該当	5.2	<u>4.0</u>	9			
		TADEO <u>RITEMA</u>	3.8	4.0	J			
		知的能動性の低下に該当	12.5	<u>14.4</u>	24			
		Mujit対はの <u>は 11に 18日</u>	12.8	17.7	27			
		何らかの介護予防リスクに該当	84.3	<u>79.8</u>	2			
		何らかの介護予防 <u>リスクに該当</u> 	83.8	<u> 13.0</u>	٥			
		①運動器の機能低下 <u>リスクに該当</u>	12.5	110	10			
					① 注到 前 ツ 1 成 化 内 ト <u>リ ヘ ソ に 該 ヨ</u>	11.4	<u>11.9</u>	13
		②低光美の傾向 11.7.2 力に計业	1.0	1.0	25			
		②低栄養の傾向 <u>リスクに該当</u>	1.6	<u>1.8</u>				
	2 D B# 14K 4K 20 /ET 11 7		22.2	0.1.1	00			
		③口腔機能の低下 <u>リスクに該当</u> 	23.6	<u>24.1</u>	23			

		化塩しかでは口	市内全域(%)	調査結果	地区
		指標となる項目 	第八圏域(%)	(%)	順位
		 ④閉じこもり傾向 <u>リスクに該当</u>	33.6	29.9	5
_		(4)別じこもり傾向 <u>サスクに該当</u>	30.3	<u>29.9</u>	順位 5 2 12 6 7 27 5 1
般高	受 介護予防・生活 支援の組占	 ⑤認知機能の低下 <u>リスクに該当</u>	52.3	46.0	2
齢	支援の視点	少認知機能の低下 <u>サスクに該当</u>	51.1	<u>46.0</u>	
者		 ⑥うつ傾向 <u>リスクに該当</u>	45.1	44.9	10
の		し	43.9	<u>44.2</u>	12
ビジ		健康状態がよい(主観的健康感)	79.0	81.7	6
]	ョ 総合的な評価	医尿(小部がよい (土既时)医尿溶/	80.5	01.7	U
ン		幸せと感じる割合が平均以上	61.8	64.2	7
		(主観的幸福感)	64.6	04.2	,
		介護保険以外のサービスを利用している	28.5	21.2	27
		月 長 体 険 め か り と へ を 利用 し こい る	32.0	21.2	21
		訪問診療を利用している	18.2	25.8	5
		初回診療を利用している	19.8	20.0	5
		もしものときのために、家族や医療関係	8.8	24.2	4
	『本人』の在宅 生活の継続性の	者と詳しく話しあったことがある	11.3	24.2	'
	確保の視点	在宅生活を続けていくために訪問系サー	23.7	19.7	26
		ビスが必要だと思う	25.8	19.7	20
			64.4	57.6	25
		人生の最期を迎える場所の希望がある63.2適切な在宅介護生活の継続を実現している75.274.268.2	63.2		23
			75.2		25
要			00.2	20	
介羅		不安に感じる介護は特にない	5.1	1.5	26
護者等		1、女に恋しる月 設は付にない	4.0	1.0	20
等		認知症状に対する不安を感じる	25.8	28.8	22
の	家族等『介護 者』の就労継		23.8	20.0	22
ビジ	続の視点	仕事と介護を両立できる	74.3	88.5	1
3		仕事と月 暖を 岡立 くさる	79.9	00.0	'
ン		介護を理由に <u>離職・転職した</u>	11.8	20.0	28
		月設と年田に <u>離城・松城 07</u>	10.9	20.0	20
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	62.6	15
		多加品としての性女多加志同がある	66.0	02.0	13
	C.U. L → +0 /4	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	38.5	6
	『サービス提供 体制』の確保の	35世間区としての行名を加志同がある	40.6	30.5	U
	視点	Kの ボランティアのグループに参加している	13.8	10.8	30
		かフンティアのファクロで変加している		10.0	
		地域で支援できることがある	69.5	67.6	20
		で多く人はくこのここがある	71.7	07.0	
	総合的な評価	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	16.7	30
	指標	八工の取別でロモーベ派モ(座んだい	26.6	10.7	50

①在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	13.6	調理	9.1	掃除•洗濯	12.1
買い物	16.7	ゴミ出し	16.7	外出同行	34.8
移送サービス	31.8	見守り、声かけ	22.7	通いの場	9.1
その他	6.1	特にない	16.7		

サービス名	近隣の人にお願いしたい ことの割合(%)	地域でできる支援の割合 (%)
見守り	21.2	33.5
声かけ	21.2	37.8
外出同行	9.1	9.7
雪かき	22.7	12.9
庭の手入れ	4.5	11.2
ゴミ出し	7.6	19.1
買物	4.5	16.2
調理	1.5	8.3
掃除	1.5	16.5
着替え	1.5	4.7
季節用品の入替	3.0	4.3
電球交換	6.1	7.6
特にない(できない)	31.8	28.8
その他	1.5	2.2

第九圏域(霞城北部)

1「第七地区」

(1)地区の現状

表中()は市平均値

総人口(人)		高	齢者人口 (人)	高齢化率(%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
-	15,257		4,502	29.5 (30.4)	2,054	2,448	54.4 (53.6)
一般高齢者 (人)		対象者	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者認定率(%)
3,779		82	156	485	14.2 (16.1)	190	4.2 (5.8)

令和5年1月5日時点

		:	市内全域(%)	調査結果	地区			
			第九圏域(%)	(%)	順位			
			康高齢者	14.2	14.2	13		
		烶	决问 即 行	14.2	14.2	13		
	高齢者像の	♠	護予防事業対象者	77.7	<u>76.0</u>	7		
	出現率	21	<u>设了财争未对练有</u>	76.0	70.0	,		
		++	<u>ービス事業対象者</u>	5.9	8.4	29		
		<u>.</u>	一こへ事業対象有	8.4	0.4	29		
		ţ	世話役としての社会参加意向がある	36.0	38.5	6		
		દ	世話伎としての社会参加息问がめる	38.5	36.5	O		
		*	加者としての社会参加意向がある	62.2	64.8	9		
		-	加有としての社会参加息向かめる	64.8	04.6	9		
			きがいがある	61.1	59.5	22		
		土	5 min m 8	59.5		22		
_		Œ	に何度か以上友人・知人と会う	33.4		14		
般高		週二回 社会参加の視点	に何度が以上及人・加入と去り	33.0		14		
齢			二回以上外出している	81.7	83.2	12		
者	사스쏫베스ᅰ上		二回以上外出している	83.2	03.Z	12		
の	社会参加の税点			66.8	00.4	15		
ビジ			らかの地域活動へ参加している	66.4	66.4	10		
3			①ボランティアのグループに参加して	13.8	12.6	22		
ン			いる	12.6	12.0	22		
			②スポーツ関係のグループやクラブに	20.2	04.0	6		
			参加している	24.3	24.3	6		
		③趣味関係のグループに参加している	②振吐即体のだり、 プロ会加している	26.4	20.0	-		
			②歴味剤ポツソル―ノに参加している	29.9	29.9	5		
					④学習・教養サークルに参加している	8.0	7.0	15
			サー・教食リーグルに参加している	7.3	7.3	15		

			指標となる項目	市内全域(%)	調査結果 (%)	地区順位
			⑤介護予防のための通いの場に参加し	8.5	0.5	10
			ている	9.5	9.5	10
				4.7	10.1	
	11 4 4 1 - 4 17 1		⑥老人クラブに参加している	10.1	10.1	1
	社会参加の視点			33.0		
			⑦町内会・自治会に参加している	33.2	33.2	16
				27.5		
			⑧収入のある仕事に参加している	24.9	24.9	26
		階	:段昇降(手すりや壁を伝わらずに)して	63.4	G1 E	
		会加レ生活 しる		61.5	61.5	21
	社会参加と生活	格	· 子からの立ち上がり(何もつかまらず	77.4		
	支援・介護予防 の両方の視点) している	74.9	74.9	25
	の両力の批点	<u> </u>		66.8		
		15	分以上の歩行をしている	68.2	68.2	12
		_	10. 1 2 18 A 21. 1	30.0		
			いものが <u>食べにくくなった</u>	30.4	<u>30.4</u>	15
		お茶や汁物で <u>むせる</u>		25.5		
			茶や汁物で <u>むせる</u>	24.0	<u>24.0</u>	8
_			ロの渇きが <u>気になる</u>	25.0	30.4	30
般				30.4		
高				91.9		15
齢者		毎	日歯磨きをしている	92.5	92.5	
の				68.0		
ビジ		過	!去一年間で転倒していない	67.0	67.0	23
ジョ				90.1		
コン		健	:康への関心がある	91.1	91.1	8
				25.9		
		外	·出を <u>控えている</u>	26.8	<u>26.8</u>	17
	介護予防・生活	M	出を <u>控えている</u>	12.7		
	介護ア防・生活 支援の視点		・山で <u>控えている</u> 「 <u>交通手段がない理由のみ)</u>	11.5	<u>11.5</u>	13
				78.2		
		月	に何度か以上誰かと食事をする	78.2	78.2	15
				5.2		
		I	A D L の <u>低下に該当</u>	6.4	<u>6.4</u>	22
				12.5		
		知	的能動性の <u>低下に該当</u>	15.4	<u>15.4</u>	28
				84.3		
		何	「らかの介護予防 <u>リスクに該当</u>	85.2	<u>85.2</u>	16
				12.5		
		①運動器の機能低下 <u>リスクに該当</u> ②低栄養の傾向 <u>リスクに該当</u>	15.1	<u>15.1</u>	26	
				1.0		
			②低栄養の傾向 <u>リスクに該当</u>	2.2	<u>2.2</u>	28
					22.2	
			③口腔機能の低下 <u>リスクに該当</u>	22.6	<u>22.6</u>	19
ш		<u> </u>		22.0		

		10.1x 1.4x 7 +x 12	市内全域(%)	調査結果	地区			
		指標となる項目	第九圏域(%)	(%)	順位			
		小問じこも 11個点リスカル 表型	33.6	20.2	24			
_		④閉じこもり傾向 <u>リスクに該当</u> 	38.3	<u>38.3</u>	24			
般高	介護予防・生活	○野和機能の低下 U フカル 詩ツ	52.3	FO 4	10			
高 齢	支援の視点	⑤認知機能の低下 <u>リスクに該当</u> 	53.4	<u>53.4</u>	19			
者			45.1	40.0	00			
の		⑥うつ傾向 <u>リスクに該当</u>	46.6	<u>46.6</u>	22			
ビジ		/ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	79.0	75.7	0.0			
リヨ	総合的な評価	健康状態がよい(主観的健康感)	75.7	75.7	26			
ン	指標	幸せと感じる割合が平均以上	61.8	64.0	9			
		(主観的幸福感)	64.8	64.8	6			
		介護保険以外のサービスを利用している	11B 71 28.5	20.0	0			
		介護体険以外のサービスを利用している	30.9	30.9	8			
		計明シウナギロス	18.2	105	10			
		訪問診療を利用している	18.5	18.5	13			
		もしものときのために、家族や医療関係	8.8	4.0	0.7			
	『本人』の在宅	者と詳しく話しあったことがある	4.2	4.2	27			
	生活の継続性の 確保の視点	在宅生活を続けていくために訪問系サー	23.7	05.1	12			
	性体の力ルボ	ビスが必要だと思う	25.1	25.1	12			
		したの見知を知るて相配の各句がもで	64.4	61.4	21			
		人生の最期を迎える場所の希望がある	61.4	61.4				
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	78.8	6			
要		週 切な任 七月 設主力 の 極	78.8	70.0	0			
介譯		不安に感じる介護は特にない	5.1	5.0	14			
護者等		小女に恋しる弁護は特にない	5.0		14			
等		■ 認知症状に対する不安を感じる	25.8	29.3	23			
の		家族等『介護 者』の就労継	外队 寸 』 기 吱		認知症状に対する <u>小女を感じる</u>	29.3	<u> 29.3</u>	23
ビジ	右』の叔刃極 続の視点	仕事と介護を両立できる	74.3	78.4	11			
=		仕事と月段を同立てきる	78.4	70.4	' '			
ン		介護を理由に <u>離職・転職した</u>	11.8	<u>11.7</u>	15			
		月 接 で 垤 田 に <u>雌・蝦・ 半Δ・戦 し / こ</u>	11.7	11.7	13			
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	64.8	9			
		多加名としての性女多加志内がある	64.8	04.0	3			
	C.U. L → +0 /4	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	38.5	6			
	『サービス提供 体制』の確保の	35世間反このでの任女を加念内がある	38.5	30.5	U			
	視点	ボランティアのグループに参加している地域で支援できることがある	13.8	12.6	22			
			12.6	12.0				
			69.5	69.6	13			
		マング くてはてころ こころの	69.6					
	総合的な評価	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	28.6	16			
	指標	八工の取別でロモー 初灰モ(座んだり)	28.6	20.0	10			

①在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	20.5	調理	14.7	掃除•洗濯	17.8
買い物	17.8	ゴミ出し	18.9	外出同行	32.8
移送サービス	34.0	見守り、声かけ	21.6	通いの場	18.1
その他	3.5	特にない	23.9		

サービス名	近隣の人にお願いしたい ことの割合(%)	地域でできる支援の割合 (%)
見守り	32.0	33.5
声かけ	26.3	35.8
外出同行	5.8	5.9
雪かき	34.7	15.6
庭の手入れ	8.9	8.4
ゴミ出し	12.0	16.8
買物	5.4	12.8
調理	3.9	5.0
掃除	5.8	14.0
着替え	0.8	2.8
季節用品の入替	1.5	3.4
電球交換	5.4	9.2
特にない(できない)	33.2	31.8
その他	2.7	1.7

第十圏域(霞城西部)

1「第十地区」

(1)地区の現状

表中()は市平均値

総人口(人)		高	齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者(人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
-	10,136		2,954	29.1 (30.4)	1,311	1,643	55.6 (53.6)
一般高齢者 (人)		対象者	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者認定率(%)
2,388		71	126	369	16.8 (16.1)	150	5.1 (5.8)

令和5年1月5日時点

	指標となる項目				調査結果	地区		
	旧保こびの項目				(%)	順位		
			h		健康高齢者		11.9	24
		烶	决问即 名	12.8	11.3	24		
	高齢者像の	介	護予防事業対象者	77.7	80.9	26		
	出現率	21	<u>设于例于未对外日</u>	79.2	00.5	20		
		++	ービス事業対象者	5.9	<u>6.1</u>	18		
		_		6.0	0.1	10		
		ぉ	世話役としての社会参加意向がある	36.0	32.4	26		
		03	世間反こ このは女多加感情が のも	33.8	02.4	20		
		糸	加者としての社会参加意向がある	62.2	59.7	23		
				58.6	00.7	23		
		生き	きがいがある	61.1	64.8	5		
			C 77.0 - 77.00 - 0	61.4	04.0			
<u>+n</u>		调	週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	30.7	24		
般高		週二回以上外出して	に同反が、以工及人 加入こ五 7	30.1	00.7	27		
齢			一回以上外出している	81.7	88.4	2		
者	社会参加の組占			81.5	00.4			
の	在五岁加07九点		可らかの地域活動へ参加している	66.8	65.8	18		
ビジ		ניין	5/3 C/2022/10 30 10 C C C C C	64.7	00.0	10		
É			①ボランティアのグループに参加して	13.8	15.0	10		
ン			いる	13.6	10.0	10		
			②スポーツ関係のグループやクラブに	20.2	21.8	10		
			参加している	19.7	21.0	10		
		③趣味関係のグループに参加している	26.4	28.7	8			
			③	24.8	20.7	0		
					④学習・教養サークルに参加している	8.0	9.6	8
			サロ 教授 アプルに参加している	7.3	9.0	U		

		指標となる項目	市内全域(%)第十圏域(%)	調査結果 (%)	地区		
		@ A =# 7 Ph o b 14 o 77 t o 18 to 4 to 1	8.5	(%)	順位		
		⑤介護予防のための通いの場に参加し ている		9.9	7		
			10.7		1		
		⑥老人クラブに参加している	4.7	8.2	5		
	社会参加の視点		6.9				
		⑦町内会・自治会に参加している	33.0	25.9	26		
			29.6				
		⑧収入のある仕事に参加している	27.5 24.5	25.9 65.5 79.9 69.6 30.0 27.0 23.9 93.2 66.2	23		
		階段昇降(手すりや壁を伝わらずに)して いる	63.4 62.0	65.5	9		
	 社会参加と生活	<u> </u>					
	支援・介護予防	椅子からの立ち上がり(何もつかまらず に)している	77.4	79.9	7		
	の両方の視点		77.1 66.8				
		15分以上の歩行をしている		69.6	9		
			64.6				
		固いものが <u>食べにくくなった</u>	30.0	<u>30.0</u>	12		
			28.5				
		お茶や汁物で <u>むせる</u>	25.5	<u>27.0</u>	24		
			26.8	23.9			
般		ロの渇きが <u>気になる</u>	25.0		8		
高			25.6				
齢		毎日歯磨きをしている	91.9	93.2	6		
者の			92.5				
ビビ		過去一年間で転倒していない	68.0		24		
ビジ			65.5				
∃ .			健康への関心がある	90.1 89.4	89.4	20	
ン			25.9				
		外出を <u>控えている</u>	25.9	<u>23.9</u>	6		
	 介護予防・生活		人进 圣叶,	M リナー カニー・ファ	12.7		
	介護で防・生活 支援の視点	外出を <u>控えている</u> <u>(交通手段がない理由のみ)</u>	12.7	<u>12.9</u>	15		
	~1% or 1/c/m	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	78.2				
		月に何度か以上誰かと食事をする	75.6	73.7	29		
			5.2				
		I A D L の <u>低下に該当</u>	5.4	<u>4.4</u>	11		
			12.5				
		知的能動性の <u>低下に該当</u>	11.1	<u>10.2</u>	5		
			84.3				
		何らかの介護予防 <u>リスクに該当</u>	85.8	<u>87.3</u>	27		
			12.5				
		①運動器の機能低下 <u>リスクに該当</u>	13.4	<u>12.3</u>	16		
			1.0				
		②低栄養の傾向 <u>リスクに該当</u>	0.9	<u>1.7</u>	23		
			22.2				
		③口腔機能の低下 <u>リスクに該当</u>	23.1	<u>25.6</u>	28		
			20.1				

		指標となる項目	市内全域(%)	調査結果	地区			
		相保となる項目	第十圏域(%)	(%)	順位			
		 ④閉じこもり傾向 <u>リスクに該当</u>	33.6	<u>31.1</u>	9			
<u>-</u>		母別しこもり傾向 <u>サスケに該当</u>	36.0	<u>31.1</u>	9			
般高	介護予防・生活	(全国な) 株式 ロフカル また 半	52.3	EE O	0.7			
高 齢	支援の視点	⑤認知機能の低下 <u>リスクに該当</u> 	54.6	<u>55.3</u>	27			
者		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	47.0	25			
の		してフ傾向 <u>リスクに該ヨ</u>	45.0	<u>47.8</u>	25			
ビジ		(はない) (一) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	79.0	77.0	20			
ョ	総合的な評価	健康状態がよい(主観的健康感)	77.2	77.8	20			
ン	指標	幸せと感じる割合が平均以上	61.8	67.0	4			
		(主観的幸福感)	63.1	67.0	1			
		人業児院に見る共 ビュナ利田していて	28.5	00.0	10			
		介護保険以外のサービスを利用している	31.6	29.6	10			
		計明込床と利用していて	18.2	140	0.5			
		訪問診療を利用している	14.4	14.2	25			
		もしものときのために、家族や医療関係	8.8	100	0			
	『本人』の在宅	者と詳しく話しあったことがある	12.4	13.0	3			
	生活の継続性の確保の視点	在宅生活を続けていくために訪問系サー	23.7					
		ビスが必要だと思う	24.0	24.1	14			
			64.4	500	26			
		人生の最期を迎える場所の希望がある	56.4	56.2	26			
		ウェルナウ A = サルフ A がけナウロ L ー L	75.2	75.0	4.0			
要		適切な在宅介護生活の継続を実現している	73.6	75.3	16			
介=#	家族等『介護	アウル 成じて 人法はセルカン		7.4				
護			不安に感じる介護は特にない		7.4	2		
者等		=75-4-16,-11-6-7-4-4-4-3-7	25.8	00.5	4.0			
の						認知症状に対する <u>不安を感じる</u>	24.8	<u>23.5</u>
ビ	者』の就労継 続の視点	<u> </u>	74.3	70.0	4.5			
ジョ	がいけた点	仕事と介護を両立できる	75.5	76.3	15			
ン		A =++ -t === 1 , ==+11 ==+ + = ==++ 1 , I	11.8	0.4				
		介護を理由に <u>離職・転職した</u>	9.3	<u>3.4</u>	2			
		* h + 1 - 0 1 0 2 5 5 5 5 5 5 5 5 5	62.2	F.C. 7				
		参加者としての社会参加意向がある	58.6	59.7	23			
		№Ш=740.1 1 №1 	36.0	22.1	2.0			
	『サービス提供	お世話役としての社会参加意向がある	33.8	32.4	26			
	体制』の確保の 視点	12-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-	13.8	45.0	1.0			
	17. M	71.7574700770 7109711000	13.6	15.0	10			
			69.5	0.5.5	22			
		地域で支援できることがある	67.4	66.2				
	総合的な評価	1.0 S = 10.4 14.5 14.5 1	29.5					
	指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	21.6	21.6	27			
ш			۷۱.۷					

①在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	20.4	調理	13.6	掃除•洗濯	19.8
買い物	19.8	ゴミ出し	23.5	外出同行	29.0
移送サービス	29.0	見守り、声かけ	19.8	通いの場	14.2
その他	4.9	特にない	19.1		

サービス名	近隣の人にお願いしたい ことの割合(%)	地域でできる支援の割合 (%)
見守り	32.1	28.3
声かけ	27.2	31.7
外出同行	6.8	7.2
雪かき	32.7	17.4
庭の手入れ	9.9	8.5
ゴミ出し	15.4	19.5
買物	11.1	10.6
調理	4.9	7.2
掃除	6.2	13.7
着替え	2.5	1.4
季節用品の入替	4.3	1.4
電球交換	4.9	6.1
特にない(できない)	28.4	35.2
その他	3.1	3.1

第十圏域(霞城西部)

2 「飯塚地区」

(1)地区の現状

表中()は市平均値

総人口(人)		高	齢者人口 (人)	高齢化率(%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
	3,146		1,121	35.6 (30.4)	472	649	57.9 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対	対象者	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者認定率(%)	
917		15	44	145	16.9 (16.1)	59	5.3 (5.8)	

令和5年1月5日時点

			指標となる項目	市内全域(%)第十圏域(%)	調査結果	地区順位					
		健	康高齢者	14.2 12.8	14.7	12					
	高齢者像の 出現率	介	護予防事業対象者	77.7 79.2	<u>76.3</u>	9					
		<u>サ</u>	一ビス事業対象者	5.9 6.0	<u>7.2</u>	25					
		ぉ	世話役としての社会参加意向がある	36.0 33.8	34.2	25 21 27 25 28 20					
		参	加者としての社会参加意向がある	62.2 58.6	56.1	27					
		生き	きがいがある	61.1 61.4	57.6	25					
— 般		週	に何度か以上友人・知人と会う	33.4 30.1	29.9	21 27 25 28 20 13					
高齢者		1	週.	週	週	週	週	二回以上外出している	81.7 81.5	80.6	20
何のビジョン	社会参加の視点	何	らかの地域活動へ参加している	66.8 64.7	66.6	13					
	∃		①ボランティアのグループに参加して いる	13.8 13.6	7.2 34.2 56.1 57.6 29.9 80.6	18					
			②スポーツ関係のグループやクラブに 参加している	20.2	17.6	順位 12 9 25 21 27 25 28 20 13 18					
				③趣味関係のグループに参加している	26.4 24.8	24.8	9 25 21 27 25 28 20 13 18 24 20				
			④学習・教養サークルに参加している	8.0 7.3	5.4	29					

			市内全域(%)第十圏域(%)	調査結果 (%)	地区順位		
			⑤介護予防のための通いの場に参加し	8.5		NOT LEE	
			ている	10.7	11.2	4	
				4.7			
			⑥老人クラブに参加している	6.9	9.7	2	
	社会参加の視点			33.0	31.7		
			⑦町内会・自治会に参加している	29.6		18	
				27.5			
			⑧収入のある仕事に参加している	24.5	26.6	22	
		陛	<u> </u> 段昇降(手すりや壁を伝わらずに)して	63.4			
			a	62.0	57.9	29	
	社会参加と生活		: 子からの立ち上がり(何もつかまらず	77.4	74.1		
	支援・介護予防)している	77.1		27	
	の両方の視点			66.8			
		15	分以上の歩行をしている	64.6	59.7	28	
				30.0			
		古	いものが <u>食べにくくなった</u>	28.5	<u>28.1</u>	8	
				25.5			
		お	茶や汁物で <u>むせる</u>	26.8	<u>27.3</u>	26	
_				25.0		<u>3.1</u> 26	
般		$\Box \sigma$	の渇きが <u>気になる</u>	25.6	<u>28.1</u>		
高				91.9			
齢者		毎	日歯磨きをしている	92.5	92.4	17	
りの				68.0			
ビ		過	去一年間で転倒していない	65.5	62.9	28	
ジョ				90.1	62.9		
」		健	康への関心がある	89.4		27	
				25.9			
		外	出を <u>控えている</u>	25.9	<u>26.3</u>	15	
	介護予防・生活	M	出を <u>控えている</u>	12.7			
	支援の視点		ーーで <u>ほんでいる</u> 「交通手段がない理由のみ)	12.9	<u>12.3</u>	14	
				78.2			
		月	に何度か以上誰かと食事をする	75.6	77.3	17	
			5.2				
		I	A D L の <u>低下に該当</u>	5.4	<u>6.1</u>	21	
				12.5			
		知	的能動性の <u>低下に該当</u>	11.1	<u>14.4</u>	24	
		_		84.3			
		何	「らかの介護予防 <u>リスクに該当</u>	85.8	<u>84.1</u>	13	
			0	12.5	14.4		
			①運動器の機能低下 <u>リスクに該当</u>	13.4		23	
				1.0	_	1	
			②低栄養の傾向 <u>リスクに該当</u>	0.9	<u>0.0</u>		
					22.2		
			③口腔機能の低下 <u>リスクに該当</u>	23.1	<u>23.4</u>	21	
			<u> </u>		1	1	

		指標となる項目	市内全域(%)	調査結果	地区
		相保となる項目	第十圏域(%)	(%)	順位
		 ④閉じこもり傾向 <u>リスクに該当</u>	33.6	20.0	25
<u>-</u>		毎別しこもり傾向 <u>サスクに該当</u>	36.0	<u>38.8</u>	25
般高	介護予防・生活	(C)到加州 (株) (大) (フカル = 大火	52.3	<u>52.5</u>	10
局 齢	支援の視点	⑤認知機能の低下 <u>リスクに該当</u>	54.6		13
者			45.1	<u>45.7</u>	19
の		⑥うつ傾向 <u>リスクに該当</u>	45.0		
ビジ		健康状態がよい(主観的健康感)	79.0	79.9	1.4
リヨ	総合的な評価	健康仏態がよい (土観的健康総)	77.2		14
ン	指標	幸せと感じる割合が平均以上	61.8	00.0	0.1
		(主観的幸福感)	63.1	60.9	21
		介護保険以外のサービスを利用している	28.5	22.2	4
		介護体膜以外のサービスを利用している	31.6	33.3	4
		計明シウナ利田レイルフ	18.2	140	0.0
		訪問診療を利用している	14.4	14.0	5
		もしものときのために、家族や医療関係	8.8	100	
	『本人』の在宅	者と詳しく話しあったことがある	12.4	12.3	
	生活の継続性の 確保の視点	在宅生活を続けていくために訪問系サー	23.7	26.3	_
	世体の元杰	ビスが必要だと思う	24.0		5
			64.4	F7.0	0.4
		人生の最期を迎える場所の希望がある	56.4	57.9	24
		** 切れたウムギルギの砂はも中田していて	75.2	66.7	27
要		適切な在宅介護生活の継続を実現している	73.6		
介=#		マウィー ct 18 フ A =# / 1 4 + / - 4- / .	5.1	7.0	
護者等		不安に感じる介護は特にない	6.8		
等		ᄗᇷᄼᆘᇩᆛᆛᄀᄀᇊᄼᇠᄼ	25.8	00.0	
の	家族等『介護	認知症状に対する <u>不安を感じる</u>	24.8	<u>22.8</u>	8
ビジ	者』の就労継 続の視点	<u> </u>	74.3	05.0	
ン	別・マンコル 赤	仕事と介護を両立できる	75.5	85.0	3
ン		A =++ -t	11.8		0.0
		介護を理由に <u>離職・転職した</u>	9.3	<u>17.1</u>	26
		41-711-011A41-7-18-17	62.2	F0.1	0.7
		参加者としての社会参加意向がある	58.6	56.1	27
			36.0	0.1.0	
	『サービス提供	お世話役としての社会参加意向がある	33.8	34.2	21
	体制』の確保の 視点	19-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-	13.8	4.6.=	10
	7.5. 木	ボランティアのグループに参加している	13.6	13.7	18
		444チャナ4回デナフー 1.45ナフ	69.5	70.0	,,
-		地域で支援できることがある	67.4	72.3	11
	総合的な評価		29.5	19.3	29
	指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	21.6		
ш	711 100		21.0		<u> </u>

①在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	15.8	調理	14.0	掃除•洗濯	21.1
買い物	28.1	ゴミ出し	28.1	外出同行	33.3
移送サービス	24.6	見守り、声かけ	26.3	通いの場	14.0
その他	5.3	特にない	15.8		

サービス名	近隣の人にお願いしたい ことの割合(%)	地域でできる支援の割合 (%)
見守り	28.1	30.9
声かけ	29.8	37.8
外出同行	5.3	6.8
雪かき	33.3	20.1
庭の手入れ	8.8	12.9
ゴミ出し	14.0	18.0
買物	5.3	14.4
調理	5.3	5.4
掃除	5.3	18.7
着替え	1.8	2.9
季節用品の入替	3.5	1.1
電球交換	8.8	10.1
特にない(できない)	28.1	26.3
その他	1.8	2.2

第十圏域(霞城西部)

3「椹沢地区」

(1)地区の現状

表中()は市平均値

総人口(人)		高	齢者人口 (人)	高齢化率(%)	前期高齢者(人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
	1,996		763	38.2 (30.4)	321	442	57.9 (53.6)
一般高齢者 (人)	事業対	才象者	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者認定率(%)
653		11	25	74	13.0 (16.1)	28	3.7 (5.8)

令和5年1月5日時点

		指標となる項目	市内全域(%)第十圏域(%)	調査結果 (%)	地区順位
		健康高齢者	14.2 12.8	11.7	25
	高齢者像の 出現率	<u>介護予防事業対象者</u>	77.7 79.2	80.4	23
		サービス事業対象者	5.9 6.0	<u>4.6</u>	7
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0 33.8	35.0	18
		参加者としての社会参加意向がある	62.2 58.6	60.0	22
		生きがいがある	61.1 61.4	61.7	14
一般高		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4 30.1	29.6	29
局齢者の	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	週二回以上外出している	81.7 81.5	74.2	26
のビジ	社会参加の視点	何らかの地域活動へ参加している	66.8 64.7	61.3	29
ンョン		①ボランティアのグループに参加して いる	13.8 13.6	11.7	24
		②スポーツ関係のグループやクラブに 参加している	20.2 19.7	19.6	17
		③趣味関係のグループに参加している	26.4 24.8	20.0	29
		④学習・教養サークルに参加している	8.0 7.3	6.7	22

			指標となる項目	市内全域(%)第十圏域(%)	調査結果	地区順位				
			⑤介護予防のための通いの場に参加し ている	8.5 10.7	11.3	3				
			⑥老人クラブに参加している	4.7	2.1	24				
	社会参加の視点		⑦町内会・自治会に参加している	33.0 29.6	31.7	18				
			⑧収入のある仕事に参加している	27.5 24.5	20.4	30				
			- 段昇降(手すりや壁を伝わらずに)して -る	63.4 62.0	62.5	17				
	社会参加と生活 支援・介護予防		- 子からの立ち上がり(何もつかまらず)している	77.4 77.1	77.1	15				
	の両方の視点		分以上の歩行をしている	66.8	64.2	18				
		固	いものが <u>食べにくくなった</u>	30.0 28.5	<u>27.1</u>	5				
			<u>茶や汁物で<u>むせる</u></u>	25.5	<u>25.8</u>	14				
一般	- - 介護予防・生活			 の渇きが <u>気になる</u>	26.8 25.0	<u>25.0</u>	16			
高齢		毎		25.6 91.9	91.7	21				
者のビ				過	去一年間で転倒していない	92.5 68.0	67.5	18		
ジョ						健	康への関心がある	65.5 90.1	91.7	4
ン					出を控えている	89.4 25.9	27.9	25		
		外	出を <u>控えている</u>	25.9 12.7	13.4	19				
	支援の視点		<u>交通手段がない理由のみ)</u> に何度か以上誰かと食事をする	12.9 78.2	75.8	24				
			ADLの低下に該当	75.6 5.2		19				
				5.4 12.5	5.8					
			的能動性の <u>低下に該当</u>	11.1 84.3	8.3	2				
		何 	らかの介護予防 <u>リスクに該当</u>	85.8 12.5	<u>85.8</u>	20				
			①運動器の機能低下 <u>リスクに該当</u>	13.4	<u>13.8</u>	21				
				②低栄養の傾向 <u>リスクに該当</u>	0.9	0.8	14			
			③口腔機能の低下 <u>リスクに該当</u>	22.2	<u>19.6</u>	6				

		化塩しれて佐口	市内全域(%)	調査結果	地区	
		指標となる項目 	第十圏域(%)	(%)	順位	
		 ④閉じこもり傾向 <u>リスクに該当</u>	33.6	38.8	25	
_		(4)別じこもり傾向 <u>サスクに該当</u>	36.0	30.0	20	
般高	介護予防・生活	 ⑤認知機能の低下 <u>リスクに該当</u>	52.3	56.2	29	
齢	支援の視点	③認知機能の低下 <u>サスクに該当</u>	54.6	<u>56.3</u>	23	
者		 ⑥うつ傾向 <u>リスクに該当</u>	45.1	40.8	2	
の		も り フ傾向 <u>サスクに該当</u>	45.0	40.6		
ビジ		健康状態がよい(主観的健康感)	79.0	73.3	29	
]	総合的な評価	健康仏恩がよい(土蔵时健康恩)	77.2	73.3	29	
ン	指標	幸せと感じる割合が平均以上	61.8	61.0	20	
		(主観的幸福感)	63.1	01.0	20	
		介護保険以外のサービスを利用している	28.5	38.7	1	
		月長体院の外のグーとへを利用している	31.6	36.7	'	
		訪問診療を利用している	18.2	16.1	20	
		初回診療を利用している	14.4	16.1	20	
		もしものときのために、家族や医療関係	8.8	9.7	12	
	『本人』の在宅	者と詳しく話しあったことがある	12.4	9.1	12	
	生活の継続性の確保の視点	在宅生活を続けていくために訪問系サー	23.7	19.4	27	
		ビスが必要だと思う	24.0	19.4	21	
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	54.8	27	
		八王の取別を迎える場所の布室がある	56.4			
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	77.4	9	
要		週初な仕七月設土冶の極帆を失坑している	73.6	77.4	9	
介羅		不安に感じる介護は特にない		3.2	21	
護者等		1、女に恋しる月 設は付にない	6.8	3.2	21	
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	<u>35.5</u>	20	
の	家族等『介護 者』の就労継	家族等『介護者』の就学継	mixinmen(バーバリチの <u>バタと流じる</u>	24.8	<u>55.5</u>	30
ビジ	続の視点	仕事と介護を両立できる	74.3	60.0	30	
3		仕事と月 暖を 岡立 くさる	75.5	00.0	30	
ン		介護を理由に <u>離職・転職した</u>	11.8	<u>25.0</u>	30	
		月後で年田に <u>離城・松城でた</u>	9.3	<u>23.0</u>	30	
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	60.0	22	
		参加者としての性会参加志同がある	58.6	00.0	22	
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	35.0	18	
	『サービス提供 体制』の確保の	の世間区に こくかは女多加を向かめる	33.8	33.0	10	
	視点	ボランティアのグループに参加している	13.8	11.7	24	
			13.6	11.7	Z+	
		地域で支援できることがある	69.5	63.3	28	
		~~~ C × 1次 C C で C C 17 00 で	67.4	00.0		
	総合的な評価	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	25.8	23	
	指標	八工が取別でロモー 祝灰七(煙んたい	21.6	20.0	20	

#### ①在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	19.4	調理	16.1	掃除•洗濯	19.4
買い物	6.5	ゴミ出し	12.9	外出同行	22.6
移送サービス	19.4	見守り、声かけ	29.0	通いの場	6.5
その他	6.5	特にない	22.6		

サービス名	近隣の人にお願いしたい ことの割合(%)	地域でできる支援の割合 (%)
見守り	25.8	28.8
声かけ	25.8	38.8
外出同行	3.2	6.3
雪かき	19.4	15.0
庭の手入れ	3.2	9.2
ゴミ出し	0.0	15.8
買物	0.0	12.5
調理	0.0	4.2
掃除	0.0	14.2
着替え	0.0	2.5
季節用品の入替	0.0	1.3
電球交換	0.0	8.3
特にない(できない)	35.5	32.1
その他	6.5	0.8

# 第十一圏域(蔵王)

## 1 「蔵王地区」

#### (1)地区の現状

表中()は市平均値

総人口(人)		高	齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
-	16,469		16,469 5,228		31.7 (30.4)	2,505	2,723	52.1 (53.6)
一般高齢者 (人)			要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者認定率(%)	
4,313		129	159	627	15.0 (16.1)	296	5.7 (5.8)	

令和5年1月5日時点

				市内全域(%)	調査結果	地区	
			第十一圏域(%)	(%)	順位		
		Δ÷	康高齢者	14.2	18.6	2	
		挺	<b>承向即</b> 有	18.6	10.0		
	高齢者像の	٨	護予防事業対象者	77.7	7.4.1	6	
	出現率	ᄁ	<u>設了财争未对承任</u>	74.1	<u>74.1</u>	O	
		++	<u>ービス事業対象者</u>	5.9	<u>3.8</u>	3	
		9	<u>一                                    </u>	3.8	<u>3.6</u>	ა	
		+>	世話役としての社会参加意向がある	36.0	37.8	8	
		e	世品仅としての任芸参加息内がある	37.8	37.8	0	
		4	加者としての社会参加意向がある	62.2	64.2	10	
		梦	加有としての任会参加息内がある	64.2	04.2	10	
		4	きがいがある	61.1	63.1	10	
		土	: ທີ່ທີ່ທີ່ ຜິດ	63.1		10	
<u>-</u>		油	に何度か以上友人・知人と会う	33.4	33.1	13	
般高			に何度が以上及人・加入と去り	33.1	აა.1	13	
高 齢				81.7	83.7	11	
者	社会参加の視点	則	一回以上外出している	83.7	os. <i>1</i>	11	
の	社会参加の代点		1= > 1:	らかの地域活動へ参加している	66.8	68.6	8
ビジ		ΊΨJ	らかの地域活動へ参加している	68.6	08.0	8	
ョ			①ボランティアのグループに参加して	13.8	12.8	20	
ン			いる	12.8	12.8	20	
			②スポーツ関係のグループやクラブに	20.2	22.1	0	
			参加している	22.1	22.1	8	
		③趣味関係のグループに		26.4	29.7	6	
			②	29.7	29.7	6	
				④学習・教養サークルに参加している	8.0	7.0	10
			世子自・叙食リーグルに参加している	7.0	7.0	19	

			指標となる項目	市内全域(%)	調査結果	地区順位				
			⑤介護予防のための通いの場に参加し ている	8.5 8.7	8.7	16				
			⑥老人クラブに参加している	4.7	3.2	19				
	社会参加の視点		⑦町内会・自治会に参加している	33.0 27.6	27.6	22				
			⑧収入のある仕事に参加している	27.5 29.7	29.7	8				
			段昇降 (手すりや壁を伝わらずに) して る	63.4 66.0	66.0	7				
	社会参加と生活 支援・介護予防 の両方の視点		子からの立ち上がり (何もつかまらず ) している	77.4 82.0	82.0	2				
	の周辺の洗点	15	分以上の歩行をしている	66.8 71.2	71.2	7				
		固	いものが <u>食べにくくなった</u>	30.0 24.7	<u>24.7</u>	2				
		お	茶や汁物で <u>むせる</u>	25.5 19.8	<u>19.8</u>	1				
般				ロの渇きが <u>気になる</u> 毎日歯磨きをしている 過去一年間で転倒していない			の渇きが <u>気になる</u>	25.0 24.7	<u>24.7</u>	12
高齢者		ì					日歯磨きをしている	91.9 93.0	93.0	9
のビジ			-		去一年間で転倒していない	68.0 72.7	72.7	2		
ンョン						健	康への関心がある	90.1 89.0	89.0	22
		外	出を <u>控えている</u>	25.9 21.8	<u>21.8</u>	3				
	介護予防・生活 支援の視点		出を控 <u>えている</u> <u>交通手段がない理由のみ)</u>	12.7 10.7	<u>10.7</u>	11				
		月	に何度か以上誰かと食事をする	78.2 82.3	82.3	1				
		I	A D L の <u>低下に該当</u>	5.2 3.2	3.2	5				
		知	的能動性の <u>低下に該当</u>	12.5 11.9	<u>11.9</u>	11				
	1	何	何らかの介護予防 <u>リスクに該当</u>	らかの介護予防 <u>リスクに該当</u>	84.3 78.8	<u>78.8</u>	1			
			①運動器の機能低下 <u>リスクに該当</u>	12.5 9.9	9.9	3				
					②低栄養の傾向 <u>リスクに該当</u>	1.0 1.2	<u>1.2</u>	19		
			③口腔機能の低下 <u>リスクに該当</u>	22.2 17.7	<u>17.7</u>	1				

		12.45.7 15.0	市内全域(%)	調査結果	地区		
		指標となる項目	第十一圏域(%)	(%)	順位		
		   ④閉じこもり傾向 <u>リスクに該当</u>	33.6	29.1	4		
_		(4)別じこもり傾向 <u>サスクに該当</u>	29.1	<u> 29.1</u>	4		
般高	介護予防・生活	   ⑤認知機能の低下 <u>リスクに該当</u>	52.3	<u>52.3</u>	12		
齢	支援の視点	③認知機能の低下 <u>サスクに該当</u>	52.3	<u>52.5</u>	12		
者		   ⑥うつ傾向 <u>リスクに該当</u>	45.1	42.4	5		
の		U プラ関門 <u>サスプに該当</u>	42.4	42.4	3		
ビジ		健康状態がよい(主観的健康感)	79.0	81.7	6		
Ē	総合的な評価	<b>産塚小窓がらい(工動門産塚恋)</b>	81.7	01.7	U		
ン	指標	幸せと感じる割合が平均以上	61.8	62.8	10		
		(主観的幸福感)	62.8	02.0	10		
		介護保険以外のサービスを利用している	28.5	26.6	20		
		THE PRODUCTION OF THE PRODUCTI	26.6	20.0	20		
		訪問診療を利用している	18.2	18.9	12		
		的同的家と刊用している	18.9	10.5	12		
		もしものときのために、家族や医療関係	8.8	7.6	21		
	『本人』の在宅 生活の継続性の	者と詳しく話しあったことがある	7.6	7.0	21		
	強保の視点	在宅生活を続けていくために訪問系サー	23.7	25.9	9		
		ビスが必要だと思う	25.9	20.0	3		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	67.1	9		
			67.1	07.1			
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	76.7	12		
要		<b>過初なは七月設工力の心肌を失効している</b>	76.7	70.7	12		
介護	家族等『介護 者』の就労継	不安に感じる介護は特にない	5.1	6.6	4		
護者等				「メルルのの方法は行うない	6.6	0.0	
			25.8	25.9	16		
のビ		家族等『介護 者』の就労継			25.9	20.0	10
ジ	続の視点	仕事と介護を両立できる	74.3	70.3	23		
Ē		11年に対 限を開立てこる	70.3	70.0	20		
ン		介護を理由に <u>離職・転職した</u>	11.8	<u>12.1</u>	17		
		7 成で年出て <u>四面4成                                    </u>	12.1	<u>12.1</u>	.,		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	64.2	10		
		JAN G C C CO HA JAN AND CO	64.2	0 1.2			
	『サービス提供	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	37.8	8		
	体制』の確保の	oo a a contra of the contra of	37.8	07.0			
	視点	ボランティアのグループに参加している	13.8	12.8	20		
			12.8	. 2.3			
		地域で支援できることがある	69.5	74.1	6		
			74.1	,			
	総合的な評価	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	35.2	5		
	指標	The state of the s	35.2	55. <u>L</u>			

#### ①在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	15.6	調理	15.3	掃除•洗濯	20.6
買い物	18.3	ゴミ出し	15.0	外出同行	27.9
移送サービス	27.2	見守り、声かけ	21.3	通いの場	12.6
その他	6.3	特にない	23.6		

サービス名	近隣の人にお願いしたい ことの割合(%)	地域でできる支援の割合 (%)
見守り	27.2	32.0
声かけ	26.6	41.0
外出同行	4.0	9.9
雪かき	31.2	17.2
庭の手入れ	12.6	15.1
ゴミ出し	8.0	18.9
買物	6.0	14.2
調理	3.7	7.3
掃除	5.6	16.9
着替え	1.0	3.5
季節用品の入替	3.7	4.1
電球交換	7.3	8.7
特にない(できない)	31.9	25.9
その他	2.0	2.6

# 第十二圏域(愛らんど)

#### 1「第五地区」

#### (1)地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)		高	齢者人口 (人)	高齢化率(%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
	7,807		2,138	27.4 (30.4)	959	1,179	55.1 (53.6)
一般高齢者 (人)		対象者	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者認定率(%)
1,779		30	83	246	15.4 (16.1)	98	4.6 (5.8)

令和5年1月5日時点

			告標となる項目	市内全域(%)	調査結果	地区
			旧保とはる場口	第十二圏域(%)	(%)	順位
		/z±	<b>隶高齢者</b>	14.2	12.6	22
		1廷.	求向即伯	14.2	12.0	22
	高齢者像の		<b>雄又叶市类与各</b> 类	77.7	77.7	1.4
	出現率	20	護 <u>予防事業対象者</u>	77.2	<u>77.7</u>	14
		ш	ービス事業対象者	5.9	0.0	27
			一旦人事未刈炙在	7.0	<u>8.3</u>	21
		+1.	世話役としての社会参加意向がある	36.0	36.9	12
		ත	匹話伎としての任会参加息向かめる	36.9	30.9	12
		42.	加老し、この社会を加辛力がもて	62.2	64.1	11
		一 梦	加者としての社会参加意向がある	65.2		11
		ナキバ	- 4ŝi > 4ŝ + 7	61.1		3
		生きがいがある		65.7	00.1	3
-  -		`B!-	週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	34.9	10
般高		迴		33.7		10
局 齢		<b>'</b> ⊞		81.7	01.1	19
者	   社会参加の視点	迎.	週二回以上外出している	82.2	01.1	19
の	社会参加の税点 	J=T	らかの地域活動へ参加している	66.8	60 5	0
ビジ		]PJ	らかの地域活動へ参加している	70.0	06.5	9
3		①ボランティアの	①ボランティアのグループに参加して	13.8	66.1 34.9 81.1 68.5	7
ン			いる	15.7		'
			②スポーツ関係のグループやクラブに	20.2	27.2	1
			参加している	24.3	21.2	'
		③趣味関係のグループに参加している	26.4	29.6	7	
			29.6	29.0		
			↑ 当羽 - 牧羊山 - カルノーグセン・ファ	8.0	100	
			④学習・教養サークルに参加している	10.7	12.0	2

			指標となる項目	市内全域(%)第十二圏域(%)	調査結果	地区順位
			⑤介護予防のための通いの場に参加し ている	8.5	8.3	17
			_	4.7	3.7	16
	社会参加の視占		<b>過名パクラグに参加している</b>	4.5	3.7	10
	IT A D MOV DUM		⑦町内会・自治会に参加している		36.2	13
	(%) (※) (※) (※) (※) (※) (※) (※) (※) (※) (※					
			⑧収入のある仕事に参加している	第十二圏域(%) (	27.2	20
		階	-    段昇降(手すりや壁を伝わらずに)して		9     59.1       4     77.4       8     71.4       0     32.6       5     25.9       0     22.9       9     93.0       0     3       0     68.4       1     91.0       9     10	00
		い	3	63.9	59.1	28
				77.4	77.4	13
		1=	)している	78.8	77.4	13
		15	分以上の歩行をしている	66.8	71 4	6
					71.4	U
		あが食べにくくなった30.4お茶や汁物でむせる25.525.2		32.6	25	
				25.9	16	
					93.0 68.4	
般			の渇きが <u>気になる</u>			6
高						
齢 者		毎	日歯磨きをしている			9
りの						
ビ		過	去一年間で転倒していない			13
ジョ		-				
ン		健 	<b>康への関心がある</b>			11
		ы	山ナ物ニマハフ	25.9		20
		/ ኃኑ	出を <u>控えている</u>	27.8		30
	介護予防・生活	外	出を <u>控えている</u>	12.7	0.7	6
	支援の視点	_(	<u>交通手段がない理由のみ)</u>	11.0	9.7	0
		le	に何度か以上誰かと食事をする	78.2	75.7	25
			[F]及15 次工能15 C 及事でする	76.5	- 59.1 - 77.4 - 71.4 - 32.6 - 25.9 - 22.9 - 93.0 - 68.4 - 91.0 - 30.9 - 9.7 - 75.7 - 6.0 - 10.3 - 86.8 - 13.3	23
		ī	ADIの低下に該当			20
			,, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			20
		知	的能動性の低下に該当		10.3	6
			<u> </u>		<u> </u>	
		何	らかの介護予防リスクに該当		86.8	26
			①運動器の機能低下 <u>リスクに該当</u>		<u>13.</u> 3	20
					<del></del>	<del> </del>
			②低栄養の傾向 <u>リスクに該当</u>		<u>1.7</u>	23
				_		
			③口腔機能の低下 <u>リスクに該当</u>		<u>24.9</u>	26
				23.0		

			市内全域(%)	調査結果	地区
		指標となる項目	第十二圏域(%)	(%)	順位
		<b>小問じこも 11 傾向 11 フカル 款</b> 少	33.6	22.0	17
-	_   八段了D7 工心	④閉じこもり傾向 <u>リスクに該当</u>	33.4	<u> 33.9</u>	17
般		○到加州 (本)	52.3	F1 0	0
后 齢	支援の視点	⑤認知機能の低下 <u>リスクに該当</u>	52.1	<u> 31.2</u>	8
者		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	45.5	18
の		(b) フ傾向 <u>リスクに該当</u>	48.3	<u>45.5</u>	10
ビジ		健康状態がよい(主観的健康感)	79.0	77.4	22
3	総合的な評価	健康仏態がよい (土観的健康窓)	78.6	77.4	22
ン	指標	幸せと感じる割合が平均以上	61.8	60.0	13
		(主観的幸福感)	63.0	02.2	13
		介護保険以外のサービスを利用している	28.5	(%)         33.9         51.2         45.5         77.4         62.2         31.5         17.7         5.6         29.0         63.7         78.2         6.5         30.6         82.6         14.4         64.1         36.9         15.6         68.1	7
		月 設 床 陝 以 外 の ケ 一 こ へ を 利 用 し こ い る	28.9	31.5	,
		訪問診療を利用している	18.2	- 17.7 - 5.6 - 29.0 - 63.7 - 78.2	18
		<b>初回砂原を利用している</b>	15.6	17.7	10
		もしものときのために、家族や医療関係	8.8	31.5 17.7 5.6 29.0 63.7 78.2 6.5 30.6	23
	『本人』の在宅   者と詳しく話しあったことがある   生活の継続性の	者と詳しく話しあったことがある	4.4	5.0	23
		在宅生活を続けていくために訪問系サー	23.7	<del></del>	3
	HE INCO IDENI	ビスが必要だと思う	29.5	29.0	3
		│ │ 人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	- 5.6 - 29.0 - 63.7 - 78.2 - 6.5 - 30.6	18
		人生の取期を迎える場所の布望かめる	66.7		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2		7
要		適切な任七月後生活の秘術を美境している	82.5		,
介護		不安に感じる介護は特にない	5.1		5
老		不安に窓しる弁護は特にない	4.8	0.0	ິວ
者等		認知症状に対する不安を感じる	25.8	45.5       77.4       62.2       31.5       17.7       5.6       29.0       63.7       78.2       6.5       30.6       82.6       14.4       64.1       36.9       15.6       68.1	24
の	家族等『介護 者』の就労継	認知症状に対する <u>小女を感じる</u>	29.2		24
ビジ	有』の就力極 続の視点	仕事と介護を両立できる	74.3		5
=	120 - 1203///	11年2月後を向立 000	73.7	02.0	5
ン		介護を理由に離職・転職した	11.8	144	20
		介護を垤田に <u>離戦・転戦した</u>	13.3	<u>14.4</u>	20
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	5.6 29.0 63.7 78.2 6.5 30.6 82.6 14.4 64.1	11
		が言されて こうな はながら かいかい かいりょう しょう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	65.2	U4.1	11
	Bu	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	26.0	12
	『サービス提供 体制』の確保の	ので四区へのためは大多州や宝宝の	36.9	ას.შ	12
	視点	ボランティアのグループに参加している	13.8	15.6	7
		ハンファイン のフルーフに参加している	15.7	13.0	/
		地域で支援できることがある	69.5	69 1	19
		心外に又抜いてることがめる	69.1	00.1	19
	総合的な評価	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	22.2	10
	指標	八工の取別で日七・祝族七で迎んだい	34.0	32.3	10

#### ①在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	24.2	調理	17.7	掃除•洗濯	29.8
買い物	24.2	ゴミ出し	22.6	外出同行	29.0
移送サービス	31.5	見守り、声かけ	30.6	通いの場	21.0
その他	8.9	特にない	14.5		

サービス名	近隣の人にお願いしたい ことの割合(%)	地域でできる支援の割合 (%)
見守り	31.5	32.2
声かけ	32.3	37.5
外出同行	4.8	6.0
雪かき	31.5	14.6
庭の手入れ	8.1	8.0
ゴミ出し	12.1	17.9
買物	5.6	9.6
調理	4.0	5.0
掃除	5.6	10.3
着替え	0.0	2.0
季節用品の入替	2.4	1.7
電球交換	3.2	5.6
特にない(できない)	36.3	31.9
その他	1.6	2.3

# 第十二圏域(愛らんど)

### 2 「第八地区」

#### (1)地区の現状

表中()は市平均値

総人口(人)		高	齢者人口 (人)	高齢化率(%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
	9,754		2,507	25.7 (30.4)	1,185	1,322	52.7 (53.6)
一般高齢者 (人)		<b>才象者</b>	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者認定率(%)
2,110		66	73	258	13.2 (16.1)	115	4.6 (5.8)

令和5年1月5日時点

		指標となる項目	市内全域(%)第十二圏域(%)	調査結果 (%)	地区順位
Г		健康高齢者	14.2	16.6	5
	高齢者像の 出現率	<u>介護予防事業対象者</u>	77.7	<u>73.2</u>	2
	一般高齢 その 社会参加の視点	サービス事業対象者		<u>8.3</u>	27
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0 36.9	33.2	23
		参加者としての社会参加意向がある	62.2 65.2	65.2	7
		生きがいがある	61.1 65.7	63.3	8
一般		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4 33.7	30.0	27
齢者	11	週二回以上外出している	81.7 82.2	84.0	10
のビジ	社会参加の視点   	何らかの地域活動へ参加している	66.8 70.0	68.1	10
ンョン		①ボランティアのグループに参加して いる	13.8 15.7	15.0	10
		②スポーツ関係のグループやクラブに 参加している	20.2	21.1	12
		③趣味関係のグループに参加している	26.4 29.6	31.0	4
		④学習・教養サークルに参加している	8.0	10.5	5

		指標となる項目	市内全域(%)第十二圏域(%)	調査結果 (%)	地区順位				
		⑤介護予防のための通いの場に参加し ている	8.5 7.9	5.1	27				
		⑥老人クラブに参加している	4.7 4.5	1.9	25				
	社会参加の視点	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	31.6	20				
		⑧収入のある仕事に参加している	35.5 27.5	28.1	14				
		 階段昇降(手すりや壁を伝わらずに)して	29.4 63.4	67.7	1				
	社会参加と生活	いる 	63.9 77.4						
	支援・介護予防 の両方の視点	に) している	78.8 66.8	81.2	5				
		15分以上の歩行をしている 	70.2	72.5	4				
		固いものが <u>食べにくくなった</u>	30.0 30.4	<u>28.1</u>	8				
		お茶や汁物で <u>むせる</u>	25.5 25.2	<u>23.3</u>	3				
般	i	ロの渇きが <u>気になる</u>	25.0 24.8	<u>27.5</u>	25				
高齢者		毎日歯磨きをしている	91.9 94.5	96.8	1				
の ビ		過去一年間で転倒していない	68.0	67.7	17				
ジ ョ		-				健康への関心がある	67.3 90.1	91.1	8
ン				92.1 25.9	<u>27.2</u>	19			
	介護予防・生活	外出を <u>控えている</u>	27.8 12.7		15				
	支援の視点	(交通手段がない理由のみ)	11.0 78.2	12.9					
		月に何度か以上誰かと食事をする	76.5 5.2	76.4	21				
		I A D L の <u>低下に該当</u>	3.9	<u>2.9</u>	2				
		知的能動性の <u>低下に該当</u>	12.5 11.9	<u>13.1</u>	17				
		何らかの介護予防 <u>リスクに該当</u>	84.3 84.7	<u>82.1</u>	5				
		①運動器の機能低下 <u>リスクに該当</u>	12.5 11.7	11.2	9				
		②低栄養の傾向 <u>リスクに該当</u>	1.0	<u>1.6</u>	22				
		③口腔機能の低下 <u>リスクに該当</u>	22.2	<u>21.7</u>	14				

		12.45.7 15.0	市内全域(%)	調査結果	地区	
		指標となる項目 	第十二圏域(%)	(%)	順位	
		   ④閉じこもり傾向 <u>リスクに該当</u>	33.6	22.5	16	
_		(4)別じこもり傾向 <u>サスクに該当</u>	33.4	33.5	10	
般高	介護予防・生活	   ⑤認知機能の低下 <u>リスクに該当</u>	52.3	510	10	
齢	支援の視点	③認知機能の低下 <u>サスクに該当</u>	52.1	51.0	10	
者		   ⑥うつ傾向 <u>リスクに該当</u>	45.1	47.0	27	
の		◎ プラ順问 <u>サスクに該当</u>	48.3	47.3	21	
ビジ		健康状態がよい(主観的健康感)	79.0	01 0	4	
]	総合的な評価	医尿(小部がよい (土既时)医尿溶/	78.6	01.0	4	
ン	指標	幸せと感じる割合が平均以上	61.8	61.1	19	
		(主観的幸福感)	63.0	01.1	19	
		介護保険以外のサービスを利用している	28.5	(%)         33.5         51.8         47.9         81.8         61.1         26.5         14.5         5.1         29.1         67.5         82.1         2.6         30.8         63.0         13.3         65.2         33.2         15.0         70.3	21	
		月 長 体 険 め か り と へ を 利用 し こい る	28.9	20.5	21	
		訪問診療を利用している	18.2	1/15	24	
		יים אינאם ואונען אינאם ואונען טייט אינאם ואונען טייט אינאם ואונען	15.6	14.5	24	
	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	もしものときのために、家族や医療関係	8.8	29.1	E 1	24
			者と詳しく話しあったことがある	4.4	J. I	24
		在宅生活を続けていくために訪問系サー	23.7	20.1	2	
		ビスが必要だと思う	29.5	29.1		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	67.5	8	
		スエの取別で是たる物別の相望がある	66.7	07.5	0	
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	51.8         47.9         81.8         61.1         26.5         14.5         5.1         29.1         67.5         82.1         2.6         30.8         63.0         13.3         65.2         33.2         15.0	3	
要		過明な任宅が設工店の心机を失れるでいる	82.5		3	
介羅		不安に感じる介護は特にない	5.1		23	
護者等		「文に恋しる)」度は何にない	4.8		20	
		認知症状に対する不安を感じる			5.1 29.1 67.5 82.1 2.6 30.8 63.0	25
の	家族等『介護 者』の就労継		29.2		20	
ビジ	続の視点	仕事と介護を両立できる	74.3		29	
Ē		は事と月段を同立てきる	73.7	00.0	20	
ン		介護を理由に <u>離職・転職した</u>	11.8	133	18	
		月 6 6 年 日 1 <u>                                    </u>	13.3	10.0	10	
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	65.2	7	
			65.2	00.2		
	『ユービラ+8ル	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	33.2	23	
	『サービス提供 体制』の確保の		36.9	00.2		
	視点	/   ボランティアのグループに参加している	13.8	15.0	10	
			15.7	. 5.5	12	
		地域で支援できることがある	69.5	70.3		
			69.1	, 5.5		
	総合的な評価	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	32.5	9	
	指標	THE TOTAL OF THE PROPERTY OF T	34.0	02.0		

### ①在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	13.7	調理	12.0	掃除•洗濯	22.2
買い物	21.4	ゴミ出し	19.7	外出同行	32.5
移送サービス	20.5	見守り、声かけ	19.7	通いの場	12.8
その他	13.7	特にない	12.8		

サービス名	近隣の人にお願いしたい ことの割合(%)	地域でできる支援の割合 (%)
見守り	23.1	29.4
声かけ	19.7	34.2
外出同行	7.7	6.1
雪かき	32.5	18.5
庭の手入れ	13.7	14.4
ゴミ出し	13.7	23.6
買物	11.1	13.1
調理	6.8	6.1
掃除	9.4	18.5
着替え	0.0	3.2
季節用品の入替	1.7	3.2
電球交換	10.3	9.3
特にない(できない)	33.3	29.7
その他	2.6	3.2

# 第十二圏域(愛らんど)

#### 3「東沢地区」

#### (1)地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)		高	齢者人口 (人)	高齢化率(%)	前期高齢者(人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
	4,644		1,659	35.7 (30.4)	821	838	50.5 (53.6)
一般高齢者 (人)		対象者	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者認定率(%)
1,369		11	56	223	16.8 (16.1)	122	7.4 (5.8)

令和5年1月5日時点

			指標となる項目	市内全域(%)第十二圏域(%)	調査結果	地区
					(%)	順位
		健	康高齢者	14.2	13.3	20
				14.2		
	高齢者像の 出現率	介	<u>護予防事業対象者</u>	77.7	<u>80.7</u>	24
	山現平			77.2	<u> </u>	
		サ	ービス事業対象者	5.9	4.3	4
			<u> </u>	7.0		
		お	世話役としての社会参加意向がある	36.0	40.9	2
				36.9		_
		参	参加者としての社会参加意向がある	62.2	66.4	3
			Mac C COM A SMANNING OF COMME	65.2		Ŭ
		世	きがいがある	61.1	67.8	1
			C 13 · 0 · 13 · 03 · 03	65.7	07.0	ı
_		酒	に何度か以上友人・知人と会う	33.4	36.2	6
般高		週二 D視点	回に何度が以上及人・和人と云う	33.7	30.2	O
齢			<b>週二回以上外出している</b>	81.7	81.4	18
者	사스ծ베즈뮌트			82.2	01.4	10
の	社会参加の視点			66.8	70.7	4
ビジ			らかの地域活動へ参加している	70.0	73.7	1
リヨ			①ボランティアのグループに参加して	13.8	100	0
ン			いる	15.7	16.6	3
			②スポーツ関係のグループやクラブに	20.2	0.1.0	
			参加している	24.3	24.6	4
				26.4	0.5.5	
			③趣味関係のグループに参加している	29.6	28.2	11
				8.0	_	
			④学習・教養サークルに参加している	10.7	9.6	8

		指標となる項目	市内全域(%)第十二圏域(%)	調査結果	地区順位			
		⑤介護予防のための通いの場に参加し ている	8.5 7.9	10.3	6			
		⑥老人クラブに参加している	4.7 4.5	8.0	6			
	社会参加の視点	⑦町内会・自治会に参加している	33.0 35.5	38.9	7			
		⑧収入のある仕事に参加している	27.5 29.4	32.9	1			
		階段昇降(手すりや壁を伝わらずに)して いる	63.4 63.9	64.8	13			
	社会参加と生活 支援・介護予防	椅子からの立ち上がり(何もつかまらず に)している	77.4 78.8	77.7	11			
	の両方の視点	15分以上の歩行をしている	66.8	66.4	15			
		固いものが <u>食べにくくなった</u>	30.0 30.4	30.6	18			
		お茶や汁物で <u>むせる</u>	25.5	26.6	22			
一般	f d	-		ロの渇きが <u>気になる</u>	25.2 25.0	23.9	8	
高齢		毎日歯磨きをしている	24.8 91.9	93.7	3			
者のビ		過去一年間で転倒していない	94.5 68.0	65.8	25			
ジョ			_	_	健康への関心がある	67.3 90.1	94.4	1
ン							92.1 25.9	25.2
	介護予防・生活	外出を <u>控えている</u>	27.8 12.7	10.5	9			
	支援の視点	(交通手段がない理由のみ) 月に何度か以上誰かと食事をする	11.0 78.2	77.4	16			
		IADLの低下に該当	76.5 5.2	3.0	3			
		知的能動性の低下に該当	3.9 12.5	12.3	12			
		<del>ベルの能動性の<u>終下に該当</u> 何らかの介護予防<u>リスクに該当</u></del>	11.9 84.3	85.4	18			
			84.7 12.5	<u> </u>				
		①運動器の機能低下 <u>リスクに該当</u>	11.7 1.0	10.6	6			
		②低栄養の傾向 <u>リスクに該当</u>	1.4 22.2	1.0	17			
		③口腔機能の低下 <u>リスクに該当</u>	23.0	<u>22.3</u>	16			

			市内全域(%)	調査結果	地区	
		指標となる項目	第十二圏域(%)	(%)	順位	
		   ④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	32.9	15	
_		(4)別じこもり順问 <u>サスクに該当</u>	33.4	<u>32.9</u>	15	
般高	介護予防・生活	   ⑤認知機能の低下 <u>リスクに該当</u>	52.3	52.5	20	
齢	支援の視点	③認知機能の低下 <u>サスクに該当</u>	52.1	<u>53.5</u>	20	
者		   ⑥うつ傾向 <u>リスクに該当</u>	45.1	<u>51.5</u>	30	
の		◎ プラ順问 <u>サスクに該当</u>	48.3	<u>51.5</u>	30	
ビジ		健康状態がよい(主観的健康感)	79.0	76.4	23	
]	総合的な評価	<b>性尿仏窓がよい(土既时性尿窓)</b>	78.6	70.4	23	
ン	指標	幸せと感じる割合が平均以上	61.8	65.8	5	
		(主観的幸福感)	63.0	03.6	3	
		介護保険以外のサービスを利用している	28.5	28.4	17	
		月 長 体 戻 め かり こ へ を 利用 し こい も	28.9	20.4	1 /	
		訪問診療を利用している	18.2	13.5	28	
		<b>初回診療を利用している</b>	15.6	13.5	20	
		もしものときのために、家族や医療関係	8.8	1.4	30	
	『本人』の在宅	者と詳しく話しあったことがある	4.4	1.4	30	
	生活の継続性の確保の視点	在宅生活を続けていくために訪問系サー	23.7	31.1	1	
		ビスが必要だと思う	29.5	31.1	'	
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	70.3	4	
		八王の取朔を延える場所の布主がめる	66.7	70.3		
		海切なた安心護生活の継続を実現している	75.2	90.5	1	
要		適切な任七月護生活の秘統を実現している	82.5	90.5	'	
介羅		不安に感じる介護は特にない	5.1	5.4	10	
護者等			1、女に恋しる月 設は付にない	4.8	J. <del>4</del>	10
	<del></del>	認知症状に対する不安を感じる	25.8	24.2	13	
の	家族等『介護 者』の就労継	家族等『介護者』の就学継	mixinmen(TCX) する <u>TYX と Mi C で</u>	29.2	24.5	13
ビジ	続の視点	仕事と介護を両立できる	74.3	76.0	14	
3		11年2月度を同立てきる	かに、家族や医療関係のたことがある       4.4         いくために訪問系サークの       23.7         29.5       31.1         る場所の希望がある       64.4         66.7       75.2         82.5       90.5         は特にない       5.1         4.8       25.8         29.2       74.3         73.7       76.9	17		
ン		介護を理由に <u>離職・転職した</u>	11.8	<u>11.3</u>	13	
		月 6 6 7 日 1 C <u>10 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</u>	13.3	11.0	10	
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	66.4	3	
		シが占こしての仕入りが忘られるの。	65.2	00.4	3	
	R-14 12 → 48 /#	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	40.9	2	
	『サービス提供 体制』の確保の	35世間区としての社及を加念同があり	36.9	40.5		
	視点	ボランティアのグループに参加している	13.8	16.6	3	
		地域で支援できることがある	15.7	10.0	J J	
			69.5	68.8	15	
		で多く又はくこうここがある	69.1			
	総合的な評価	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	39.2	3	
	指標	ハエツ叔州でロモー 机灰もく埋んにい	34.0	00.2	J	

#### ①在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	20.3	調理	9.5	掃除•洗濯	14.9
買い物	12.2	ゴミ出し	10.8	外出同行	24.3
移送サービス	23.0	見守り、声かけ	23.0	通いの場	14.9
その他	12.2	特にない	27.0		

サービス名	近隣の人にお願いしたい ことの割合(%)	地域でできる支援の割合 (%)
見守り	31.1	34.9
声かけ	31.1	38.2
外出同行	8.1	11.0
雪かき	27.0	20.3
庭の手入れ	5.4	14.0
ゴミ出し	9.5	14.3
買物	5.4	11.6
調理	4.1	7.6
掃除	5.4	17.3
着替え	2.7	2.3
季節用品の入替	1.4	3.7
電球交換	2.7	11.6
特にない(できない)	36.5	27.9
その他	2.7	3.0

# 第十三圏域(南沼原)

#### 1「南沼原地区」

#### (1)地区の現状

表中()は市平均値

総人口(人)		高	齢者人口 (人)	高齢化率(%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
	1	7,628		5,012	28.4 (30.4)	2,310	2,702	53.9 (53.6)
一般高(人	<b>動者</b>		対象者	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者認定率(%)
	4,072		80	130	730	17.2 (16.1)	435	8.7 (5.8)

令和5年1月5日時点

		:	指標となる項目	市内全域(%)	調査結果	地区
			第十三圏域(%)	(%)	順位	
		健	康高齢者	14.2	12.1	23
		ΙÆ		12.1	12.1	20
	高齢者像の	介	護予防事業対象者	77.7	78.7	18
	出現率	7	<u>设了财争未对多有</u>	78.7	<u> 70.7</u>	10
		++	一ビス事業対象者	5.9	<u>5.7</u>	14
		<u>.</u>	一	5.7	<u>5.7</u>	14
		ţ	世話役としての社会参加意向がある	36.0	31.7	27
		e	但語伎としての任去参加息问がめる	31.7	31.7	21
		4		62.2	54.9	28
		乡	加者としての社会参加意向がある	54.9	54.9	20
		<i>#</i> - =	きがいがある	61.1	62.5	12
		土	5 N. ( ) N O O	62.5	02.3	12
_		週(		33.4	31.4	00
般高			<b>週に何度か以上友人・知人と会う</b>	31.4		20
高 齢		<b>'</b> ⊞	週二回以上外出している	81.7	01.6	17
者	사스ծ베스케上			81.6	81.6	17
の	社会参加の視点		これの地址に動。名加していて	66.8	00.7	0.5
ビジ		ᆌ	らかの地域活動へ参加している	63.7	63.7	25
ショ			①ボランティアのグループに参加して	13.8	44.4	0.0
ン			いる	11.1	11.1	26
			②スポーツ関係のグループやクラブに	20.2	10.0	00
			参加している	19.0	19.0	20
			②物叶眼なのだり プレタセンマンフ	26.4	00.0	
			③趣味関係のグループに参加している	28.6	28.6	9
				8.0	7.0	
			④学習・教養サークルに参加している	7.9	7.9	12

		指標となる項目	市内全域(%)	調査結果	地区
			第十三圏域(%)	(%)	順位
		⑤介護予防のための通いの場に参加し	8.5	9.2	12
		ている	9.2	0.2	順位 12 19 25 28 27 6 11 17 27 24 2 21 8 11
		   ⑥老人クラブに参加している	4.7	3.2	10
	사스ծ III 스 레 노	<b>②名入グラグに参加している</b>	3.2	3.2	19
	社会参加の視点		33.0	00.0	0.5
		⑦町内会・自治会に参加している	26.3	26.3	25
			27.5		
		⑧収入のある仕事に参加している	21.9	21.9	28
ŀ		階段昇降 (手すりや壁を伝わらずに) して	63.4		
		いる	59.7	59.7	27
	社会参加と生活		77.4		
	支援・介護予防	何子からの立ち上かり (何もうかまらり に) している	80.3	80.3	6
	の両方の視点				
		15分以上の歩行をしている	66.8	68.6	11
			68.6		
		固いものが <u>食べにくくなった</u>	30.0	<u>30.5</u>	17
			30.5		
		お茶や汁物でむせる	25.5	<u>28.6</u>	27
		85宋 (71 初 C <u>G E G</u>	28.6	<u>20.0</u>	21
<u> </u>		ロの泪もが気にかて	25.0	27.2	0.4
般		ロの渇きが <u>気になる</u>	27.3	<u>27.3</u>	24
高齢			91.9	94.3	
者		毎日歯磨きをしている	94.3		2
の			68.0	67.3	
ビジ		過去一年間で転倒していない	67.3		21
ジ			90.1		
ョン		健康への関心がある	91.1	91.1	8
		外出を <u>控えている</u>	25.9	<u>25.1</u>	11
			25.1		
	介護予防・生活	外出を控えている	12.7	<u>13.9</u>	20
	支援の視点	<u>(交通手段がない理由のみ)</u>	13.9		
		月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	76.5	20
		1124 N-44 CXTC/ W	76.5	, 5.5	
		IADLの低下に該当	5.2	5.4	15
		I A D L O <u>成 M L IS 当</u>	5.4	<u>5.4</u>	13
		fuch the August Turest V	12.5	140	0.1
		知的能動性の <u>低下に該当</u>	14.0	<u>14.0</u>	21
			84.3	07.5	
		何らかの介護予防 <u>リスクに該当</u>	85.3	<u>85.3</u>	17
			12.5		
		①運動器の機能低下 <u>リスクに該当</u>	12.1	<u>12.1</u>	15
		②低栄養の傾向 <u>リスクに該当</u>	1.0		
				<u>0.6</u>	9
			0.6		
		③口腔機能の低下 <u>リスクに該当</u>	22.2	22.5	18
			22.5		

		124年に4571年ロ	市内全域(%)	調査結果	地区		
		指標となる項目	第十三圏域(%)	(%)	順位		
		   ④閉じこもり傾向 <u>リスクに該当</u>	33.6	32.7	14		
_		(4)別じこもり傾向 <u>サスクに該当</u>	32.7	<u>32.1</u>	14		
般高	介護予防・生活	   ⑤認知機能の低下 <u>リスクに該当</u>	52.3	<u>52.7</u>	15		
齢	支援の視点	③認知機能の低下 <u>サスクに該当</u>	52.7	<u>52.7</u>	15		
者		   ⑥うつ傾向 <u>リスクに該当</u>	45.1	43.8	11		
の		U プラ関門 <u>サスプに該当</u>	43.8	40.0	' '		
ビジ		健康状態がよい(主観的健康感)	79.0	75.6	27		
Ē	総合的な評価	<b>産塚小窓がらい(工動門産塚恋)</b>	75.6	7 3.0	27		
ン	指標	幸せと感じる割合が平均以上	61.8	56.9	27		
		(主観的幸福感)	56.9		21		
		介護保険以外のサービスを利用している	28.5	29.5	12		
		THE PRODUCTION OF THE PRODUCTI	29.5	20.0	12		
		訪問診療を利用している	18.2	20.5	7		
		明中的がとすがしてくいる	20.5	20.0	,		
		もしものときのために、家族や医療関係	8.8	8.3	18		
	『本人』の在宅 生活の継続性の	者と詳しく話しあったことがある	8.3	0.0	10		
	確保の視点	在宅生活を続けていくために訪問系サー	23.7	26.0	8		
		ビスが必要だと思う	26.0	20.0	U		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	63.8	17		
		八工の政権を建たる場所の相互がある	63.8	00.0			
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	75.2	17		
要介			75.2	70.2	.,		
が護		不安に感じる介護は特にない	5.1	5.1	13		
護者等	家族等『介護 者』の就労継	<b>京佐笙</b> 『办謎	1 21-18 0 071 12 13 14 1- 0 0	5.1	0.1		
			<b>宝佐笙『</b> 春蓮	完华 『介護	認知症状に対する不安を感じる	25.8	<u>26.0</u>
のビ			26.0	20.0	.,		
ジ	続の視点	仕事と介護を両立できる	74.3	67.3	25		
3		The state of the s	67.3				
ン		介護を理由に <u>離職・転職した</u>	11.8	14.3	19		
			14.3				
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	54.9	28		
			54.9				
	『サービス提供	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	31.7	27		
	体制』の確保の		31.7				
	視点	ボランティアのグループに参加している	13.8	11.1	26		
			11.1				
		地域で支援できることがある	69.5	61.9	30		
			61.9	- 7. <b>-2</b>			
	総合的な評価	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	31.1			
	指標		31.1				

#### ①在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	20.9	調理	20.1	掃除•洗濯	21.7
買い物	20.5	ゴミ出し	23.2	外出同行	32.7
移送サービス	33.9	見守り、声かけ	28.3	通いの場	17.7
その他	7.1	特にない	19.7		

サービス名	近隣の人にお願いしたい ことの割合(%)	地域でできる支援の割合 (%)
見守り	33.5	29.2
声かけ	32.3	32.7
外出同行	7.9	6.0
雪かき	31.5	13.3
庭の手入れ	12.2	7.3
ゴミ出し	14.2	14.0
買物	11.4	11.7
調理	4.7	5.4
掃除	5.5	14.0
着替え	3.5	2.2
季節用品の入替	3.5	3.2
電球交換	5.5	7.0
特にない(できない)	29.9	37.8
その他	2.0	3.2

# 第十四圏域(金井)

#### 1「金井地区」

### (1)地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)		高	齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者(人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
1	15,648		4,546	29.1 (30.4)	2,216	2,330	51.3 (53.6)
一般高齢者 (人)	事業対	<b>才象者</b>	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者認定率(%)
3,846		91	134	475	13.4 (16.1)	201	4.4 (5.8)

令和5年1月5日時点

		;	指標となる項目	市内全域(%)第十四圏域(%)	調査結果	地区順位					
Г			康高齢者	14.2	15.9	8					
	高齢者像の 出現率	介	護予防事業対象者	77.7 78.1	<u>78.1</u>	16					
		<u>#</u>	ービス事業対象者	5.9 4.5	<u>4.5</u>	6					
		お	世話役としての社会参加意向がある	36.0 35.5	35.5	14					
		生き週に週に近これ	加者としての社会参加意向がある	62.2 66.2	66.2	4					
			きがいがある	61.1 57.7	57.7	24					
— 般			週(	週	週	週	週に	に何度か以上友人・知人と会う	33.4 30.1	30.1	26
高齢者			二回以上外出している	81.7 85.2	85.2	7					
のビジ	社会参加の視点		何	何	何らが	らかの地域活動へ参加している	66.8 65.4	65.4	20		
ンヨン			①ボランティアのグループに参加して いる	13.8 13.9	13.9	17					
		3	参加している	②スポーツ関係のグループやクラブに 参加している	20.2 21.9	21.9	9				
				③趣味関係のグループに参加している	26.4 25.6	25.6	18				
			④学習・教養サークルに参加している	8.0 7.4	7.4	14					

		指標となる項目	市内全域(%)第十四圏域(%)	調査結果	地区順位		
		⑤介護予防のための通いの場に参加し	8.5	9.1	13		
		ている	9.1	9.1	13		
		   ⑥老人クラブに参加している	4.7	5.7	9		
	社会参加の視点	<b>●名人ノノノに参加している</b>	5.7	5.7	9		
	<b>江云</b> 参加07元点	   ⑦町内会・自治会に参加している	33.0	24.1	28		
		WALLE WILL STATE OF THE STATE O	24.1	27.1	20		
		8収入のある仕事に参加している	27.5	26.7	21		
			26.7	20.7			
		階段昇降(手すりや壁を伝わらずに)して	63.4	61.9	19		
	社会参加と生活	いる	61.9				
	支援・介護予防	椅子からの立ち上がり(何もつかまらず	77.4	77.3	14		
	の両方の視点	に) している	77.3				
		15分以上の歩行をしている	66.8	63.6	19		
			63.6				
		固いものが <u>食べにくくなった</u>	30.0	<u>30.4</u> 25.0	15		
			30.4				
		お茶や汁物で <u>むせる</u>	25.5		12		
			25.0	23.9	8		
般		ロの渇きが <u>気になる</u>	25.0				
高		毎日歯磨きをしている	23.9	93.5			
齢			91.9		4		
者 の			93.5	72.4	3		
ビ		過去一年間で転倒していない	68.0				
ジ			72.4	89.5	18		
∃		健康への関心がある	90.1				
ン			89.5 25.9				
		外出を <u>控えている</u>	25.3	<u>25.3</u>	13		
		△	◇誰 <b>又</b> 吐,此注	以山ナ物ニブハフ	12.7		
		外出を <u>控えている</u> ( <u>交通手段がない理由のみ)</u>	15.7	<u>15.7</u>	23		
	~1,X •> 1,00 M	<u> </u>	78.2				
		月に何度か以上誰かと食事をする	79.8	79.8	10		
			5.2				
		I A D L の <u>低下に該当</u>	3.1	<u>3.1</u>	4		
			12.5				
		知的能動性の <u>低下に該当</u>	13.1	<u>13.1</u>	17		
			84.3				
		何らかの介護予防 <u>リスクに該当</u>	83.2	<u>83.2</u>	10		
			12.5		<b>.</b>		
		①運動器の機能低下 <u>リスクに該当</u>	13.1	<u>13.1</u>	18		
			1.0				
			②低栄養の傾向 <u>リスクに該当</u>	0.0	<u>0.0</u>	1	
			22.2	22 -			
		③口腔機能の低下 <u>リスクに該当</u>	22.7	<u>22.7</u>	20		

		指標となる項目	市内全域(%)	調査結果	地区
			第十四圏域(%)	(%)	順位
		④閉じこもり傾向 <u>リスクに該当</u>	33.6	<u>31.3</u>	11
血血			31.3	<u> </u>	
般高	介護予防・生活	⑤認知機能の低下 <u>リスクに該当</u>	52.3	<u>53.1</u>	18
齢	支援の視点		53.1	00.1	10
者		⑥うつ傾向 <u>リスクに該当</u>	45.1	<u>42.3</u>	3
のビ			42.3		
ジ		健康状態がよい(主観的健康感)	79.0	79.5	16
∃	総合的な評価		79.5	70.0	10
ン	指標	幸せと感じる割合が平均以上	61.8	61.5	17
		(主観的幸福感)	61.5	01.5	1 /
		介護保険以外のサービスを利用している	28.5	28.9	15
		月 長 体 検 込 か の グ	28.9	20.9	13
		計明シウチ利田している	18.2	16.7	10
		訪問診療を利用している	16.7	10.7	19
		もしものときのために、家族や医療関係	8.8	0.0	1.4
	『本人』の在宅	fと詳しく話しあったことがある	9.3	9.3	14
	生活の継続性の確保の視点	在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	21.1	00
			21.1		23
		人生の最期を迎える場所の希望がある 適切な在宅介護生活の継続を実現している	64.4	65.4	14
			65.4		
			75.2	72.4	19
要			72.4		
介	家族等『介護	不安に感じる介護は特にない	5.1	3.3	20
護者等			3.3		
白			25.8	22.0	7
の		!知症状に対する <u>不安を感じる</u>	22.0		
ビ	者』の就労継		74.3	1	28
ジョ	続の視点	たの視点 仕事と介護を両立できる	65.4	65.4	
5			11.8		
		介護を理由に <u>離職・転職した</u>	9.8	<u>9.8</u>	7
			62.2		
		参加者としての社会参加意向がある	66.2	66.2	4
			36.0		
	『サービス提供		35.5	35.5	14
	体制』の確保の		13.8		
	視点		13.9	13.9	17
			69.5		24
		地域で支援できることがある	65.6	65.6	
	<b>₩ Δ Δ5 4</b> >=π /π				<del>                                     </del>
	総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	28.0	18
	徂尓		28.0		

### ①在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	17.9	調理	17.5	掃除∙洗濯	22.0
買い物	21.5	ゴミ出し	17.9	外出同行	29.7
移送サービス	29.3	見守り、声かけ	19.5	通いの場	11.8
その他	4.1	特にない	16.3		

サービス名	近隣の人にお願いしたい ことの割合(%)	地域でできる支援の割合 (%)
見守り	28.9	29.8
声かけ	26.4	31.5
外出同行	8.5	5.4
雪かき	31.7	15.6
庭の手入れ	11.4	12.2
ゴミ出し	11.0	13.1
買物	8.9	11.9
調理	4.5	2.6
掃除	6.1	15.6
着替え	0.8	2.6
季節用品の入替	2.8	2.6
電球交換	5.3	9.4
特にない(できない)	29.7	31.8
その他	2.4	2.3

# 第4章

高齢者の健康と生活状況調査結果 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果)

### 第4章 高齢者の健康と生活状況調査結果 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果)

#### 1 あなたのご家族や生活状況について

#### (1) 家族構成及び日中独居者の状況

- ○家族構成をみると、一般高齢者は「息子・娘との2世帯」(35.3%)、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(31.1%)、事業対象者は「息子・娘との2世帯」(38.4%)、「1人暮らし」(34.8%)、要支援者は「息子・娘との2世帯」(37.8%)、「1人暮らし」(30.8%)となっています。
- 〇日中独居の有無をみると、一般高齢者は「よくある」「たまにある」をあわせると 68.9%、 事業対象者は 70.8%、要支援者は 73.3%となっています。

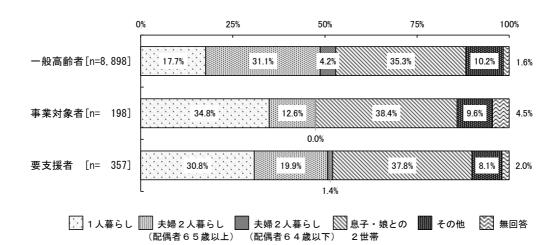
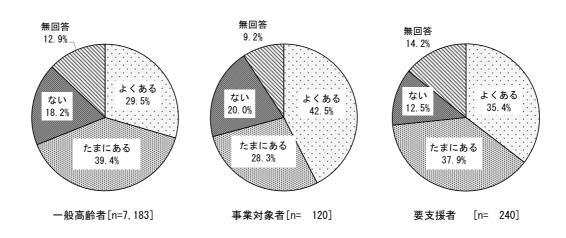


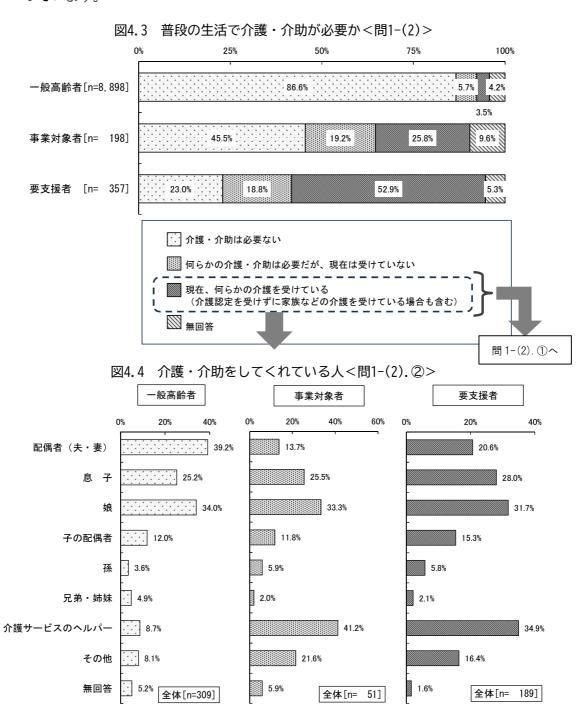
図4.1 家族構成<問1-(1)>





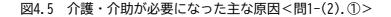
#### (2) 日常生活における介護(介助)者の有無

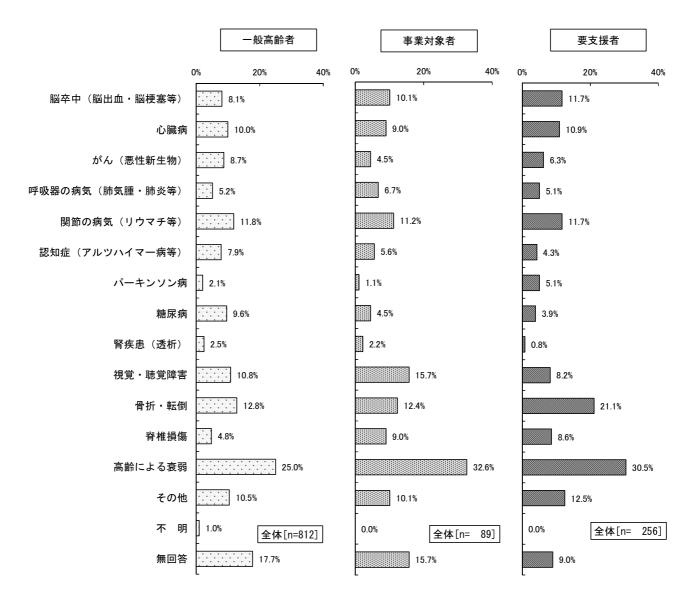
- ○普段の生活においての介護・介助の状況をみると、一般高齢者・事業対象者は「介護・介助は必要ない」(86.6%・45.5%)が最も高くなっています。
- ○要支援者は「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」(52.9%)が最も高くなっています。
- ○一般高齢者で介護を受けていると回答した方の介護・介助をしてくれている人をみると、「配偶者(夫・妻)」(39.2%)が最も高く、次いで「娘」(34.0%)、「息子」(25.2%)となっています。
- ○事業対象者と要支援者では「介護サービスのヘルパー」(41.2%・34.9%)が最も高くなっています。



206

○介護・介助が必要になった主な原因では、一般高齢者・事業対象者・要支援者いずれも「高齢による衰弱」(25.0%・32.6%・30.5%)が最も高くなっています。次いで一般高齢者・要支援者は「骨折・転倒」(12.8%・21.1%)、事業対象者は「視覚・聴覚障害」(15.7%)となっています。





#### (3)現在の経済状況

○現在の暮らしの経済的状況をみると、一般高齢者・事業対象者・要支援者いずれも「ふつう」(55.7%・58.6%・58.3%)が最も高く、次いで「やや苦しい」(26.7%・22.7%・24.6%)となっています。

Λ% 25% 50% 75% 100% 一般高齢者[n=8,898] 9.4% 55.7% 5.4% 2.1% 26.7% 0.7% 4.5% 事業対象者[n= 198] 11.1% 22.7% 58.6% 3.0% 0.0% 要支援者 [n= 357] 6.7% 7.0% 24.6% 58.3% 0.3% 大変苦しい やや苦しい ふつう ややゆとりがある 大変ゆとりがある 無回答

図4.6 現在の暮らしの状況を経済的にみて < 問1-(3) >

#### (4) 現在の住居環境

○現在暮らしている家の状況では、一般高齢者・事業対象者・要支援者いずれも「④持家(一戸建て)」(86.3%・83.3%・88.5%)が最も高くなっています。

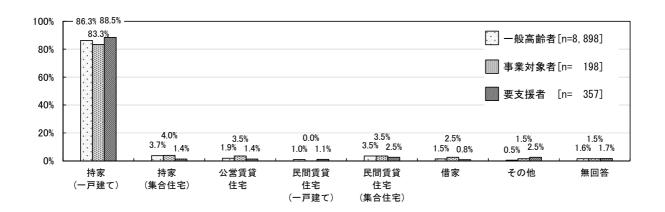


図4.7 現在の暮らしている家の状況 < 問1-(4) >

### 2 からだを動かすことについて

### (1)運動機能の状況

- ○階段を手すりや壁をつたわらずに昇ることができるかでは、一般高齢者は「できない」が 14.6%で、該当者を年齢階級別にみると加齢とともに割合が高くなっています。
- ○一方、事業対象者・要支援者は「できない」が半数を超えており、前者を大きく上回っています。
- ○椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることができるかでは、一般高齢者は「できない」が 9.9%で、該当者を年齢階級別にみると加齢とともに割合が高くなっています。
- ○一方、要支援者は「できない」が52.1%となっており、前者を大きく上回っています。

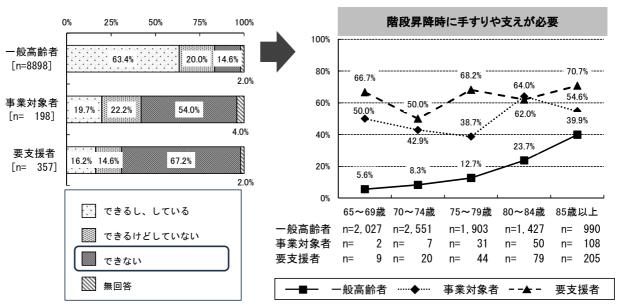
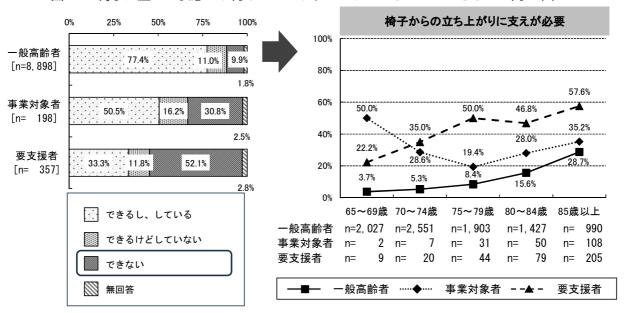


図4.8 階段を手すりや壁をつたわらずに昇ることができるか<問2-(1)>

図4.9 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることができるか < 問2-(2) >



- ○15 分位続けて歩くことができるかでは、一般高齢者は「できない」が 8.1%で、該当者を 年齢階級別にみると加齢とともに割合が高くなっています。
- ○一方、要支援者は「できない」が48.5%となっており、前者を大きく上回っています。
- ○過去1年間に転んだ経験の有無では、一般高齢者は「何度もある」(7.3%)と「1度ある」 (23.7%)を合わせた31.0%が転んだ経験があると答えています。
- ○一方、要支援者は「何度もある」(25.2%) と「1度ある」(33.6%) を合わせた 58.8% が転倒経験者となっており、前者を上回っています。

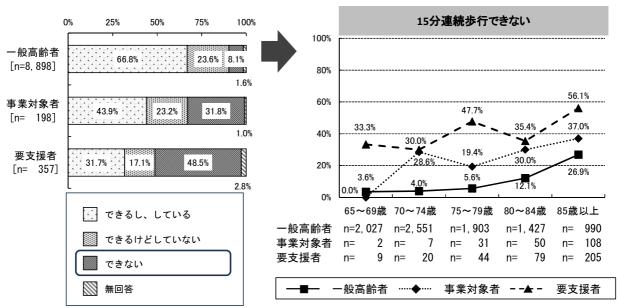
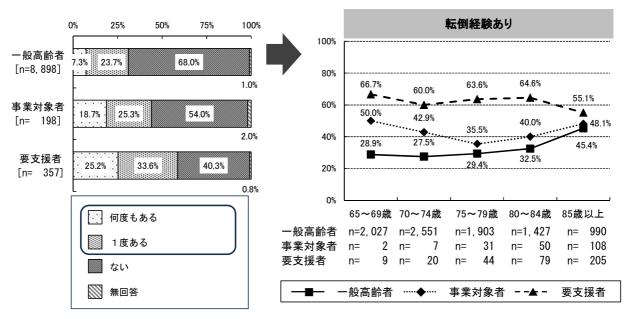


図4.10 15分位続けて歩くことができるか < 問2-(3) >





- ○転倒に対する不安の有無では、一般高齢者は「とても不安である」(13.5%)と「やや不安である」(37.4%)を合わせた50.9%で不安があり、その該当者を年齢階級別にみると加齢とともに割合が高くなっています。
- ○一方、事業対象者・要支援者いずれも「とても不安である」(37.4%・50.4%)と「やや不安である」(47.0%・38.4%)を合わせると8割以上となっています。

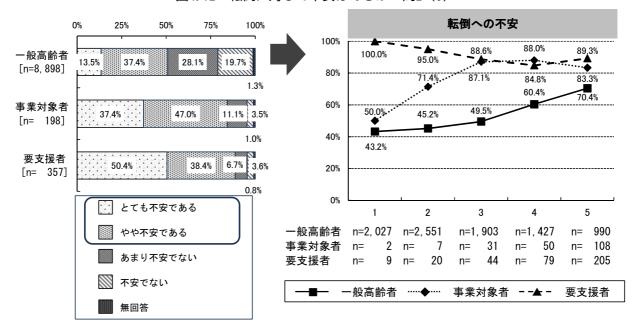


図4.12 転倒に対して不安はあるか<問2-(5)>

# (2) 外出の状況

- ○週に1回以上の外出の有無では、一般高齢者は「ほとんど外出しない」(5.3%)と「週1回」(12.1%)を合わせた17.4%が外出は週1回以下となっており、その該当者を年齢階級別にみると加齢とともに割合が高くなっています。
- ○一方、事業対象者・要支援者ともに「ほとんど外出しない」(13.6%・22.4%) と「週 1 回」(26.3%・28.6%) を合わせると3割以上となっており、前者を上回っています。

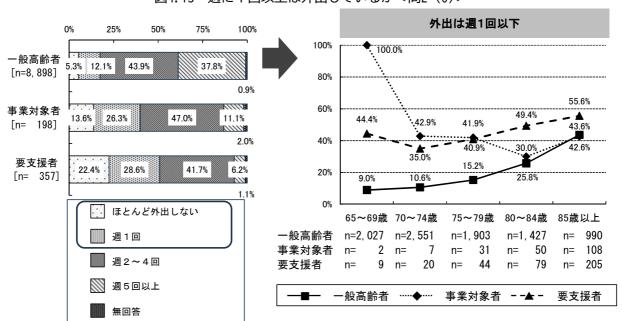


図4.13 週に1回以上は外出しているか<問2-(6)>

- ○昨年と比べた外出の頻度では、一般高齢者は「とても減っている」(3.8%)と「減っている」(23.1%)を合わせた 26.9%が昨年より外出が減っており、その該当者を年齢階級別にみると加齢とともに割合が高くなっています。
- ○一方、事業対象者・要支援者ともに「とても減っている」(11.6%・18.8%) と「減っている」(46.0%・39.2%) を合わせると5割以上となっており、前者を上回っています。

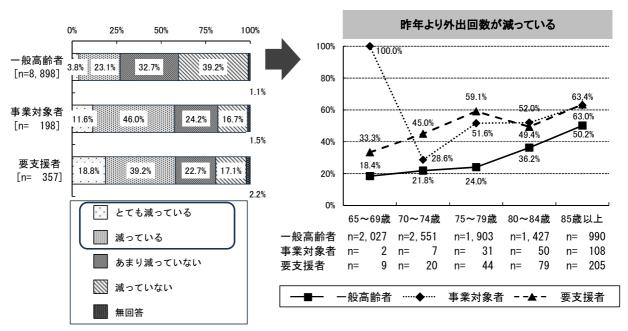


図4.14 昨年と比べた外出の頻度 < 問2-(7) >

- ○外出を控えているかをみると、一般高齢者は「はい」が 25.9%います。
- ○一方、事業対象者・要支援者は「はい」が 57.1%・65.5%で、前者と比べ 31.2^{**(} ・39.6^{**(} ・39.6^{**(} 高くなっています。
- ○外出を控えている理由では、一般高齢者・事業対象者・要支援者いずれも「足腰などの痛み」(38.2%・60.2%・67.5%)が最も高く、次いで一般高齢者が「外での楽しみがない」(18.8%)、事業対象者・要支援者が「交通手段がない」(27.4%・28.6%)となっています。



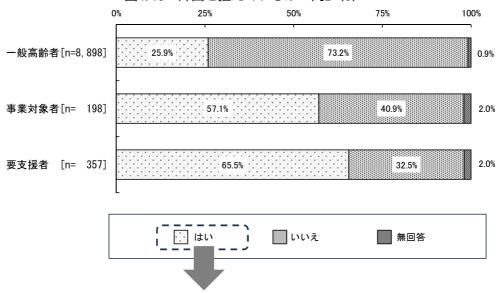
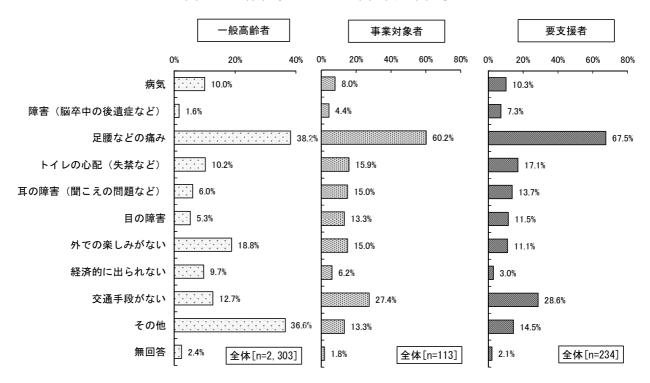


図4.16 外出を控えている理由 < 問2-(8).① >



- ○外出する際の移動手段では、一般高齢者は「自動車(自分で運転)」(68.1%)が最も高く、 次いで「徒歩」(46.9%)となっています。
- ○一方、事業対象者と要支援者では「自動車(人に乗せてもらう)」(51.0%・59.7%)が最 も高くなっています。
- ○次いで、事業対象者では「徒歩」(42.9%)が、要支援者では「タクシー」(37.3%)となっています。

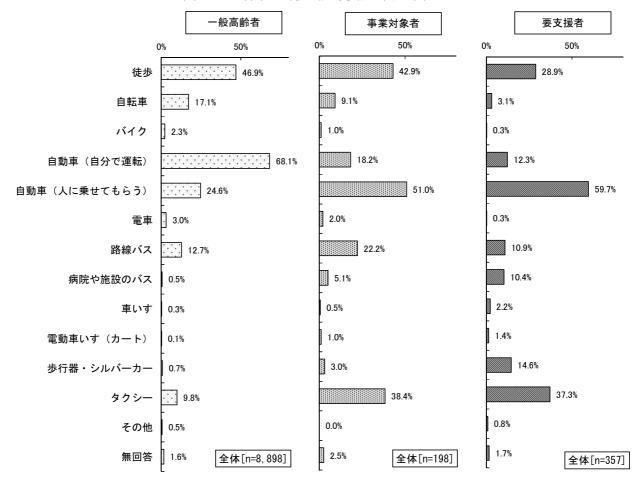
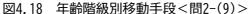
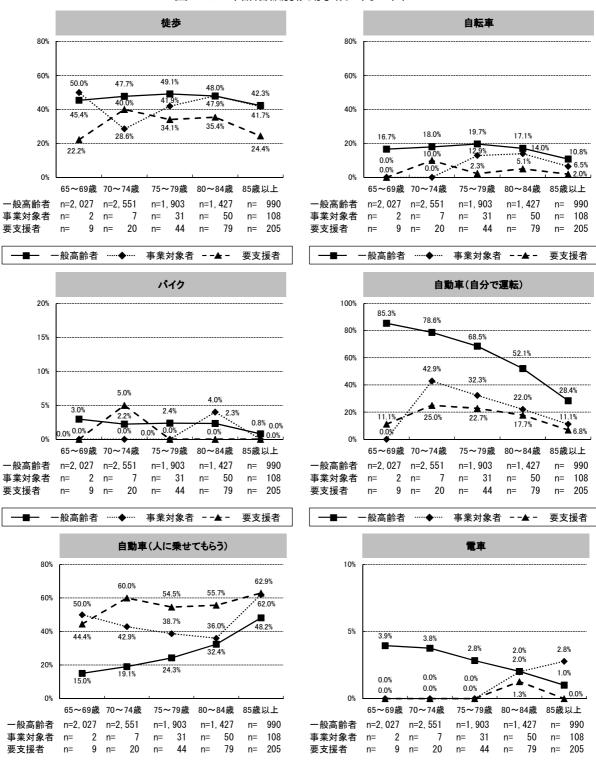


図4.17 外出する際の移動手段 < 問2-(9) >

- ○一般高齢者の外出する際の移動手段をそれぞれ年齢階級別にみると、「徒歩」は5割以下 で推移しています。
- ○「自動車(自分で運転)」では加齢とともに利用割合が低くなり、80~84歳で約5割となり、加齢とともに大きく低下します。
- ○一方、「自動車(人に乗せてもらう)」では、加齢とともに割合が高くなる傾向にあります。





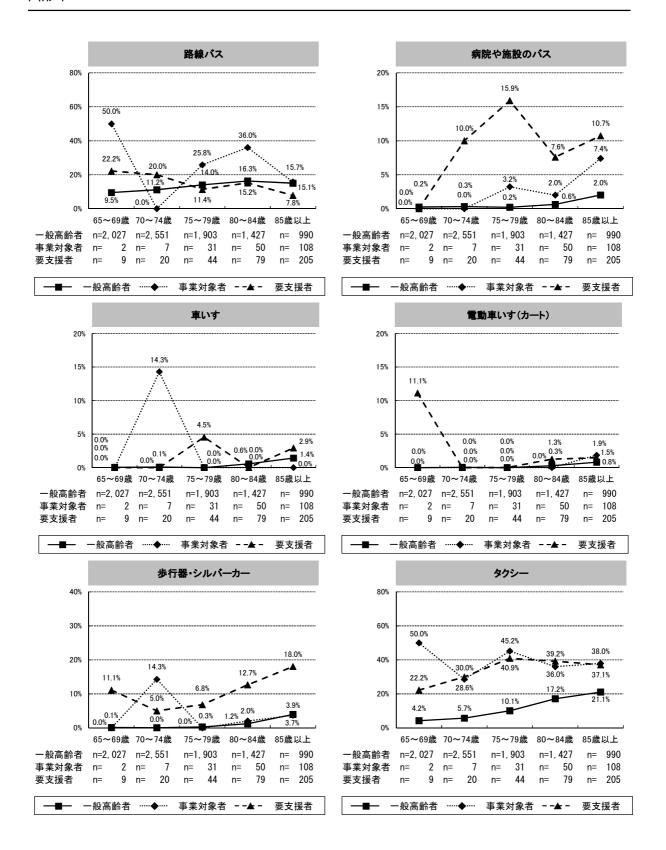
要支援者

一般高齢者 ……◆…

事業対象者 --▲-

一般高齢者 ……◆…

事業対象者 --▲-



# 3 食べることについて

# (1) 現在の肥満 (BMI) 状況

- ○高齢者の肥満状況をBMI指数でみると、一般高齢者は「やせ(18.5 未満)」は 6.3%で、 該当者を年齢階級別にみると 85歳以上では 9.3%となっています。事業対象者は 11.1%、 要支援者は 10.9%となっています。
- ○6か月間で2~3kg 以上の体重減少があった一般高齢者は10.2%となり、事業対象者は13.1%、要支援者は21.6%となっています。

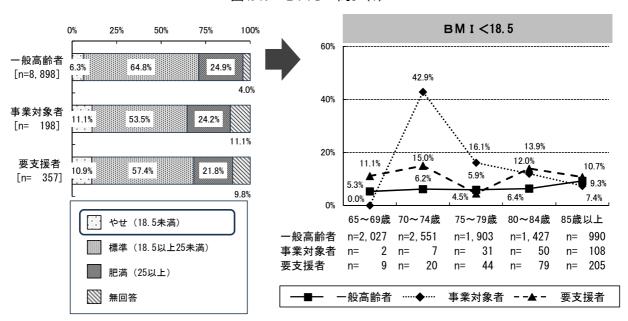
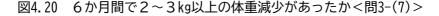
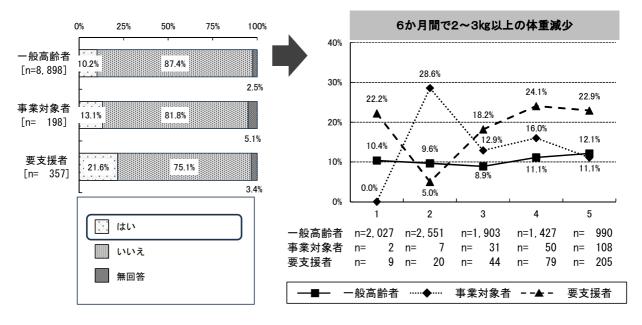


図4.19 BM I <問3-(1)>





#### (2) 歯・口腔の状況

- ○歯の数と入れ歯の利用状況をみると、一般高齢者は「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」(14.6%) と「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」(32.7%) を合わせて47.3%となっています。
- ○事業対象者は「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」(11.6%) と「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」(41.9%) を合わせて 53.5%となっています。
- ○要支援者は「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」(17.1%) と「自分の歯は 19 本 以下、かつ入れ歯を利用」(42.9%) を合わせて 60.0%となっています。
- ○毎日入れ歯の手入れをしている方は、一般高齢者・事業対象者・要支援者いずれも 8割以上となっています。

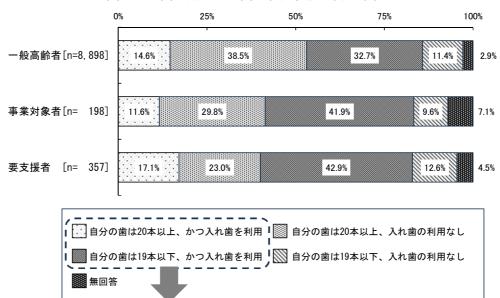
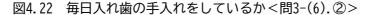
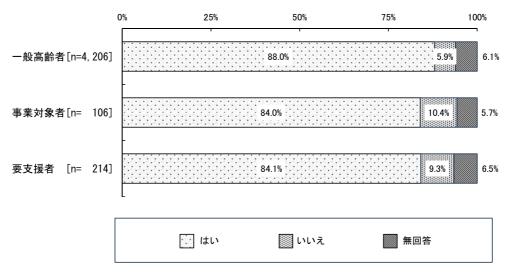


図4.21 歯の数と入れ歯の利用状況 < 問3-(6) >





- ○噛み合わせが良い一般高齢者は 78.9%、事業対象者は 75.3%、要支援者は 69.7%となっています。
- ○歯磨きを毎日している一般高齢者は 91.9%、事業対象者は 84.8%、要支援者は 86.3%と なっています。

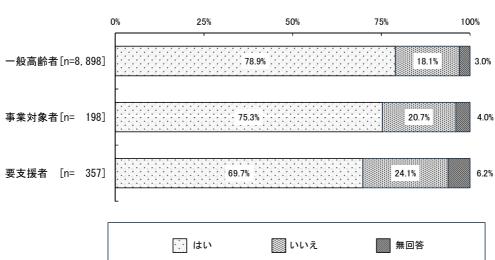
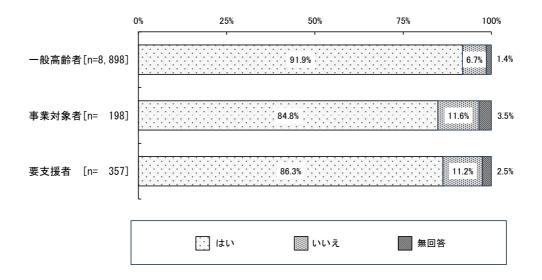


図4.23 噛み合わせは良いか<問3-(6).①>





- ○半年前に比べて固いものが食べにくくなった一般高齢者は 30.0%で、85 歳以上では約5割となっています。
- ○事業対象者・要支援者では固いものが食べにくくなった方が 47.0%・48.7%と半数近く になっています。
- ○お茶や汁物等でむせることがある一般高齢者は 25.5%で、年齢階級別にみるとほぼ横ば いとなっています。
- ○事業対象者・要支援者ではむせることがある方は33.8%・39.8%となっています。

図4.25 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか < 問3-(2) >

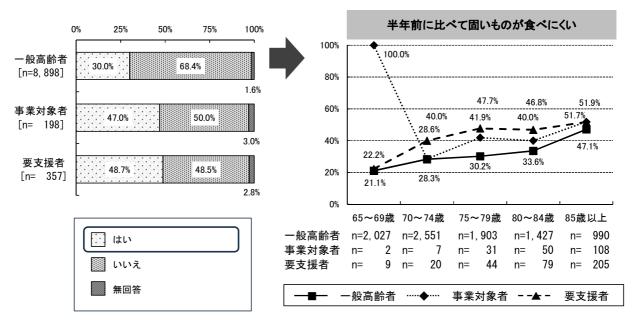
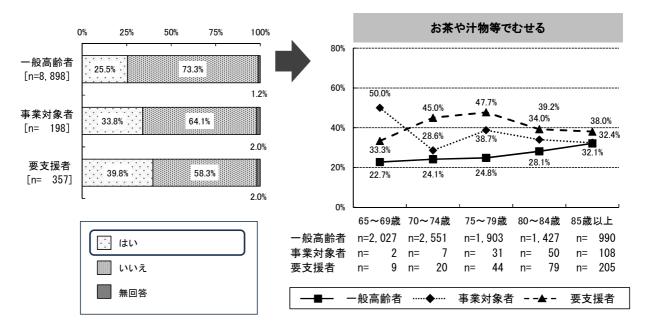


図4.26 お茶や汁物等でむせることがあるか < 問3-(3) >



- ○口の渇きが気になる一般高齢者は25.0%で、各年齢階級で2~3割台となっています。
- ○事業対象者・要支援者では気になる方が 42.9%・41.2%で、4割強の方が気になると回答しています。

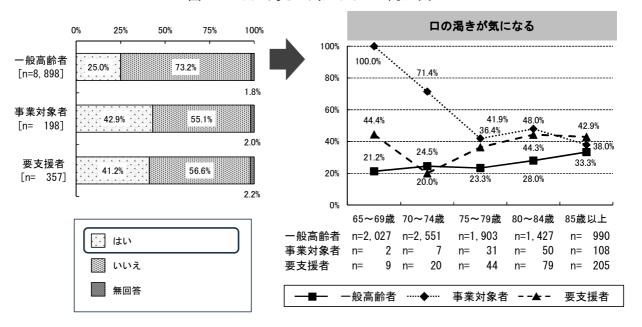


図4.27 口の渇きが気になるか < 問3-(4) >

### (3)食事の状況

- ○どなたかと食事をともにする機会の有無をみると、一般高齢者は「毎日ある」(57.0%) が最も高く、次いで「月に何度かある」(13.3%)、「年に何度かある」(11.3%) となっています。
- ○事業対象者は「毎日ある」(39.9%) が最も高く、次いで「月に何度かある」(18.7%)、「年に何度かある」(13.6%) となっています。
- ○要支援者は「毎日ある」(42.0%)が最も高く、次いで「月に何度かある」(16.0%)、「ほとんどない」(13.4%)となっています。

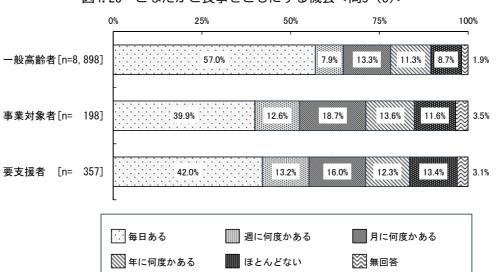


図4.28 どなたかと食事をともにする機会<問3-(8)>

### (4)毎日の食事で取り組んでいること

- ○毎日の食事で取り組んでいることをみると、一般高齢者は「野菜をたくさん食べる」 (61.5%) が最も高く、次いで「減塩(食塩を控えめにする)」(55.6%)、「栄養バランス の良い食事をとる」(49.9%) となっています。
- ○事業対象者は「減塩(食塩を控えめにする)」(61.1%)が最も高く、次いで「野菜をたく さん食べる」(59.1%)、「栄養バランスの良い食事をとる」(52.0%)となっています。
- ○要支援者は「野菜をたくさん食べる」(51.0%)が最も高く、次いで「減塩(食塩を控えめにする)」(48.2%)、「栄養バランスの良い食事をとる」(45.7%)となっています。

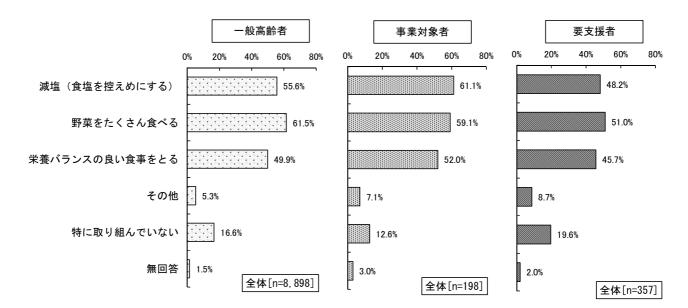


図 4.29 毎日の食事で取り組んでいること <問 3-(9) >

### 4 毎日の生活について

### (1) IADL (手段的自立度)の状況

- ○バスや電車を使って1人で外出しているかをみると、一般高齢者は「できない」が 6.6% で、該当者を年齢階級別にみると 85 歳以上で割合が大きく上昇します。
- ○一方、事業対象者・要支援者は「できない」が 30.3%・53.2%となっており、前者を大きく上回っています。
- ○1人での外出が困難な理由は、一般高齢者・事業対象者・要支援者いずれも「体力的に難しい」(58.3%・73.3%・80.5%)が最も高くなっています。

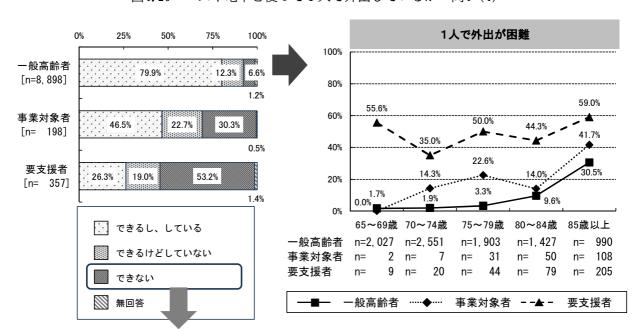
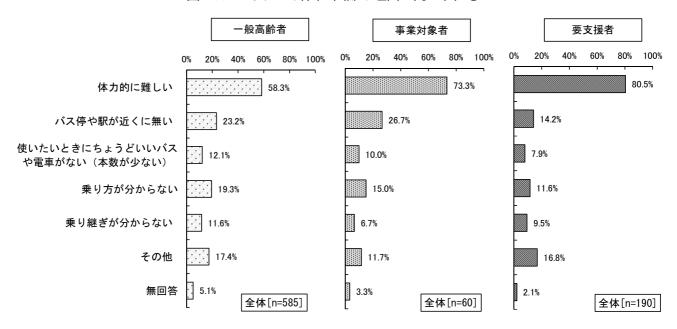
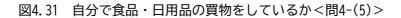


図4.29 バスや電車を使って1人で外出しているか<問4-(4)>





- ○自分で食品・日用品の買物をしているかでは、一般高齢者は「できない」が 3.9%で、該 当者を年齢階級別にみると 85 歳以上で割合が大きく上昇します。
- ○一方、事業対象者・要支援者は「できない」が 24.2%・38.7%となっており、前者を大きく上回っています。
- ○食品や日用品の買物ができない理由をみると一般高齢者・要支援者は「買った物を持って帰るのが難しい」(39.9%・50.0%)、事業対象者は「店が近くにない」(39.6%)が最も高くなっています。



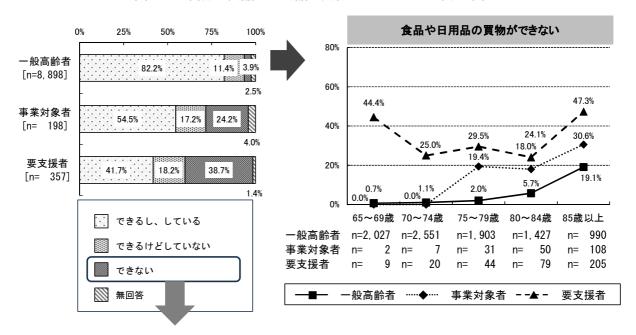
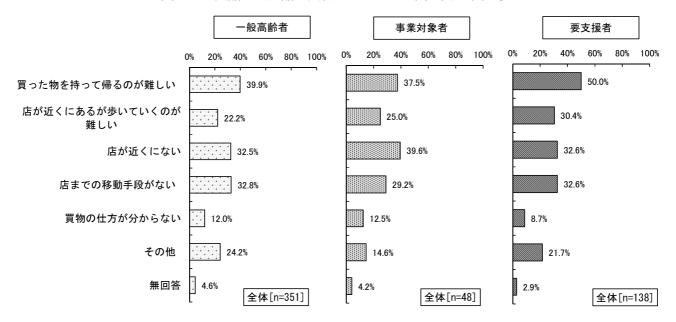


図4.32 食品や日用品の買物ができない理由<問4-(5).①>



○主に食品・日用品の買い物をする人をみると一般高齢者・事業対象者・要支援者いずれも 「同居の家族」(76.6%・70.8%・72.5%)となっています。

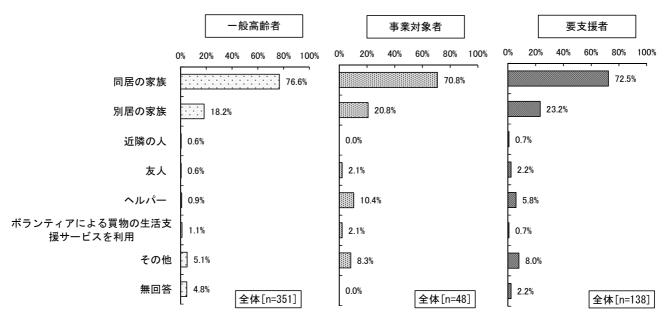


図4.33 主に食品・日用品の買物をする人 < 問4-(5).② >

- ○自分で食事の用意をしているかでは、一般高齢者は「できない」が 6.2%で、該当者を年齢階級別にみると加齢とともに割合が高くなる傾向にあります。
- ○一方、事業対象者・要支援者は「できない」が 15.7%・22.1%となっており、前者を大きく上回っています。

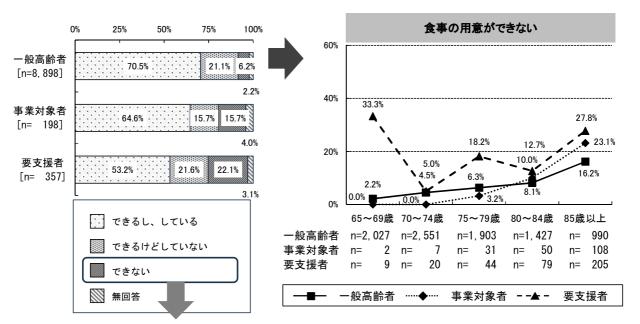


図4.34 自分で食事の用意をしているか < 問4-(6) >

○食事の用意ができない理由をみると一般高齢者・事業対象者は「自分の役割ではない」 (74.7%・58.1%)、事業対象者は「体力的に難しい」(43.6%)となっています。

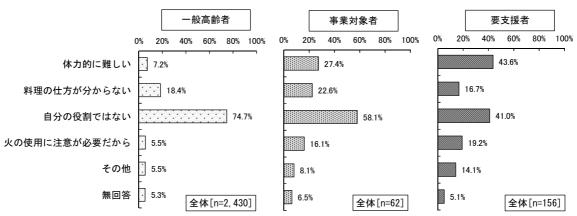


図4.35 食事の用意ができない理由 < 問4-(6).①>

○主に食事の用意をする人をみると一般高齢者・事業対象者・要支援者いずれも「同居の家族」(92.3%・91.9%・81.4%) となっています。

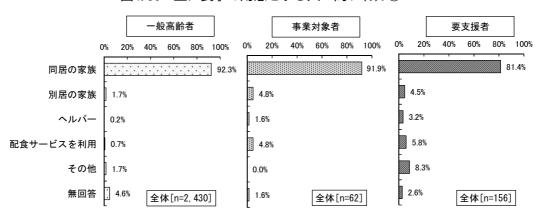


図4.36 主に食事の用意をする人<問4-(6).②>

- ○自分で請求書の支払いをしているかでは、一般高齢者は「できない」が 2.8%で、該当者 を年齢階級別にみると 85 歳以上で割合が上昇します。
- 〇一方、事業対象者・要支援者は「できない」が 6.1%・16.0%となっており、前者を大き く上回っています。

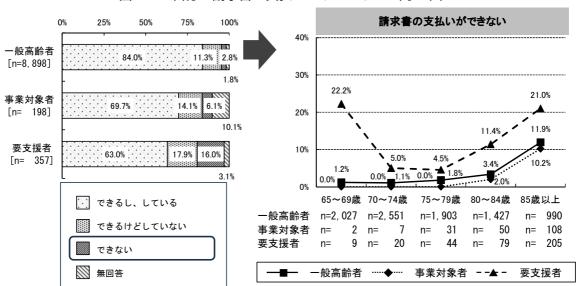
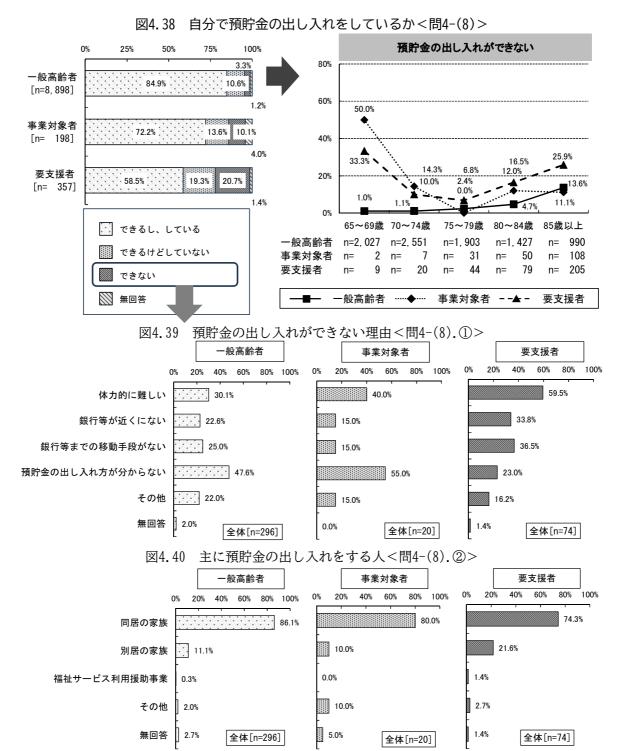


図4.37 自分で請求書の支払いをしているか < 問4-(7) >

- ○自分で預貯金の出し入れをしているかでは、一般高齢者は「できない」が 3.3%で、該当者を年齢階級別にみると 85 歳以上で割合が上昇します。
- ○一方、事業対象者・要支援者は「できない」が 10.1%・20.7%となっており、前者を大きく上回っています。
- ○預貯金の出し入れができない理由をみると一般高齢者・事業対象者は「預貯金の出し入れ 方が分からない」(47.6%・55.0%)、要支援者は「体力的に難しい」(59.5%)となって います。
- ○主に預貯金の出し入れをする人をみると一般高齢者・事業対象者・要支援者いずれも「同居の家族」(86.1%・80.0%・74.3%)となっています。



227

### (2) 社会参加(知的能動性)の状況

- ○年金などの書類が書けるかでは、一般高齢者は「いいえ」が 6.9%で、該当者を年齢階級 別にみると加齢とともに割合が高くなっています。
- ○一方、事業対象者・要支援者は「いいえ」が 22.2%・30.3%となっており、前者を上回っています。

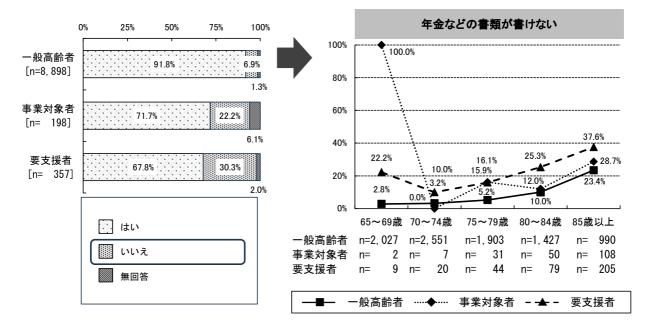


図4.42 年金などの書類が書けるか < 問4-(9) >

- ○新聞を読んでいるかでは、一般高齢者は「いいえ」が 15.9%で、該当者を年齢階級別に みるとほぼ横ばいとなっています。
- 〇一方、事業対象者・要支援者は「いいえ」が 20.2%・27.5%となっており、前者を上回っています。

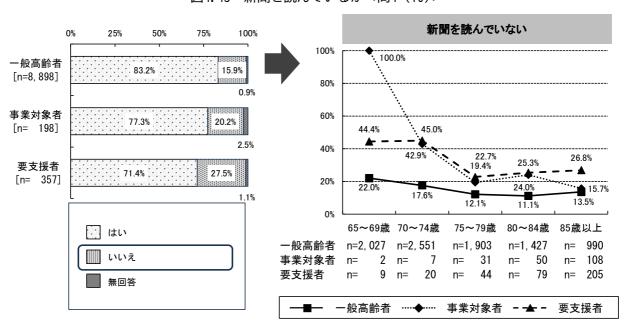


図4.43 新聞を読んでいるか < 問4-(10) >

- ○本や雑誌を読んでいるかをみると、一般高齢者は「いいえ」が 22.4%で、その該当者を 年齢階級別にみると加齢とともにわずかながら割合が高くなっています。
- ○一方、事業対象者・要支援者は「いいえ」が 31.8%・37.5%となっており、前者を上回っています。

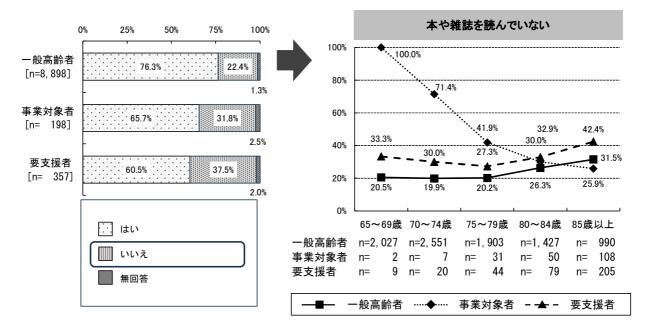


図4.44 本や雑誌を読んでいるか < 問4-(11) >

- ○健康についての記事や番組に関心があるかでは、一般高齢者は「いいえ」が 8.9%、その 該当者を年齢階級別にみると全ての年齢階級で関心が低い状況です。
- ○一方、事業対象者・要支援者は「いいえ」が 6.1%・15.1%となっており、要支援者は前者を上回っています。

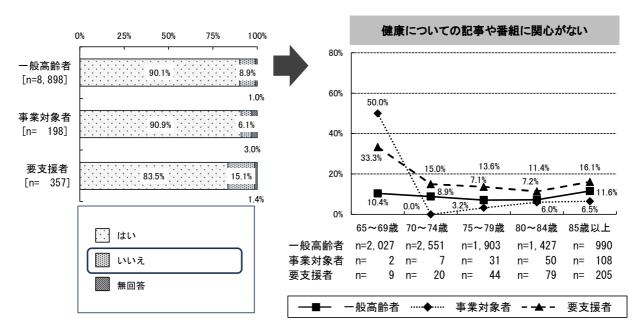


図4.45 健康についての記事や番組に関心があるか<問4-(12)>

# (3) 社会参加(社会的役割)の状況

- ○友人の家を訪ねているかでは、一般高齢者は「いいえ」が44.0%となっています。
- ○一方、事業対象者・要支援者は「いいえ」が 57.6%・69.5%となっており、前者を上回っています。

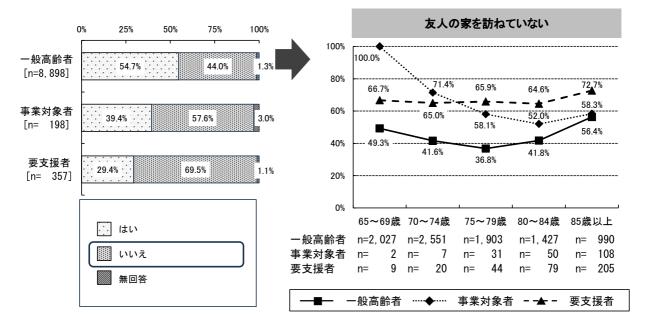


図4.46 友人の家を訪ねているか < 問4-(13) >

- ○家族や友人の相談にのっているかでは、一般高齢者は「いいえ」が 18.6%で、該当者を 年齢階級別にみると加齢とともに割合が高くなっています。
- ○一方、事業対象者・要支援者は「いいえ」が 31.8%・42.6%となっており、前者を上回っています。

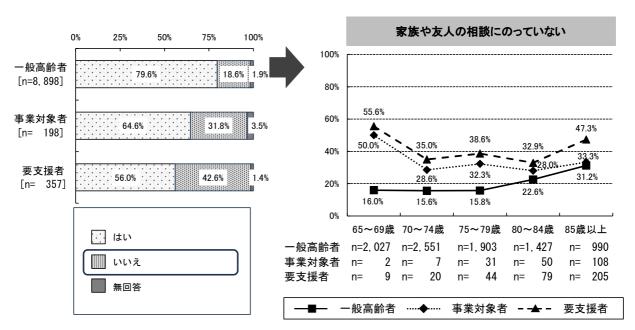


図4.47 家族や友人の相談にのっているか<問4-(14)>

- ○病人を見舞うことができるかでは、一般高齢者は「いいえ」が 11.7%で、該当者を年齢 階級別にみると 80 歳以上で割合が高くなっています。
- ○一方、事業対象者・要支援者は「いいえ」が 36.4%・50.7%となっており、前者を大き く上回っています。

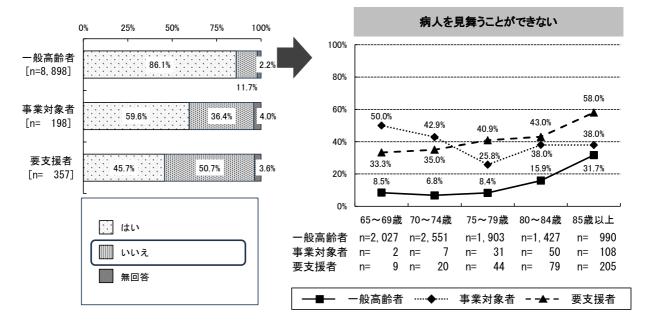


図4.48 病人を見舞うことができるか < 問4-(15) >

- ○若い人に自分から話しかけることはあるかでは、一般高齢者は「いいえ」が 20.7%で、 該当者を年齢階級別にみるとほぼ横ばいとなっています。
- 〇一方、事業対象者・要支援者は「いいえ」が 26.3%・34.2%となっており、前者を上回っています。

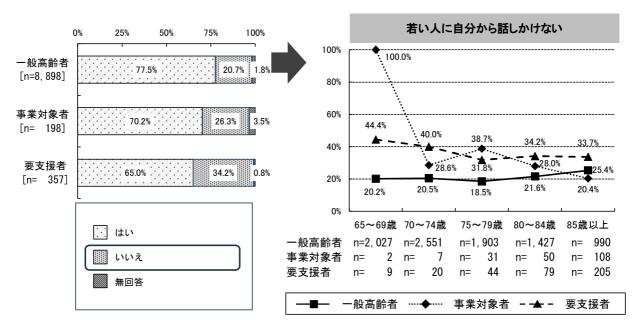


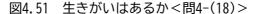
図4.49 若い人に自分から話しかけることはあるか<問4-(16)>

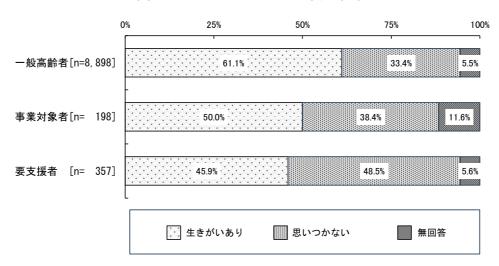
# (4) 生きがいについて

- ○趣味の有無では、一般高齢者は 74.0%、事業対象者は 60.1%、要支援者は 53.2%が「ある」と回答しています。
- ○生きがいの有無では、一般高齢者は 61.1%、事業対象者は 50.0%、要支援者は 45.9%が「ある」と回答しています。また、要支援者の 48.5%が「思いつかない」と回答しています。

0% 50% 75% 100% 25% 一般高齢者[n=8,898] 74.0% 21.9% 4.2% 事業対象者[n= 198] 28.3% 11.6% 60.1% 要支援者 [n= 357] 39.5% 7.3% 53.2% 趣味あり 思いつかない 無回答

図4.50 趣味はあるか < 問4-(17) >





#### (5)物忘れの状況

- ○物忘れが多いと感じるかでは、一般高齢者は 37.6%が感じており、該当者を年齢階級別 にみると加齢とともに割合が高くなっています。
- ○一方、事業対象者・要支援者は 54.5%・54.1%と半数以上の方が感じており、前者を上回っています。

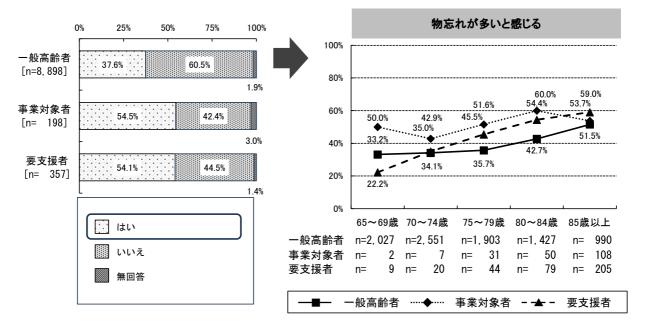


図4.52 物忘れが多いと感じるか < 問4-(1) >

- ○自分で電話番号を調べて電話をかけるかでは、一般高齢者は「いいえ」が 12.4%で、該 当者を年齢階級別にみると 85 歳以上で割合がやや高くなっています。
- ○一方、事業対象者・要支援者は「いいえ」が 14.1%・18.2%となっており、前者をわず かに上回っています。

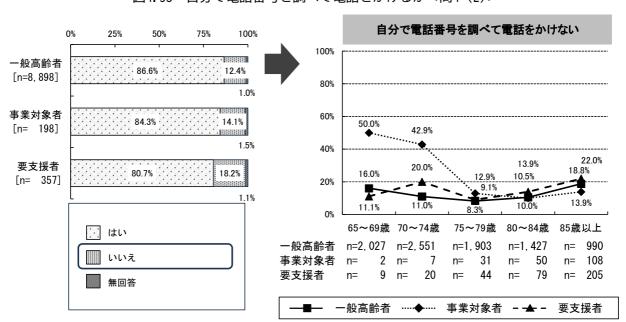
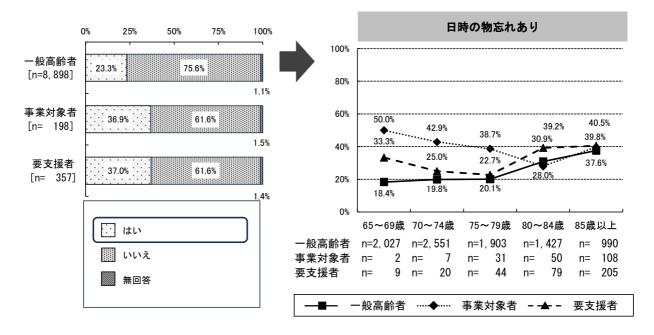


図4.53 自分で電話番号を調べて電話をかけるか<問4-(2)>

- ○今日が何月何日かわからない時があるかでは、一般高齢者は「はい」が 23.3%で、該当者を年齢階級別にみると加齢とともに割合が徐々に高くなっています。
- ○一方、事業対象者・要支援者は36.9%・37.0%で、前者を上回っています。

図4.54 今日が何月何日かわからない時があるか < 問4-(3) >



### (6) その他の生活状況

- ○雪かきができるかでは、一般高齢者は「いいえ」が 17.9%で、該当者を年齢階級別にみると加齢とともに割合が徐々に高くなっています。
- ○一方、事業対象者・要支援者は58.1%・73.4%で、前者を大きく上回っています。
- ○主に雪かきをする人をみると、一般高齢者・事業対象者・要支援者いずれも「同居の家族」 (74.7%・64.3%・61.8%)となっています。

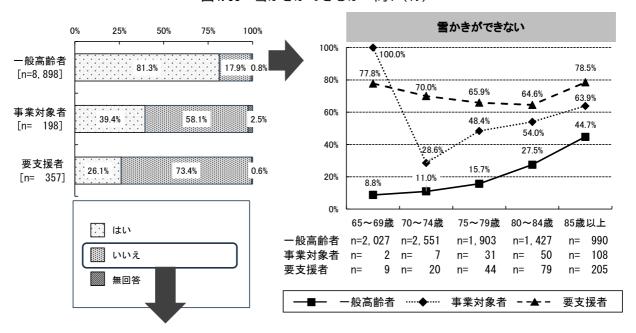
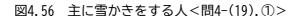
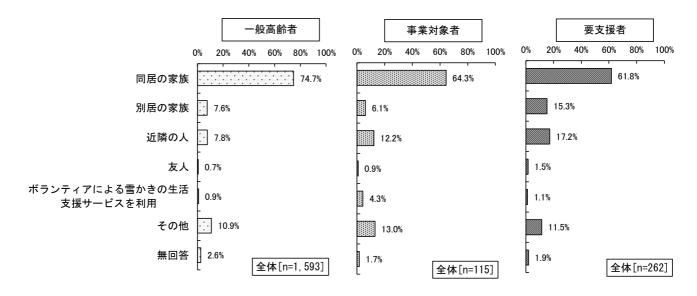


図4.55 雪かきができるか < 問4-(19) >





- ○ゴミ出しができるかでは、一般高齢者は「いいえ」が 14.5%で、該当者を年齢階級別に みると加齢とともに割合が徐々に高くなっています。
- ○一方、事業対象者・要支援者は36.9%・58.3%で、前者を大きく上回っています。
- ○主にゴミ出しをする人をみると、一般高齢者・事業対象者・要支援者いずれも「同居の家族」(94.2%・87.7%・78.4%)となっています。

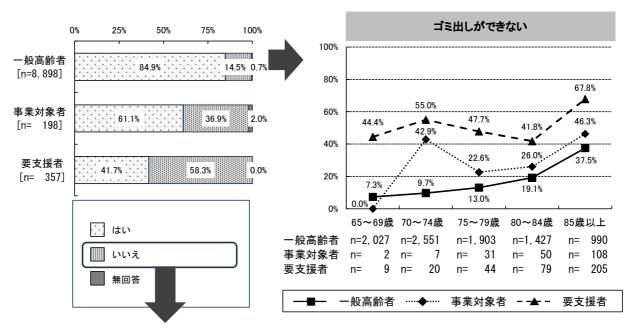
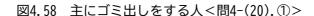
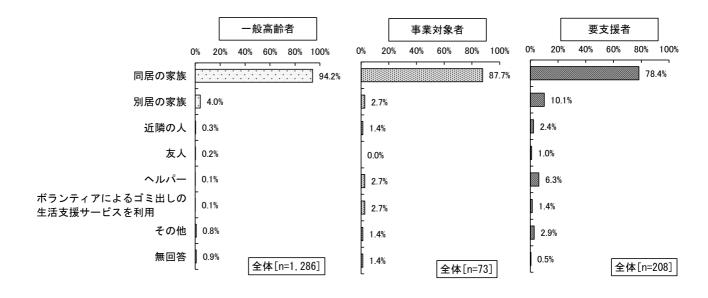


図4.57 ゴミ出しができるか < 問4-(20) >





- ○掃除ができるかでは、一般高齢者は「いいえ」が 9.4%で、該当者を年齢階級別にみると 加齢とともに割合が徐々に高くなっています。
- ○一方、事業対象者・要支援者は26.3%・42.6%で、前者を大きく上回っています。
- ○主に掃除をする人をみると、一般高齢者・事業対象者・要支援者いずれも「同居の家族」 (88.5%・67.3%・65.8%) が最も高くとなっています。
- ○事業対象者・要支援者では「ヘルパー」(25.0%・21.1%) も高くなっています。

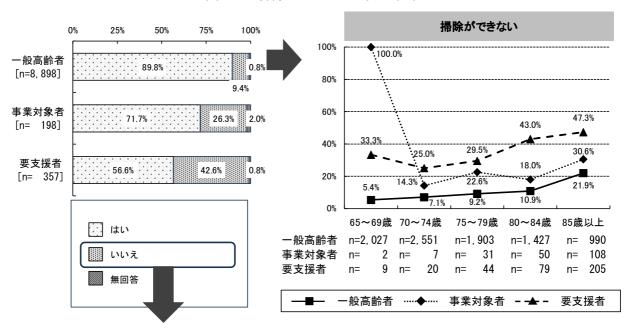
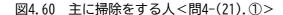
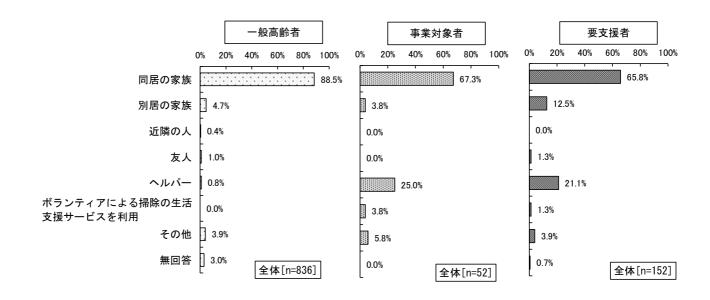


図4.59 掃除ができるか < 問4-(21) >





- ○インターネットの利用有無では、一般高齢者は 51.3%、事業対象者は 15.2%、要支援者は 17.1%が「利用している」と回答しています。
- ○インターネットの利用目的では、一般高齢者・事業対象者・要支援者いずれも「情報検索」 (83.5%・50.0%・65.6%)、「LINE (ライン) の利用」(71.7%・53.3%・60.7%)、「電子メールの送受信」(61.5%・33.3%・50.8%)、が高くなっています。

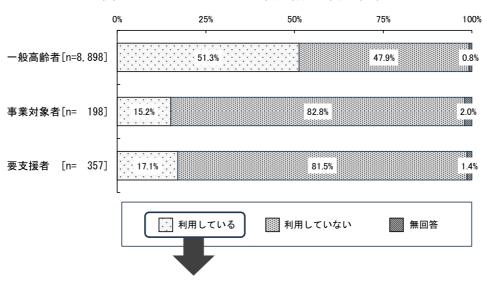
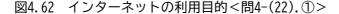
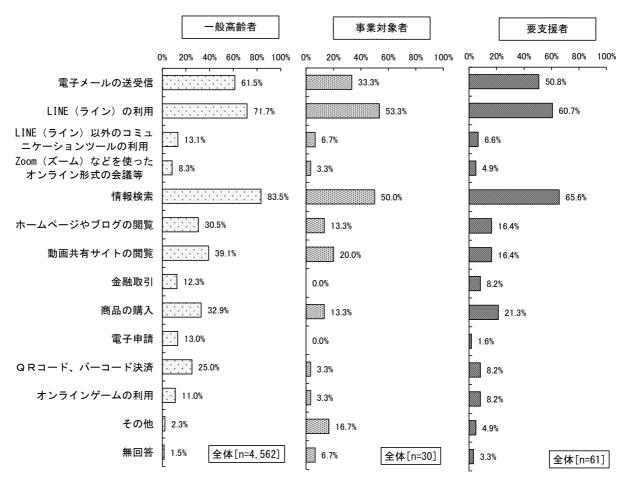


図4.61 インターネットの利用有無<問4-(22)>





- ○自動車の運転免許証保持の有無では、一般高齢者は 73.8%、事業対象者は 23.7%、要支援者は 18.2%が「持っている」と回答しています。
- ○免許返納をした場合の困りごとをみると、一般高齢者は「食品や日用品の買物」(85.7%) が最も高く、次いで「病院への通院」(79.3%)、「友人・親戚等との交流」(68.0%) となっており、事業対象者は「食品や日用品の買物」(85.1%) が最も高く、次いで「病院への通院」(78.7%)、「衣料品などの買物」(66.0%) となっています。要支援者は「食品や日用品の買物」「病院への通院」(各 80.0%) が最も高く、次いで「金融機関の手続き」(55.4%) となっています。

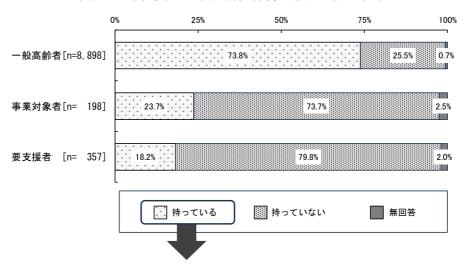
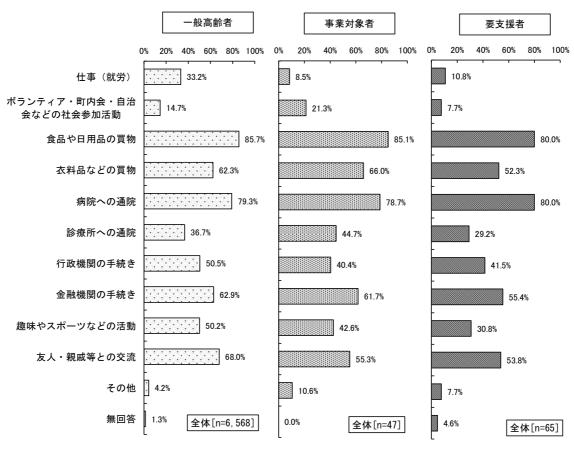


図4.63 自動車の運転免許証保持の有無<問4-(23)>





### 5 地域での活動について

### (1) グループ活動等の状況

○グループ等への参加頻度をみると、週1回以上の参加または就労している一般高齢者は「⑧収入のある仕事」(22.5%)、「②スポーツ関係のグループやクラブ」(12.8%)、「③趣味関係のグループ」(9.5%)となっています。また、参加していない理由は「参加する意思が無い」(42.4%)が最も高くなっています。

図4.65 グルーブ等への参加頻度【一般高齢者】 < 問5-(1) >

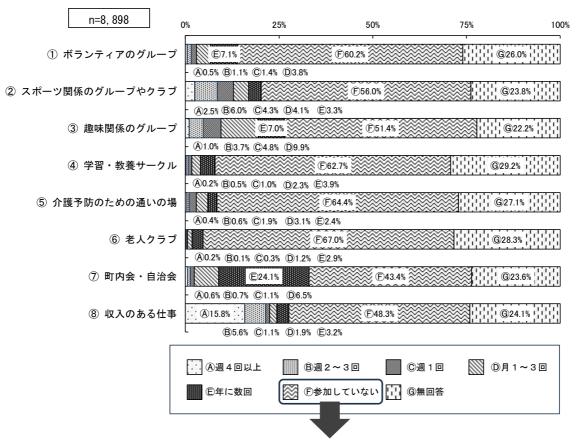
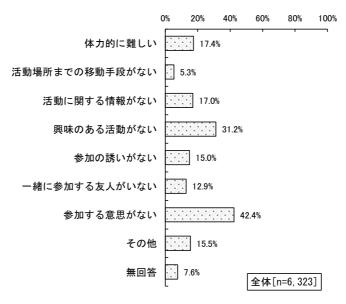


図4.66 参加していない理由【一般高齢者】 <問5-(1).①>



○グループ等への参加頻度をみると、週1回以上の参加または就労している事業対象者は「⑤介護予防のための通いの場」(29.8%)、「②スポーツ関係のグループやクラブ」(8.0%)、「③趣味関係のグループ」(4.5%)となっています。また、参加していない理由は「体力的に難しい」(47.7%)となっています。

図4.67 グループ等への参加頻度【事業対象者】 <問5-(1)>

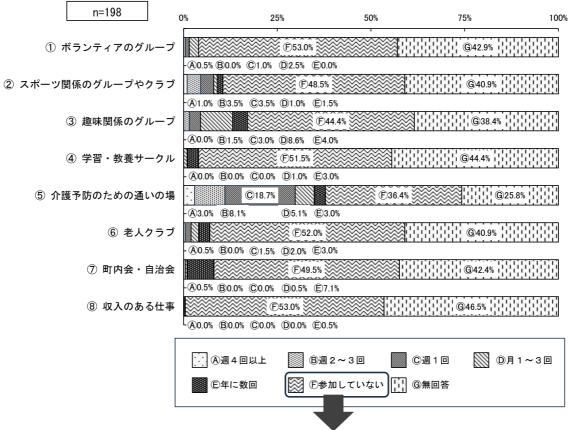
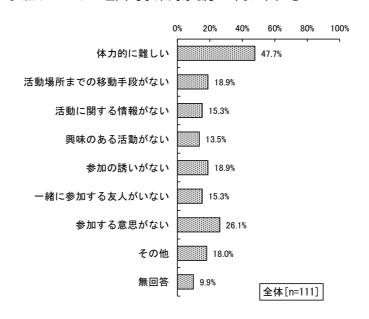
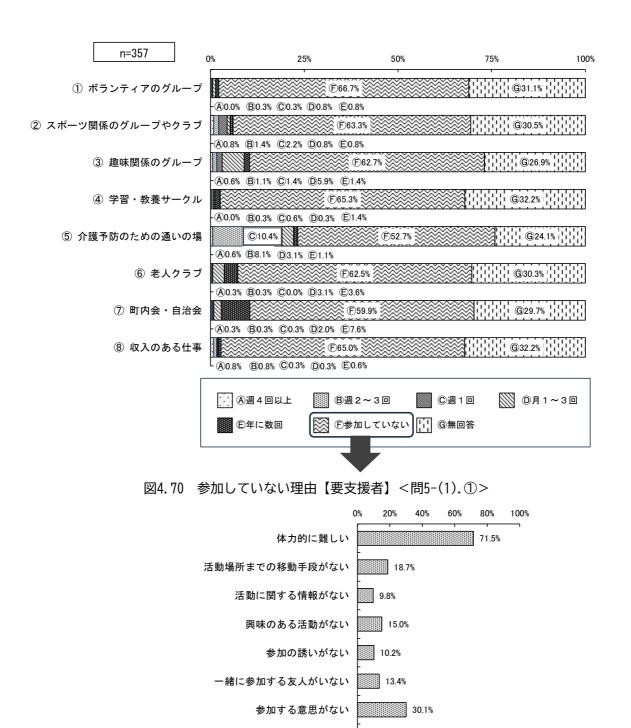


図4.68 参加していない理由【事業対象者】 <問5-(1).①>



○グループ等への参加頻度をみると、週1回以上の参加または就労している要支援者は「⑤介護予防のための通いの場」(19.1%)、「②スポーツ関係のグループやクラブ」(4.4%)、「③趣味関係のグループ」(3.1%)となっています。また、参加していない理由は「体力的に難しい」(71.5%)となっています。

図4.69 グルーブ等への参加頻度【要支援者】 <問5-(1)>



その他

無回答 3.7%

11.0%

全体[n=246]

### (2)地域づくりに対する参加意向

- ○参加者としてグループ活動等に参加してみたいかでは、一般高齢者は「是非参加したい」 (8.1%) と「参加してもよい」(48.0%) を合わせた 56.1%が参加の意向です。
- ○一方、事業対象者・要支援者は「是非参加したい」(11.6%・8.1%)と「参加してもよい」 (38.9%・32.5%)を合わせた50.5%・40.6%となり、前者と比べて下回っています。
- ○参加者としてグループ活動等に参加していない理由は、一般高齢者は「興味ある活動が無い」(39.7%)、事業対象者・要支援者は「体力的に難しい」(43.2%・61.9%)が最も高くなっています。

図4.71 参加者としてグループ活動等に参加してみたいか < 問5-(2) >

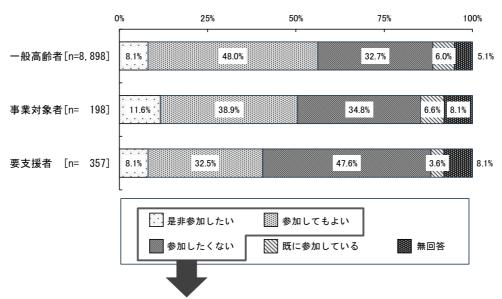
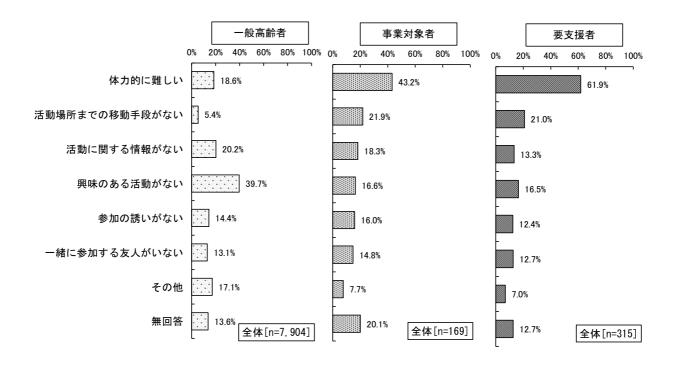


図4.72 参加者としてグループ活動等に参加していない理由 < 問5-(2).①>



- ○企画・運営(お世話役)としてグループ活動等に参加してみたいかでは、一般高齢者は「是非参加したい」(3.0%)と「参加してもよい」(28.3%)を合わせた31.3%が参加の意向です。
- ○一方、事業対象者・要支援者は「是非参加したい」(2.5%・2.5%)と「参加してもよい」 (18.2%・16.2%)を合わせて 20.7%・18.7%となり、前者と比べて下回っています。
- ○企画・運営(お世話役)として参加していない理由をみると、一般高齢者は「興味ある活動がない」(37.2%)、事業対象者・要支援者は「体力的に難しい」(63.4%・71.7%)となっています。

図4.73 企画・運営(お世話役)としてグループ活動等に参加してみたいか<問5-(3)>

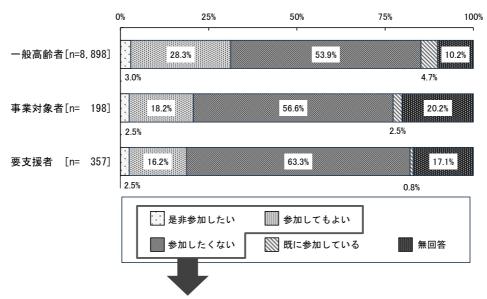
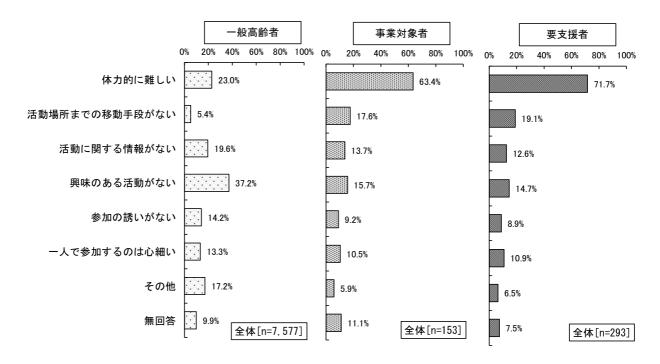


図4.74 企画・運営(お世話役)として参加していない理由 < 問5-(3).① >



- ○地域でできると思う支援では、一般高齢者・事業対象者・要支援者いずれも「声がけ」 (37.6%・17.2%・13.2%)が最も高く、次いで「見守り」(31.7%・10.6%・7.8%)と なっています。
- ○地域で支援できない理由をみると、一般高齢者・事業対象者・要支援者いずれも「体力的に難しい」(57.7%・94.0%・94.3%)となっています。

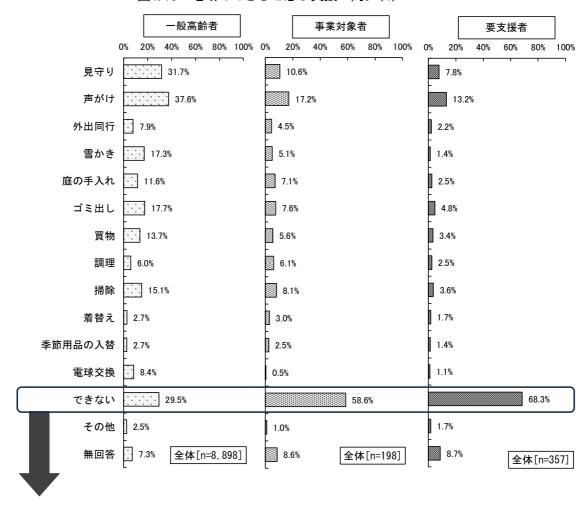
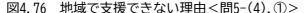
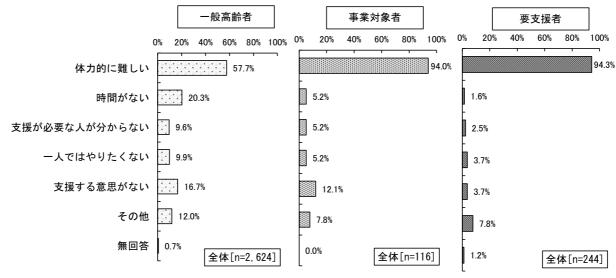


図4.75 地域でできると思う支援 < 問5-(4) >

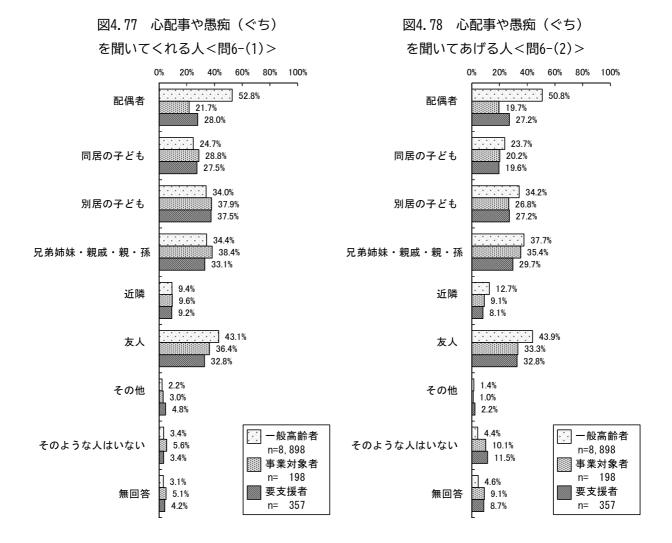




### 6 たすけあいについて

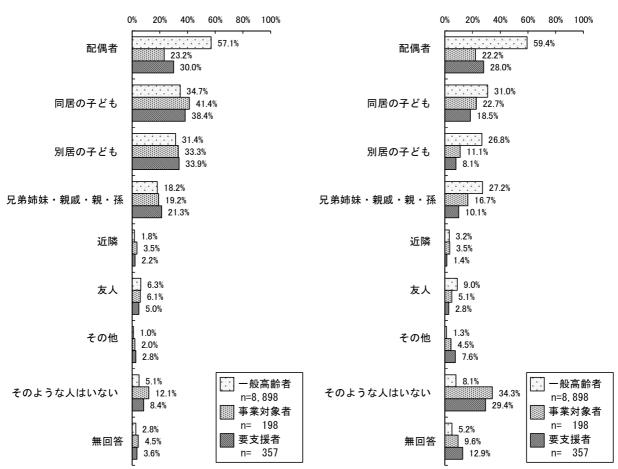
### (1) 困った際に頼る相手または頼られる相手

- ○心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人をみると、一般高齢者は「配偶者」(52.8%)が 最も高く、次いで「友人」(43.1%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(34.4%)、「別居の子ど も」(34.0%)、「同居の子ども」(24.7%)となっています。
- ○一方、事業対象者は「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(38.4%)が最も高く、次いで「別居の子ども」(37.9%)、「友人」(36.4%)、要支援者は「別居の子ども」(37.5%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(33.1%)、「友人」(32.8%)となっています。
- ○反対に心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人では、一般高齢者は「配偶者」(50.8%) が最も高く、次いで「友人」(43.9%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(37.7%)、「別居の子 ども」(34.2%)となっています。
- ○一方、事業対象者は「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(35.4%) が最も高く、次いで「友人」(33.3%)、要支援者は「友人」(32.8%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(29.7%) となっています。



- ○病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人では、一般高齢者は「配偶者」 (57.1%)が最も高く、次いで「同居の子ども」(34.7%)、「別居の子ども」(31.4%)、 「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(18.2%) となっています。
- ○一方、事業対象者・要支援者ではいずれも、「同居の子ども」(41.4%・38.4%)が最も高く、次いで「別居の子ども」(33.3%・33.9%)、「配偶者」(23.2%・30.0%)となっています。
- ○反対に看病や世話をしてあげる人は、一般高齢者では「配偶者」(59.4%)が最も高く、 次いで「同居の子ども」(31.0%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(27.2%)となっています。
- ○一方、事業対象者は「同居の子ども」(22.7%)が最も高く、次いで「配偶者」(22.2%)、 要支援者では「配偶者」(28.0%)が最も高く、次いで「同居の子ども」(18.5%)となっ ています。ただし、「そのような人はいない」(34.3%・29.4%)と回答した方も多くなっ ています。

図4.79 病気で数日間寝込んだときに看病 図4.80 病気で数日間寝込んだときに看病 や世話をしてくれる人<問6-(3)> や世話をしてあげる人<問6-(4)>



- ○家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手では、一般高齢者は「そのような人はいない」(36.0%)が最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」(27.0%)、「社会福祉協議会・民生委員」(19.2%)となっています。
- ○一方、事業対象者は「地域包括支援センター・役所・役場」(34.8%)、「社会福祉協議会・ 民生委員」(30.3%)、「ケアマネジャー」(24.7%)となっており、要支援者は「ケアマネ ジャー」(42.3%)、「地域包括支援センター・役所・役場」(36.4%)、「医師・歯科医師・ 看護師」(21.6%)となっています。

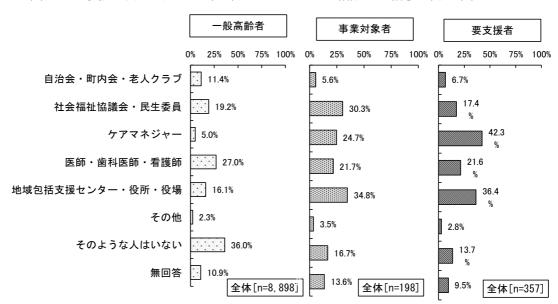


図4.81 家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手 < 問6-(5) >

### (2) 友人・知人との交流状況

- ○友人・知人と会う頻度では、一般高齢者は「月に何度かある」(31.2%)が最も高く、次いで「週に何度かある」(27.3%)、「年に何度かある」(19.4%)となっています。
- ○一方、事業対象者は「週に何度かある」(32.8%) が最も高く、次いで「月に何度かある」(29.3%)、「ほとんどない」(18.2%)、要支援者は「週に何度かある」(28.6%) が最も高く、次いで「ほとんどない」(28.0%)、「月に何度かある」(25.5%) となっています。

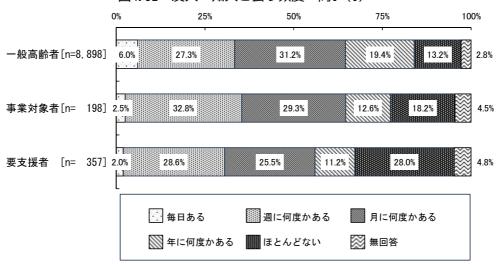


図4.82 友人・知人と会う頻度 < 問6-(6) >

- ○1か月間に何人の友人・知人と会ったかでは、一般高齢者は「3~5人」(27.0%)が最も高く、次いで「1~2人」(25.6%)、「10人以上」(21.3%)、事業対象者は「1~2人」(31.8%)が最も高く、次いで「3~5人」(22.2%)、「10人以上」(14.6%)となっています。要支援者は「1~2人」(31.7%)が最も高く、次いで「3~5人」(21.3%)、「0人(いない)」(20.4%)となっています。
- ○よく会う友人・知人はどんな関係の人かでは、一般高齢者・事業対象者・要支援者いずれ も「近所・同じ地域の人」(49.0%・44.9%・48.7%)が最も高く、次いで「趣味や関心 が同じ友人」(33.2%・25.8%・16.5%)となっています。

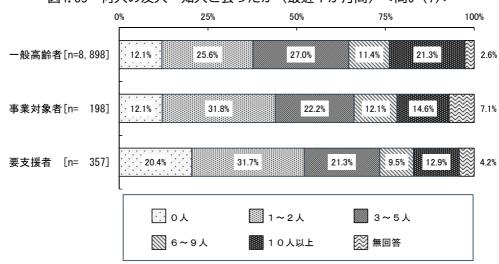
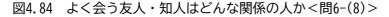
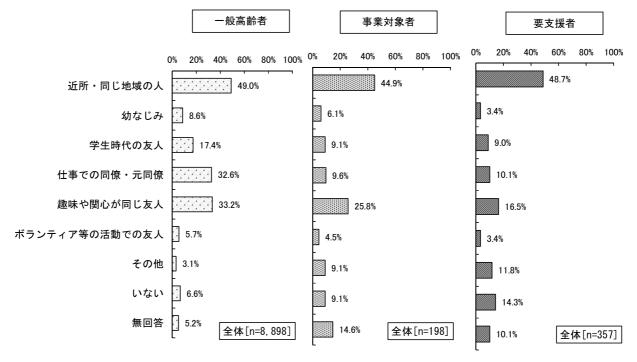


図4.83 何人の友人・知人と会ったか(最近1か月間) <問6-(7)>





### 健康について

### (1)健康状態

- ○主観的健康感をみると、一般高齢者は「まあよい」(69.8%) が最も高く、「とてもよい」 (9.2%) を合わせた 79.0%が健康と感じています。
- ○事業対象者・要支援者は「とてもよい」(3.5%・3.1%)と「まあよい」(46.0%・46.5%) を合わせて 49.5%・49.6%となりほぼ半数が健康と感じています。

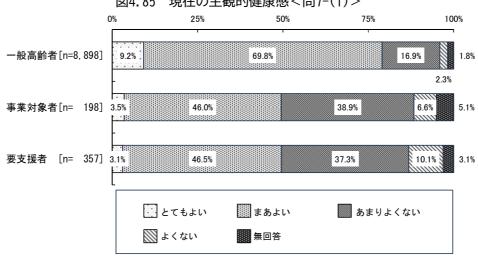


図4.85 現在の主観的健康感 < 問7-(1) >

○現在の主観的幸福感では、一般高齢者は「8点」が最も多く、次いで「5点」、「7点」と なっています。事業対象者・要支援者はいずれも「5点」が最も多く、次いで「8点」と なっています。

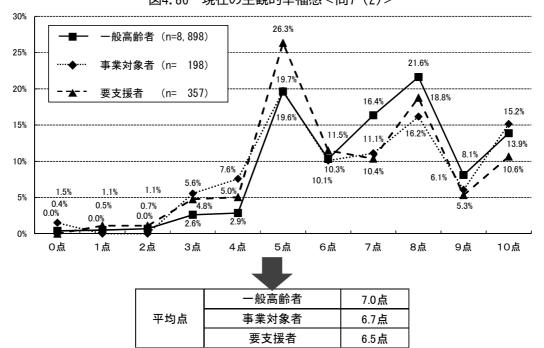


図4.86 現在の主観的幸福感 < 問7-(2) >

※ただし、無回答者(一般271名、事業対象者14名、要支援者18名)を除きます。

### (2) こころの健康状態

○この1か月間、気分が沈んだりすることの有無では、一般高齢者は 41.5%、事業対象者 は 46.5%、要支援者は 53.2%があったと回答しています。

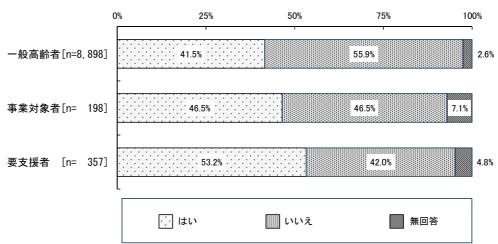


図4.87 この1か月間、気分が沈んだりする<問7-(3)>

○この1か月間、物事に対して心から楽しめない感じの有無では、一般高齢者は 27.2%、 事業対象者は 42.4%、要支援者は 43.4%があったと回答しています。

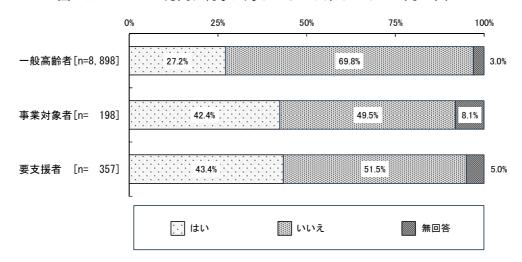
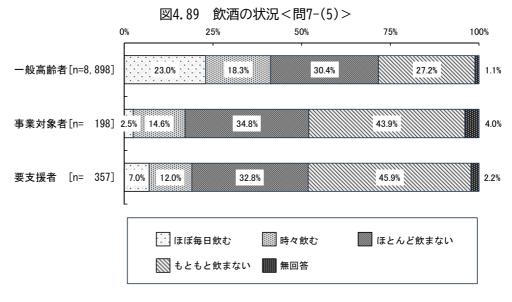


図4.88 この1か月間、物事に対して心から楽しめない<問7-(4)>

### (3)疾病と喫煙や飲酒の関係

- ○飲酒の状況をみると、一般高齢者は「ほぼ毎日飲む」(23.0%) と「時々飲む」(18.3%) を合わせた 41.3%が飲酒者となります。
- ○一方、事業対象者・要支援者は「ほぼ毎日飲む」(2.5%・7.0%)と「時々飲む」(14.6%・12.0%)を合わせた 17.1%・19.0%が飲酒者となり、前者と比べて半数未満となっています。



- ○喫煙の状況をみると、一般高齢者は「ほぼ毎日吸っている」(7.0%)と「時々吸っている」 (1.3%)を合わせた 8.3%が喫煙者となります。
- ○一方、事業対象者・要支援者は「ほぼ毎日吸っている」(2.0%・0.3%) と「時々吸っている」(0.5%・0.3%) を合わせた 2.5%・0.6%が喫煙者となり、前者と比べて半数以下となっています。

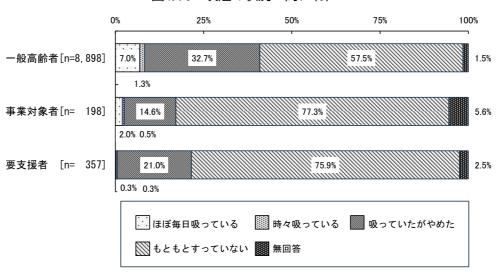


図4.90 喫煙の状況 < 問7-(6) >

○現在治療中、または後遺症のある病気についてみると、全体では一般高齢者・事業対象者・ 要支援者いずれも「高血圧」(49.8%・49.5%・57.1%)が最も高く、次いで「目の病気」 (21.4%・35.9%・30.3%)となっています。

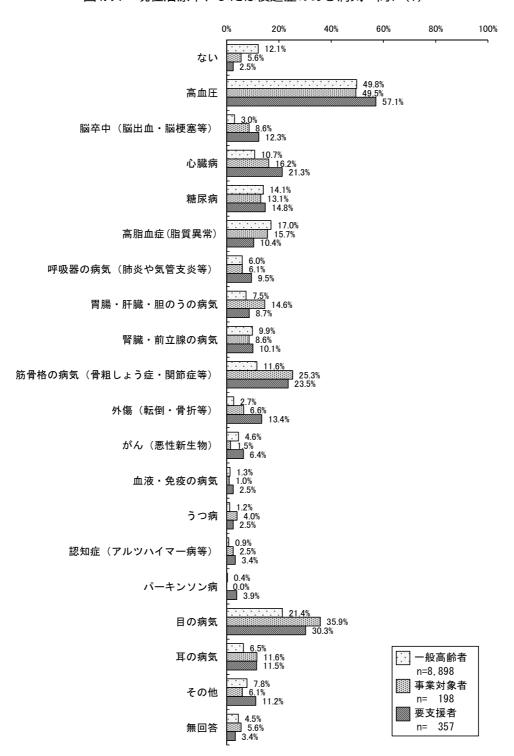


図4.91 現在治療中、または後遺症のある病気 < 問7-(7) >

### 8 認知症にかかる相談窓口の把握について

- ○認知症の症状がある又は家族が認知症の症状がある方は一般高齢者が 8.9%、事業対象者 が 12.1%、要支援者が 17.1%となっています。
- ○認知症に関する相談窓口を知っている方は、一般高齢者が30.2%、事業対象者が24.7%、 要支援者が30.0%となっています。
- ○認知症サポーター養成講座を受けたことがある方は、一般高齢者が 8.6%、事業対象者が 8.1%、要支援者が 4.5%となっています。

図4.92 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか < 問8-(1) >

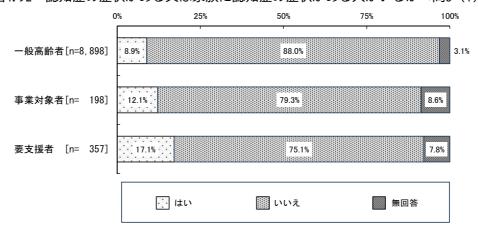


図4.93 認知症に関する相談窓口を知っているか < 問8-(2) >

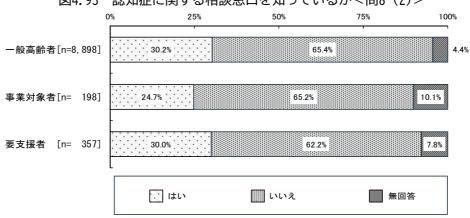
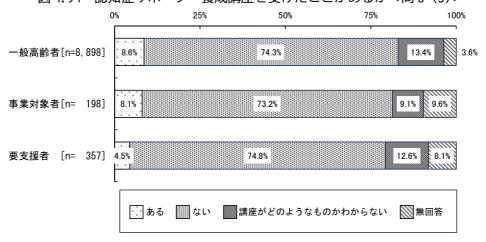


図 4.94 認知症サポーター養成講座を受けたことがあるか < 問 8-(3) >



### 9 介護が必要になった場合の生活等について

- ○介護が必要になった場合の生活場所の希望をみると、一般高齢者・事業対象者・要支援者いずれも「自宅又は親族等の家で『介護サービス』を受けながら生活したい」(30.2%・32.3%・35.0%)が最も高く、次いで一般高齢者では「施設(特別養護老人ホームや認知症グループホーム等)で生活したい」(19.6%)、「自宅又は親族等の家で『親族等の介護』を受けながら生活したい」(12.9%)、となっています。
- ○訪問介護 (ホームヘルパー) などのサービスの希望をみると、一般高齢者・事業対象者・要支援者いずれも「受けたい」(72.7%・78.1%・75.2%) となっています。

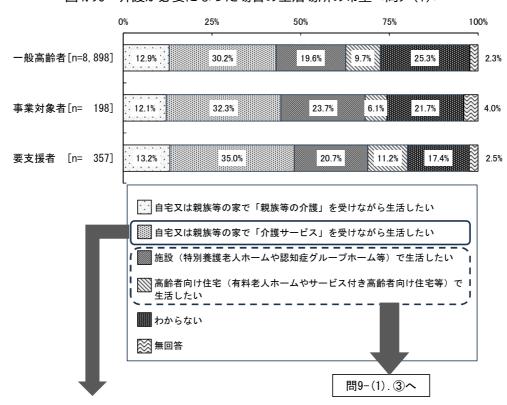
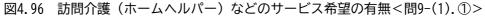
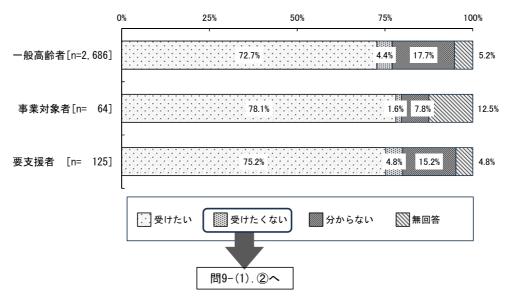


図4.95 介護が必要になった場合の生活場所の希望 < 問9-(1) >





○「自宅又は親族等の家で「介護サービス」を受けながら生活したい」と回答した方のうち 訪問介護 (ホームヘルパー) などのサービス希望は7割以上あるのに対し、サービスを受 けたくない理由として「どういうものかよく知らない」(31.4%・100.0%・50.0%) を挙 げる方がいました。

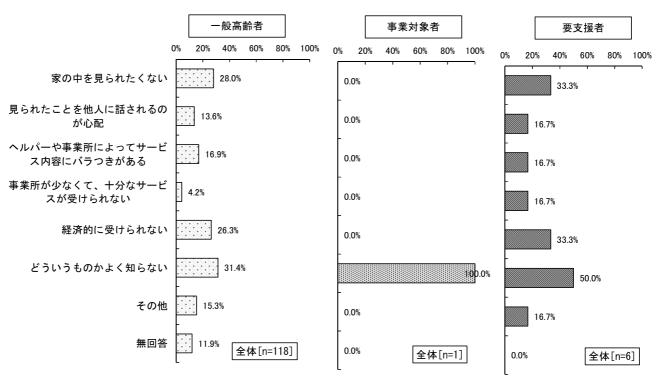


図4.97 サービスを受けたくない理由 < 問9-(1). ② >

○施設や高齢者向け住宅で生活したい理由をみると、一般高齢者・事業対象者・要支援者いずれも「介護してくれる家族等に負担が掛かるから」(75.3%・54.2%・60.5%)が最も高く、次いで一般高齢者・要支援者は「症状が急に悪くなった時の対応に自分も家族も不安だから」(34.7%・37.7%)、事業対象者は「介護してくれる家族等がいないから」(32.2%)となっています。

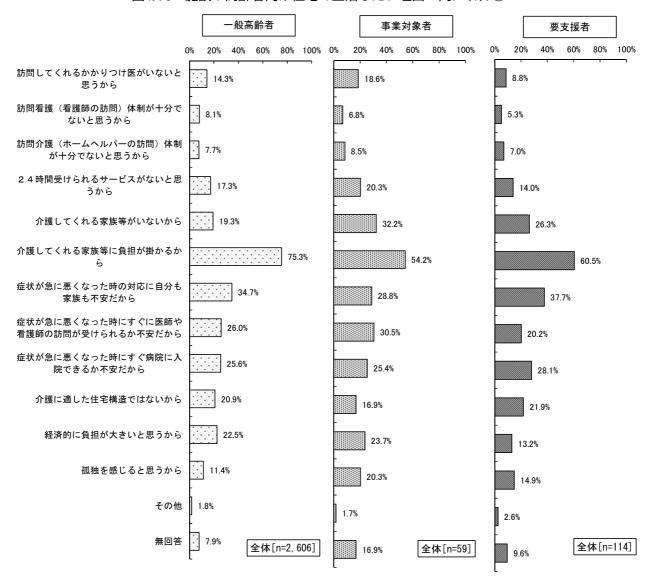
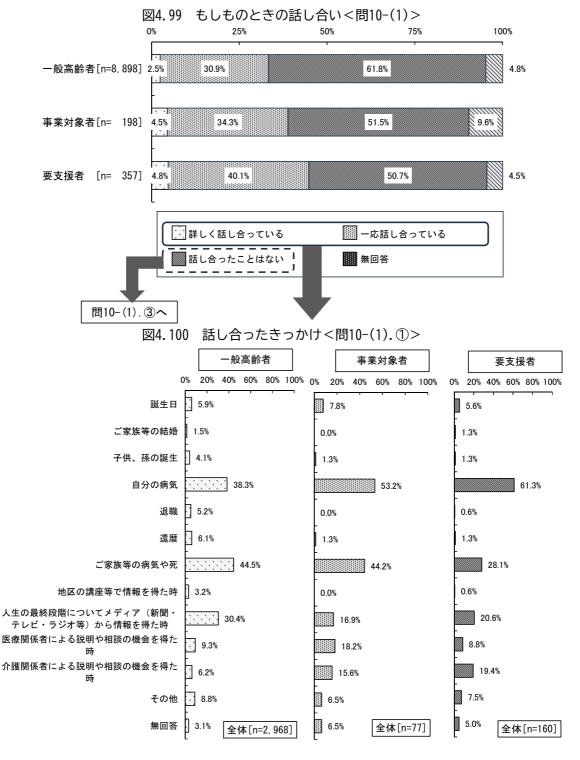


図4.98 施設や高齢者向け住宅で生活したい理由 < 問9-(1). ③ >

### 10 もしものときの話し合いについて

- ○もしものときの話し合いの有無をみると、「詳しく話し合っている」と「一応話し合っている」の割合を合わせると、一般高齢者は33.4%、事業対象者は38.8%、要支援者は44.9%となっています。
- ○話し合ったきっかけとしては、一般高齢者は「ご家族等の病気や死」(44.5%)が最も高く、次いで「自分の病気」(38.3%)、「人生の最終段階についてメディアから情報を得た時」(30.4%)となっています。事業対象者・要支援者は「自分の病気」(53.2%・61.3%)が最も高く、次いで「ご家族等の病気や死」(44.2%・28.1%)となっています。



○話し合っていない理由として、一般高齢者は「話し合うきっかけがなかったから」(56.1%) が最も高く、次いで「話し合う必要性を感じていないから」(32.9%)、「知識がないため何を話し合っていいか分からないから」(19.2%)となっています。事業対象者・要支援者いずれも「話し合うきっかけがなかったから」(53.9%・59.7%)が最も高く、次いで「知識がないため何を話し合っていいか分からないから」(26.5%・31.5%)となっています。

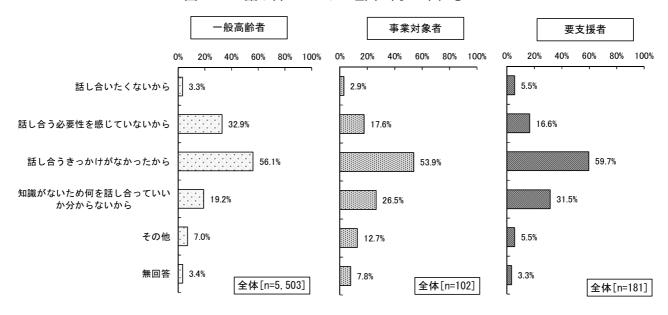


図4.101 話し合っていない理由<問10-(1).②>

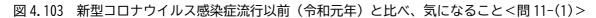
○どこで、どのように人生の最後を迎えることを希望するかについて、一般高齢者は「特に 希望はない」(17.6%)が最も高く、次いで「病院などの医療機関で「医療処置」を受け ながら迎えたい」(16.4%)、「自宅又は親族等の家で「介護サービス」を受けながら迎え たい」(14.9%)となっています。事業対象者・要支援者いずれも「自宅又は親族等の家 で「介護サービス」を受けながら迎えたい」(20.7%・21.0%)が最も高く、次いで「病 院などの医療機関で「医療処置」を受けながら迎えたい」(17.2%・20.2%)となってい ます。(「わからない」を除く)

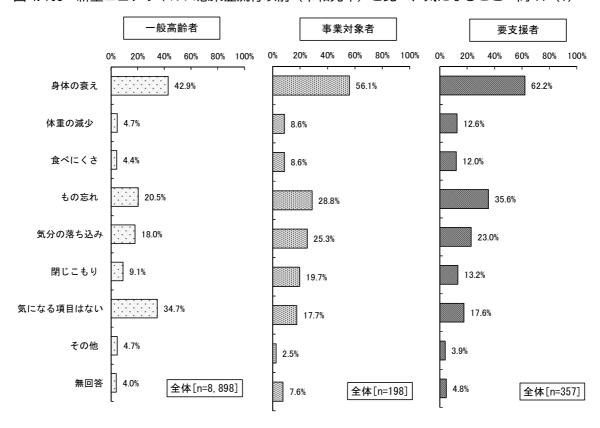
25% 50% 100% 一般高齢者[n=8,898] 16.4% 13.9% 8.5% 4.5% 176% 14.9% 20.0% 事業対象者[n= 198] 8.1% 4.0% 17.2% 12.1% 17.2% 11.1% 20.7% 要支援者 [n= 357] 15.7% 21.0% 6.2% 5.3% 20.2% 9.0% 11 18.2% 自宅又は親族等の家で「親族等の介護」を受けながら迎えたい | 自宅又は親族等の家で「介護サービス」を受けながら迎えたい 施設(特別養護老人ホームや認知症グループホーム等)で迎えたい 高齢者向け住宅(有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅等) で迎えたい 病院などの医療機関で「医療処置」を受けながら迎えたい ──特に希望はない わからない 無回答

図 4.102 どこで、どのように人生の最後を迎えることを希望するか < 問 10-(2)>

### 11 その他

○新型コロナウイルス感染症流行以前(令和元年)と比べ、気になることについて、一般高齢者は「身体の衰え」(42.9%)が最も高く、次いで「気になる項目はない」(34.7%)、「もの忘れ」(20.5%)となっています。事業対象者・要支援者いずれも「身体の衰え」(56.1%・62.2%)が最も高く、次いで「もの忘れ」(28.8%・35.6%)、「気分の落ち込み」(25.3%・23.0%)となっています。





○生活の中で文化・芸術の鑑賞活動に取り組んでいるかについて、一般高齢者は「関心はあるが取り組んでいない」(42.8%)が最も高く、次いで「関心がなく、今後も取り組むつもりはない」(21.5%)、「年に数回程度取り組んでいる」(12.6%)となっています。事業対象者は「関心はあるが取り組んでいない」(46.5%)が最も高く、次いで「関心がなく、今後も取り組むつもりはない」(24.2%)、「取り組んでいる」(8.1%)となっています。要支援者は「関心がなく、今後も取り組むつもりはない」(35.6%)が最も高く、次いで「関心はあるが取り組んでいない」(34.7%)、「取り組んでいる」(6.7%)となっています。

Ο% 25% 50% 75% 100% 一般高齢者[n=8,898] 12.2% 12.6% 5.8% 42.8% 21.5% 事業対象者[n= 198] 8.1% 4.5% 46.5% 24.2% 10.1% 6.6% 要支援者 [n= 357] 6.7% 34.7% 35.6% 12.6% 4 5% 5.9% 取り組んでいる 年に数回程度取り組んでいる 取り組んでいないが、今後取り組みたい 関心がなく、今後も取り組むつもりはない ── 無回答

図 4.104 生活の中で文化・芸術の鑑賞や活動に取り組んでいるか < 問 11-(2) >

# 第5章

高齢者の生活と介護者の就労状況調査結果 (在宅介護実態調査結果)

## 第5章 高齢者の生活と介護者の就労状況調査結果 (在宅介護実態調査結果)

### 1 ご本人(要介護者)の状況について

### (1)要介護者の介護度

○回答のあった要介護者の介護度をみると、「要介護1」(28.6%) が最も高く、次いで「要介護2」(23.1%)、「要支援2」(13.8%)、「要支援1」(12.3%) となっています。

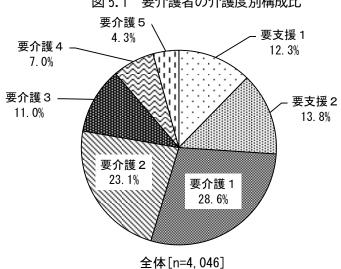


図 5.1 要介護者の介護度別構成比

### (2)要介護者の世帯状況

○世帯類型をみると、「単身世帯」は31.2%、「夫婦のみ世帯」は18.1%となっており、「そ の他」の世帯が48.9%と最も高くなっています。

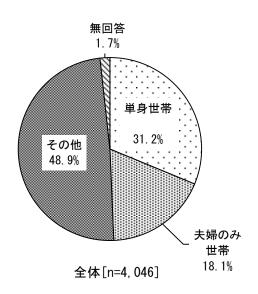
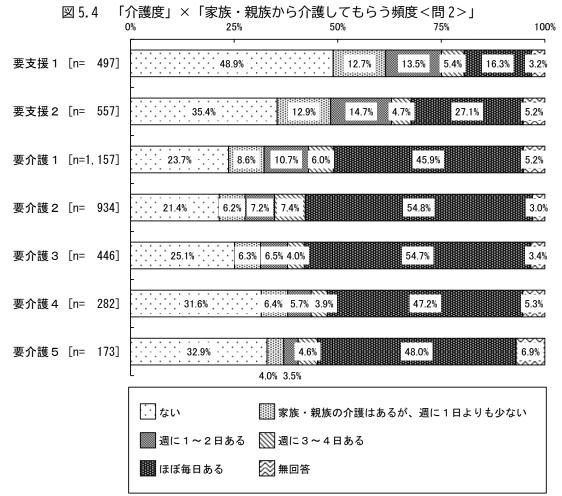


図 5.2 世帯類型 < 問 1 >

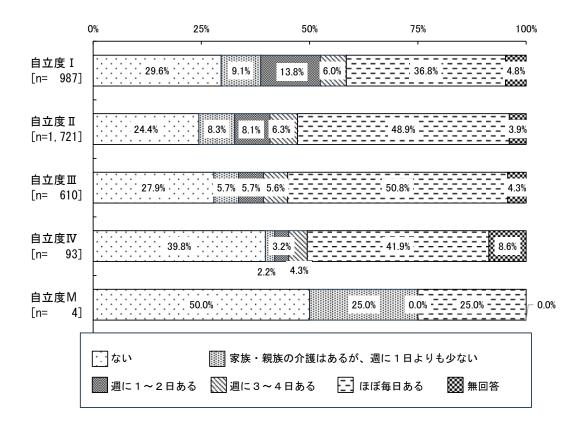
### (3) 家族・親族から介護してもらう頻度

- ○家族・親族による介護の頻度をみると、「ほぼ毎日ある」(42.9%)が最も高く、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」「週に1~2日ある」「週に3~4日ある」と合わせると66.7%の方が家族・親族による介護を受けている状況です。
- ○また、介護度別にみると、要介護1~5では「ほぼ毎日ある」(45.9~54.8%)、要支援1・ 2では「ない」(48.9%・35.4%) が最も高くなっています。

図5.3 家族・親族から介護してもらう頻度<問2> 無回答 4.3% 29.0% ほぼ毎日あ る 42.9% 家族・親族の介護は あるが、週に1日よ りも少ない 8.5% 週に1~2日ある 週に3~4日ある 9.7% 5.6% 全体[n=4,046]



- ○認知症高齢者日常生活自立度別にみた家族・親族から介護してもらう頻度をみると、自立度 I ~IVで「ほぼ毎日ある」(36.8~50.8%) が最も高く、次いで「ない」(24.4~39.8%) となっています。
- 図 5.5 「認知症高齢者日常生活自立度」×「家族・親族から介護してもらう頻度 < 問 2 > 」



### 2 主な介護者等の状況(属性等)について

### (1) 主な介護者の状況

- ○要介護者からみた主な介護者は、「子」(51.6%)が最も高く、次いで「配偶者」(25.7%)、 「子の配偶者」(14.6%)となっています。
- ○主な介護者の性別は、「女性」(66.9%)、「男性」(31.9%) となっています。
- ○主な介護者の年齢は、「60~69歳」(35.1%)が最も高く、次いで「50~59歳」(22.8%)、「70~79歳」(19.1%)、「80歳以上」(16.2%)となっています。

図 5.6 要介護者からみた主な介護者 < 問 3 >

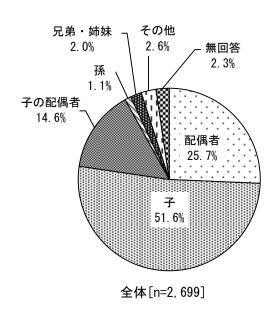
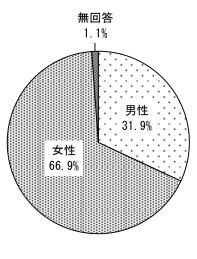
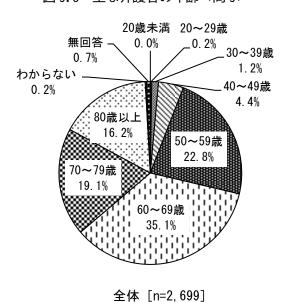


図 5.7 主な介護者の性別 < 問 4 >

図 5.8 主な介護者の年齢 < 問 5 >



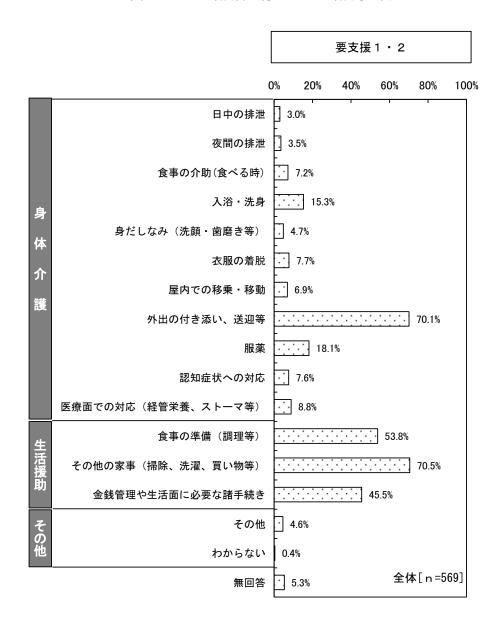
全体[n=2,699]



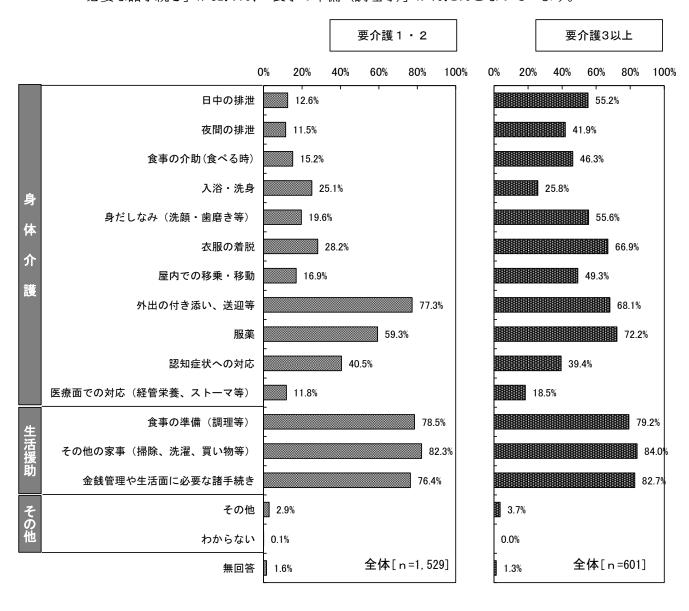
### (2) 主な介護者の介護実態

- ○要支援1・2の方の身体介護では「外出の付き添い、送迎等」(70.1%)が最も高く、次いで「服薬」(18.1%)、「入浴・洗身」(15.3%)となっています。
- ○生活援助では、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が70.5%、「食事の準備(調理等)」が53.8%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が45.5%となっています。

図5.9 主な介護者が行っている介護等<問6>



- ○要介護 1 · 2 の方の身体介護では「外出の付き添い、送迎等」(77.3%)、「服薬」(59.3%) が高くなっています。
- ○生活援助では、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が82.3%、「食事の準備(調理等)」が78.5%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が76.4%となっています。
- ○要介護3以上の方の身体介護をみると、「服薬」(72.2%)、「外出の付き添い、送迎等」 (68.1%)、「衣服の着脱」(66.9%)で割合が高くなっています。
- ○生活援助では、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が84.0%、「金銭管理や生活面に 必要な諸手続き」が82.7%、「食事の準備(調理等)」が79.2%となっています。



### (3) 家族・親族が介護のために離職した状況

- ○家族・親族が介護を理由に退職・転職した状況をみると、「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」(7.6%)、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)」(1.4%)が離職し、2.8%の方が転職しています。
- ○世帯類型では、介護離職者と継続就労者とも「その他」の世帯(62.3%・57.0%)が最も 高く、次いで「単身世帯」(23.4%・33.3%)、「夫婦のみ世帯」(12.3%・9.0%)となっ ています。

図 5.10 家族・親族の介護による退職・転職状況 < 問 7 >

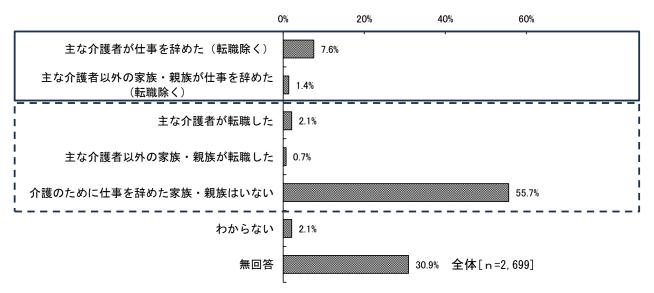
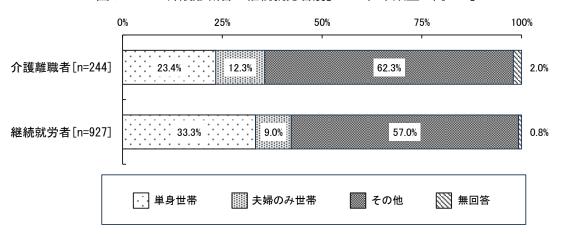


図 5.11 「介護離職者・継続就労者別」×「世帯類型<問 1>」



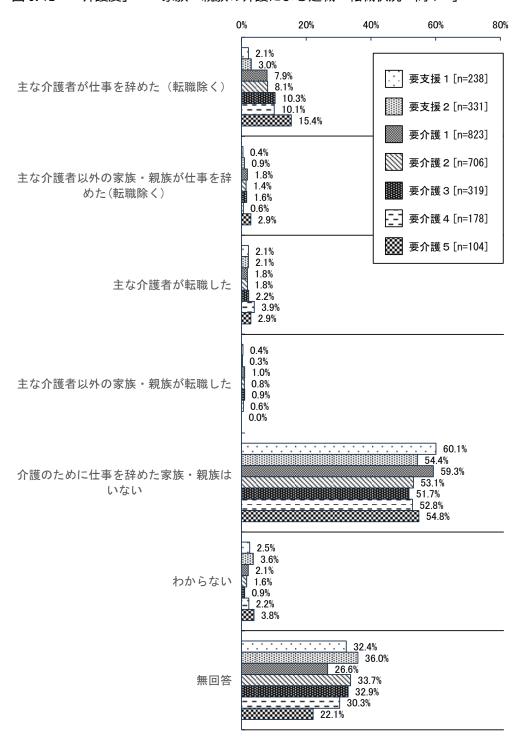
※介護離職者:問7で「仕事を辞めた(転職除く)」と回答(「1」「2」を選択)した方です。

※継続就労者:①問7で「転職した」と回答(「3」「4」を選択)した方と、 ②問7で「5.介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答

し、問14で「働いている」と回答(「1」「2」を選択)した方の計です。

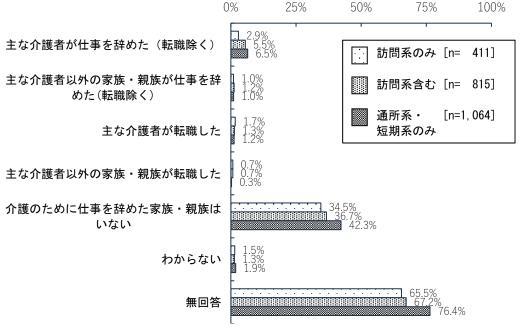
○介護度別に家族・親族が介護を理由に退職・転職した状況をみると、全ての要支援、要介護度で「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」(51.7~60.1%)が最も高く、次いで要支援1・2では「わからない」(2.5%、3.6%)、要介護1~5では「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」(7.9~15.4%)となっています。

図 5.12 「介護度」×「家族・親族の介護による退職・転職状況 < 問 7 > 」

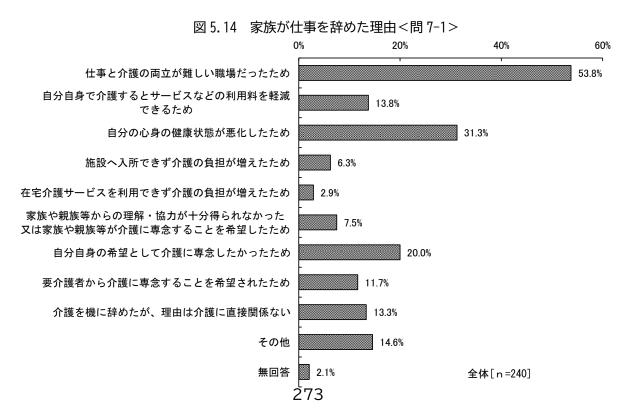


- ○サービス利用状況別に家族・親族が介護を理由に退職・転職した状況をみると、「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」方は、訪問系を含むサービス利用状況が7.4%、訪問系のみのサービス利用状況が2.6%、通所系・短期系のみのサービス利用状況が6.1%となっています。
- ○「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」方は、訪問系を含むサービス利用状況が62.2%、通所系・短期系のみのサービス利用状況が62.0%、訪問系のみのサービス利用状況が55.3%となっています。





○家族が仕事を辞めた理由としては、「仕事と介護の両立が難しい職場だったため」(53.8% が最も高く、次いで「自分自身の健康状態が悪化したため」(31.3%)、「自分自身の希望として介護に専念したかったため」(20.0%)となっています。



#### 支援・サービス・訪問診療の利用状況やニーズについて 3

### (1) 在宅生活を続けていくために必要な支援・サービス

- ○介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況をみると、全体では「利用していない」 (55.5%) が最も高く、次いで「外出同行(通院、買い物など)」(6.8%) となっていま す。
- ○介護離職者・継続就労者ともに「利用していない」(64.8%・64.2%)が最も高くなって います。次いで、介護離職者では「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(8.6%)、「配 食」(4.5%)、継続就労者では「配食」(7.8%)、「外出同行(通院、買い物など)」(5.6%) となっています。

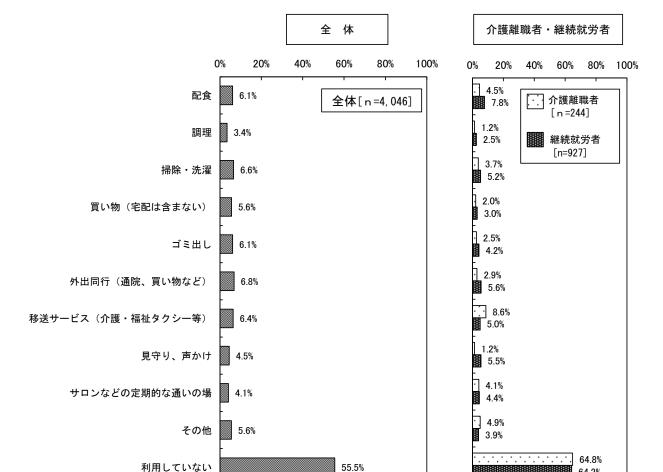


図 5.15 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況 < 問 8 >

※介護離職者:問7で「仕事を辞めた(転職除く)」と回答(「1」「2」を 選択)した方です。

64.2%

11.5%

10.4%

※継続就労者:①問7で「転職した」と回答(「3」「4」を選択)した方と、 ②問7で「5.介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、 問14で「働いている」と回答(「1」「2」を選択)した方の計です。

無回答

15.9%

- ○在宅生活を続けていくために必要な支援・サービスをみると、全体では「外出同行(通院、買い物など)」(29.8%)が最も高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(28.4%)、「見守り、声かけ」(22.4%)、「掃除・洗濯」(21.2%)となっています。
- ○介護離職者では、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(31.1%)が最も高く、次いで「外出同行(通院、買い物など)」(25.8%)となり、継続就労者では「外出同行(通院、買い物など)」(35.4%)が最も高く、次いで「見守り、声かけ」(32.1%)となっています。

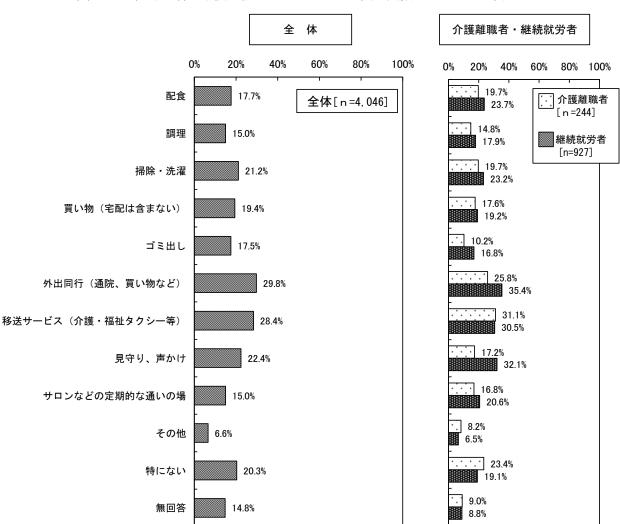


図 5.16 在宅生活を今後も続けていくために必要な支援・サービス < 問 9>

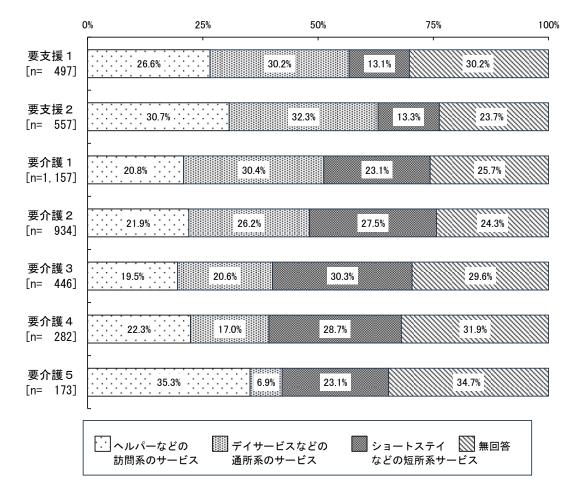
※介護離職者:問7で「仕事を辞めた(転職除く)」と回答(「1」「2」を 選択)した方です。

②問7で「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「働いている」と回答(「1」「2」を

選択)した方の計です。

- ○在宅生活を続けていくにはどの介護サービスが必要だと思うかでは、全体では「デイサービスなどの通所系のサービス」(26.7%)が最も高く、次いで「ヘルパーなどの訪問系のサービス」(23.7%)、「ショートステイなどの短期系サービス」(22.7%)となっています。
- ○介護度別にみると、「要支援1」~「要介護1」では「デイサービスなどの通所系のサービス」(30.2%~32.3%)が最も高く、「要介護2」~「要介護4」では「ショートステイなどの短期系サービス」(27.5%~30.3%)が最も高く、「要介護5」では「ヘルパーなどの訪問系のサービス」(35.3%)が最も高くなっています。

図 5.18 「要介護度」×「どの介護サービスが必要だと思いますか<問 9-1>」



- ○施設等への入所・入居に関する検討状況をみると、全体では「入所・入居を検討している」 と「すでに入所・入居の申し込みをしている」を合わせた30.9%が、入所・入居予定また は検討中となっています。
- ○介護度別の検討状況では、「入所・入居を検討している」と「すでに入所・入居の申し込みをしている」を合わせた入所・入居予定または検討中の方は、要支援1では14.3%、要支援2では15.6%、要介護1では28.3%、要介護2では36.9%、要介護3では50.7%、要介護4では44.3%、要介護5では41.0%となっています。

0% 25% 50% 75% 100% 全体[n=4, 046] 58.5% 16.7% 14.2% 10.6%

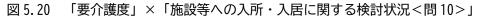
入所・入居を

検討している

入所・入居は

検討していない

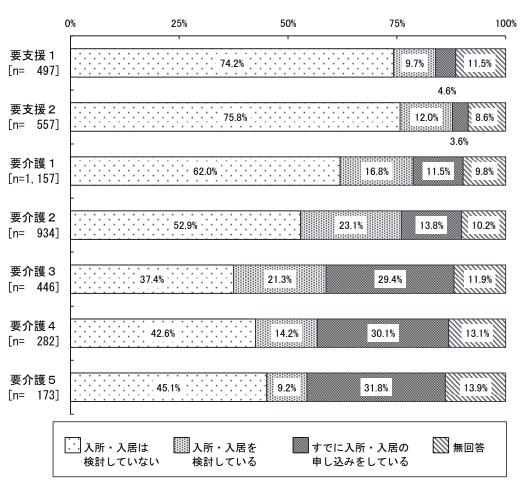
図 5.19 施設等への入所・入居に関する検討状況 < 問 10 >



すでに入所・入居の

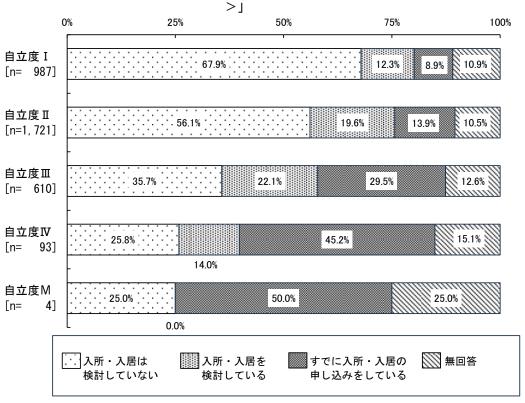
申し込みをしている

■ 無回答



○認知症高齢者日常生活自立度別にみた施設等への入所・入居に関する検討状況は、自立度 I~IVすべてにおいて、「入所・入居は検討していない」(55.7%~60.0%)が最も高く、次いで「入所・入居を検討している」(19.3%~21.1%)、「すでに入所・入居の申し込みをしている」(10.2%~13.2%)となっています。

図 5.21 「認知症高齢者日常生活自立度」×「施設等への入所・入居に関する検討状況<問10



### (2) 訪問診療の利用状況

○要介護者が現在抱えている傷病名をみると、「認知症」(36.2%)が最も高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)」(23.4%)、「筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」(22.0%)となっています。

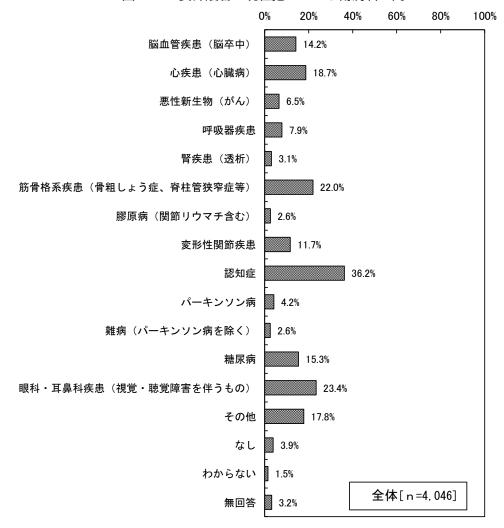


図 5.22 要介護者が現在抱えている傷病名 < 問 11 >

○訪問診療の利用状況をみると、「利用している」方は18.2%となっています。

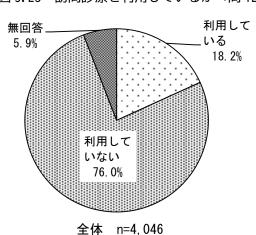


図 5.23 訪問診療を利用しているか < 問 12 >

### (3)介護保険サービスの利用状況

- ○介護保険サービスの利用状況をみると、「利用している」は57.6%、「利用していない」は 36.5%となっています。
- ○介護保険サービスを利用していない理由としては、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(42.2%)が最も高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」(17.7%)、「本人(要介護者)にサービス利用の希望がない」(16.5%)となっています。

図 5.24 介護保険サービスの利用状況 < 問 13 >

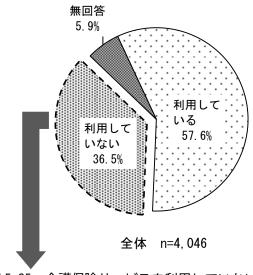
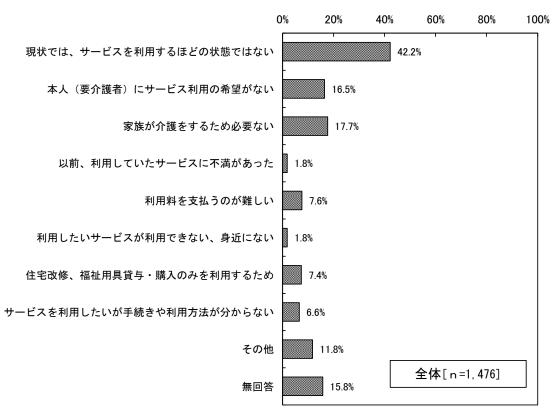


図 5.25 介護保険サービスを利用していない理由 < 問 13-1 >



#### 4 主な介護者の就労状況について

#### (1) 主な介護者の勤務形態

○主な介護者の現在の勤務形態は「フルタイムで働いている」(23.2%)、「パートタイムで働いている」(13.4%)を合わせた36.6%の方が就労しています。

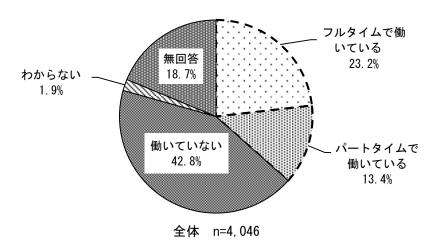


図 5.26 主な介護者の現在の勤務形態 < 問 14>

#### (2) 就労実態と意向

○介護による働き方の調整をみると、「特に調整していない」(40.0%)が最も高く、次いで、「介護のために、『労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)』しながら、働いている」(28.3%)、「介護のために、『休暇(年休や介護休暇等)』を取りながら、働いている」(24.1%)となっています。

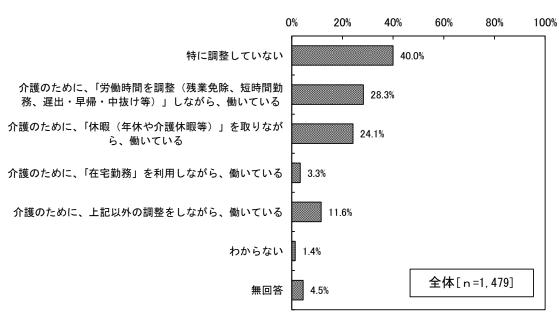
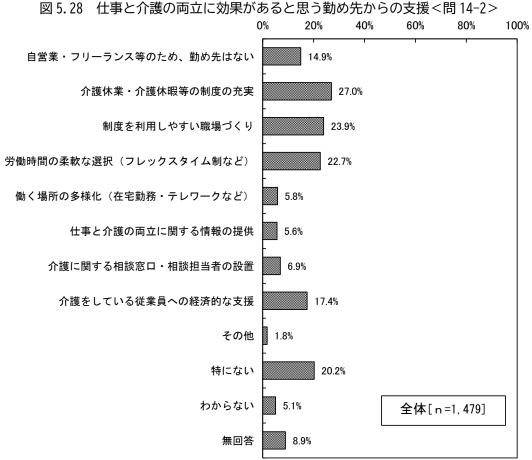


図 5.27 働き方を調整しているか < 問 14-1>

- ○仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援をみると、「介護休業・介護休暇等 の制度の充実」(27.0%)、「制度を利用しやすい職場づくり」(23.9%)、「労働時間の柔軟な 選択(フレックスタイム制など)」(22.7%) となっています。
- ○今後の介護と仕事の両立については、「問題なく、続けていける」(21.6%)と「問題はあ るが、何とか続けていける」(52.7%)を合わせた今後も継続できる方は74.3%、一方、 「続けていくのは、やや難しい」(7.6%) と「続けていくのは、かなり難しい」(7.4%) を合わせた継続が困難な方は15.0%となっています。



わからない 無回答 続けていく 問題なく、続 7.3% 3.4% けていける のは、かな -り難しい 21.6% 7.4% 続けていく のは、やや 難しい 7.6% 問題はあるが、何 とか続けていける 52.7%

図 5.29 今後も働きながら介護を続けられるか < 問 14-3>

全体 n=1,479

#### 5 介護生活を続ける際の不安や困りごと

#### (1) 主な介護者が不安に感じる介護等の内容

- ○主な介護者が不安に感じる介護内容をみると、要支援 1・2の方の身体介護では「外出の付き添い、送迎等」(20.6%)、「入浴・洗身」(15.7%)、「夜間の排泄」(12.7%)、「認知症状への対応」(12.0%)で割合が高くなっています。
- ○生活援助では、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が14.3%、「食事の準備(調理等)」が12.2%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が7.2%となっています。

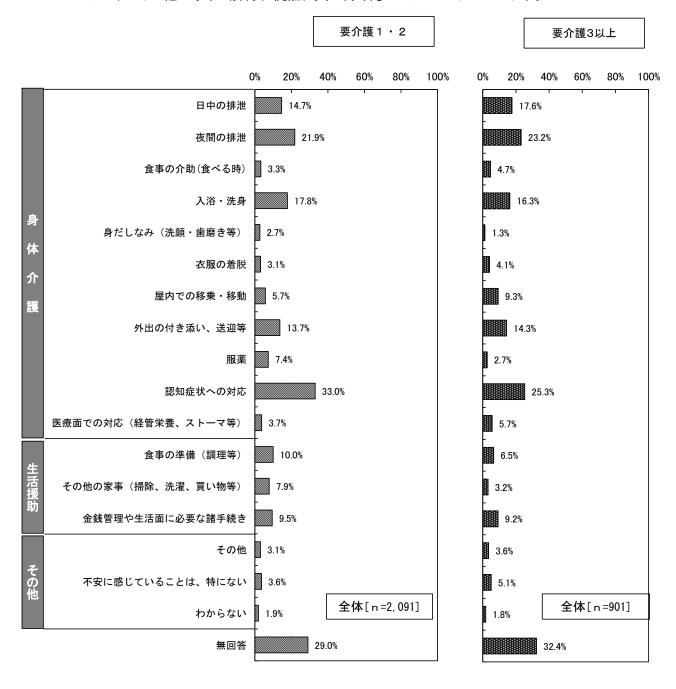
要支援1・2 20% 40% 60% 80% 100% 7.0% 日中の排泄 夜間の排泄 12.7% 食事の介助(食べる時) 15.7% 入浴・洗身 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) 0.8% 衣服の着脱 1.4% 4.7% 屋内での移乗・移動 20.6% 外出の付き添い、送迎等 3.0% 服薬 12.0% 認知症状への対応 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等) 2.4% 食事の準備 (調理等) 12.2% 活摆 14.3% その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等) 助 金銭管理や生活面に必要な諸手続き 7.2% その他 | 3.3% 不安に感じていることは、特にない 8.1% 全体[n=1,054] わからない | 2.3%

図 5.30 主な介護者が不安に感じる介護等 < 問 15>

無回答

37.3%

- ○要介護 1・2 の方の身体介護では、「認知症状への対応」(33.0%)、「夜間の排泄」(21.9%)、 「入浴・洗身」(17.8%) で割合が高くなっています。
- ○生活援助では、「食事の準備(調理等)」(10.0%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」 (9.5%)、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(7.9%)となっています。
- ○要介護3以上の方の身体介護をみると、「認知症状への対応」(25.3%)、「夜間の排泄」 (23.2%)、「日中の排泄」(17.6%)で割合が高くなっています。
- ○生活援助では、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が9.2%、「食事の準備(調理等)」が6.5%、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が3.2%となっています。



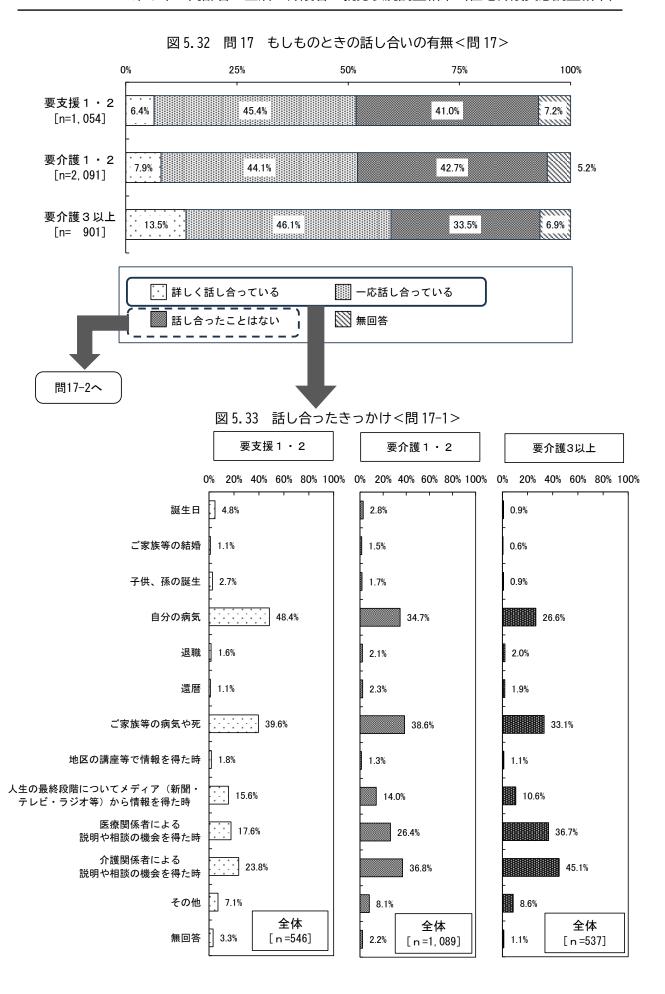
- ○生活の困りごとを近隣の人にお願いできるとしたら、要支援 1 · 2 は「雪かき」(37.2%) が最も高く、次いで「声がけ」(29.6%)、「見守り」(28.1%) となっています。
- ○要介護 1 · 2では「見守り」(31.2%) が最も高く、次いで「声がけ」(29.2%)、「雪かき」 (26.7%) となっています。
- ○要介護3以上では「雪かき」(28.2%)が最も高く、次いで「見守り」(24.1%)、「声がけ」 (21.2%)となっています。
- ○一方、「してもらいたいことは特にない」と回答した方は、要支援1・2が27.6%、要介 護1・2が31.9%、要介護3以上が35.8%となっています。

要支援1・2 要介護1・2 要介護3以上 20% 60% 0% 40% 60% 20% 80% 100% Ο% 20% 40% 80% 100% Ο% 40% 60% 80% 100% 見守り 28.1% 24.1% 31.2% 29.6% 声がけ 29.2% 21.2% 9.0% 5.9% 外出同行 5.9% 37.2% 26.7% 28.2% 雪かき 9.8% 11.7% 庭の手入れ 9.0% 6.4% ゴミ出し 17.9% 9.5% 6.7% 11.6% 5.9% 買物 調理 5.1% 3.8% 3.8% 5.5% 掃除 - 7.8% 5.5% 2.3% 着替え 0.9% 1.6% 2.6% 2.1% 季節用品の入替 3.1% 9.6% 4.9% 4.0% 電球交換 してもらいたい 27.6% 31.9% 35.8% ことは特にない 1.9% 3.0% その他 1.6% 全体 全体 全体 [n=1,054][n=2,091][n=901]9.6% 無回答 9.8% 14.1%

図 5.31 生活の困りごとを近隣の人にお願いできるとしたら<問 16>

#### 6 もしものときの話し合いについて

- ○もしものときの話し合いの有無をみると、「詳しく話し合っている」と「一応話し合っている」の割合を合わせると、要支援1・2は51.8%、要介護1・2は52.0%、要介護3以上は59.6%となっています。
- ○話し合ったきっかけとしては、要支援1・2は「自分の病気」(48.4%)が最も高く、次いで「ご家族等の病気や死」(39.6%)、「介護関係者による説明や相談の機会を得た時」(23.8%)となっています。要介護1・2は「ご家族等の病気や死」(38.6%)が最も高く、次いで「介護関係者による説明や相談の機会を得た時」(36.8%)、「自分の病気」(34.7%)となっています。要介護3以上は「介護関係者による説明や相談の機会を得た時」(45.1%)が最も高く、次いで「医療関係者による説明や相談の機会を得た時」(36.7%)、「ご家族等の病気や死」(33.1%)、となっています。
- ○話し合っていない理由として、要支援 1・2、要介護 1・2、要介護 3 以上のいずれも「話し合うきっかけがなかったから」(44.4%・49.7%・52.0%)が最も高く、次いで「話し合う必要性を感じていないから」(27.3%・23.4%・20.9%)となっています。

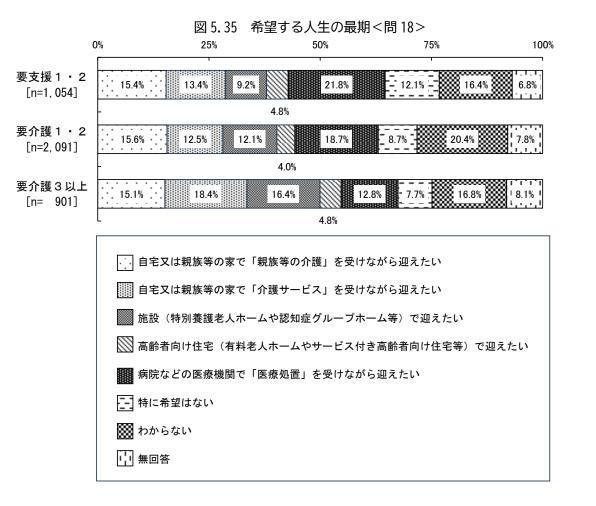


287

要介護3以上 要支援1・2 要介護1・2  $0\% \quad 20\% \quad 40\% \quad 60\% \quad 80\% \quad 100\% \quad 0\% \quad 20\% \quad 40\% \quad 60\% \quad 80\% \quad 100\% \quad 0\% \quad 20\% \quad 40\% \quad 60\% \quad 80\% \quad 100\% \quad 100\%$ 3.9% 話し合いたくないから 5.4% 5.6% 20.9% 23.4% 話し合う必要性を感じていないから 27.3% 49.7% 52.0% 話し合うきっかけがなかったから 知識がないため何を話し合っていい 21.9% 19.2% 21.3% か分からないから 11.0% 15.6% その他 10.9% 全体 全体 全体 [n = 432]4.8% [n=893]2.6% [n=302]無回答 5.6%

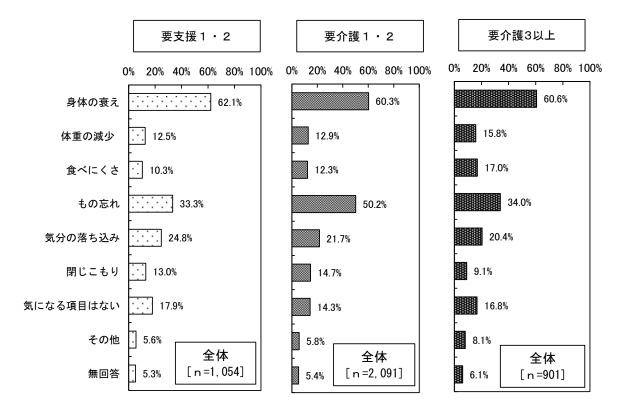
図 5.34 話し合っていない理由 < 問 17-2 >

○希望する人生の最期については、要支援1・2、要介護1・2はいずれも「病院などの医療機関で『医療処置』を受けながら迎えたい」(21.8%・18.7%)が最も高く、次いで「自宅又は親族等の家で『親族等の介護』を受けながら迎えたい」(15.4%・15.6%)となっており、要介護3以上は「自宅又は親族等の家で『介護サービス』を受けながら迎えたい」(18.4%)が最も高く、次いで「施設(特別養護老人ホームや認知症グループホーム等)で迎えたい」(16.4%)、「自宅又は親族等の家で『親族等の介護』を受けながら迎えたい」(15.1%)となっています。



○新型コロナウイルス感染症流行以前と比べ、気になる項目については、要支援1・2、要介護1・2、要介護3以上いずれも「身体の衰え」(62.1%・60.3%・60.6%)が最も高く、次いで「もの忘れ」(33.3%・50.2%・34.0%)、「気分の落ち込み」(24.8%・21.7%・20.4%)となっています。

図 5.36 新型コロナウイルス感染症流行以前と比べ、気になる項目 < 問 19>



# 資料編

## 資料編

## 1 電算処理の判定条件等

集計等の電算処理にあたっては、以下の判定条件に基づいて行いました。

■高齢者像の判定条件(該当設問に無回答があれば、「判定できず」とする)

	助有像の刊足宋件(該国政向に無回告がめれ 項 目	判定条件
	一般高齢者 ※要支援者・要介護者・事業対象者を除く 65歳以上の高齢者の方を称しています。	●要支援·要介護認定者以外 and ●事業対象者以外
	健康高齢者 ※一般高齢者のうち、介護予防事業対象 者、サービス事業対象者に該当していな い方を称しています。	●要支援・要介護認定者以外 and ●事業対象者以外 and ●介護予防事業対象者以外 and ●サービス事業対象者以外
	介護予防事業対象者  ※一般高齢者のうち、サービス事業対象者 と判定される方を除く、6つのリスク (「運動器の機能低下」「低栄養の傾向」 「口腔機能の低下」「閉じこもり傾向」 「認知機能の低下」「うつ傾向」)の何れ かに該当した方を称しています。	●要支援・要介護認定者以外 and ●事業対象者以外 and ●サービス事業対象者以外 and ●「運動器の機能低下」「低栄養の傾向」「口腔 機能の低下」「閉じこもり傾向」「認知機能の 低下」「うつ傾向」リスク判定のいずれかの 該当者
高齢者像	サービス事業対象者  ※一般高齢者のうち、6つのリスクの何れ かに該当し、家族構成が一人暮らしか共 に 65 歳以上の夫婦二人暮らしの方、も しくは日中独居状態がよくある方で何 らかの介護・介助を受けているまたは必 要としているが受けていない方を称し ています。	<ul> <li>●要支援・要介護認定者以外 and</li> <li>●事業対象者以外 and</li> <li>●介護予防事業対象者以外 and</li> <li>●問1-(1)で「1. 1人暮らし」or「2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」に回答 or問1-(1)①で「1. よくある」に回答</li> <li>●問1-(2)で「2. 何らかの介護・介助は必要だが現在は受けていない」に回答 or「3. 現在何らかの介護を受けている」に回答</li> </ul>
	事業対象者 ※要支援者を除き、介護予防・日常生活支援総合事業の対象となっている方を称しています。	●事業対象者
	要支援者 ※要支援1・2の認定を受けている方を称 しています。	●要支援認定者
	要介護者 ※要介護1~5の認定を受けている方を 称しています。	●要介護認定者

#### ■リスクの判定条件

■リスクの刊定条件				
項	目	判定条件		
	該当	· 3点以上		
運動器の機能 低下	非該当	· O 点以上 2 点以下		
120 1	判定できず	・0点のうち、判定設問に無回答があった場合		
	該当	· 2点		
低栄養の傾向	非該当	· O 点以上 1 点以下		
	判定できず	・0点のうち、判定設問に無回答があった場合		
- L W 61	該当	· 2点以上		
口腔機能の 低下	非該当	· O 点以上 1 点以下		
13-1	判定できず	・0点のうち、判定設問に無回答があった場合		
	該当	· 2点		
閉じこもり 傾向	非該当	· O 点以上 1 点以下		
1501-3	判定できず	・判定設問に無回答があった場合		
	該当	· 1 点以上		
認知機能の 低下	非該当	· O点		
	判定できず	・判定設問に無回答があった場合		
うつ傾向	該当	· 1 点以上		
	非該当	・0点		
	判定できず	・0点のうち、判定設問に無回答があった場合		

#### ■運動器の機能低下の判定・評価

問番号	項目	選択肢
問2-(1)	階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか	
問2-(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっ ていますか	「3. できない」: 1点
問2-(3)	15 分位続けて歩いていますか	
問2-(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	「1.何度もある」 または 「2.1度ある」: 1点
問2-(5)	転倒に対する不安は大きいですか	「1.とても不安である」または「2.やや不 安である」: 1点

※3点以上:該当 0点以上2点以下:非該当

#### ■低栄養の傾向の判定・評価

問番号	項目	選択肢
問3-(1)	身長( )cm 体重( )kg	BMI < 18.5:1点
問3-(7)	6か月間で2~3kg 以上の体重減少がありましたか	「1. はい」: 1点

※2点:該当 O点以上1点以下:非該当

#### ■口腔機能の低下の判定・評価

問番号	項目	選択肢
問3-(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	
問3-(3)	お茶や汁物等でむせることがありますか	「1. はい」: 1点
問3-(4)	口の渇きが気になりますか	

※2点以上:該当 O点以上1点以下:非該当

#### ■閉じこもり傾向の判定・評価

問番号	項目	選択肢
問2-(6)	週に1回以上は外出していますか	「1. ほとんど外出 しない」または 「2. 週1回」: 1点
問2-(7)	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	「1. とても減っている」または 「2. 減っている」: 1 点

※2点:該当 0点以上1点以下:非該当

#### ■認知機能の低下の判定・評価

問番号	項目	選択肢
問4-(1)	物忘れが多いと感じますか	「1. はい」: 1点
問4-(2)	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	「2. いいえ」: 1点
問4-(3)	今日が何月何日かわからない時がありますか	「1. はい」: 1点

※1点以上:該当 0点:非該当

#### ■うつ傾向の判定・評価

問番号	項目	選択肢
問7-(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちに なったりすることがありましたか	
問7-(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	「1. はい」: 1点

※1点以上:該当 〇点:非該当

#### ■ IADL (手段的自立度) の判定・評価 … 老研指標

問番号	項目	選択肢
問4-(4)	バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車可)	
問4-(5)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	「1. できるし、してい る」
問4-(6)	自分で食事の用意をしていますか	または
問4-(7)	自分で請求書の支払いをしていますか	「2.できるけどして いない」: 1点
問4-(8)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	

※0点以上3点以下:該当 4点以上:非該当

#### ■知的能動性(社会参加)の判定・評価 … 老研指標

問番号	項目	選択肢
問4-(9)	年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が 書けますか	
問4- (10)	新聞を読んでいますか	   「1. はい」: 1点
問4-(11)	本や雑誌を読んでいますか	. 1. 180 ] . 1 ////
問4- (12)	健康についての記事や番組に関心がありますか	

※O点以上2点以下:該当 3点以上:非該当

### 2 アンケート調査票

#### (1) 高齢者の健康と生活状況調査(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

# 高齢者の健康と 生活状況調査

(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

調査票

#### 調査協力のお願い

皆様には、日頃から介護保険行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

山形市では、令和3年3月に令和3年度から令和5年度までを期間とする山形市高齢者保健福祉計画(第8期介護保険事業計画)を策定し、「自らの能力を活かしながら、住み慣れた地域でともに支えあい、健やかに生きがいを持って暮らせるまちづくり〜地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの確立〜」を基本理念に、住み慣れた地域で安心して生活できる"まちづくり"を進めています。

このたび、令和5年度に、令和6年度から令和8年度までを期間とする新たな山形市高齢者保健福祉計画(第9期介護保険事業計画)の策定を予定しており、地域の課題や高齢者の皆様の要望(ニーズ)等を把握するためのアンケートを実施することとなりました。

この調査は、無作為に抽出した、山形市にお住まいの要介護1~5の認定を受けていない65歳以上の方を対象としています。

なお、本調査で得られた情報は、皆様の健康情報という大切な個人情報であるという認識にたち、山形市個人情報保護条例に基づき適正に取扱うとともに前述以外の目的に利用することはありません。

大変お忙しいとは存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和5年2月

山形市長 佐藤 孝弘

記入日		令和	年	月		
※ 調査票を記入されたのはどなたですか。 ○をつけてください。						
1. あて名のご本人	2. ご家族が記入					3. その他
が記入	(あて名のご本人)	からみた続	兩	)		

ご記入後、お手数ですが、**この調査票を折り畳んで同封の返信用封筒に入れ、** 

3月20日(月)までに

郵便ポストへご投函ください。

<この調査に関するお問い合わせ先>

#### ご記入にあたってのお願い

- 1. この調査対象者は、山形市にお住まいで、令和5年1月5日現在で要介護1~5 の認定を受けていない65歳以上の方です。
- 2. ご回答にあたっては表紙のあて名ラベルに記載の「あて名のご本人」についてお答えいただきますが、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、ご一緒に回答されてもかまいません。
- 3. ご回答にあたっては質問をよくお読みいただき、該当する番号をOで囲んでください。各設問には、令和5年2月時点の状況でご回答ください。
- 4. この調査で使う用語の意味は、以下の通りです。

介護…介護保険サービスを受けている場合、又は認定を受けていない場合においても常時ご家族などの援助を受けている状態

介助…ご自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態

#### 個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護及び利用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。 なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせて いただきます。

#### 【個人情報の保護及び利用目的について】

この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。

本調査で得られた情報につきましては、山形市高齢者保健福祉計画(第9期介護保 険事業計画)策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。また当該情報につい ては、本市で適切に管理いたします。

ただし、地域分析等にあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録 し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が特定されない形で利用することがあり ます。



アンケートの協力をお願いしますべ二!

## 問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えください (〇は1つ)	
1. 1人暮らし	2. 夫婦2人暮らし(配偶者 65 歳以 上)
3. 夫婦2人暮らし (配偶者 64 歳以 下)	4. 息子・娘との2世帯
5. その他 ( )	
【(1) において「1. 1人暮らし」以外の方のみ ① 日中、1人になることがありますか(Oは	
1. よくある 2. たまにあ	5る 3. ない
(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介 1. 介護・介助は必要な	
い 2. 1915 3. 現在、何らかの介護を受けている	かの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
(介護認定を受けずに家族などの介護	を受けている場合も含む)
【(2) において「1. 介護・介助は必要ない」以 ① 介護・介助が必要になった主な原因はなん	
1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	2. 心臓病
3. がん (悪性新生物)	4. 呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)
5. 関節の病気(リウマチ等)	6. 認知症(アルツハイマー病等)
7. パーキンソン病 8. 糖尿病	9. 腎疾患(透析)
10. 視覚・聴覚障害 11. 骨折・車	からう 広倒 12. 背椎損傷
13. 高齢による衰弱 14. その他	( ) 15. 不明
【(2) において「3. 現在、何らかの介護を受け ② 主にどなたの介護、介助を受けていますか	
1. 配偶者 (夫・妻) 2. 息子	3. 娘
4. 子の配偶者 5. 孫	6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービスのヘルパー 8. その	他 ( )

(3)	現在の暮らしの状況を経済		
	1. 大変苦しい	2. やや苦しい	3. ふつう
	4. ややゆとりがある	5. 大変ゆとりがある	
(4)	お住まいは一戸建て、又は賃	集合住宅のどちらですか ((	Oは1つ)
	1. 持家(一戸建て)	2. 持家	(集合住宅)
	3. 公営賃貸住宅	4. 民間	動態である。 賃貸住名(一戸建て)
	5. 民間賃貸住宅(集合信	主宅) 6. 借家	
	7. その他(	)	
	), > Lo + =L 1, + =		
9B ^		ノレにヘハブ	
問 2	? からだを動かすこ	ことについて	
	! からたを動かすら 階段を手すりや壁をつたわら		は1つ)
	階段を手すりや壁をつたわり	らずに昇っていますか(○)	
		らずに昇っていますか(○)	
(1)	階段を手すりや壁をつたわり	らずに昇っていますか(OI 2. できるけどしている	ない 3. できない
(1)	階段を手すりや壁をつたわら 1. できるし、している 椅子に座った状態から何もつ	らずに昇っていますか(Ol 2. できるけどしていた Oかまらずに立ち上がって	ない 3. できない いますか (0は1つ)
(1)	階段を手すりや壁をつたわら 1. できるし、している	らずに昇っていますか(Ol 2. できるけどしていた Oかまらずに立ち上がって	ない 3. できない いますか (0は1つ)
(1)	階段を手すりや壁をつたわら 1. できるし、している 椅子に座った状態から何もつ	らずに昇っていますか(Ol 2. できるけどしている つかまらずに立ち上がって 2. できるけどしている	ない 3. できない いますか (0は1つ)
(1)	階段を手すりや壁をつたわられてきるし、している 1. できるし、している 椅子に座った状態から何もつ 1. できるし、している 15 分位続けて歩いています。	らずに昇っていますか(Ol 2. できるけどしている つかまらずに立ち上がって 2. できるけどしている か (Oは1つ)	ない 3. できない いますか (Oは1つ) ない 3. できない
(1)	階段を手すりや壁をつたわら 1. できるし、している 椅子に座った状態から何もつ 1. できるし、している	らずに昇っていますか(Ol 2. できるけどしている つかまらずに立ち上がって 2. できるけどしている か (Oは1つ)	ない 3. できない いますか (Oは1つ) ない 3. できない
(1) (2)	階段を手すりや壁をつたわられてきるし、している 1. できるし、している 椅子に座った状態から何もつ 1. できるし、している 15 分位続けて歩いています。	らずに昇っていますか(OI 2. できるけどしている つかまらずに立ち上がっている 2. できるけどしている か(Oは1つ) 2. できるけどしている	ない 3. できない いますか (Oは1つ) ない 3. できない
(1) (2)	階段を手すりや壁をつたわられてきるし、している 1. できるし、している 椅子に座った状態から何もつ 1. できるし、している 15 分位続けて歩いていますの 1. できるし、している 過去 1 年間に転んだ経験があ	らずに昇っていますか(Ol 2. できるけどしている かまらずに立ち上がっている 2. できるけどしている か(Oは1つ) 2. できるけどしている ありますか(Oは1つ)	ない 3. できない いますか (Oは1つ) ない 3. できない
(1) (2)	階段を手すりや壁をつたわられてきるし、している 村子に座った状態から何もつ 1. できるし、している 1. できるし、している 15 分位続けて歩いていますの 1. できるし、している	らずに昇っていますか(Ol 2. できるけどしている かまらずに立ち上がっている 2. できるけどしている か(Oは1つ) 2. できるけどしている ありますか(Oは1つ)	ない 3. できない いますか (Oは1つ) ない 3. できない
(1) (2) (3)	階段を手すりや壁をつたわられてきるし、している 1. できるし、している 椅子に座った状態から何もつ 1. できるし、している 15 分位続けて歩いていますの 1. できるし、している 過去 1 年間に転んだ経験があ	らずに昇っていますか(Ol 2. できるけどしている かまらずに立ち上がっている 2. できるけどしている か(Oは1つ) 2. できるけどしている ありますか(Oは1つ) 2. 1度ある	ない 3. できない いますか (Oは1つ) ない 3. できない
(1) (2) (3)	階段を手すりや壁をつたわられてきるし、している ・できるし、している ・できるし、している ・できるし、している ・1. できるし、している ・1. できるし、している ・1. できるし、している ・過去1年間に転んだ経験がある ・1. 何度もある	らずに昇っていますか(Old 2. できるけどしている つかまらずに立ち上がって 2. できるけどしている (Oは1つ) 2. できるけどしている りますか(Oは1つ) 2. 1度ある ですか(Oは1つ)	ない 3. できない いますか (Oは1つ) ない 3. できない
(1) (2) (3)	階段を手すりや壁をつたわられてきるし、している 椅子に座った状態から何もついたできるし、している 1. できるし、している 15 分位続けて歩いていますが 1. できるし、している 過去 1 年間に転んだ経験がある 1. 何度もある 転倒に対する不安は大きいていますがある。	らずに昇っていますか(Old 2. できるけどしている つかまらずに立ち上がって 2. できるけどしている (Oは1つ) 2. できるけどしている りますか(Oは1つ) 2. 1度ある ですか(Oは1つ)	ない 3. できない いますか (Oは1つ) ない 3. できない ない 3. できない ない 3. ない

(6)週に1回以上は外出していますか(Oは1つ)				
1. ほとんど外出しない	2. 週1回			
3. 週2~4回	4. 週5回以上			
(7) 昨年と比べて外出の回数が減って	いますか (〇は1つ)			
1. とても減っている	2. 減っている			
3. あまり減っていない	4. 減っていない			
(8)外出を控えていますか(Oは1つ)				
1. はい	2. いいえ			
【(8) で「1. はい」(外出を控えてい ① 外出を控えている理由は、次の	どれですか(Oはいくつでも)			
1. 病気	2. 障害(脳卒中の後遺症など)			
3. 足腰などの痛み	4. トイレの心配(失禁など)			
5. 耳の障害(聞こえの問題など	ご) 6. 目の障害			
7. 外での楽しみがない	8. 経済的に出られない			
9. 交通手段がない	10. その他( )			
(9) 外出する際の移動手段は何ですか	(Oはいくつでも)			
1. 徒歩 2	. 自転車 3. バイク			
4. 自動車(自分で運転) 5	. 自動車(人に乗せてもら う) う)			
7. 路線バス 8	. 病院や施設のバス 9. 車いす			
10. 電動車いす(カート) 11	. 歩行器・シルバーカー 12. タクシー			
13. その他(	)			

# 問3 食べることについて

(1)身長・体重(数字を右詰めで記入)	
身 長 cm	<b>体重</b> kg
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくく	(なりましたか (Oは1つ)
1. はい	2. いいえ
(3) お茶や汁物等でむせることがあります	たか (Oは1つ)
1. はい	2. いいえ
(4)口の渇きが気になりますか(Oは1つ	<b>o</b> )
1. はい	2. いいえ
(5)歯磨き(人にやってもらう場合も含む	ご)を毎日していますか(〇は1つ)
1. はい	2. いいえ
(6)歯の数と入れ歯の利用状況をお教えく (成人の歯の総本数は、親知らずを含	
1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ	1歯を利用
2. 自分の歯は 20 本以上、入れ歯	の利用なし
3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ	つ歯を利用
4. 自分の歯は 19 本以下、入れ歯	の利用なし
① 噛み合わせは良いですか(Oは1つ	)
1. はい	2. いいえ
【(6)で「1. 自分の歯は20本以上、	かつ入れ歯を利用」「3.自分の歯は19本以下
かつ入れ歯を利用」の方のみ】	
② 毎日入れ歯の手入れをしていますか	(Oは1つ)
1. はい	2. いいえ

(7)	1. はい		2. いいえ		
	1. 1001		Z. 0101%		
(8)	どなたかと食事をともにする	る機会はあり	ますか(Oは1 [・]	つ)	
	1. 毎日ある	2. 週に	何度かある	3. 月に何度	かある
	4. 年に何度かある	5. ほと/	んどない		
(9)	山形市では、健康医療先近 バランスのとれた食事を挑いますか(〇はいくつでも	<b>進奨していま</b>			
	1. 減塩(食塩を控えめに	(する)	2. 野菜をた	こくさん食べる	
	3. 栄養バランスの良い食	事をとる	4. その他	(	)
	5. 特に取り組んでいない	١			
88 <i>A</i>	- ケロのサギについ	•			
	Ⅰ 毎日の生活につい				
	物忘れが多いと感じますか				
			2. いいえ		
(1)	物忘れが多いと感じますか	(0は1つ)	_,		
(1)	物忘れが多いと感じますか 1. はい	(0は1つ)	_,	すか(Oは1つ)	
(1)	物忘れが多いと感じますか 1. はい 自分で電話番号を調べて、「	(Oは1つ) 電話をかける	ことをしていま [、] 2. いいえ	すか(〇は1つ)	
(1)	物忘れが多いと感じますか <ol> <li>はい</li> <li>合分で電話番号を調べて、情</li> <li>はい</li> </ol>	(Oは1つ) 電話をかける	ことをしていま [、] 2. いいえ	すか(Oは1つ) )	
(1)	物忘れが多いと感じますか <ol> <li>はい</li> <li>自分で電話番号を調べて、第</li> <li>はい</li> <li>今日が何月何日かわからない</li> </ol>	(○は1つ) 電話をかける い時がありま [*]	ことをしていまっ 2. いいえ すか (Oは1つ) 2. いいえ	すか(Oは1つ) )	<b>)</b>
(1) (2) (3)	物忘れが多いと感じますか 1. はい 自分で電話番号を調べて、 1. はい 今日が何月何日かわからない 1. はい	(Oは1つ) 電話をかける い時がありま [・] 外出していま・	ことをしていまった。 2. いいえ すか (Oは1つ) 2. いいえ すか (自家用車	すか(Oは1つ) ) でも可)(Oは1つ	

1. 体力的に難しい		2. バス停や駅が近く	に無い
3. 使いたいときに 電車がない(本数		や 4. 乗り方が分からな	U1
5. 乗り継ぎが分から	らない	6. その他(	)
(5) 自分で食品・日用品の	買物をしています	か (Oは1つ)	
1. できるし、してに	na 2. でき い	るけどしていな 3. で	きない
【(5) において「3. できた ① その理由は何ですか			
1. 買った物を持って	て帰るのが難しい		
2. 店が近くにあるた	が歩いていくのが難	焦しい	
3. 店が近くにない			
4. 店までの移動手段	没がない		
5. 買物の仕方が分が (何を買ったらい		レジでの支払い方が分から	ないなど)
6. その他(		)	
【(5) において「3. できた ② 食品・日用品の買物		できない)の方のみ】 なたですか(Oはいくつでも	,)
1. 同居の家族	2. 別居の	の家族 3. 近隣	の人
4. 友人	5. ヘル/	Υ-	
6. ボランティアに。	よる買物の生活支持	<b>受サービスを利用</b>	
7. その他(		)	
	·ていますか(〇は		

【(6) において「2. できるけどしていないない) の方のみ】 ① その理由は何ですか(Oはいくつでも	い」「3.できない」(自分で食事の用意をしてい 。)
1. 体力的に難しい	2. 料理の仕方が分からない
3. 自分の役割ではない	4. 火の使用に注意が必要だから
5. その他(	)
【(6) において「2. できるけどしていないない) の方のみ】 ② 食事の用意をする人は主にどなたです	い」「3. できない」(自分で食事の用意をしてい 「か(〇はいくつでも)
1. 同居の家族	2. 別居の家族
3. ヘルパー	4. 配食サービスを利用
5. その他(	)
(7) 自分で請求書の支払いをしていますか	(0は1つ)
1. できるし、している 2. でき	きるけどしていない 3. できない
(8)自分で預貯金の出し入れをしていますか	ov (Oは1つ)
1. できるし、している 2. でき	きるけどしていない 3. できない
【(8) において「3. できない」(自分で預 ① その理由は何ですか(〇はいくつで	
1. 体力的に難しい	2. 銀行等が近くにない
3. 銀行等までの移動手段がない	4. 預貯金の出し入れ方が分からない
5. その他( )	
【(8) において「3. できない」(自分で預販 ② 預貯金の出し入れをする人は主にどな	
1. 同居の家族	2. 別居の家族
3. 福祉サービス利用援助事業(判断 るよう、これに伴う金銭管理等を	能力が不十分な方でも福祉サービスが利用でき あわせて行う仕組み)
4. その他(	)

(9)年金などの書類(役所や病院などに出す	書類)が書けますか(〇は1つ)
1. はい	2. いいえ
(10) 新聞を読んでいますか(〇は1つ)	
1. はい	2. いいえ
(11) 本や雑誌を読んでいますか(Oは1つ)	
1. はい	2. いいえ
(12) 健康についての記事や番組に関心があり	ますか(Oは1つ)
1. はい	2. いいえ
(13) 友人の家を訪ねていますか(Oは1つ)	
1. はい	2. いいえ
(14) 家族や友人の相談にのっていますか(〇	は1つ)
1. はい	2. いいえ
(15) 病人を見舞うことができますか(〇は 1	ာ)
1. はい	2. いいえ
(16) 若い人に自分から話しかけることがあり	ますか(Oは1つ)
1. はい	2. いいえ
(17) 趣味はありますか (〇は1つ)	
1. 趣味あり> 趣味(具体的に	<u>)</u>
2. 思いつかない	
(18) 生きがいはありますか(〇は1つ)	
1. 生きがいあり ─> 生きがい (具体	*的に: )_
2. 思いつかない	

	か (Oは1つ)	
1. はい	2. 61	いえ
	え」(雪かきができていない)( こどなたですか(〇はいくつで	· - · -
1. 同居の家族	2. 別居の家族	3. 近隣の人
4. 友人	5. ボランティアによる雪が 用	かきの生活支援サービスを利
6. その他(		)
(20) ゴミ出しができていま	すか (Oは1つ)	
1. はい	2. 11	いえ
1. 同居の家族	2. 別居の家族	3. 近隣の人
	え」(ゴミ出しができていない) 主にどなたですか(Oはいくつ	<del>-</del>
1. 同居の家族	2. 別居の家族	3. 近隣の人
4. 友人	5. ヘルパー	
6. ボランティアによ	<b>にるゴミ出しの生活支援サーヒ</b>	ごスを利用
		)
7. その他(		,
<ul><li>7. その他(</li><li>(21) 掃除ができていますか</li></ul>	(Oは1つ)	,
	(Oは1つ) 2. い	
(21) 掃除ができていますか 1. はい 【(21) において「2. いいぇ		いえ 方のみ】
(21) 掃除ができていますか 1. はい 【(21) において「2. いいぇ	2. い と」(掃除ができていない) の:	いえ 方のみ】
<ul><li>(21) 掃除ができていますか</li><li>1. はい</li><li>【(21) において「2. いいえ</li><li>① 掃除をする人は主に。</li></ul>	2. い え」(掃除ができていない) の; どなたですか(Oはいくつでも	いえ 方のみ】 も)
<ul><li>(21) 掃除ができていますか</li><li>1. はい</li><li>【(21) において「2. いいき</li><li>① 掃除をする人は主にの</li><li>1. 同居の家族</li><li>4. 友人</li></ul>	2.い え」(掃除ができていない)のだ どなたですか(Oはいくつでも 2.別居の家族	いえ <b>方のみ】</b> も) 3. 近隣の人
<ul><li>(21) 掃除ができていますか</li><li>1. はい</li><li>【(21) において「2. いいき</li><li>① 掃除をする人は主にの</li><li>1. 同居の家族</li><li>4. 友人</li></ul>	2. いいま」(掃除ができていない)のだ どなたですか(Oはいくつでも 2. 別居の家族 5. ヘルパー	いえ <b>方のみ】</b> も) 3. 近隣の人
<ul> <li>(21) 掃除ができていますか</li> <li>1. はい</li> <li>【(21) において「2. いいき</li> <li>① 掃除をする人は主に</li> <li>1. 同居の家族</li> <li>4. 友人</li> <li>6. ボランティアに</li> </ul>	2. いいま」(掃除ができていない)のだ どなたですか(Oはいくつでも 2. 別居の家族 5. ヘルパー	いえ <b>方のみ】</b> も) 3. 近隣の人 E利用
(21) 掃除ができていますか 1. はい 【(21) において「2. いいえ ① 掃除をする人は主に、 1. 同居の家族 4. 友人 6. ボランティアによって、その他(	2.いた」(掃除ができていない)のだめたですか(Oはいくつでも 2. 別居の家族 5. ヘルパー なる掃除の生活支援サービスを	いえ <b>方のみ】</b> も) 3. 近隣の人 E利用

## 【(22) において「1. 利用している」の方のみ】 (1)インターネットの利用目的は何ですか(数字にOをつけてください)(Oはいくつでも) 【通信・情報発信での利用】 1. 電子メールの送受信 2. LINE (ライン) の利用 3. LINE (ライン) 以外のコミュニケーションツールの利用 (Facebook (フェイ スブック)、Instagram(インスタグラム)、Twitter(ツイッター)など) 4. Zoom (ズーム) などを使ったオンライン形式の会議等 【情報検索での利用】 5. 情報検索(天気、ニュース、地 6. ホームページやブログの閲覧 図、交通情報など) 7. 動画共有サイトの閲覧(YouTube(ユーチューブ)など) 【買い物・手続き等での利用】 8. 金融取引(インターネット銀行、証券取引等) 9. 商品の購入(インターネットショッピング、オークション) 10. 電子申請(設備予約、税申告など) 11. QR コード、バーコード決済(PayPay(ペイペイ)など) 【娯楽での利用】 12. オンラインゲームの利用 13. その他( ) (23) 自動車の運転免許証を持っていますか(〇は1つ) 1. 持っている 2. 持っていない 【(23) で「1. 持っている」の方のみ】 ① 自動車の運転をやめたら日常生活で困ることは何ですか(〇はいくつでも) 1. 仕事(就労) 2. ボランティア・町内会・自治会などの社会参加活動 3. 食品や日用品の買物 4. 衣料品などの買物 5. 病院への通院 6. 診療所への通院 7. 行政機関の手続き 8. 金融機関の手続き 9. 趣味やスポーツなどの活動 10. 友人・親戚等との交流 11. その他( )

#### 問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか ※① - ⑧それぞれに回答してください(それぞれ〇は1つ)

	週4回以上	週2~3回	週 1 □	月1~3回	年に数回	参加していない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 介護予防のための通いの場 (いきいき百歳体操などの運動を行う	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

- 【(1) において「6. 参加していない」に〇をつけた方のみ】
  - ① その理由は何ですか(Oはいくつでも)

1. 体力的に難しい

2. 活動場所までの移動手段がない

3. 活動に関する情報がない

4. 興味のある活動がない

5. 参加の誘いがない

6. 一緒に参加する友人がいない

)

7.参加する意思がない

8. その他(

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいき とした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に<u>参加者として</u>参加してみたい と思いますか(〇は1つ)

1. 是非参加したい

2. 参加してもよい

3. 参加したくない

4. 既に参加している

【(2) において「1. 是 のみ(現在、参加者と ① 現在、参加してい	して活動に参加してい	いない方)】	参加したくない」の方		
1. 体力的に難し	ν <b>1</b>	2. 活動場所までの	移動手段がない		
3. 活動に関する	情報がない	4. 興味のある活動	がない		
5. 参加の誘いが	ない	6. 一緒に参加する	友人がいない		
7. その他(			)		
		なたはその活動に <u>企画・</u>			
1. 是非参加した(	<b>(1)</b>	2. 参加してもより	, )		
3. 参加したくない	<b>/</b> 1	4. 既に参加してい	ハる		
【(3)において「1. 是非参加したい」「2. 参加してもよい」「3. 参加したくない」の方のみ(現在、企画・運営(お世話役)として活動に参加していない方)】 ① 現在、参加していない理由は何ですか(Oはいくつでも)					
1. 体力的に難し	<b>/</b> 1	2. 活動場所までの	移動手段がない		
3. 活動に関する	情報がない	4. 興味のある活動	がない		
5. 参加の誘いが	ない	6. 一人で参加する	のは心細い		
7. その他(			)		
(4) あなたは地域でどん	,な支援ができると思り	いますか(Oはいくつで	₺)		
1. 見守り	2. 声がけ	3. 外出同行	4. 雪かき		
5. 庭の手入れ	6. ゴミ出し	7. 買物	8. 調理		
9. 掃除	10. 着替え	11. 季節用品の入替	12. 電球交換		
13. できない	14. その他(		)		
【(4) で「13. できない」(地域で支援できない)の方のみ】 ① その理由は何ですか(〇はいくつでも)					
1. 体力的に難し	<b>/</b> 1	2. 時間がない			
3. 支援が必要な	人が分からない	4. 一人ではやりた<	くない		
5. 支援する意思	がない	6. その他(	)		

## 問6

たすけあいについて あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(Oはいくつでも)					
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども			
4.兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人			
7. その他(	) 8. そのよ	うな人はいない			
(2)反対に、あなたが心配事や愚痴(	(ぐち)を聞いてあげる	人 (Oはいくつでも)			
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども			
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人			
7. その他(	) 8. そのよ	うな人はいない			
(3)あなたが病気で数日間寝込んだと	きに、看病や世話をし	てくれる人(Oはいくつでも)			
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども			
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人			
7. その他(	) 8. そのよ	うな人はいない			
(4)反対に、あなたが看病や世話をし	たった。 たあげる人(Oはいく)	つでも)			
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども			
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫					
7. その他(	) 8. そのよ	うな人はいない			
(5) 家族や友人·知人以外で、何かむ (〇はいくつでも)	あったときに相談する	相手を教えてください			
1. 自治会・町内会・老人クラブ	ブ 2. 社会福	祉協議会•民生委員			
3. ケアマネジャー	4. 医師・	歯科医師・看護師			
5. 地域包括支援センター・役割	听・役場 6. その他	)			
7. そのような人はいない					
(6) 友人・知人と会う頻度はどれくら	いですか(Oは1つ)				
1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある			
4. 年に何度かある	5. ほとんどない				

	1. 0人 (いない)		2. 1	~2人	3	3. 3~5	5人	
	4. 6~9人		5. 10	0人以上				
(8)	よく会う友人・知人は	どんな関	関係の人で	ぎすか(Oは	いくつでも	)		
	1. 近所・同じ地域の	入	2. 幼な	こじみ	3	3. 学生時	時代の友	人
	4. 仕事での同僚・ 僚	元同	5. 趣明 人	まや関心が[	司じ友 (		ンティフ D友人	ア等の流
	。 7. その他(		)		8	動で 3. いない		
問7	健康について							
	現ちのちたたの健康性	台21十1114	いがっせい	(OI+10	`			
	現在のあなたの健康状態	_	·					
	現在のあなたの健康状態 1. とてもよい	_	·			U) 4	4. よく	ない
(1)		2. ま 度 <del>幸せ</del> で	あよい ごすか(〇	3. あ )は1つ)	まりよくな			ない
(1)	<ol> <li>とてもよい</li> <li>あなたは、現在どの程」 (「とても不幸」をO点 とても</li> </ol>	2. ま 度 <del>幸せ</del> で	あよい ごすか(〇	3. あ )は1つ)	まりよくな			とても
(1)	1. とてもよい あなたは、現在どの程 (「とても不幸」をO点	2. ま 度幸せで ī、「とで	あよい ごすか(〇 こも幸せ」	3. あ のは1つ) を10点とし	まりよくな して、ご記。	入ください	,1)	とても 幸せ
(1):	1. とてもよい あなたは、現在どの程 (「とても不幸」をO点 とても 不幸 O点 1点 2点	2. ま 度幸せで 京、「とで 3点	あよい ごすか(〇 ても幸せ」 4 _点	3. あ のは1つ) を10点とし 5点 6	まりよくな <b>、て、ご記</b> 点 7点	入ください 8 _点	, <b>\</b> ) 9点	とても 幸せ 10点
(1)	1. とてもよい あなたは、現在どの程) (「とても不幸」をO点 とても 不幸	2. ま 度幸せで 京、「とで 3点	あよい ごすか(〇 ても幸せ」 4 _点	3. あ のは1つ) を10点とし 5点 6	まりよくな <b>、て、ご記</b> 点 7点	入ください 8 _点	, <b>\</b> ) 9点	とても 幸せ 10点
(1)	1. とてもよい あなたは、現在どの程 (「とても不幸」をO点 とても 不幸 O点 1点 2点 この1か月間、気分が (Oは1つ)	2. ま 度幸せで 京、「とで 3点	あよい ごすか(〇 ても幸せ」 4 _点	3. あらりは1つ)を10点とし を10点とし 5点 6	まりよくな して、ご記。 点 7点 になったり	入ください 8 _点	, <b>\</b> ) 9点	とても 幸せ 10点
(1):	1. とてもよい あなたは、現在どの程 (「とても不幸」をO点 とても 不幸 O点 1点 2点 この1か月間、気分が	2. ま 度幸せで 京、「とで 3点	あよい ごすか(〇 ても幸せ」 4 _点	3. あ のは1つ) を10点とし 5点 6	まりよくな して、ご記。 点 7点 になったり	入ください 8 _点	, <b>\</b> ) 9点	とても 幸せ 10点
(1) : (2)	1. とてもよい あなたは、現在どの程 (「とても不幸」をO点 とても 不幸 O点 1点 2点 この1か月間、気分が (Oは1つ)	2. ま 度幸せで え、「とで 3点 沈んだ!	あよい ごすか(〇 ごも幸せ」 4点 リ、ゆうう	3. あらりは1つ)を10点とし 5点 6 うつな気持ち	まりよくな って、ご記。 点 フ点 いになったい	入ください 8点 )すること	い) 9点 : があり:	とても 幸せ 10点 ましたが
(1): (2)	1. とてもよい あなたは、現在どの程 (「とても不幸」を O 点 とても 不幸 O点 1点 2点 この 1 か月間、気分が (Oは 1 つ) 1. はい	2. ませる 文章 せる 3. たい も物	あよい ですか(O ても幸せ」 4点 り、ゆうう	3. あらりは1つ)を10点とし 5点 6 うつな気持ち	まりよくな って、ご記。 点 フ点 いになったり	入ください 8点 )すること	い) 9点 : があり:	とても 幸せ 10点 ましたが
(1): (2)	1. とてもよい あなたは、現在どの程 (「とても不幸」を0点 とても 不幸 〇点 1点 2点 この1か月間、気分が (〇は1つ) 1. はい この1か月間、どうし	2. ませる 文章 せる 3. たい も物	あよい ですか(O ても幸せ」 4点 り、ゆうう	3. あらりは1つ)を10点とし 5点 6 うつな気持ち	まりよくな って、ご記。 点 7点。 になったり ない、ある	入ください 8点 )すること	い) 9点 : があり:	とても 幸せ 10点 ましたが
(1) : (2)	1. とてもよい あなたは、現在どの程) (「とても不幸」を O点 とても 不幸  O点 1点 2点 この 1 か月間、気分が ( Oは 1 つ ) 1. はい この 1 か月間、どうして 感じがよくありました。	2. 度 (ませる) まなる。 (ないのでは) ないのでは、 (ないのでは)	あよい ですか(O ても幸せ」 4点 り、ゆうう	3. あっかは1つ)を10点とし 5点 6 うつな気持ち 2. いい	まりよくな って、ご記。 点 7点。 になったり ない、ある	入ください 8点 )すること	い) 9点 : があり:	とても 幸せ 10点 ましたが
(1) : (2)	1. とてもよい あなたは、現在どの程 (「とても不幸」を 0点 とても 不幸 〇点 1点 2点 この 1 か月間、気分が、 (〇は 1 つ) 1. はい この 1 か月間、どうし 感じがよくありました。 1. はい	2. 度 (ませる) まなる。 (ないのでは) ないのでは、 (ないのでは)	あよい ですか(O ても幸せ」 4点 り、ゆうう	3. あっかは1つ)を10点とし 5点 6 うつな気持ち 2. いい	まりよくな って、 ご記。 点	入ください 8点 )すること	い) 9点 : があり:	とても 幸せ 10点 ましたが

(6) <i>h</i>		<b>ミすか(○は1つ)</b>	
	、コは吸ってい。 . ほぼ毎日吸っ	アハス	2. 時々吸っている
	. はは <del>毎</del> ロ吸う . 吸っていたが		2. 時々吸っている 4. もともと吸っていない
(7)現在	E治療中、又は後	後遺症のある病気はあり	りますか(Oはいくつでも)
1.	. ない	2. 高血圧	3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)
4.	. 心臓病	5. 糖尿病	6. 高脂血症(脂質異常)
7.	. 呼吸器の病気 等)	気(肺炎や気管支炎	8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
9.	<b>・ 腎臓・</b> 前立腺	の病気	10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節症
11.	,外傷(転倒・	骨折等) 12. カ	がん(悪性新生物) 13. 血液・免疫の病
14.	<b>.</b> うつ病	15. 認知症(アル) 等)	ソハイマー病 16. パーキンソン病
17.	. 目の病気	18. 耳の病気	19. その他(
		かる相談窓口の	
(1)認知	ロ症の症状がある		ことでは、
( <b>1</b> )認知 1.	ロ <b>症の症状がある</b> はい	る又は家族に認知症の独	を 定状がある人がいますか(Oは1つ) 2. いいえ
(1)認知 1. (2)認知	ロ症の症状がある はい ロ症に関する相談		定状がある人がいますか(○は1つ) 2. いいえ か(○は1つ)
(1)認知 1. (2)認知	ロ <b>症の症状がある</b> はい	る又は家族に認知症の独	を 定状がある人がいますか(Oは1つ) 2. いいえ
(1)認知 1. (2)認知 1.	ロ症の症状がある はい ロ症に関する相談 はい	る又は家族に認知症の9 炎窓口を知っていますか	定状がある人がいますか(○は1つ) 2. いいえ か(○は1つ)
(1) 認知 1. (2) 認知 1. (3) 認知	ロ症の症状がある はい ロ症に関する相談 はい ロ症サポーター	る又は家族に認知症の 炎窓口を知っていますが 養成講座を受けたこ	定状がある人がいますか(Oは1つ) 2. いいえ か(Oは1つ) 2. いいえ
(1) 認知 1. (2) 認知 1. (3) 認知 1.	ロ症の症状がある はい ロ症に関する相談 はい ロ症サポーター ある	る又は家族に認知症の 炎窓口を知っていますが 養成講座を受けたこと 2. ない	定状がある人がいますか(Oは1つ) 2. いいえ か(Oは1つ) 2. いいえ とがありますか(Oは1つ)
(1)認知 1. (2)認知 1. (3)認知 1.	ロ症の症状がある はい ロ症に関する相談 はい ロ症サポーター ある <b>介護が必要</b>	る又は家族に認知症の 炎窓口を知っていますが 養成講座を受けたこと 2. ない	<ul> <li>定状がある人がいますか(Oは1つ)</li> <li>2. いいえか(Oは1つ)</li> <li>2. いいえとがありますか(Oは1つ)</li> <li>3. 講座がどのようなものかわからない</li> </ul>
(1)認知 1. (2)認知 1. (3)認知 1.	ロ症の症状がある はい ロ症に関する相談 はい ロ症サポーター ある <b>介護が必要</b> <b>が必要</b> になった	る又は家族に認知症の 炎窓口を知っていますが 養成講座を受けたこと 2. ない になった場合の に場合、どこでどのよ	定状がある人がいますか (Oは1つ) 2. いいえ か (Oは1つ) 2. いいえ とがありますか (Oは1つ) 3. 講座がどのようなものかわからない
(1) 認知 1. (2) 認知 1. (3) 認知 1.	ロ症の症状がある はい ロ症に関する相談 はい ロ症サポーター ある <b>介護が必要</b> が必要になった ・ 自宅又は親族	る又は家族に認知症の 炎窓口を知っていますが 養成講座を受けたこと 2. ない になった場合の と場合、どこでどのよう 集等の家で「親族等のな	定状がある人がいますか(Oは1つ) 2. いいえ か (Oは1つ) 2. いいえ とがありますか(Oは1つ) 3. 講座がどのようなものかわからない 生活等について うに生活をしていきたいですか(Oは1つ)
(1) 認知 1. (2) 認知 1. (3) 認知 1. <b>問9</b> (1) 介語	ロ症の症状がある はい ロ症に関する相談 はい ロ症サポーター ある <b>介護が必要</b> が必要になった ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ななは家族に認知症の 後窓口を知っていますが 養成講座を受けたこと 2. ない になった場合の と場合、どこでどのよう 等の家で「親族等の ま等の家で「介護サート	<ul> <li>☆ (○は1つ)</li> <li>② いいえ</li> <li>か (○は1つ)</li> <li>② いいえ</li> <li>とがありますか (○は1つ)</li> <li>③ 講座がどのようなものかわからない</li> <li>生活等について</li> <li>うに生活をしていきたいですか (○は1つ)</li> <li>介護」を受けながら生活したい</li> </ul>
(1)認知 (2)認知 (3)認知 (3) (3) (1) (1) (1) (2) (3)	ロ症の症状があるはい ロ症に関する相談はい ロ症はサポーター ある <b>介護が必要</b> になけれる ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	なない 後窓口を知っていますが 養成講座を受けたこと 2. ない になった場合の になった場合の になった場合の に等の家で「親族等のよう に等の家で「介護サート 意護老人ホームや認知	<ul> <li>☆ (○は1つ)</li> <li>② いいえ</li> <li>か (○は1つ)</li> <li>② いいえ</li> <li>とがありますか (○は1つ)</li> <li>③ 講座がどのようなものかわからない</li> <li><b>生活等について</b></li> <li>うに生活をしていきたいですか (○は1つ)</li> <li>介護」を受けながら生活したい</li> <li>ごス」を受けながら生活したい</li> </ul>

	) に のみ】		<b>美等の家で「介護サービス</b>	」を受けながら生活したし	,ヽ」の
1	そ(	の場合、訪問介護(ホー』	ムヘルパー)などのサービ	これを受けたいですか (OI	は1つ
	1.	受けたい	2. 受けたくない	3. わからない	
	) そ	こおいて「2.受けたくな の理由は何ですか(〇はし 家の中を見られたくない	いくつでも)		
	2.	見られたことを他人に話	されるのが心配(ヘルパ	ーには守秘義務があります	.)
	3.	ヘルパーや事業所によっ	てサービス内容にバラつ	きがある	
	4.	事業所が少なくて、十分	なサービスが受けられな	<b>/</b> 1	
	5.	経済的に受けられない			
	6.	どういうものかよく知ら	ない		
	7.	その他(			)
		らいて「3.施設で生活し の理由は何ですか(〇はい		宅で生活したい」の方のみ	<b>,</b> ]
	1.	訪問してくれるかかりつ	け医がいないと思うから		
	2.	訪問看護(看護師の訪問	) 体制が十分でないと思	うから	
	3.	訪問介護(ホームヘルハ	(一の訪問) 体制が十分で	ないと思うから	
	4.	24時間受けられるサー	・ビスがないと思うから		
	5.	介護してくれる家族等か	いないから		
	6.	介護してくれる家族等に	負担が掛かるから		
	7.	症状が急に悪くなった時	の対応に自分も家族も不	安だから	
	8.	症状が急に悪くなった時	にすぐに医師や看護師の	訪問が受けられるか不安だ	から
	9.	症状が急に悪くなった時	にすぐ病院に入院できる	か不安だから	
	10.	介護に適した住宅構造で	だはないから		
	11.	経済的に負担が大きいと	思うから		
	12.	孤独を感じると思うから	)		
	13.	その他(			)

#### 問10 もしものときの話し合いについて

ここからは、少し踏み込んだ質問になります。

大きな病気やケガにより命の危機が迫った状態になると、約70%の方が、考えや 望みを人に伝えることができなくなると言われています。

もしものときに備え話し合うことはとても大切なことですので、もしものことを想像 しながらお答えください。

- (1) もしものときのために(※)、これまでにご家族等や医療介護関係者と話し合ったこと がありますか(Oは1つ)
  - 1. 詳しく話し合っている

2. 一応話し合っている

- 3. 話し合ったことはない
- ※もしものときのために、あなたの大切にしていることや、あなたが望む医療や介護につ いて、自ら考え、また、あなたの信頼する人たちと話し合うことを「人生会議 (ACP: *アドバンス・ケア・プランニング*)」と呼び、国が推奨しています。
- 【(1)において「1. 詳しく話し合っている」「2. 一応話し合っている」の方のみ】
- ① 話し合ったきっかけは何ですか(Oはいくつでも)
  - 1. 誕生日
- 2. ご家族等の結婚 3. 子供、孫の誕生
- 4. 自分の病気 5. 退職

6. 還暦

- 7. ご家族等の病気や死
- 8. 地区の講座等で情報を得た時
- 9. 人生の最終段階についてメディア(新聞・テレビ・ラジオ等)から情報を得た時
- 10. 医療関係者による説明や相談の機会を得た時
- 11. 介護関係者による説明や相談の機会を得た時
- 12. その他( )
- 【(1) において「3. 話し合ったことはない」の方のみ】
- ② その理由は何ですか(Oはいくつでも)
  - 1. 話し合いたくないから
- 2. 話し合う必要性を感じていないから
- 3. 話し合うきっかけがなかったから 4. 知識がないため何を話し合っていい
  - か分からないから
- 5. その他( )

- (2) もしものときは、どこで、どのように人生の最期を迎えることを希望しますか (0は1つ)
  - 1. 自宅又は親族等の家で「親族等の介護」を受けながら迎えたい
  - 2. 自宅又は親族等の家で「介護サービス」を受けながら迎えたい
  - 3. 施設(特別養護者人ホームや認知症グループホーム等)で迎えたい
  - 4. 高齢者向け住宅(有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅等)で迎えたい
  - 5. 病院などの医療機関で「医療処置」を受けながら迎えたい
  - 6. 特に希望はない
  - 7. わからない

#### 問11 その他

- (1) 新型コロナウイルス感染症流行以前(令和元年)と比べ、気になる項目は 何ですか(Oはいくつでも)
  - 1. 身体の衰え
- 2. 体重の減少
- 3. 食べにくさ

- 4. もの忘れ
- 5. 気分の落ち込み
- 6. 閉じこもり
- 7. 気になる項目はない 8. その他(

(2) 山形市は文化創造都市の実現を目指しています。生活の中で文化・芸術の鑑賞や活 動に取り組んでいますか(例:音楽、舞踊、美術、文芸、茶道、華道、映画、演芸 落語など)(Oは1つ)

1. 取り組んでいる

2. 年に数回程度取り組んでいる

)

- 3. 取り組んでいないが、今後取り組みた
- 4. 関心はあるが取り組んでいない
- 5. 関心がなく、今後も取り組むつもりはない

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。 記入もれがないか、今一度お確かめください。

3月20日(月)までに郵便ポストに投函してください。

### (2) 高齢者の生活と介護者の就労状況調査(在宅介護実態調査)

# 高齢者の生活と 介護者の就労状況調査 (在宅介護実態調査) 調査票

### 調査協力のお願い

皆様には、日頃から介護保険行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

山形市では、令和3年3月に山形市高齢者保健福祉計画(第8期介護保険事業計画)を策定し、「自らの能力を活かしながら、住み慣れた地域でともに支えあい、健やかに生きがいを持って暮らせるまちづくり〜地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの確立〜」を基本理念に、介護や支援を必要とする方々と家族等介護者にとって住みよい"まちづくり"を進めております。令和5年度の計画の見直しにあたって、介護を必要とする高齢者等が自分らしく在宅生活を続けられる体制の整備や、家族介護者の介護離職をなくし、地域住民が役割を持って、支え合いながら活躍できる「地域共生社会」の実現に向けた介護サービスのあり方を把握するため、アンケート調査を実施することとなりました。

この調査は、無作為に抽出した、山形市にお住まいの 65 歳以上の要支援・要介護認定者(以下「<u>要介護者</u>」という。)のうち、在宅で生活している方及びその介護者の方を対象としています。

なお、本調査で得られた情報は、山形市個人情報保護条例に基づき適正に取扱うとと もに前述以外の目的に利用することはありません。

大変お忙しいとは存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和5年2月

山形市長 佐藤 孝弘

ご記入後、お手数ですが、**この調査票を折り畳んで同封の返信用封筒に入れ、** 

3月27日(月)までに

郵便ポストへご投函ください。

<この調査に関するお問い合わせ先>

山形市 長寿支援課 電話:641-1212(内線653) FAX:624-8398

### ご記入にあたってのお願い

- 1. この調査は、要介護者ご本人及び主な介護者の方についてお答えいただくアンケートです。各設問には、**令和5年2月時点**の状況でご回答ください。
- 2. 回答は、選択肢に〇を付けていただく場合と、記述していただく場合があります。 回答は、設問ごとに示している指示に従ってください。
- 3. 選択された回答によっては、次に進む設問が異なる場合があります。特にことわりのない場合は次の設問に、ことわり書きや矢印がある場合は指示に従い、次へお進みください。

### 個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護及び利用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。 なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせ ていただきます。

#### 【個人情報の保護及び利用目的について】

この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。

本調査で得られた情報につきましては、山形市高齢者保健福祉計画(第9期介護 保険事業計画)策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。また当該情報に ついては、本市で適切に管理いたします。

ただし、地域分析等にあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が特定されない形で利用することがあります。



アンケートの協力をお願いしますべ二!

問A	現在、この調査票に回答されているのはどなたですか。(Oはいくつでも)					
	1. あて名のご本人(要介護	者) 2	. 主な介護者となっている家族・親族			
	3. 主な介護者以外の家族・	親族 4	. 担当ケアマネジャー			
	5. その他(	)				
_						
I	ご本人(要介護者)	の状況について				
問 1	世帯類型はどれに該当しま	きすか。(Oは1つ)				
	1. 単身世帯	2. 夫婦のみ世帯	3. その他 ( )			
問2 家族や親族の方から介護してもらう日は、週にどのくらいありますか。(Oは1:						
II] Z	(同居していない子どもや新					
	1. ない <b>⇒ 問8へ</b>	2. 家族・親族の介	護はあるが、週に1日よりも少ない			
	3. 週に1~2日ある	4. 週に3~4日あ	る 5. ほぼ毎日ある			
	<b>キャク洪老笠の出</b> に	1 / 层丛祭 \ /= /				
Ш	主な介護者等の状況	[(偶性寺)に)				
問3	主な介護者の方は、ご本。	人(要介護者)から身	見てどなたになりますか。(Oは1つ)			
	1. 配偶者	2. 子	3. 子の配偶者			
	4. 孫	5. 兄弟•姉妹	6. その他( )			
問 4	主な介護者の方の性別はと	゙゙゙゙゙゙ゟらですか。(Oは [੶]	1つ)			
	1. 男性	2. 女性				
問5	主な介護者の方の年齢はどれに該当しますか。(〇は1つ)					
	1.20 歳未満 <b>⇒ 学生の方は問 5 -1 へ</b>	2. 20~29歳	3. 30~39歳			
	4. 40~49歳	5. 50~59歳	6. 60~69歳			
	7. 70~79歳	8.80歳以上	9. わからない			

問5-1	問5において「1.20歳未満」かつ学生の方にお伺いします。 就学の状況はどれに該当しますか。(〇は1つ)					
1.	小学生	-	中学生			
3.	高校生	4.	大学生、短大生、専門学校生等			
5.	休学中	6.	その他(			
問6 現在	E、主な介護者の方が行っている	5介護	等はどれですか。(Oはいくつでも)			
〔身句	本介護〕					
1.	日中の排泄	2.	夜間の排泄			
3.	食事の介助(食べる時)	4.	入浴•洗身			
5.	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	6.	衣服の着脱			
7.	屋内での移乗・移動	8.	外出の付き添い、送迎等			
9.	服薬	10.	認知症状への対応			
11.	医療面での対応(経管栄養、スト	一つ急	争)			
〔生活	舌援助〕					
12.	食事の準備(調理等)	13.	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)			
14.	金銭管理や生活面に必要な諸手続	き				
[その	の他〕					
15.	その他(		)			
16.	わからない					
問 7 ご 家	₹族や親族の方で、ご本人(要介	℩護者	)の介護のために、過去1年の間に仕事 ・			
(※1	1) を辞めた方・転職された方は	はいま	すか。(Oはいくつでも)			
(現	在働いているかどうかや、現在	の勤績	務形態は問いません。)			
1.	主な介護者が仕事を辞めた(転職	除く)	⇒ 問7-1~問7-2へ			
2.	主な介護者以外の家族・親族が仕	事を話	幹めた(転職除く) <b>⇒ 問7-1~問7-2へ</b>			
3.	主な介護者が転職した					
4.	主な介護者以外の家族・親族が転	職した				
5.	5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない					
6.	わからない					
<b>*</b> 1	自営業や農林水産業の仕事を辞めた・転	聞したり				

### 問7-1 <u>問7において「1. 主な介護者が仕事を辞めた」「2. 主な介護者以外の家</u> 族・

### 親族が仕事を辞めた」の方にお伺いします。

その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- 1. 仕事と介護の両立が難しい職場だったため
- 2. 自分自身で介護するとサービスなどの利用料を軽減できるため
- 3. 自分の心身の健康状態が悪化したため
- 4. 施設へ入所できず介護の負担が増えたため
- 5. 在宅介護サービスを利用できず介護の負担が増えたため
- 6. 家族や親族等からの理解・協力が十分得られなかった又は家族や親族等が介護に 専念することを希望したため
- 7. 自分自身の希望として介護に専念したかったため
- 8. 要介護者から介護に専念することを希望されたため
- 9. 介護を機に辞めたが、理由は介護に直接関係ない
- 10. その他( )

### 問7-2 <u>問7において「1. 主な介護者が仕事を辞めた」「2. 主な介護者以外の家</u> 族・親族が仕事を辞めた」の方にお伺いします。

その際に、どこかに相談しましたか。(〇はいくつでも)

- 1. 地域包括支援センター
- 2. ケアマネジャー・サービス事業所等
- 3. 労働局(ハローワーク)
- 4. 社会福祉協議会
- 5. 家族·親族
- 6. 近隣の人(民生委員、町内会、地区社協、福祉協力員等含む)
- 7. 職場
- 8. 医療機関の相談窓口等
- 9. 相談していない
- 10. その他 ( )

# **Ⅲ 支援・サービス・訪問診療の利用状況・ニーズについて**

問8		生、「介護保険サービス <u>以外</u> 」の支援。 、(〇はいくつでも)	・サ-	-ビス(※2)は、何を利用していま		
	1.	配食	2.	調理		
	3.	掃除•洗濯	4.	買い物(宅配は含まない)		
	5.	ゴミ出し	6.	外出同行(通院、買い物など)		
	7.	移送サービス(介護・福祉タクシー 等)	8.	見守り、声かけ		
	9.	サロンなどの定期的な通いの場	10.	その他 ( )		
	11.	利用していない				
	<b>%</b> 2	総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険	サーヒ	【ス」に含まれます。		
問9 在宅生活を今後も続けていくためには、どの支援・サービス(※3)(現在利用中を含む)が必要だと思いますか。(Oはいくつでも)						
	1.	配食	2.	調理		
	3.	掃除•洗濯	4.	買い物(宅配は含まない)		
	5.	ゴミ出し	6.	外出同行(通院、買い物など)		
	7.	移送サービス(介護・福祉タクシー 等)	8.	見守り、声かけ		
	9.	サロンなどの定期的な通いの場	10.	その他(		
	11.	特にない				
	<b>%</b> 3	介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービ	スとも	に含まれます。		
問9	<b>–</b> 1	また、次のどの介護サービスが必要が	<b>ごと</b> !	思いますか。(〇は1つ)		
	1.	ヘルパーや看護師等が訪問し、介護や療	養上	の支援をする訪問系のサービス		
2. デイサービスなど日帰りで施設を利用する通所系のサービス						

3. ショートステイなど施設に短期間入所する短期系サービス

((	ご本人(要介護者)が、現在抱えて Oはいくつでも)		
1.	のうけっかんしっかん のうそうちゅう 脳血管疾患(脳卒中)	2. 心疾患(心臓病)	
	悪性新生物(がん)	4. 呼吸器疾患	
	腎疾患(透析)	5んごかくけいしっかん 6.筋骨格系疾患 こつき (骨粗しょう症、脊柱	うかんきょうさくしょう E管狭窄症等)
7.	できばかびょう 下の できまり アンス できまり できま	8. 変形性関節疾患	
9.	Entablish 認知症	10. パーキンソン病	
11.	難病(パーキンソン病を除く)	12. 糖尿病	
13.	戦科・耳鼻科疾患 (視覚・聴覚障害を伴うもの)	14. その他(	)
15.	なし	16. わからない	
つ)	利用している	2. 利用していない	ますか。(〇に
: ※5	訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含み	をません。 	

問10 現時点において、施設等(※4)への入所・入居を検討されていますか。

# 問13-1 問13において介護保険サービスを「2. 利用していない」方にお伺いしま

介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- 1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
- 2. 本人(要介護者)にサービス利用の希望がない
- 3. 家族が介護をするため必要ない
- 4. 以前、利用していたサービスに不満があった
- 5. 利用料を支払うのが難しい
- 6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
- 7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
- 8. サービスを利用したいが手続きや利用方法が分からない
- 9. その他(
- ※ここからは、「主な介護者」の方がご回答ください。「主な介護者」の方のご回答が 難しい場合は、ご本人(要介護者)が記入されるか、無回答で結構です。

## 主な介護者の就労状況について

- 問14 主な介護者の方の現在の勤務形態はどれに該当しますか。(〇は1つ)
  - 1. フルタイムで働いている
- ⇒ 問14-1~問14-3へ
- 2. パートタイム (※6) で働いている ⇒ 問14-1~問14-3~

3. 働いていない

⇒ 問15へ

4. わからない

- ⇒ 問15へ
- ※6 「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短 い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。 自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択 してください。

### 問 1 4 - 1 <u>問 1 4 において「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている</u> 主な介護者の方にお伺いします。

介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。 (Oはいくつでも)

- 1. 特に調整していない
- 2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」 しながら、働いている
- 3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
- 4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
- 5. 介護のために、2~4以外の調整をしながら、働いている
- 6. わからない

### 問14-2 <u>問14において「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている</u> <u>主な介護者の方にお伺いします。</u>

仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援はどれですか。 (Oは3つまで)

- 1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
- 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
- 3. 制度を利用しやすい職場づくり
- 4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)
- 5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)
- 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
- 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
- 8. 介護をしている従業員への経済的な支援
- 9. その他( )
- 10. 特にない 11. わからない

### 問 1 4 - 3 <u>問 1 4 において「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている</u> 主な介護者の方にお伺いします。

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。 (Oは1つ)

- 1. 問題なく、続けていける
- 2. 問題はあるが、何とか続けていける
- 3. 続けていくのは、やや難しい
- 4. 続けていくのは、かなり難しい

5. わからない

## V 介護生活を続ける際の不安や困りごと

問15 (在宅生活を送る要介護者を介護している)現在の生活を今後も続けていくにあ たって、主な介護者の方が不安に感じる介護等はどれですか。(〇は3つまで)

-	_	ட		=-	<b>.</b>	
ı	身	怀	Ίľ	`≣1	<b></b>	

(現在行っていん	るかどうかは問いま	せん。)					
〔身体介護〕							
1. 日中の排泄		2. 祾	<b>夏間の排泄</b>				
3. 食事の介助(食	べる時)	4. <i>7</i>	、浴•洗身				
5. 身だしなみ(洗剤	頁・歯磨き等)	6. 岔	マ服の着脱				
7. 屋内での移乗・	移動	8. <i>9</i>	<b>卜出の付き添い、送迎等</b>				
9. 服薬		10. 罰	別知症状への対応				
11. 医療面での対応	11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)						
〔生活援助〕							
12. 食事の準備(調	理等)	13. <del>7</del>	その他の家事(掃除、洗濯、	買い物等)			
14. 金銭管理や生活	面に必要な諸手続き						
〔その他〕							
15. その他(	)	16. 7	安に感じていることは、特	にない			
17. わからない							
※ここからは、 <u>ご本人(</u>	要介護者)又は主な	介護者の	<u>ち</u> のどちらがご回答いた <i>†</i>	どいても			
結構です。							
問 1 6 あなたの生活の お願いしたいですが	困りごとを近隣のノ ゚ゕ。(Oはいくつでも		できるとしたら、どのよ	うなことを			
1. 見守り	2. 声がけ		3. 外出同行				
4. 雪かき	5. 庭の手入	h	6. ゴミ出し				
7. 買物	8. 調理		9. 掃除				
10. 着替え	11. 季節用品	の入替	12. 電球交換				
10   アナにハたハ	ーレ!+##!ニた!)		14. その他(	)			

13. してもらいたいことは特にない

### VI もしものときの話し合いについて

ここからは、少し踏み込んだ質問になります。

大きな病気やケガにより命の危機が迫った状態になると、約70%の方が、考えや望みを人に伝えることができなくなると言われています。

もしものときに備え話し合うことはとても大切なことですので、もしものことを想像 しながらお答えください。

- 問17 もしものときのために(※7)、これまでにご家族等や医療介護関係者と話し合ったことがありますか。(〇は1つ)
  - 1. 詳しく話し合っている ⇒ 問17-1~
  - 2. 一応話し合っている ⇒ 問17-1~
  - 3. 話し合ったことはない ⇒ **問17-2へ**
  - ※7 もしものときのために、あなたの大切にしていることや、あなたが望む医療や介護について、自ら考え、また、あなたの信頼する人たちと話し合うことを「人生会議(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)」と呼び、国が推奨しています。
- 問 1 7 1 <u>問 1 7 において「1. 詳しく話し合っている」「2. 一応話し合っている」</u> <u>方にお伺いします。</u>

話し合ったきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 誕生日

- 2. ご家族等の結婚
- 3. 子供、孫の誕生
- 4. 自分の病気

5. 退職

- 6. 還暦
- 7. ご家族等の病気や死
- 8. 地区の講座等で情報を得た時
- 9. 人生の最終段階についてメディア (新聞・テレビ・ラジオ等) から情報を得た時
- 10. 医療関係者による説明や相談の機会を得た時
- 11. 介護関係者による説明や相談の機会を得た時
- 12. その他( )

## 問17-2 問17において「3. 話し合ったことはない」方にお伺いします。 その理由は何ですか。(Oはいくつでも)

- 1. 話し合いたくないから
- 2. 話し合う必要性を感じていないから
- 3. 話し合うきっかけがなかったから
- 4. 知識がないため何を話し合っていいか分からないから
- 5. その他( )
- 問18 もしもの時はどこで、どのように人生の最期を迎えることを希望しますか。 (0は1つ)
  - 1. 自宅又は親族等の家で「親族等の介護」を受けながら迎えたい
  - 2. 自宅又は親族等の家で「介護サービス」を受けながら迎えたい
  - 3. 施設(特別養護者人ホームや認知症グループホーム等)で迎えたい
  - 4. 高齢者向け住宅(有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅等)で迎えたい
  - 5. 病院などの医療機関で「医療処置」を受けながら迎えたい
  - 6. 特に希望はない
  - 7. わからない

### VII その他

- 問19 新型コロナウイルス感染症流行以前(令和元年)と比べ、ご本人(要介護者)の 状態で気になる項目は何ですか。(Oはいくつでも)
  - 1. 身体の衰え
- 2. 体重の減少
- 3. 食べにくさ

- 4. もの忘れ
- 5. 気分の落ち込み 6. 閉じこもり
- 7. 気になる項目はない 8. その他(

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。 記入もれがないか、今一度お確かめください。

3月27日(月)までに郵便ポストへご投函ください。

# 高齢者実態調査結果報告書

発行日 令和5年7月

発 行 山形市

編 集 山形市 福祉推進部 長寿支援課

住 所 〒990-8540 山形県山形市旅篭町二丁目3番25号

TEL:023-641-1212(代表)

https://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp/